

(案)

四日市市こども計画策定に向けた アンケート結果報告書

(5/13 子ども・子育て会議資料)

令和 6 年 5 月

四日市市

目次

I	調査の概要	1
	（１）調査の目的	1
	（２）調査対象及び方法	1
	（３）回収結果	2
	（４）調査結果の見方	2
II	【未就学保護者対象】量の見込み等調査結果	3
IV	【小学生低学年保護者対象】量の見込み等調査の結果	58
V	こども施策検討に関する調査の結果	91
VI	調査結果が示す本市の現状と子ども計画策定に向けた課題	137
	（１）子育て世代の女性の就業率の上昇について	137
	（２）保育ニーズの増加について	137
	（３）子育て支援事業について	138
	（４）四日市市の子育て環境について	139
	（５）中高生の支援について	140

I 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、四日市市こども計画の策定にあたり、本市の子ども・若者や子育て世帯の状況を把握、教育・保育、子ども・子育て支援に関する現在の利用状況及び今後の利用希望を把握し、本市がこれから取り組んでいく事業の計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査対象及び方法

3種の調査を実施しました。実施した調査別の調査対象・方法等は以下の通りです。

調査名	調査対象者	調査方法	調査期間
【未就学保護者対象】 量の見込み等調査	市内に居住する0～5歳児の保護者 3,500 件を抽出	郵送配付・ 郵送回収	令和6年 1月15日～ 1月31日 期限延長（2月16 日まで）
【小学生低学年保護者対象】 量の見込み等調査	市立小学校1～3年生の 保護者全員	学校配付・ WEB回答	
こども施策検討に関する調査	市立中学校3年生全員 市内の高等学校の2年生 または3年生	学校配付・ WEB回答	

(3) 回収結果

各調査の配付数・回収数・回収率は以下の通りです。

調査名	配付数	回収数	回収率
【未就学保護者対象】 量の見込み等調査	3,500 件	2,401 件 ・ 0 歳：581 件 ・ 1 歳：334 件 ・ 2 歳：290 件 ・ 3 歳：357 件 ・ 4 歳：396 件 ・ 5 歳：383 件 ・ 不明：60 件	68.6%
【小学生低学年保護者対象】 量の見込み等調査	7,286 件 1 年生：2,433 件 2 年生：2,493 件 3 年生：2,360 件	4,210 件 ・ 1 年生：1,477 件 ・ 2 年生：1,465 件 ・ 3 年生：1,242 件 ・ 不明：26 件	57.8%
こども施策検討に関する 調査	6,548 件 中学生：2,763 件 高校生：3,785 件	1,081 件 ・ 中学生：851 件 ・ 高校生：218 件 ・ 不明：12 件	16.5% 中学生：30.8% 高校生：5.8%

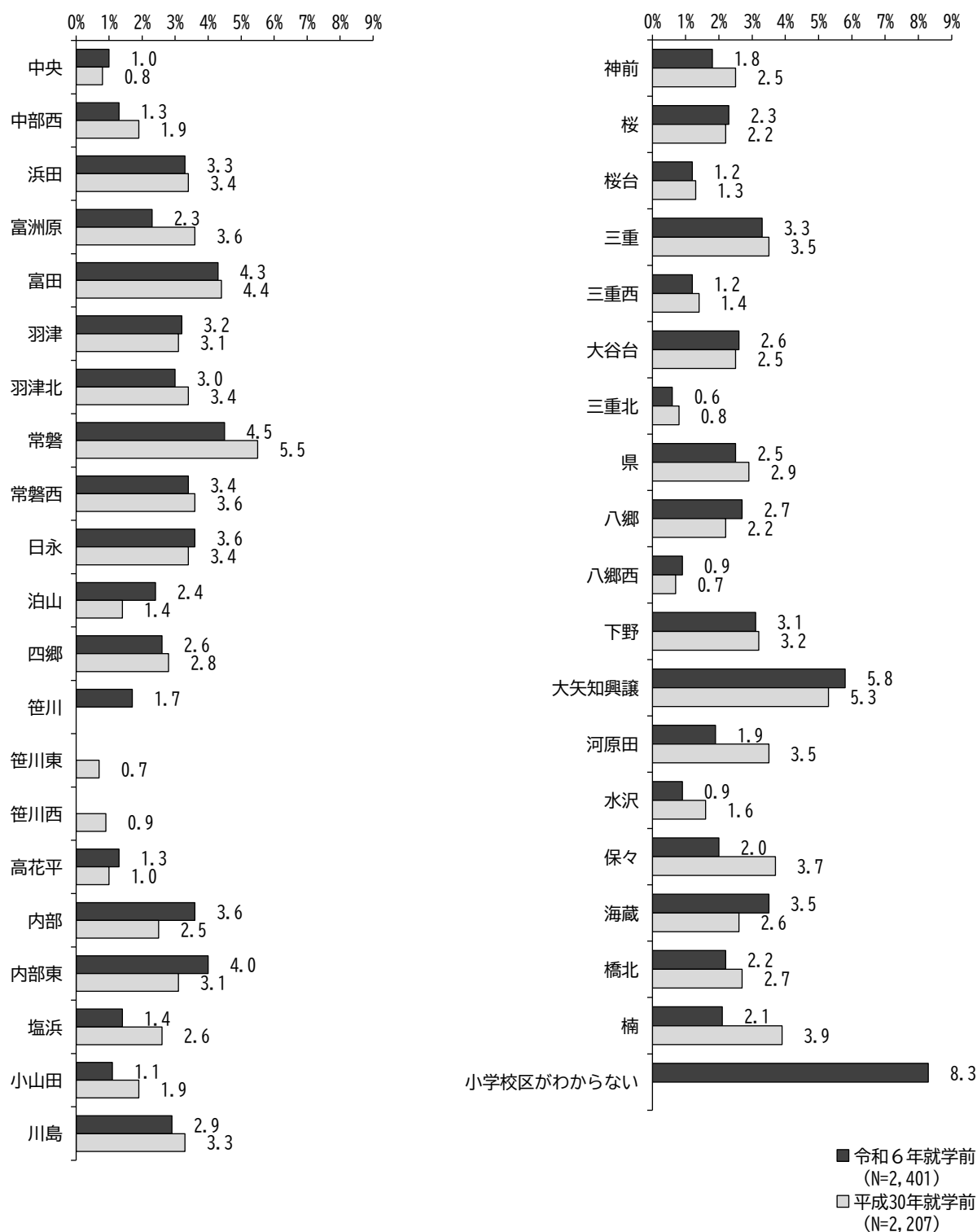
(4) 調査結果の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of cases)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問は簡略化している場合があります。

Ⅱ 【未就学保護者対象】量の見込み等調査結果

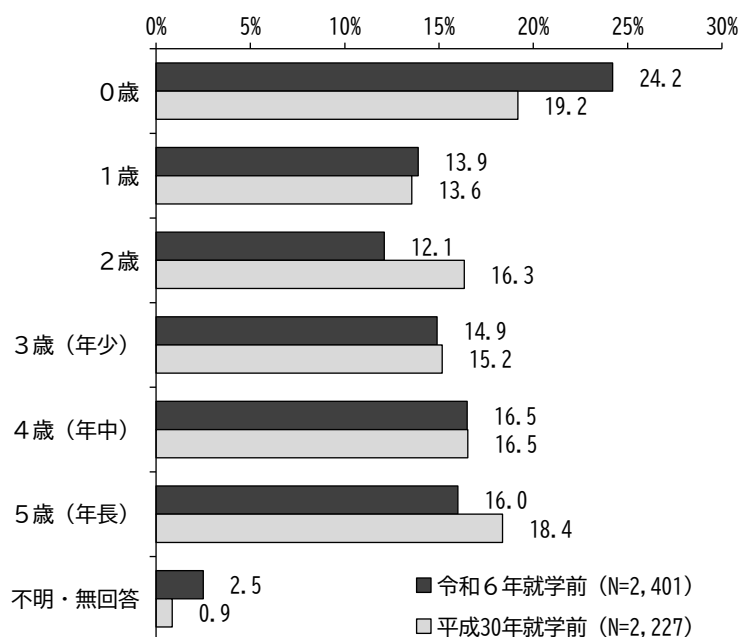
問1 お住まいの地域の小学校区は、どちらですか。

「小学校区がわからない」を除くと、「大矢知興譲」が 5.8%で最も多く、次いで「常磐」が 4.5%、「富田」が 4.3%となっています。



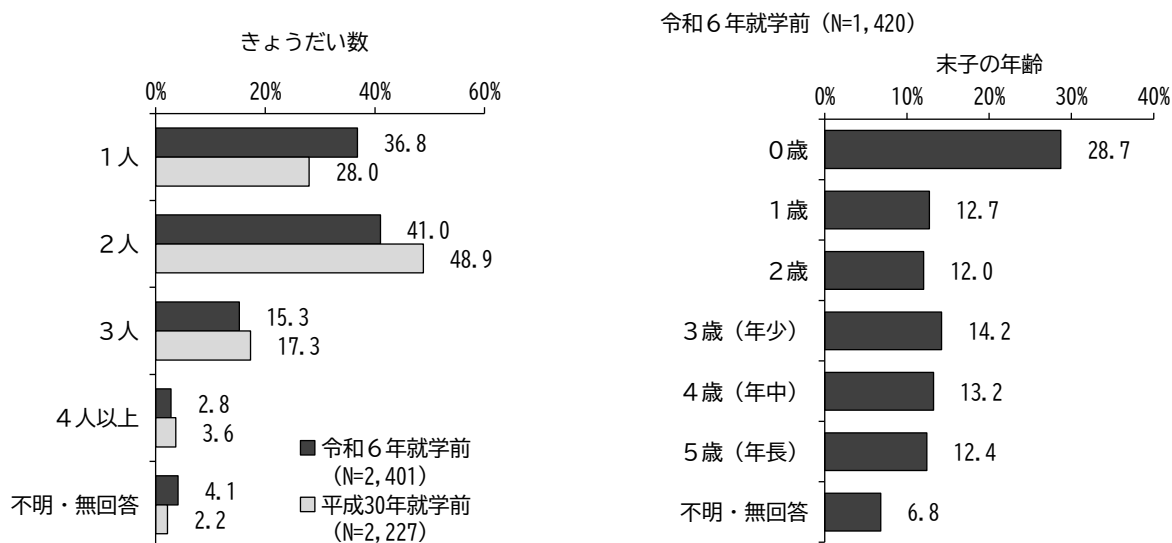
問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

回答された生年月に基づき、子どもの年齢（学年）を算出しました。「0歳」が24.2%で最も多くなっています。



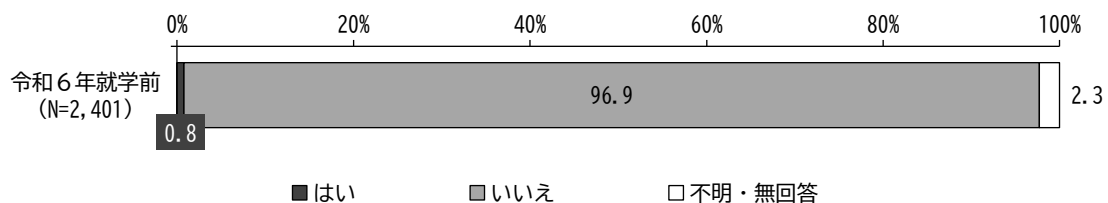
問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

子どもの人数は「2人」が41.0%で最も多く、次いで「1人」が36.8%となっています。



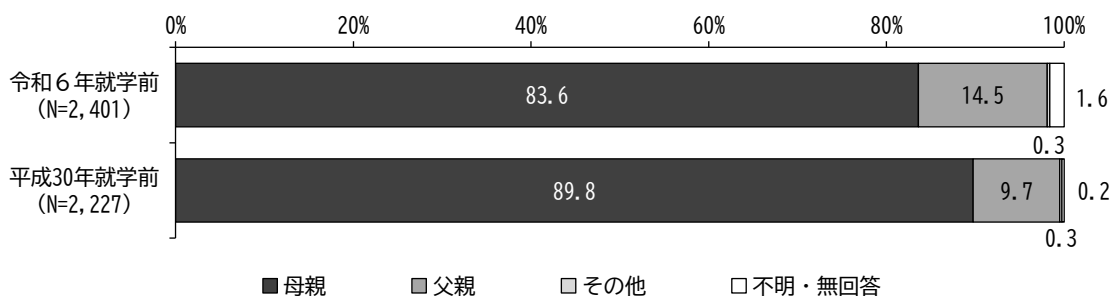
問4 あて名のお子さんは、多胎児（双子、三つ子など）ですか。

多胎児であるという回答は0.8%となっています。



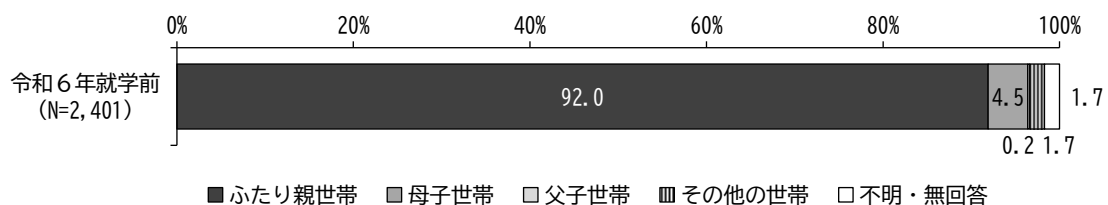
問5 このアンケートにご回答いただいている方の、あて名のお子さんからみた関係をお答えください。

「母親」が83.6%、「父親」が14.5%となっています。



問6 このアンケートにご回答いただいている方の世帯状況についてお答えください。

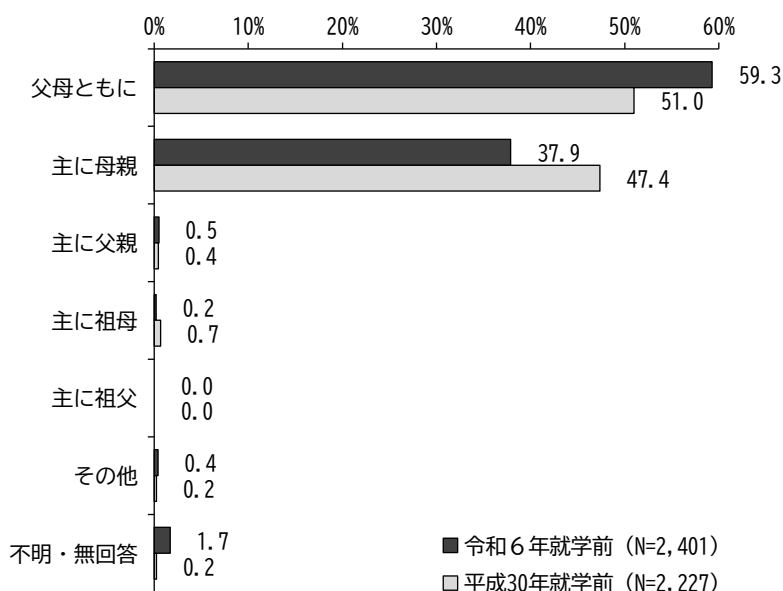
「ふたり親世帯」が92.0%となっており、「母子世帯」が4.5%、「父子世帯」が0.2%となっています。



問7 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方は、あて名のお子さんからみて、どなたですか。

「父母ともに」が59.3%で最も多く、次いで「主に母親」が37.9%となっています。前回調査と比べると、「父母ともに」が増加し、「主に母親」が減少しています。

母親の就労状況別にみると、母親の就労時間が長いほど「父母ともに」が多く、「主に母親」が少なくなっています。



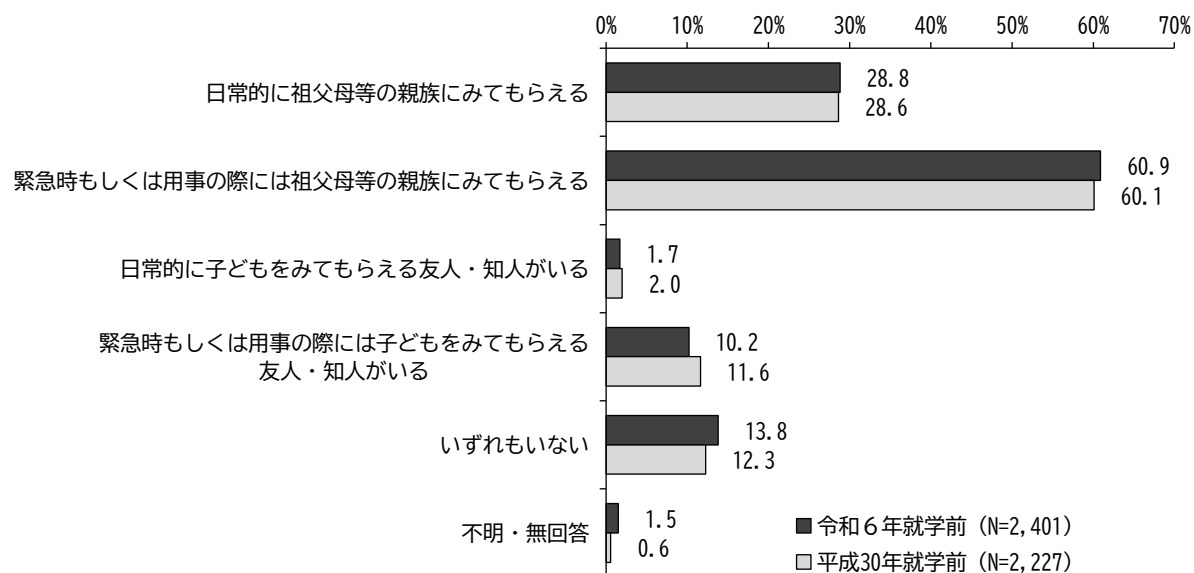
■母親の就労状況別の集計

		単位 (%)					
		父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖母	主に祖父	その他
全体 (N=2,401)		59.3	37.9	0.5	0.2	0.0	0.4
母親の就労状況	週に30時間以上で働いている (N=669)	68.8	28.3	0.4	0.1	0.1	0.9
	週に16時間以上、30時間未満で働いている (N=404)	58.7	38.9	0.0	0.0	0.0	0.5
	週に16時間未満で働いている (N=166)	51.8	44.6	0.6	0.6	0.0	0.0
	休職中だが、週に30時間以上での復帰を予定している (N=257)	63.8	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	休職中だが、週に30時間未満での復帰を予定している (N=81)	65.4	33.3	1.2	0.0	0.0	0.0
	現在求職中である (N=26)	46.2	46.2	0.0	0.0	0.0	3.8
	現在仕事をしていない (休職中を含む) が、仕事をしたい (復帰したい) (N=422)	50.5	46.7	0.5	0.0	0.0	0.0
	現在仕事をしておらず (休職中を含む) 、今のところ仕事をする (復帰する) 予定はない (N=321)	54.5	44.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 (N=27)		48.1	44.4	0.0	0.0	0.0	3.7

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.9%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」28.8%となっています。「いずれもない」が13.8%となっています。

母親の就労状況別にみると、母親が「現在仕事をしていない」場合に「いずれもない」が多くなっています。



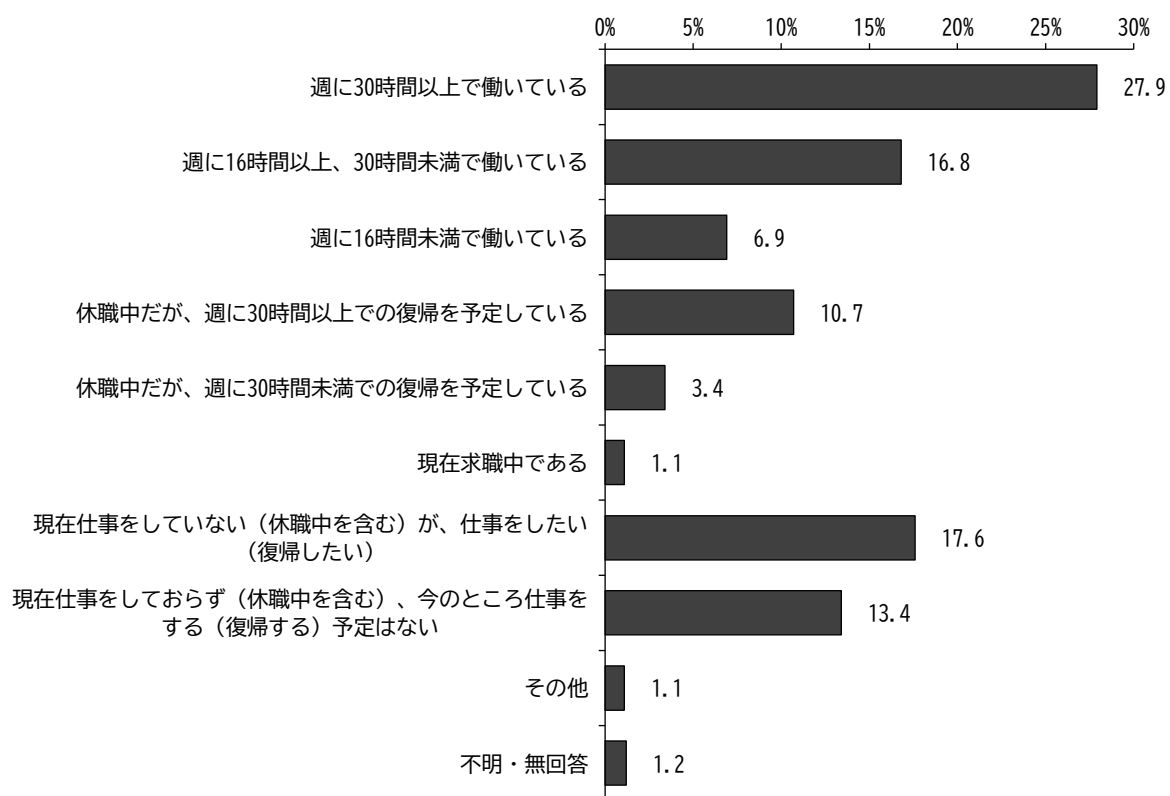
■母親の就労状況別の集計

		単位 (%)					
		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	不明・無回答
全体 (N=2,401)		28.8	60.9	1.7	10.2	13.8	1.5
母親の就労状況	週に30時間以上で働いている (N=669)	29.1	60.4	1.8	8.5	13.3	1.0
	週に16時間以上、30時間未満で働いている (N=404)	24.5	62.9	1.7	12.1	12.6	1.7
	週に16時間未満で働いている (N=166)	36.1	62.7	1.8	15.7	6.6	2.4
	休職中だが、週に30時間以上での復帰を予定している (N=257)	30.0	64.6	1.6	6.2	12.1	0.8
	休職中だが、週に30時間未満での復帰を予定している (N=81)	39.5	60.5	3.7	7.4	8.6	0.0
	現在求職中である (N=26)	23.1	57.7	3.8	7.7	11.5	3.8
	現在仕事をしていない (休職中を含む) が、仕事をしたい (復帰したい) (N=422)	26.8	59.2	1.2	11.1	17.5	2.6
	現在仕事をしておらず (休職中を含む) 、今のところ仕事をする (復帰する) 予定はない (N=321)	27.1	57.3	1.9	10.9	19.0	1.2
	その他 (N=27)	48.1	51.9	3.7	11.1	7.4	3.7

問9 あて名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。

「週に30時間以上で働いている」が27.9%で最も多く、次いで「現在仕事をしていない（休職中を含む）が、仕事をしたい（復帰したい）」が17.6%、「週に16時間以上、30時間未満で働いている」が16.8%となっています。

令和6年就学前（N=2,401）

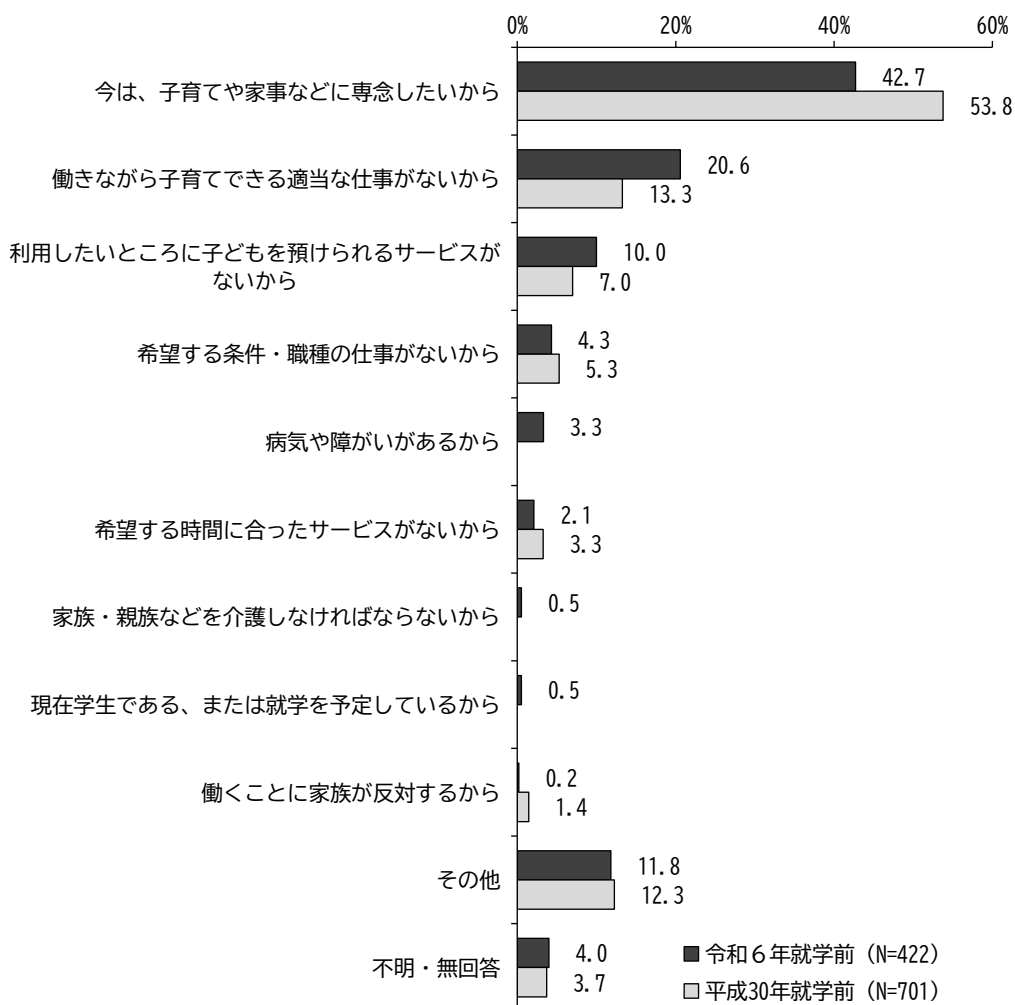


問9で「現在仕事をしていない（休職中を含む）が、仕事をしたい（復帰したい）」と回答した人のみ

問9－1 働く希望がありながら、現在働いていない理由についてお答えください。

「今は、子育てや家事などに専念したいから」が42.7%で最も多く、次いで「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」が20.6%、「利用したいところに子どもを預けられるサービスがないから」が10.0%となっています。

前回調査と比べると、「今は、子育てや家事などに専念したいから」が減少し、「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」が増加しています。

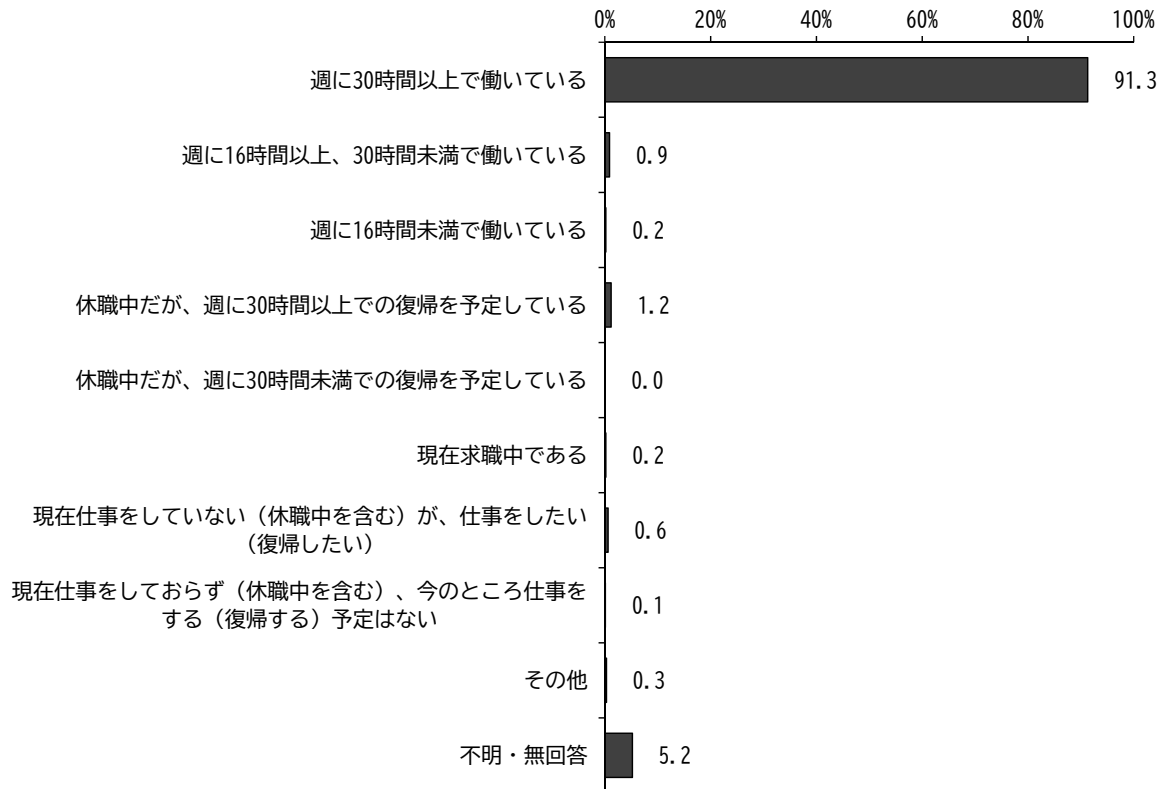


※「病気や障がいがあるから」「家族・親族などを介護しなければならないから」「現在学生である、または就学を予定しているから」は今回調査のみの項目。

問 10 あて名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。

「週に 30 時間以上で働いている」が 91.3%で最も多くなっています。

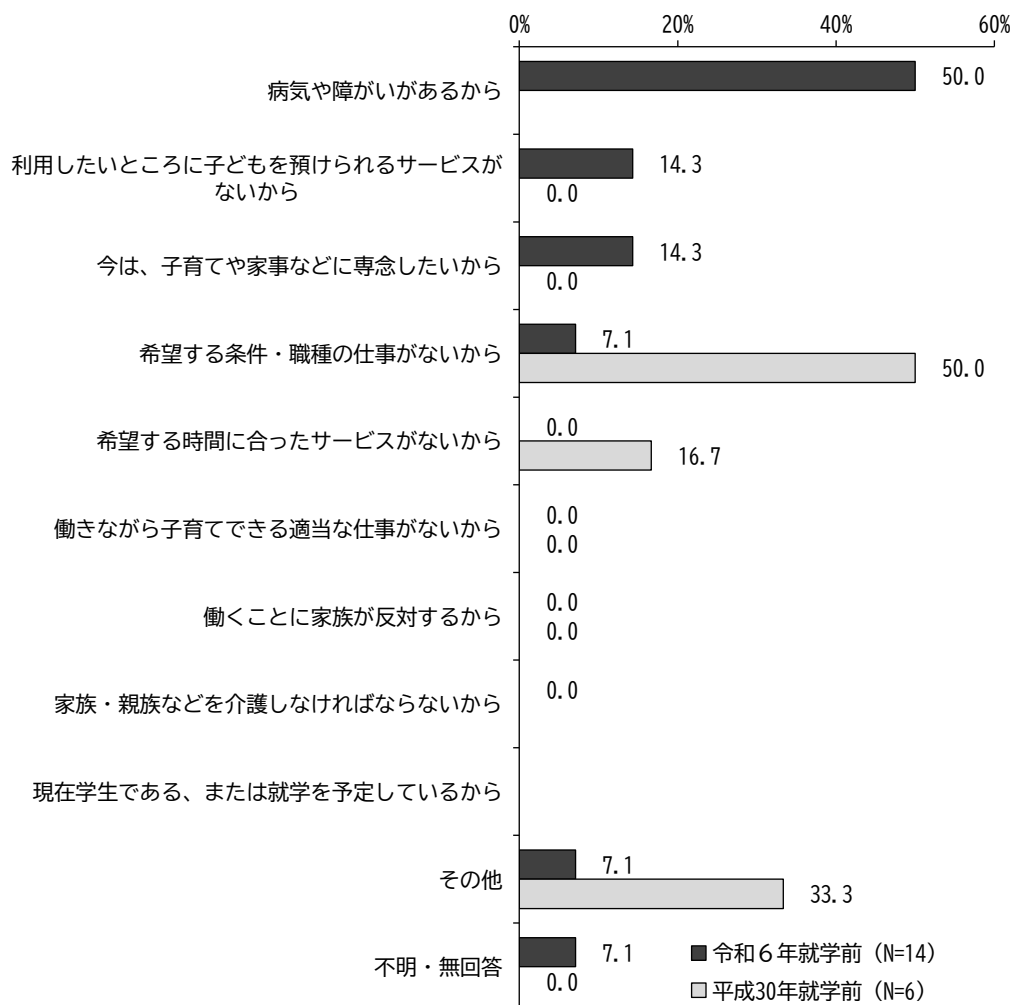
令和 6 年就学前（N=2, 401）



問 10 で「現在仕事をしていない（休職中を含む）が、仕事をしたい（復帰したい）」と回答した人のみ

問 10－1 働く希望がありながら、現在働いていない理由についてお答えください。

回答者数は少数ですが、「病気や障がいがあるから」が 50.0%で最も多くなっています。

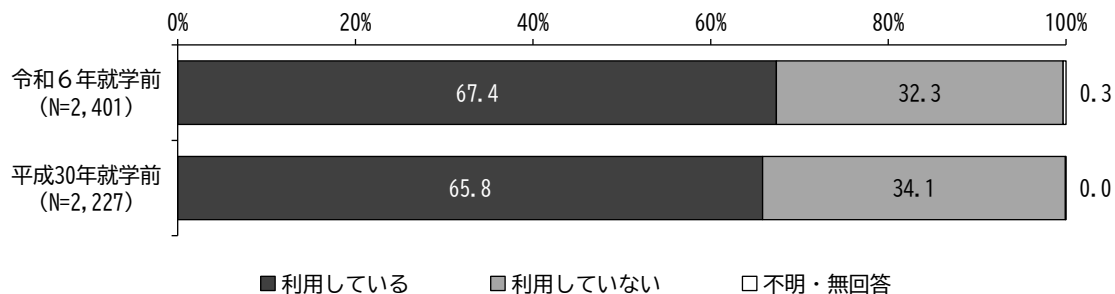


※「病気や障がいがあるから」「家族・親族などを介護しなければならないから」「現在学生である、または就学を予定しているから」は今回調査のみの項目。

問 11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。

「利用している」が67.4%、「利用していない」が32.3%となっています。

子どもの年齢別にみると、上の年齢ほど「利用している」が多く、3歳以上はほぼ100%が「利用している」と回答しています。



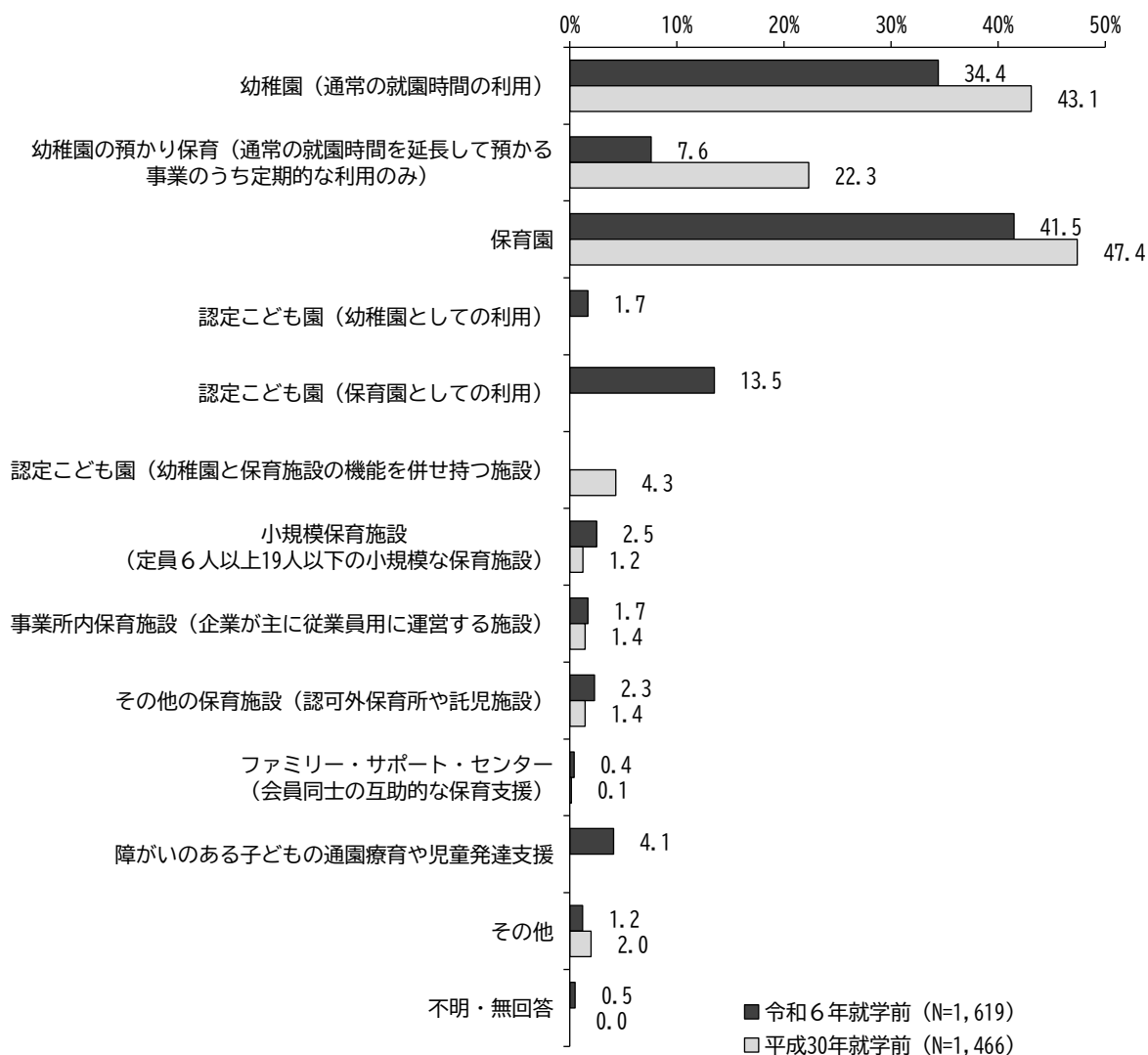
■子どもの年齢別の集計

		単位 (%)		
		利用している	利用していない	不明・無回答
全体 (N=2,401)		67.4	32.3	0.3
年齢別	0歳 (N=581)	14.5	85.2	0.3
	1歳 (N=334)	44.9	54.8	0.3
	2歳 (N=290)	73.8	25.9	0.3
	3歳 (N=357)	98.0	1.7	0.3
	4歳 (N=396)	99.5	0.5	0.0
	5歳 (N=383)	99.5	0.3	0.3

問 12 あて名のお子さんは、平日、どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

「保育園」が 41.5%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 34.4%、「認定こども園（保育園としての利用）」が 13.5%となっています。

子どもの年齢別にみると、0～2歳では「保育園」が多く、3～5歳では「幼稚園」が「保育園」よりやや多くなっています。母親の就労状況別にみると、母親が週 16 時間以上で就労している場合は「保育園」が多く、母親が就労していないか、週 16 時間未満の就労の場合は「幼稚園」が多くなっています。



※「認定こども園（幼稚園としての利用）」「認定こども園（保育園としての利用）」「障がいのある子どもの通園療育や児童発達支援」は今回調査のみの項目。「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」は前回調査のみの項目。

■子どもの年齢別・母親の就労状況別の集計

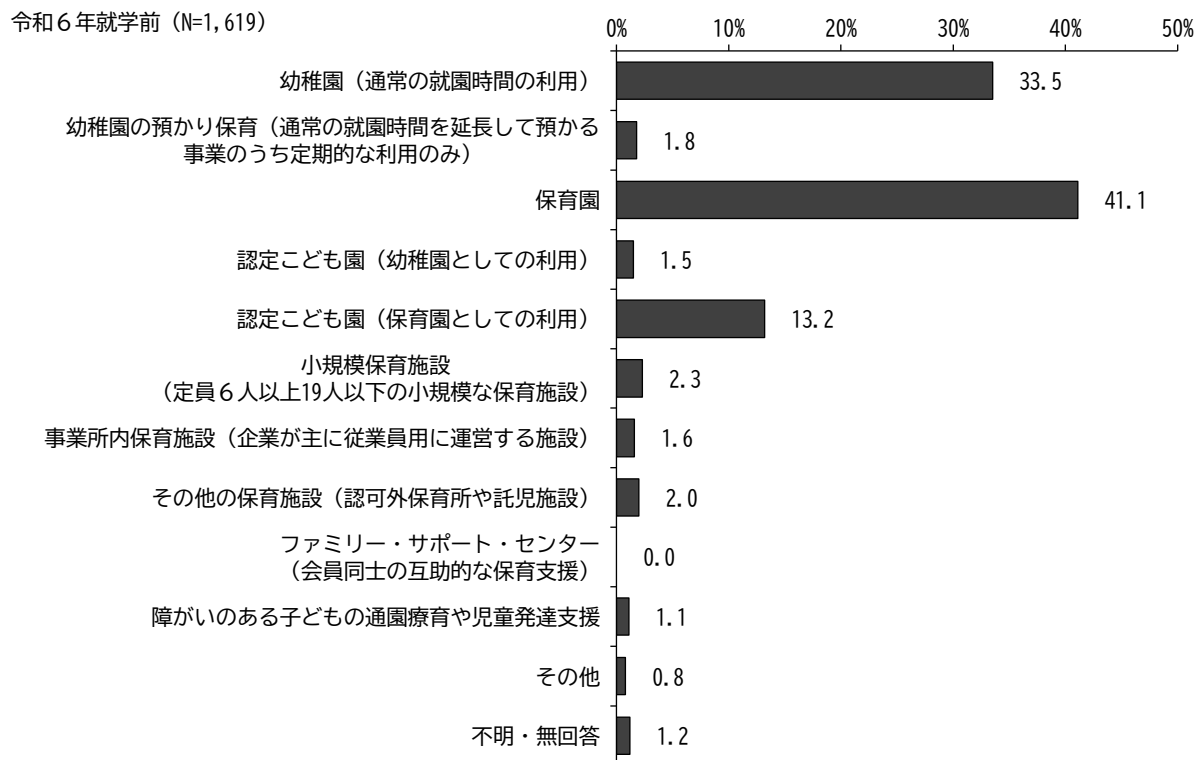
単位 (%)

		幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	保育園	認定こども園（幼稚園としての利用）	認定こども園（保育園としての利用）	小規模保育施設（定員6人以上19人以下の小規模な保育施設）
全体（N=1,619）		34.4	7.6	41.5	1.7	13.5	2.5
年齢別	0歳（N=84）	3.6	0.0	60.7	0.0	9.5	7.1
	1歳（N=150）	2.0	0.7	56.7	0.0	12.0	10.0
	2歳（N=214）	21.0	3.3	45.3	1.9	14.5	7.5
	3歳（N=350）	44.6	11.4	34.9	2.3	11.7	0.3
	4歳（N=394）	41.4	8.1	38.3	2.5	17.0	0.0
	5歳（N=381）	44.6	10.5	39.9	0.8	12.3	0.0
母親の就労状況	週に30時間以上で働いている（N=646）	10.4	7.3	62.2	0.3	17.6	2.9
	週に16時間以上、30時間未満で働いている（N=379）	28.0	12.4	45.4	0.5	16.6	2.9
	週に16時間未満で働いている（N=131）	72.5	11.5	15.3	0.8	6.1	1.5
	休職中だが、週に30時間以上での復帰を予定している（N=55）	18.2	5.5	49.1	3.6	14.5	5.5
	休職中だが、週に30時間未満での復帰を予定している（N=19）	21.1	0.0	47.4	0.0	21.1	0.0
	現在求職中である（N=11）	36.4	0.0	45.5	0.0	9.1	0.0
	現在仕事をしていない（休職中を含む）が、仕事をしたい（復帰したい）（N=183）	68.9	3.3	9.8	6.6	4.4	1.1
	現在仕事をしておらず（休職中を含む）、今のところ仕事をする（復帰する）予定はない（N=161）	83.9	1.2	4.3	5.0	1.9	0.6
	その他（N=11）	36.4	18.2	36.4	0.0	18.2	9.1
		事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	その他の保育施設（認可外保育所や託児施設）	ファミリー・サポート・センター（会員同士の互助的な保育支援）	障がいのある子どもの通園療育や児童発達支援	その他	不明・無回答
全体（N=1,619）		1.7	2.3	0.4	4.1	1.2	0.5
年齢別	0歳（N=84）	8.3	10.7	1.2	0.0	1.2	0.0
	1歳（N=150）	8.0	7.3	1.3	3.3	2.7	0.0
	2歳（N=214）	2.3	2.8	0.0	3.3	4.2	1.4
	3歳（N=350）	0.9	1.7	0.6	5.7	0.0	0.3
	4歳（N=394）	0.0	0.8	0.0	4.3	0.8	0.3
	5歳（N=381）	0.0	0.5	0.3	3.4	0.3	0.5
母親の就労状況	週に30時間以上で働いている（N=646）	2.5	2.9	0.6	1.5	0.6	0.3
	週に16時間以上、30時間未満で働いている（N=379）	1.8	2.4	0.3	3.7	0.8	1.3
	週に16時間未満で働いている（N=131）	0.0	2.3	0.8	4.6	1.5	0.0
	休職中だが、週に30時間以上での復帰を予定している（N=55）	3.6	3.6	0.0	3.6	1.8	0.0
	休職中だが、週に30時間未満での復帰を予定している（N=19）	5.3	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0
	現在求職中である（N=11）	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在仕事をしていない（休職中を含む）が、仕事をしたい（復帰したい）（N=183）	0.5	1.1	0.0	10.9	2.7	0.5
	現在仕事をしておらず（休職中を含む）、今のところ仕事をする（復帰する）予定はない（N=161）	0.0	0.6	0.0	6.8	2.5	0.0
	その他（N=11）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 12 で「利用している」と回答した人のみ

問 13 問 12 で回答した教育・保育事業のうち、主に利用している（最も利用日数の多い）教育・保育事業はどれですか。

「保育園」が 41.1%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 33.5%、「認定こども園（保育園としての利用）」が 13.2%となっています。

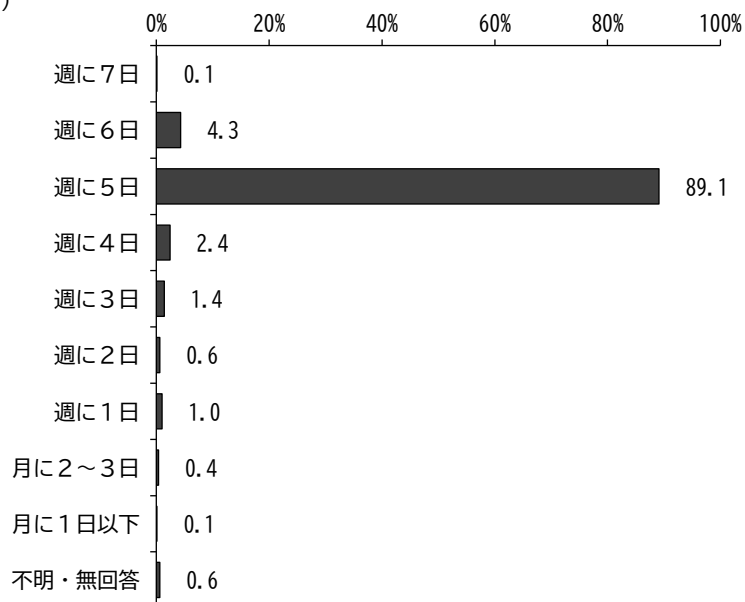


問 12 で「利用している」と回答した人のみ

問 14 問 13 で回答した主に利用している（最も利用日数の多い）教育・保育事業を、現在どれくらい利用していますか。平均的な利用日数をお答えください。

「週に 5 日」が 89.1%で最も多くなっています。

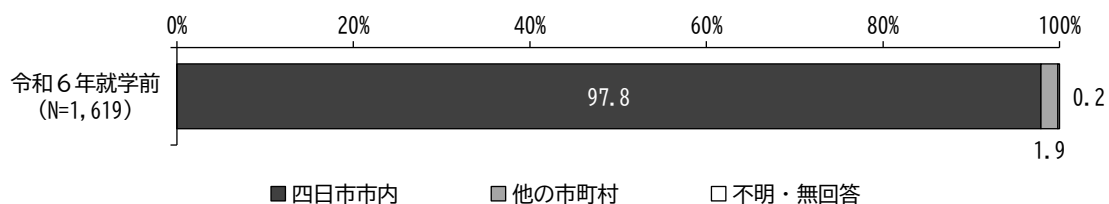
令和 6 年就学前 (N=1, 619)



問 12 で「利用している」と回答した人のみ

問 15 問 13 で回答した主に利用している（最も利用日数の多い）教育・保育事業の場所は四日市市内ですか。

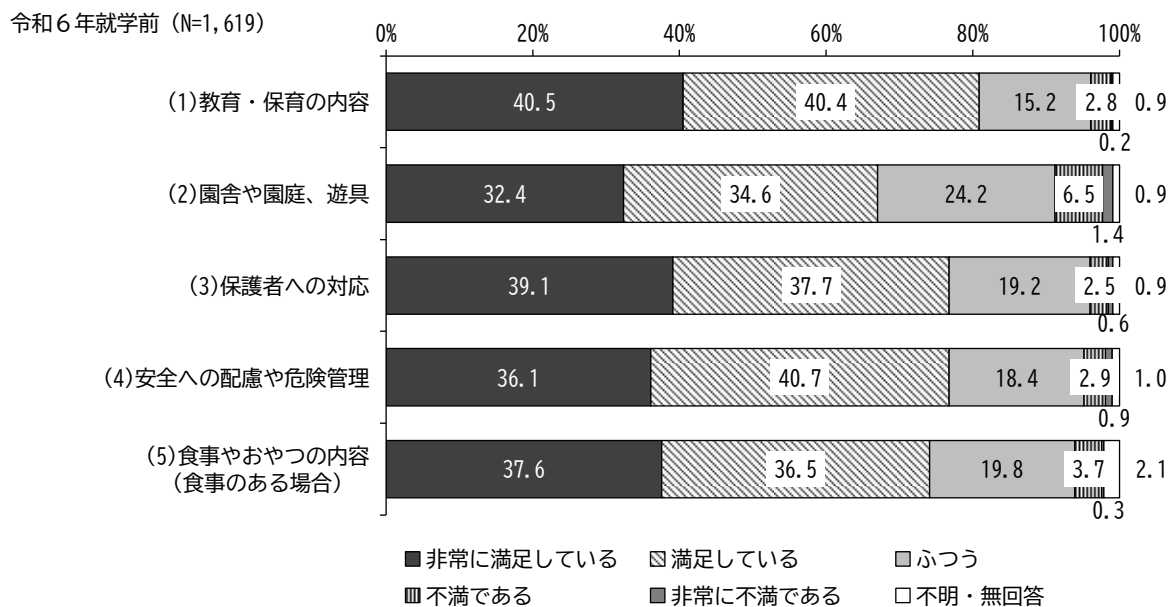
「四日市市内」が 97.8%、「他の市町村」が 1.9%となっています。



問 12 で「利用している」と回答した人のみ

問 16 問 13 で回答した主に利用している教育・保育事業について、次の点をどのようにお感じになりますか。

満足しているという回答（「非常に満足している」と「満足している」の合計）は、「(1)教育・保育の内容」が 80.9%で最も多く、「(2)園舎や園庭、遊具」が 67.0%で最も少なくなっています。



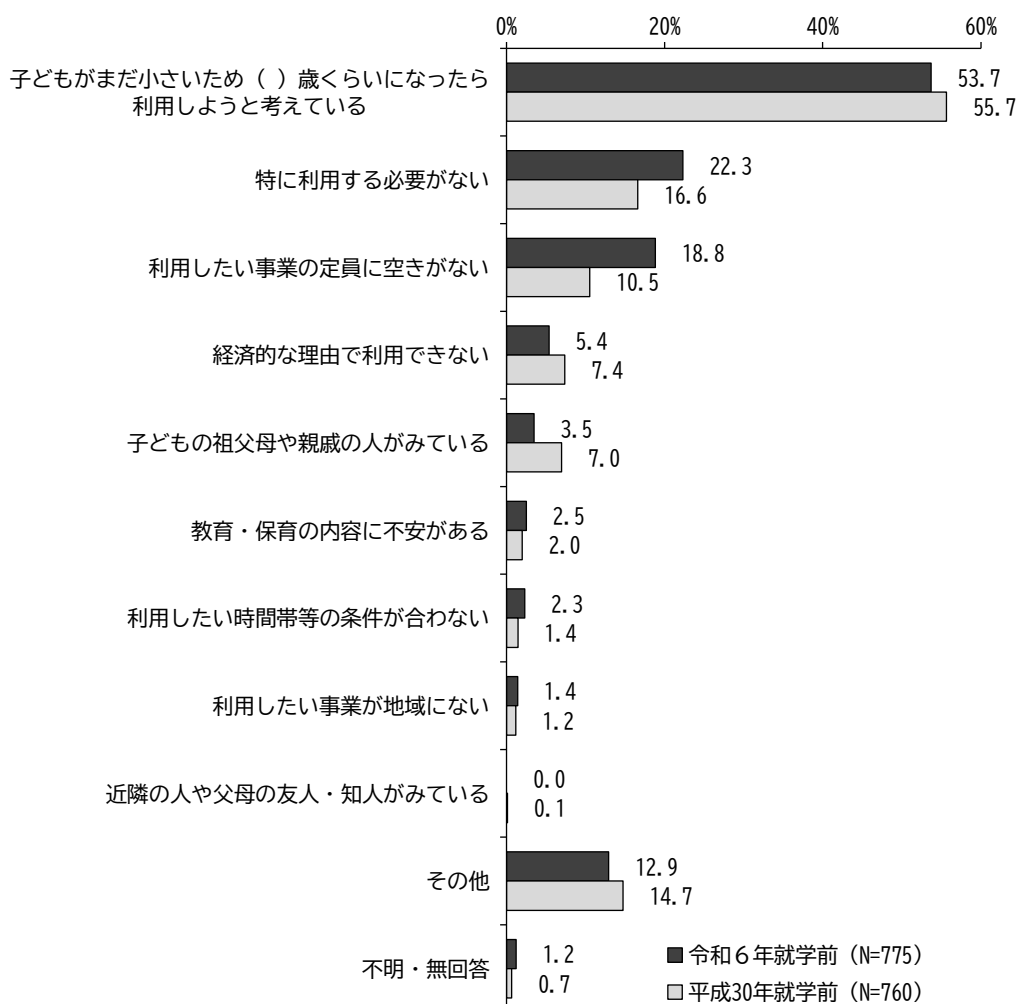
問 12 で「利用していない」と回答した人のみ

問 17 定期的な教育・保育事業について利用していない理由は何ですか。【複数回答】

「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」が 53.7%で最も多く、次いで「特に利用する必要がない」が 22.3%、「利用したい事業の定員に空きがない」が 18.8%となっています。「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」と回答した人の利用しようと考えている年齢は、「3歳」が 44.5%で最も多く、次いで「1歳」が 29.1%となっています。

前回調査と比べると「利用したい事業の定員に空きがない」が増加しています。また、「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」と回答した人の利用しようと考えている年齢は「1歳」が増加しています。

子どもの年齢別にみると、「利用したい事業の定員に空きがない」は1歳で多くなっています。



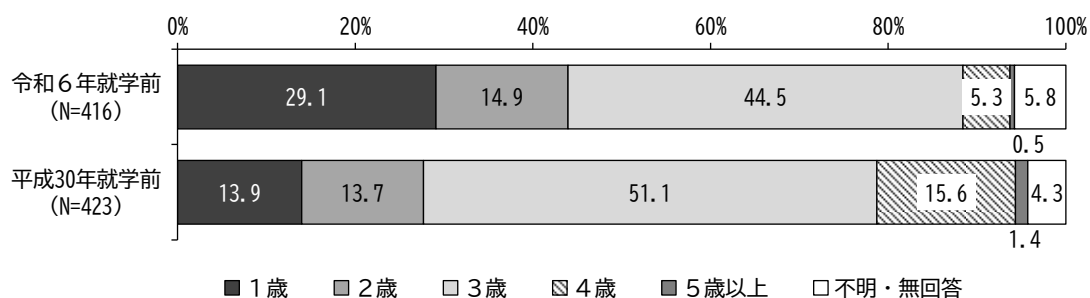
■子どもの年齢別の集計

単位 (%)

	子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている	特に利用する必要がない	利用したい事業の定員に空きがない	経済的な理由で利用できない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	教育・保育の内容に不安がある	利用したい時間帯等の条件が合わない	利用したい事業が地域にない	近隣の人や父母の友人・知人がみている	その他	不明・無回答
全体 (N=775)	53.7	22.3	18.8	5.4	3.5	2.5	2.3	1.4	0.0	12.9	1.2
年齢別											
0歳 (N=495)	59.2	22.0	16.8	4.4	3.2	2.2	1.4	0.6	0.0	10.5	1.4
1歳 (N=183)	49.2	19.7	26.2	7.1	3.8	2.7	2.7	2.7	0.0	12.0	0.5
2歳 (N=75)	32.0	32.0	18.7	6.7	2.7	2.7	8.0	2.7	0.0	24.0	1.3

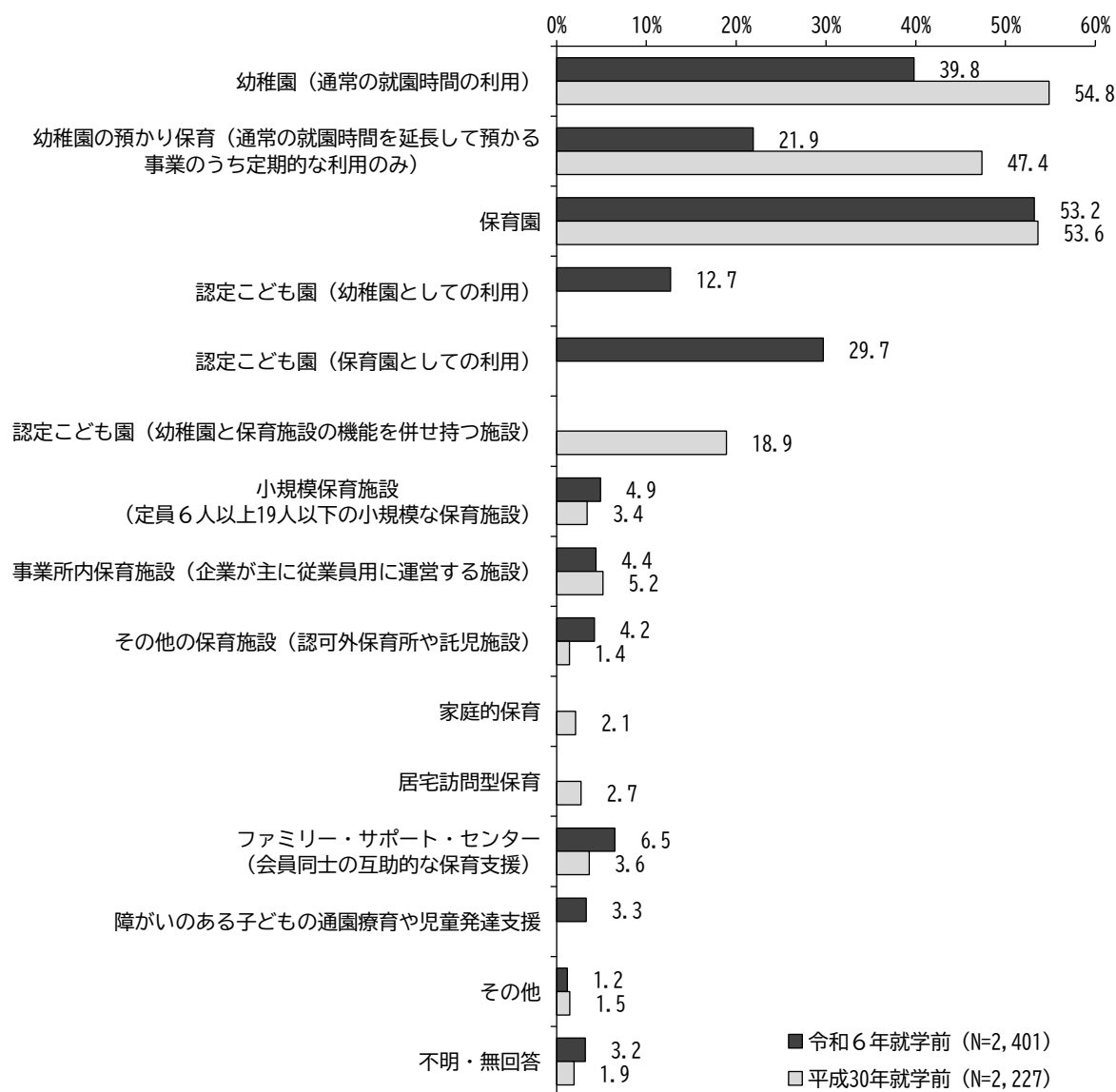
※ 3歳は6件、4歳は2件、5歳は1件であったため、表は省略。

「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」と回答した人の利用しようと考えている年齢



問 18 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。【複数回答】

「保育園」が 53.2%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 39.8%、「認定こども園（保育園としての利用）」が 29.7%となっています。

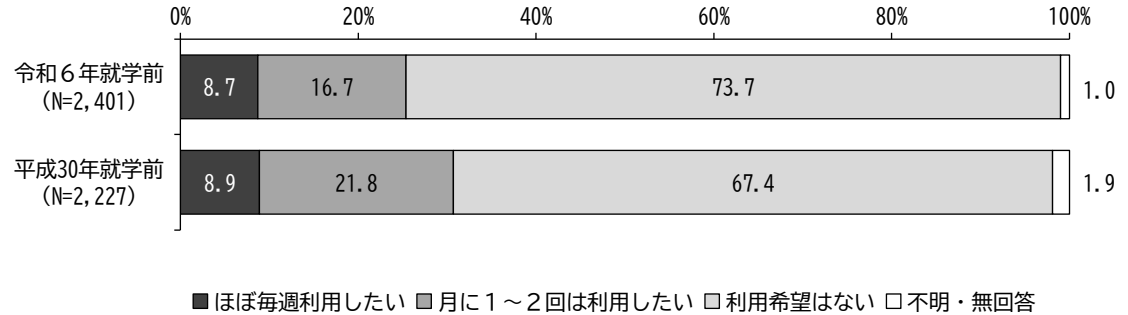


※「認定こども園（幼稚園としての利用）」「認定こども園（保育園としての利用）」「障がいのある子どもの通園療育や児童発達支援」は今回調査のみの項目。「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」は前回調査のみの項目。

問 19 あて名のお子さんについて、(1) 土曜日と(2) 日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。

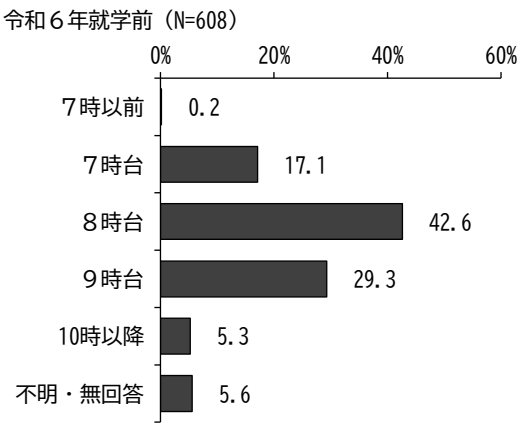
(1) 土曜日

「ほぼ毎週利用したい」が 8.7%、「月に 1 ～ 2 回は利用したい」が 16.7%となっています。利用したい時間帯は、開始時刻が「8 時台」、終了時刻は「17 時台」が最も多くなっています。

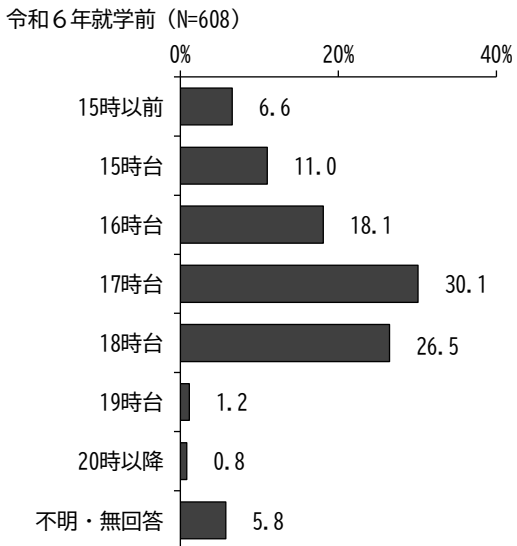


利用したい時間帯

開始時刻

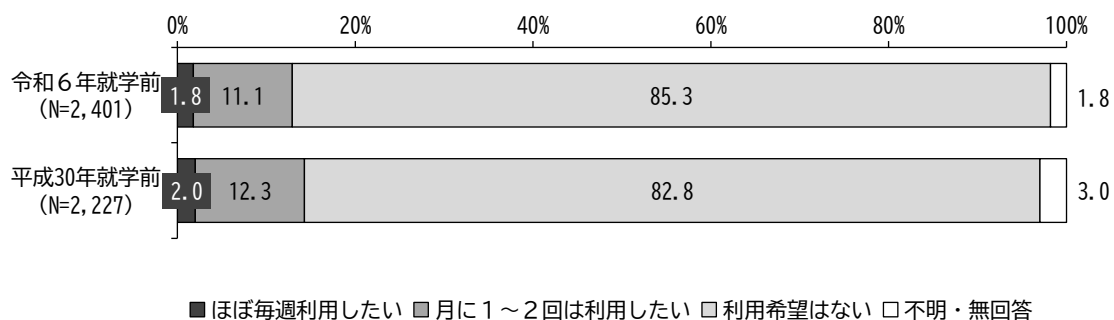


終了時刻



(2) 日曜日・祝日

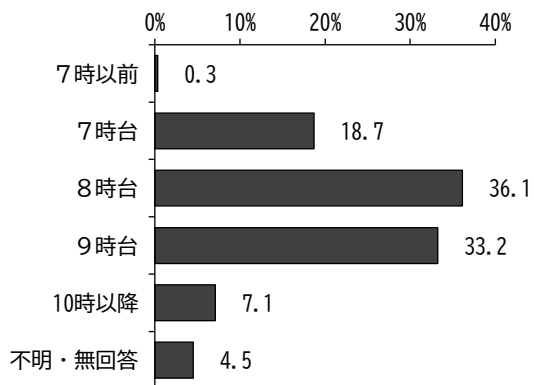
「ほぼ毎週利用したい」が1.8%、「月に1～2回は利用したい」が11.1%となっています。利用したい時間帯は、開始時刻が「8時台」、終了時刻は「17時台」と「18時台」が最も多くなっています。



利用したい時間帯

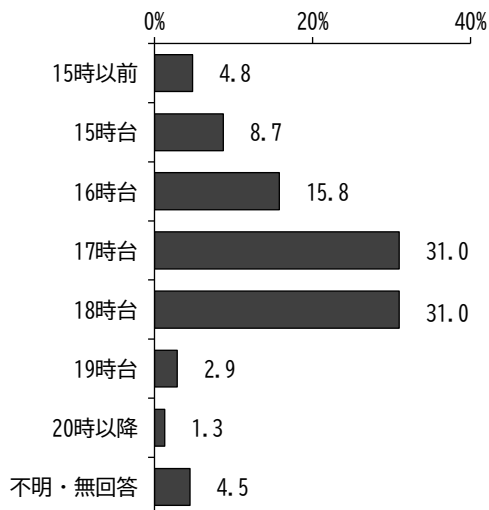
開始時刻

令和6年就学前 (N=310)



終了時刻

令和6年就学前 (N=310)

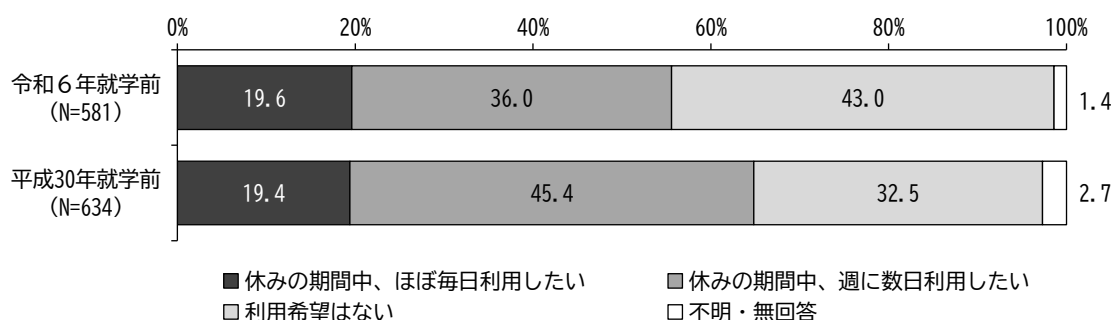


幼稚園を利用している人のみ

問 20 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 19.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 36.0%となっています。利用したい時間帯は、開始時刻が「9 時台」、終了時刻は「17 時台」が最も多くなっています。

母親の就労状況別にみると、母親の就労時間が長いほど「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が多くなっています。



■母親の就労状況別の集計

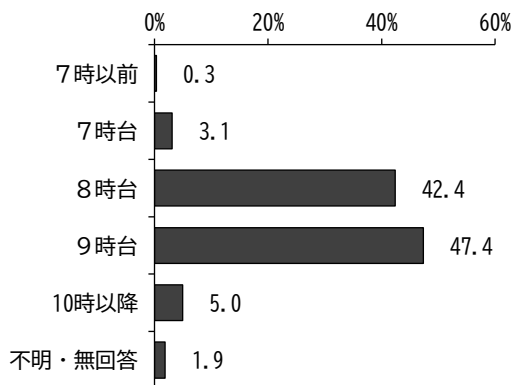
単位 (%)

		利用希望はない	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	休みの期間中、週に数日利用したい	不明・無回答
全体 (N=581)		43.0	19.6	36.0	1.4
母親の就労状況	週に30時間以上で働いている (N=78)	17.9	57.7	23.1	1.3
	週に16時間以上、30時間未満で働いている (N=114)	21.9	29.8	47.4	0.9
	週に16時間未満で働いている (N=97)	36.1	12.4	50.5	1.0
	休職中だが、週に30時間以上での復帰を予定している (N=10)	10.0	50.0	40.0	0.0
	休職中だが、週に30時間未満での復帰を予定している (N=4)	75.0	0.0	25.0	0.0
	現在求職中である (N=4)	50.0	0.0	50.0	0.0
	現在仕事をしていない (休職中を含む) が、仕事をしたい (復帰したい) (N=129)	53.5	10.9	32.6	3.1
	現在仕事をしておらず (休職中を含む) 、今のところ仕事をする (復帰する) 予定はない (N=135)	71.9	3.0	24.4	0.7
その他 (N=4)		50.0	0.0	50.0	0.0

利用したい時間帯

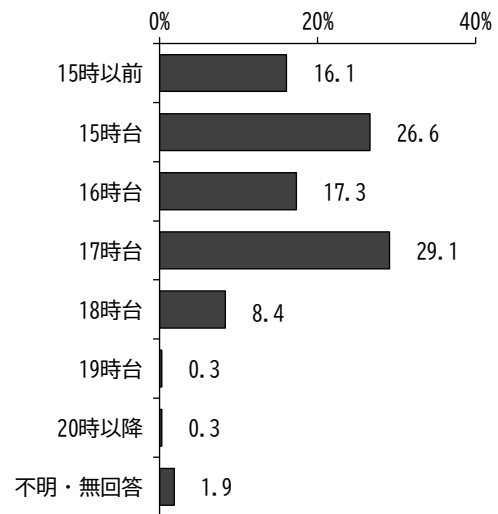
開始時刻

令和6年就学前 (N=323)



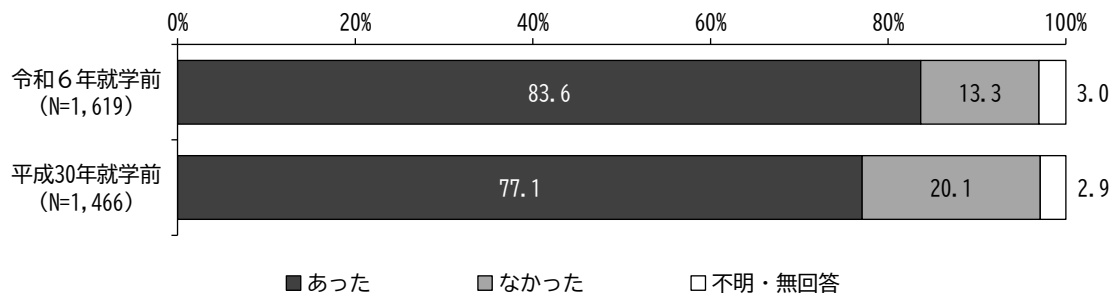
終了時刻

令和6年就学前 (N=323)



問 21 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで、いつも利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありましたか。

「あった」が83.6%、「なかった」が13.3%となっています。



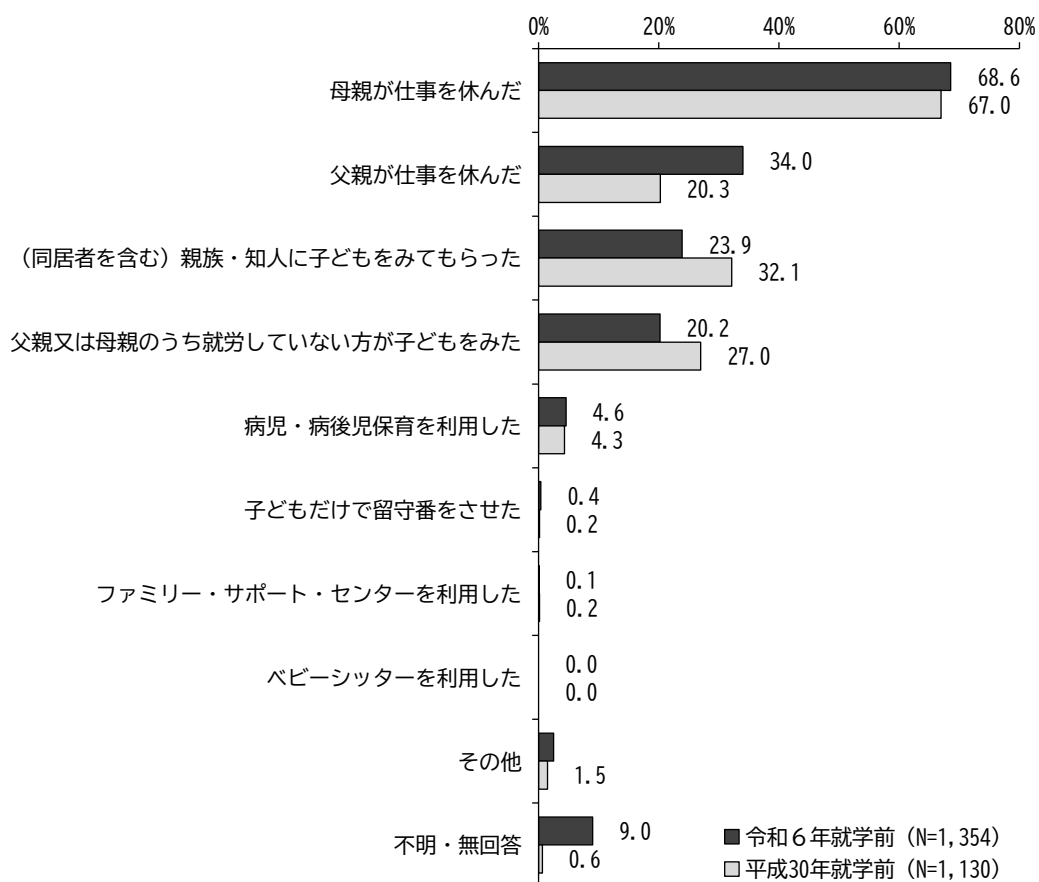
問 21 で「あった」と回答した人のみ

問 22 あて名のお子さんが病気やけがで、いつも利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法は何ですか。【複数回答】

「母親が仕事を休んだ」が 68.6%で最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が 34.0%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が 23.9%となっています。

前回調査と比べると、「父親が仕事を休んだ」が増加し、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が減少しています。

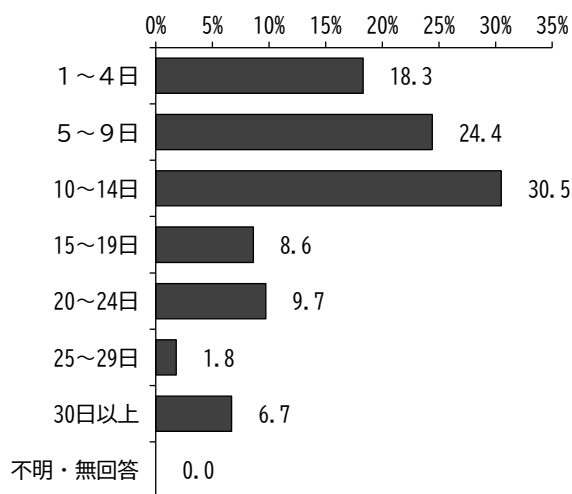
各対処方法の日数については、「母親が仕事を休んだ」「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」「その他」は「10～14 日」が最も多く、それ以外の対処方法は「1～4 日」が最も多くなっています。



各対処方法を行った日数

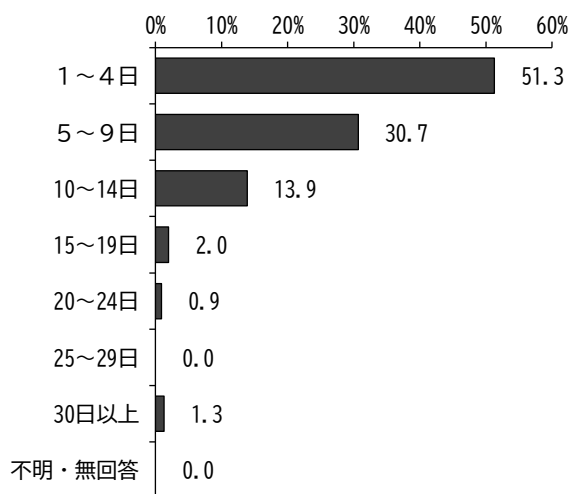
令和6年就学前 (N=929)

母親が仕事を休んだ



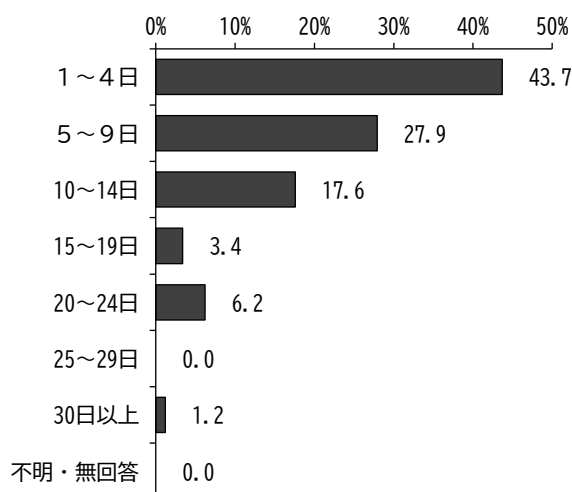
令和6年就学前 (N=460)

父親が仕事を休んだ



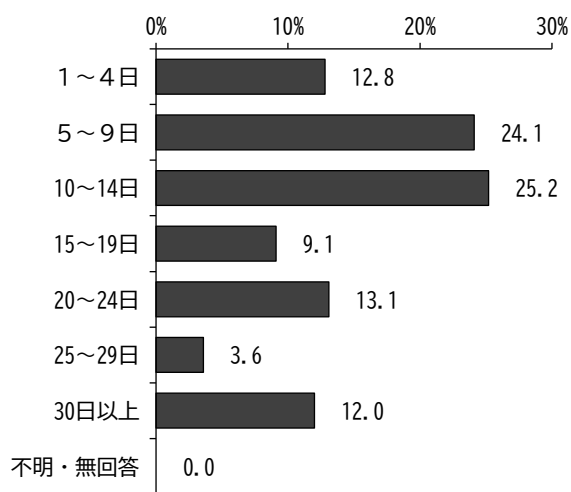
令和6年就学前 (N=323)

親族・知人に子どもをみてもらった



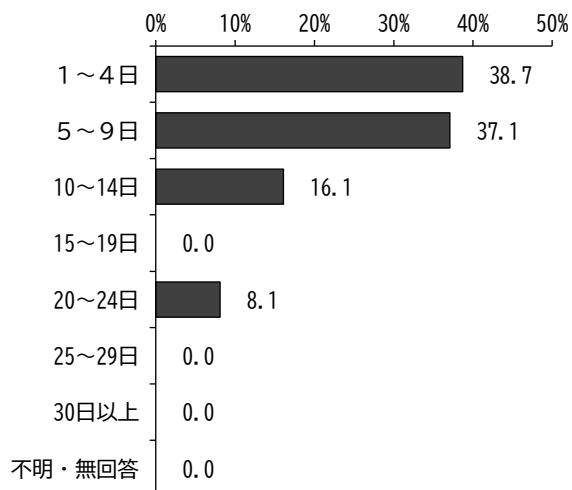
令和6年就学前 (N=274)

父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた



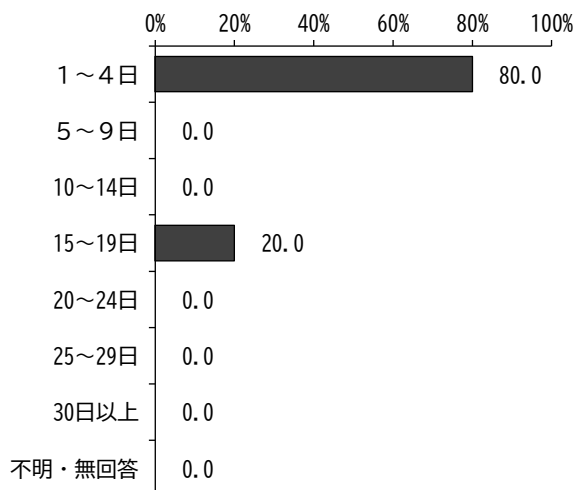
令和6年就学前 (N=62)

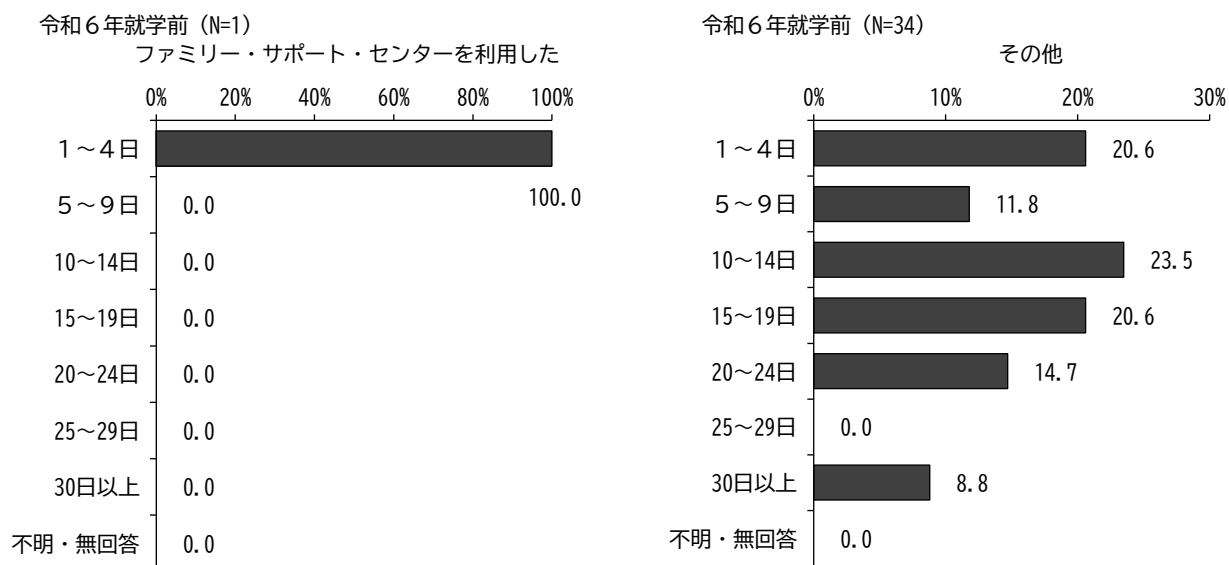
病児・病後児保育を利用した



令和6年就学前 (N=5)

子どもだけで留守番をさせた

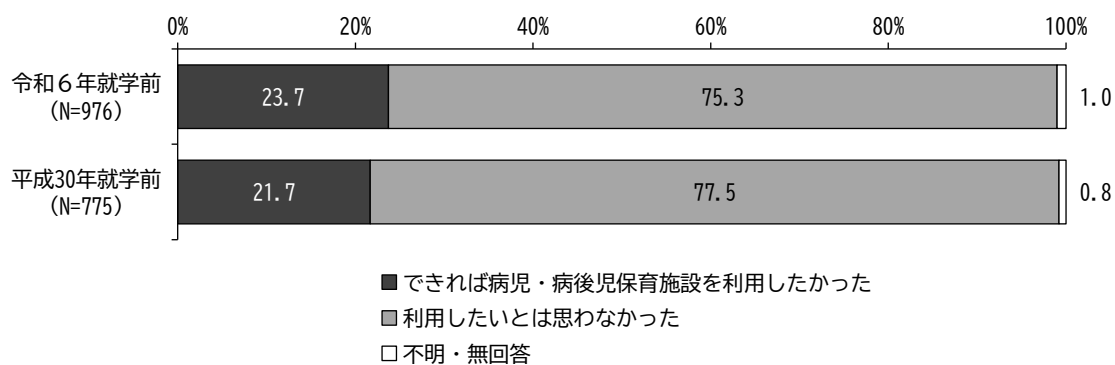




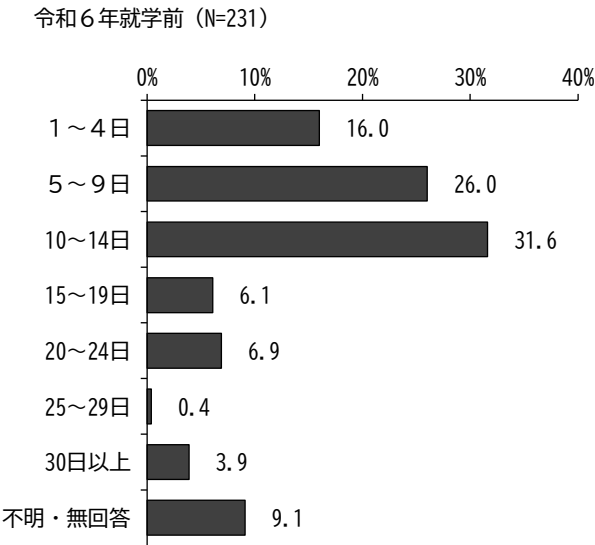
問 22 で「父親が仕事を休んだ」または「母親が仕事を休んだ」と回答した人のみ

問 23 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。1 年間のおおよその日数についてのご記入ください。

「できれば病児・病後児保育施設を利用したかった」が 23.7%となっています。1 年間のおおよその日数については、「10～14 日」が 31.6%で最も多く、次いで「5～9 日」が 26.0%となっています。



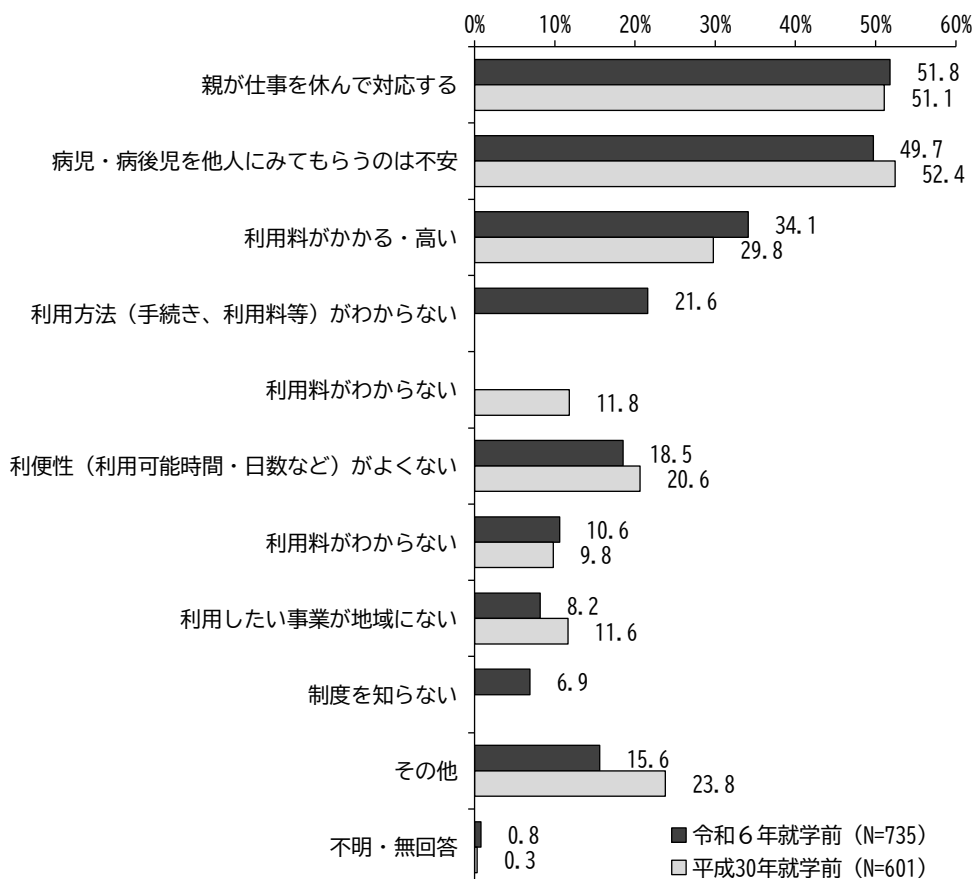
利用したいと思った日数



問 23 で「利用したいとは思わなかった」と回答した人のみ

問 24 そう思われる理由は何ですか。【複数回答】

「親が仕事を休んで対応する」が 51.8%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 49.7%、「利用料がかかる・高い」が 34.1%となっています。

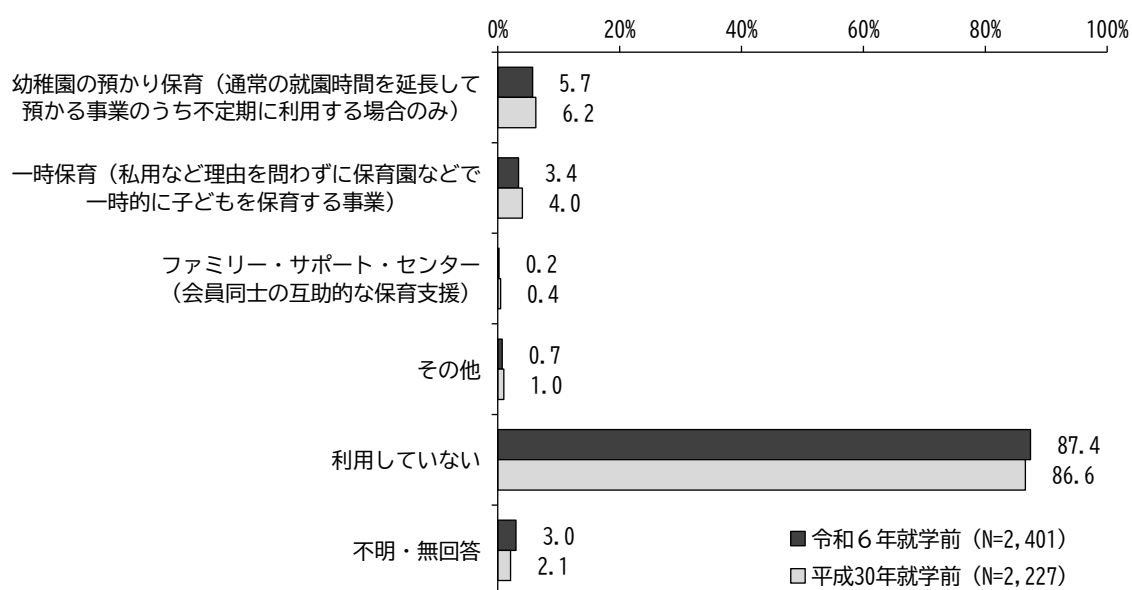


※「利用方法（手続き、利用料等）がわからない」「制度を知らない」は今回調査のみの項目。「利用料がわからない」は前回調査のみの項目。

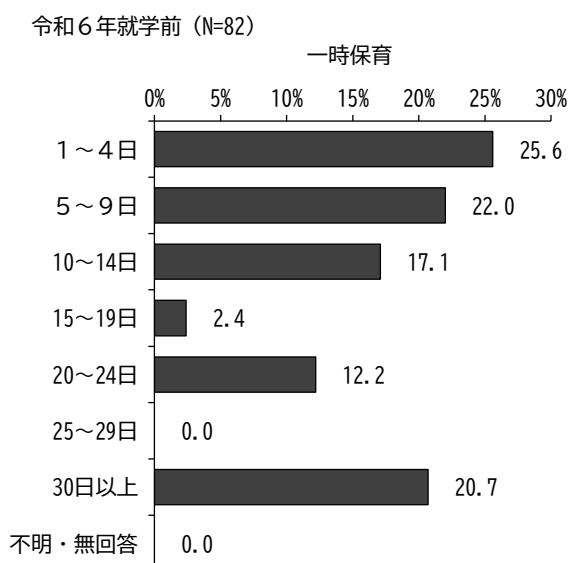
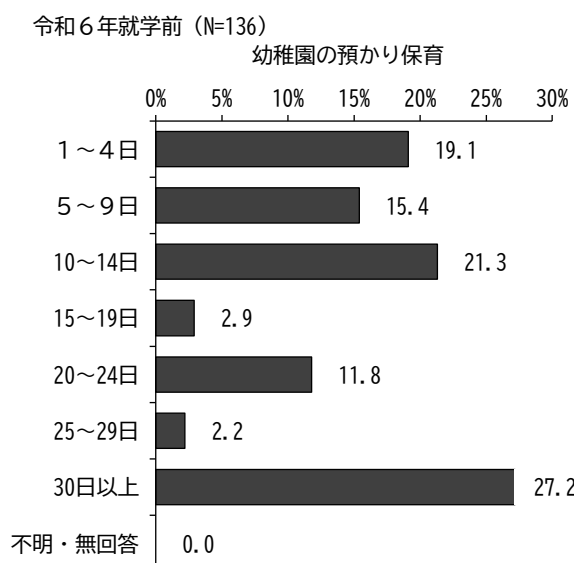
問 25 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。また、1年間のおおよその利用日数もご記入ください。【複数回答】

「利用していない」が87.4%で最も多くなっています。利用している事業の中では、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）」が5.7%で最も多くなっています。

1年間の利用日数については、「幼稚園の預かり保育」は「30日以上」が最も多く、それ以外の対処方法は「1～4日」が最も多くなっています（ファミリー・サポート・センターについては、「5～9日」も同様に最も多くなっています）。

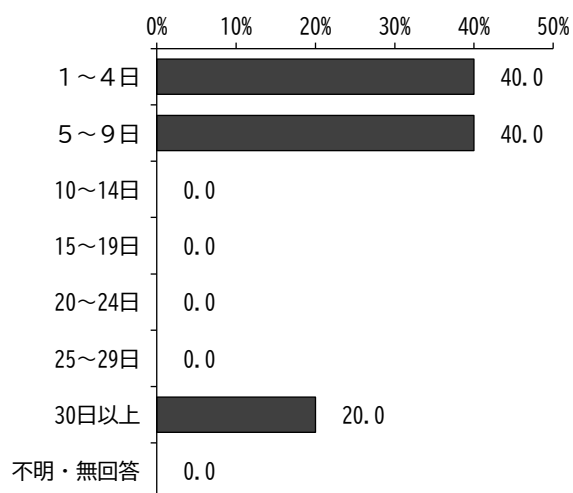


1年間の利用日数



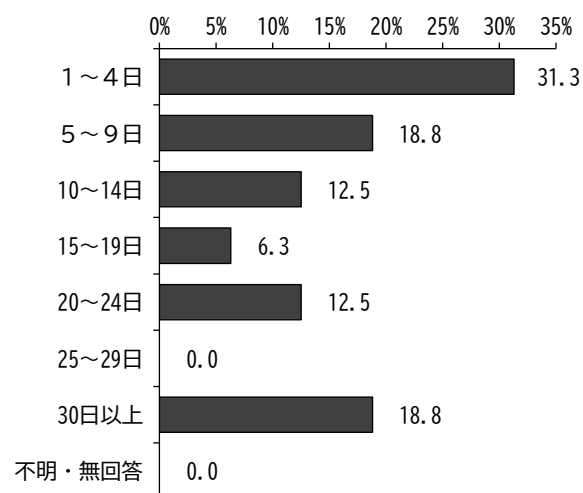
令和6年就学前（N=5）

ファミリー・サポート・センター



令和6年就学前（N=16）

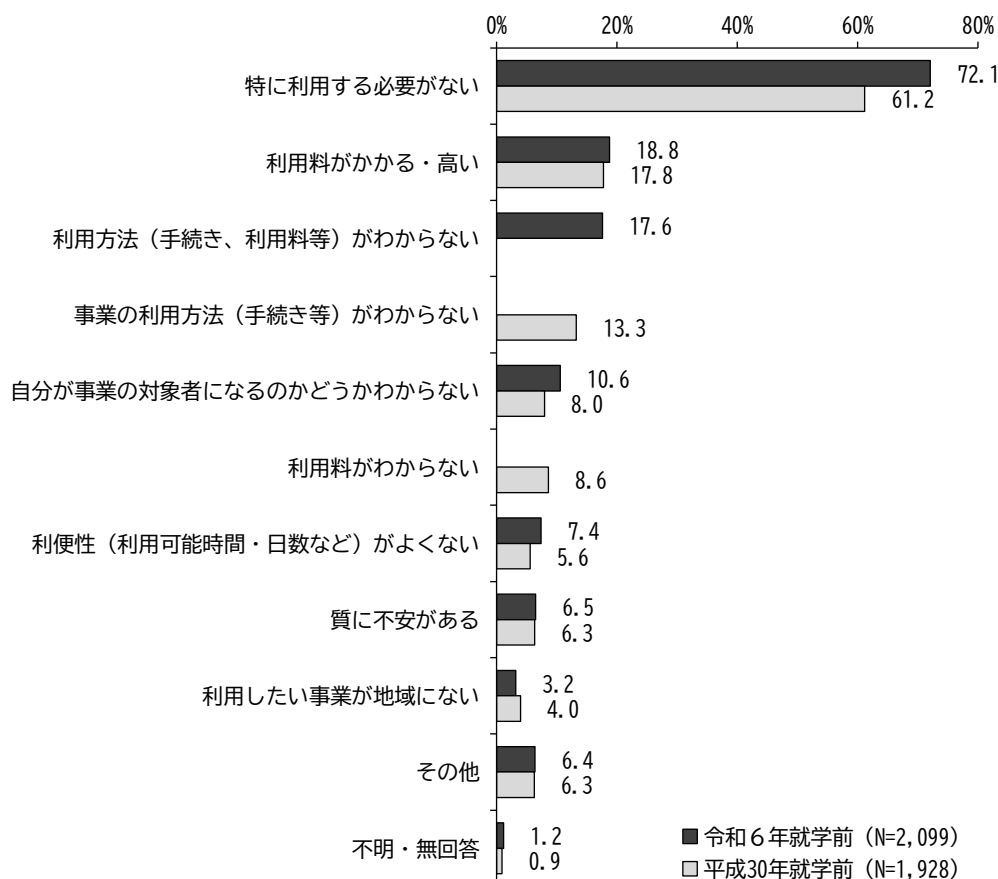
その他



問 25 で「利用していない」と回答した人のみ

問 26 一時保育、幼稚園の預かり保育、ファミリー・サポート・センターなどを現在利用していない理由は何ですか。【複数回答】

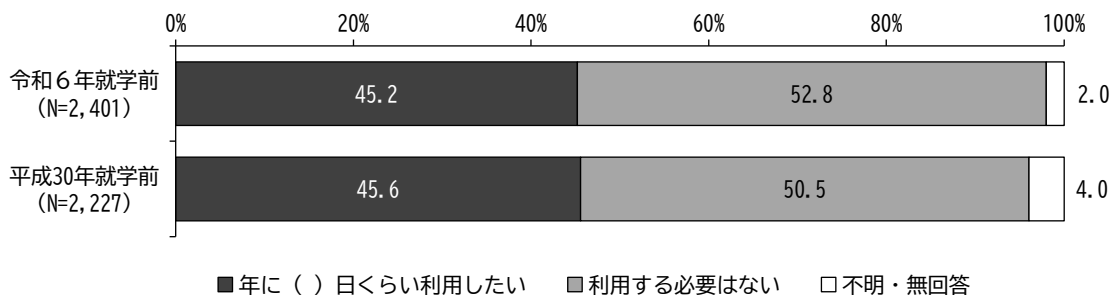
「特に利用する必要がない」が 72.1%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が 18.8%、「利用方法（手続き、利用料等）がわからない」が 17.6%となっています。



※「利用方法（手続き、利用料等）がわからない」は今回調査のみの項目。「利用料がわからない」「事業の利用方法（手続き等）がわからない」は前回調査のみの項目。

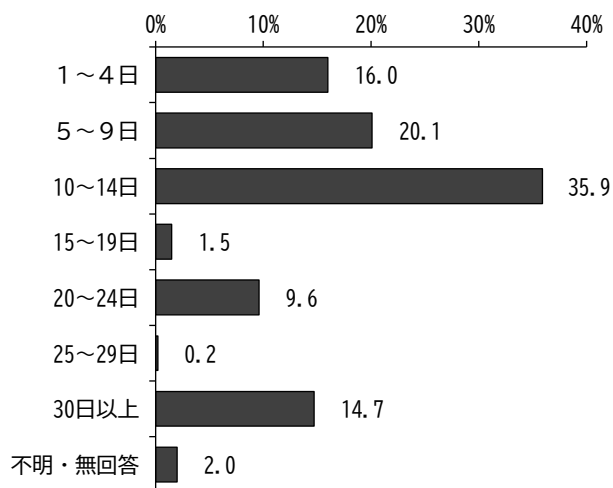
問 27 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、私用、通院、不定期の就労等の目的で、問 25 のような事業を利用したいと思いますか。年間のおおよその日数についてもご記入ください。

「年に（ ）日くらい利用したい」が 45.2%、「利用する必要はない」が 52.8%となっています。利用したい日数は「10～14 日」が 35.9%で最も多くなっています。



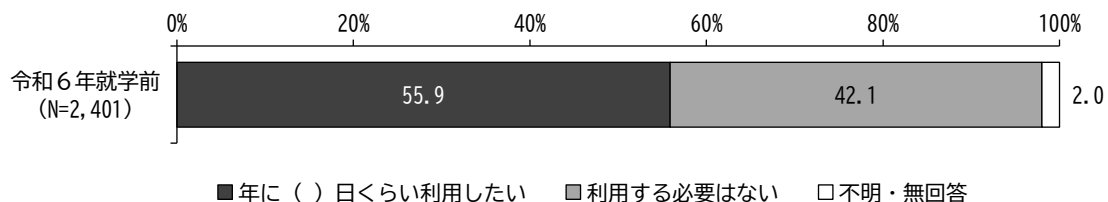
利用したい日数

令和6年就学前 (N=1,085)



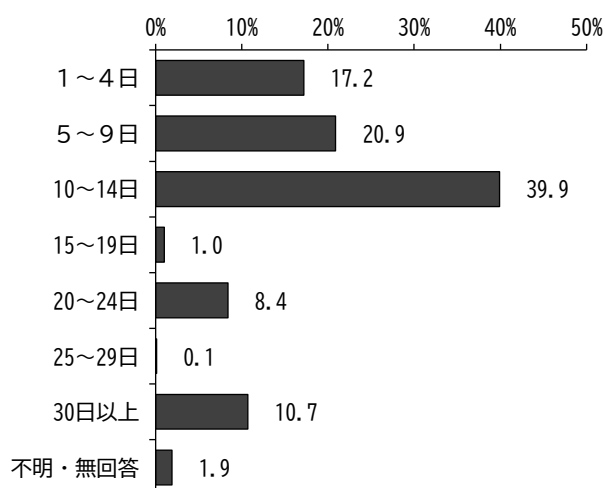
問 28 現在、利用している、利用していないにかかわらず、子育ての負担や疲労が大きくなった時に、保護者が休息するために、問 25 のような事業を利用したいと思いますか。1 年間のおおよその日数についてもご記入ください。

「年に（ ）日くらい利用したい」が 55.9%、「利用する必要はない」が 42.1%となっています。利用したい日数は「10～14 日」が 39.9%で最も多くなっています。



利用したい日数

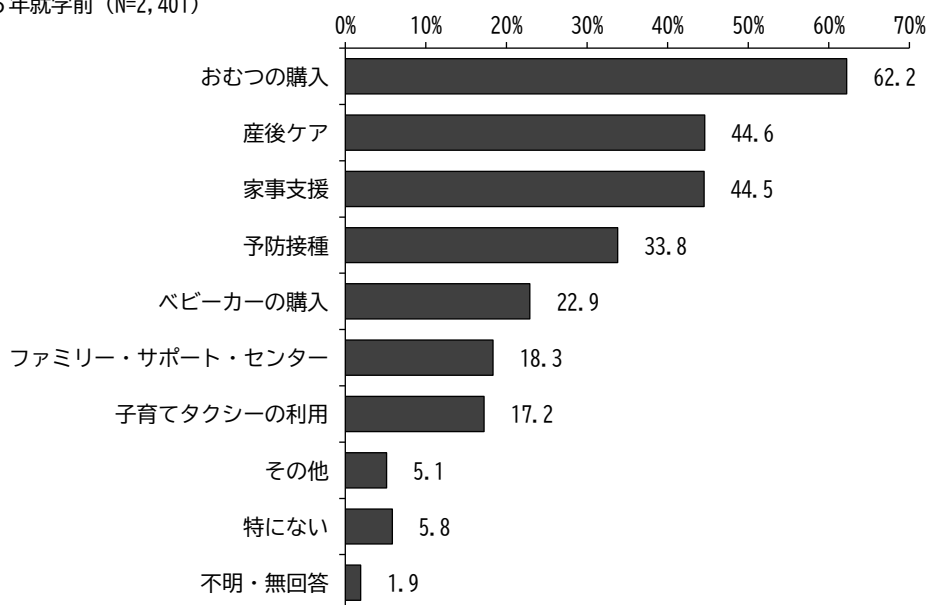
令和6年就学前 (N=1,342)



問 29 四日市市では、第2子以降の子どもが生まれた世帯の保護者の心身負担軽減をはかるため、生まれてから1年の間に、上の子が一時保育と病児保育を2回まで無料で利用できる“保育無料券”を交付しています。一時保育、病児保育のほかに、どのようなサービスが保育無料券で利用できると良いと思いますか。【複数回答】

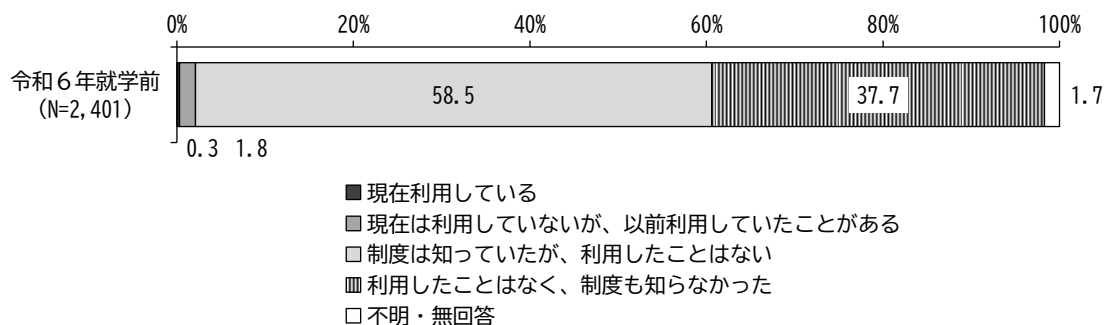
「おむつの購入」が62.2%で最も多く、次いで「産後ケア」が44.6%、「家事支援」が44.5%となっています。

令和6年就学前（N=2,401）



問 30 これまで、ファミリー・サポート・センターを利用したことはありますか。

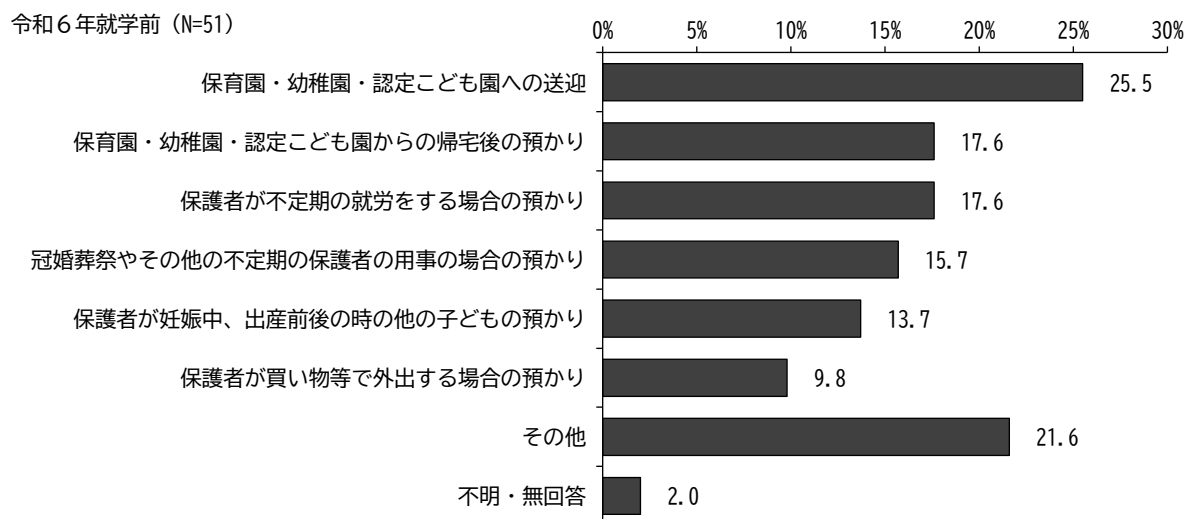
「現在利用している」が0.3%、「現在は利用していないが、以前利用していたことがある」が1.8%となっています。



問 30 で「現在利用している」または「現在は利用していないが、以前利用していたことがある」と回答した人のみ

問 31 特にどのような場合に利用していますか（していましたか）。

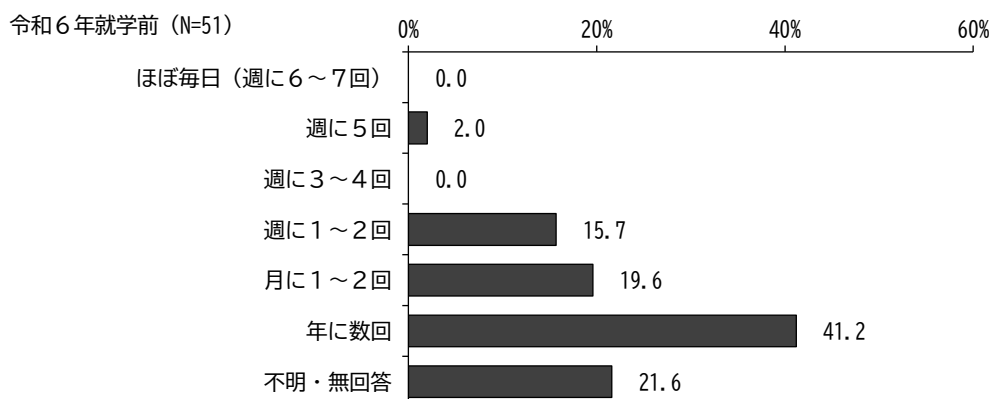
「保育園・幼稚園・認定こども園への送迎」が 25.5%で最も多く、次いで「その他」が 21.6%、「保育園・幼稚園・認定こども園からの帰宅後の預かり」と「保護者が不規則の就労をする場合の預かり」が 17.6%となっています。



問 30 で「現在利用している」または「現在は利用していないが、以前利用していたことがある」と回答した人のみ

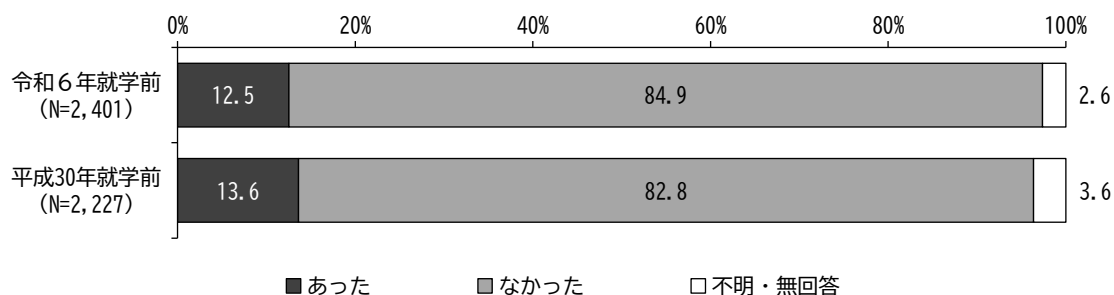
問 32 どれくらいの頻度で利用したいですか。

「年に数回」が 41.2%で最も多く、次いで「月に1～2回」が 19.6%、「週に1～2回」が 15.7%となっています。



問 33 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

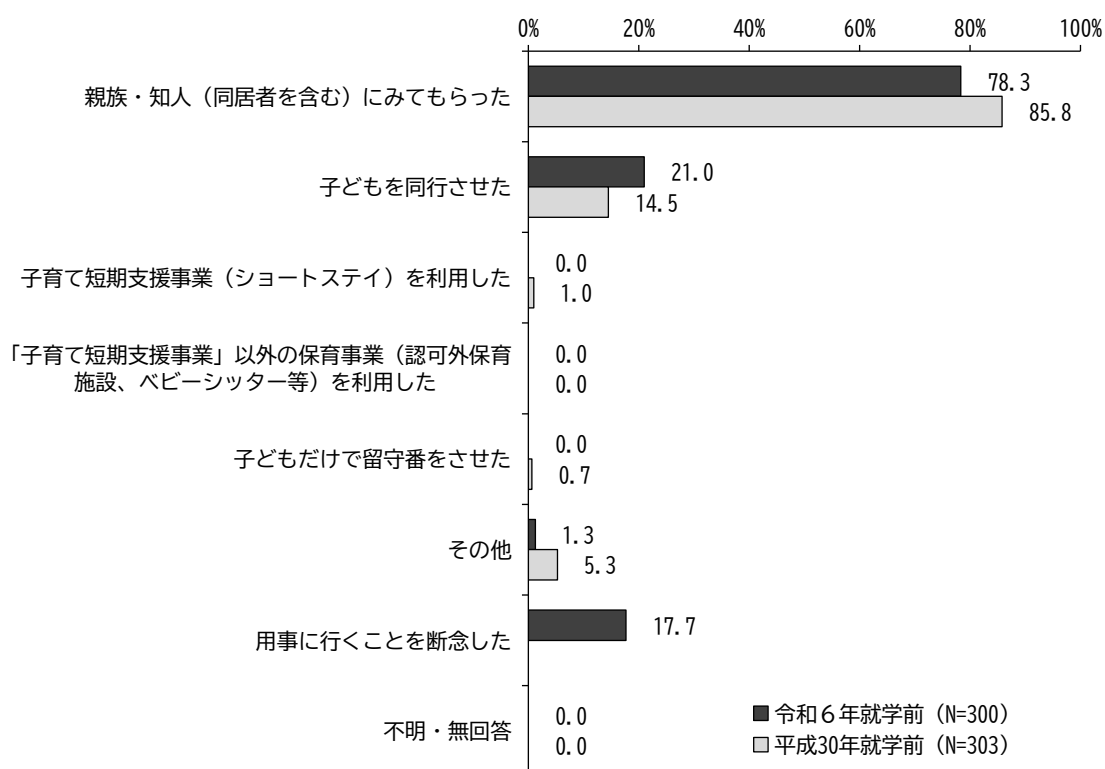
「あった」が12.5%、「なかった」が84.9%となっています。



問 33 で「あった」と回答した人のみ

問 34 この1年間に行った対処方法は何ですか。また、それぞれの日数もご記入ください。
【複数回答】

「親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」が78.3%で最も多く、次いで「子どもを同行させた」が21.0%となっています。



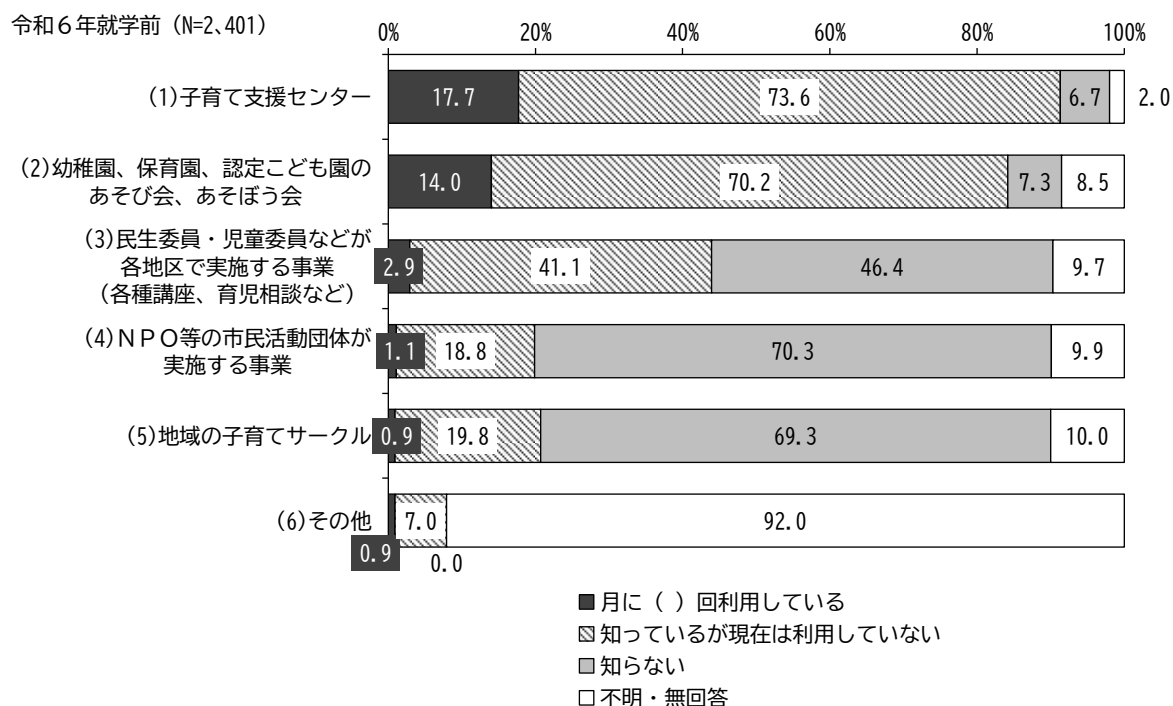
※「用事に行くことを断念した」は今回調査のみの項目。

問 35 あて名のお子さんは、現在、親子が集まって交流や相談の場を提供する事業等を利用していますか。以下のそれぞれの事業について、お答えください。

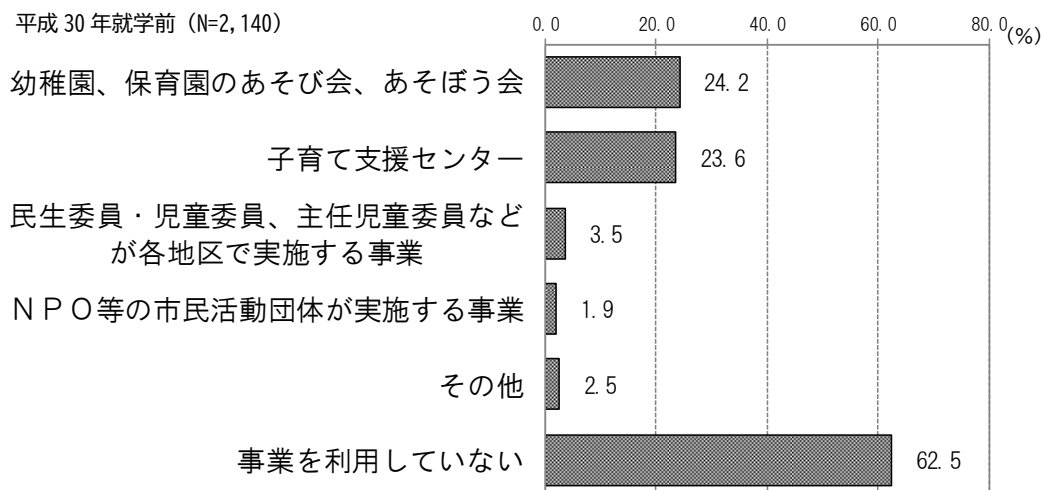
「利用している」という回答は「(1)子育て支援センター」が 17.7%で最も多く、次いで「(2)幼稚園、保育園、認定こども園のあそび会、あそぼう会」が 14.0%となっています。

「知らない」は「(4)NPO等の市民活動団体が実施する事業」が 70.3%で最も多く、次いで「(5)地域の子育てサークル」が 69.3%となっています。

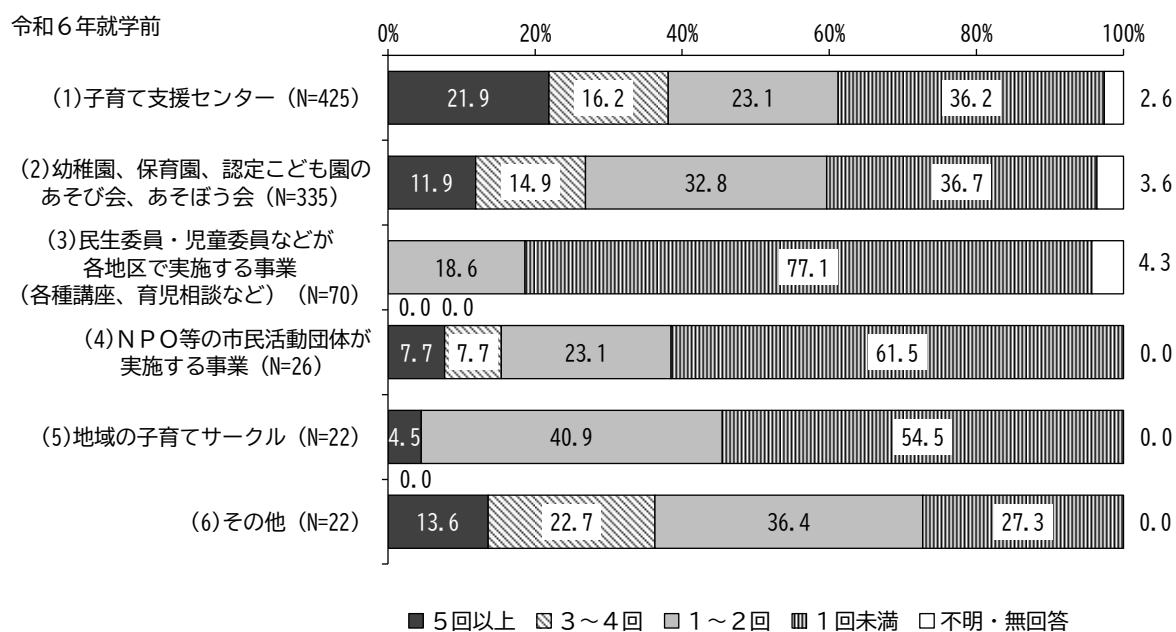
月当たりの利用日数は、「(6)その他」を除くと「1日未満」が最も多くなっていますが、「(1)子育て支援センター」については、「5回以上」が 21.9%となっており、他の項目より頻度が高くなっています。



■（参考）前回調査結果「あて名のお子さんは、現在、親子が集まって交流や相談の場を提供する事業等を利用していますか。」【複数回答】



月当たりの利用回数

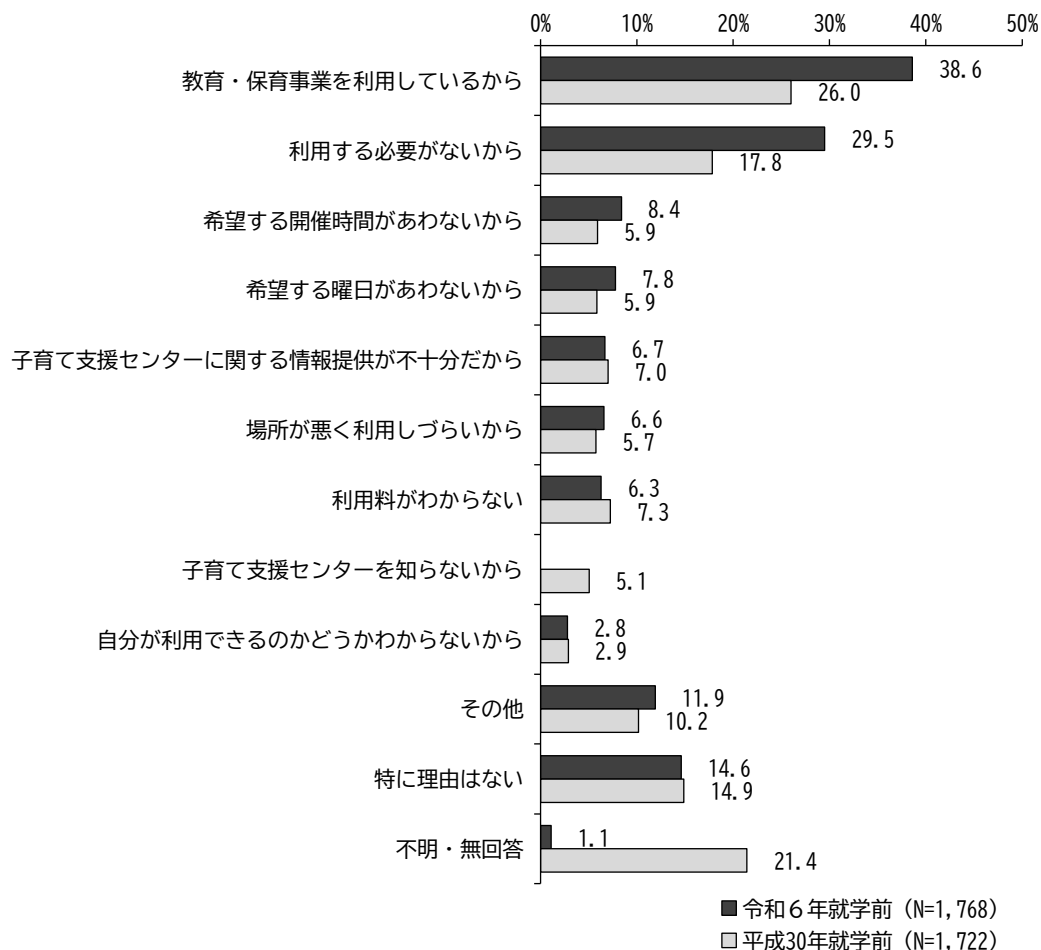


問 35 「(1) 子育て支援センター」で「知っているが現在は利用していない」と回答した人のみ

問 36 現在、子育て支援センターを利用していない理由はどのようなことですか。【複数回答】

「教育・保育事業を利用しているから」が 38.6%で最も多く、次いで「利用する必要があるから」が 29.5%となっています。

前回調査と比べると、「教育・保育事業を利用しているから」「利用する必要があるから」が増加しています。

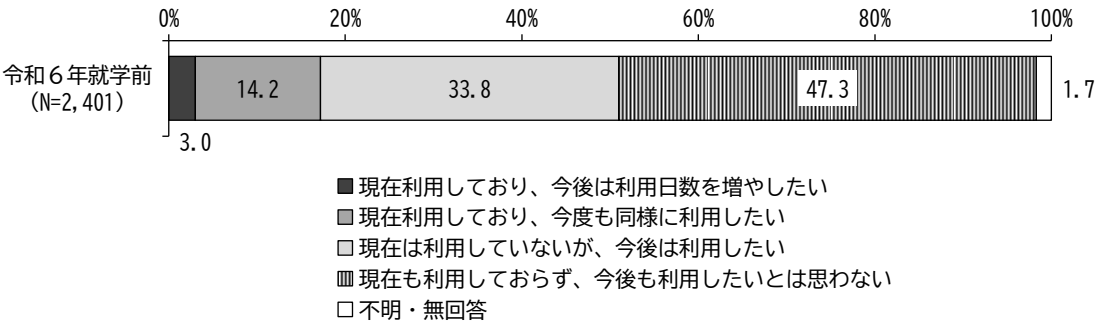


※前回調査では「子育て支援センター」を利用しているに○をつけなかった人のみが対象。「子育て支援センターを知らないから」は前回調査のみの項目。

問 37 「子育て支援センター」について、今後の利用希望についてお答えください。

利用したいという回答（「現在利用しており、今後は利用日数を増やしたい」「現在利用しており、今度も同様に利用したい」「現在は利用していないが、今後は利用したい」の合計）は、51.0%となっています。

年齢別にみると、今後利用したいという回答は高い年齢ほど少なくなっています。



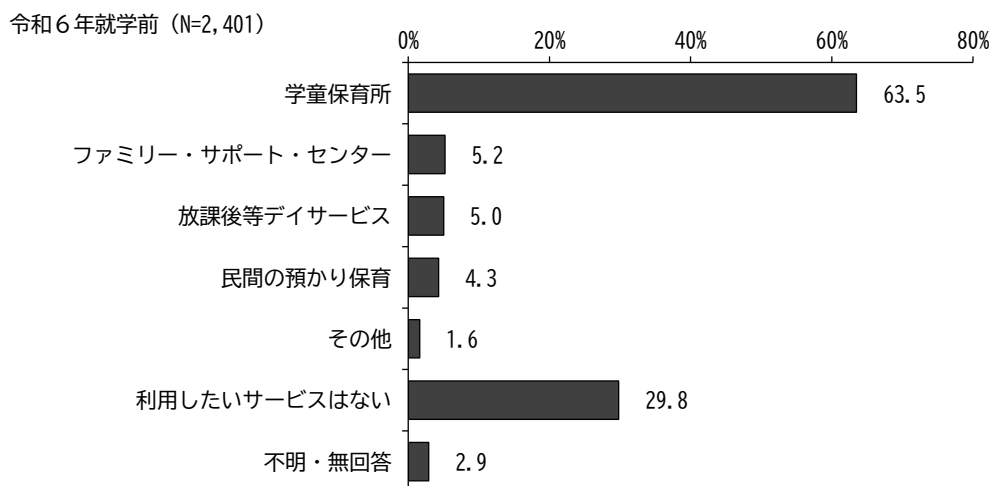
■子どもの年齢別の集計

		単位 (%)				
		現在利用しており、今後は利用日数を増やしたい	現在利用しており、今度も同様に利用したい	現在は利用していないが、今後は利用したい	現在も利用しておらず、今後にも利用したいとは思わない	不明・無回答
全体 (N=2,401)		3.0	14.2	33.8	47.3	1.7
年齢別	0歳 (N=581)	8.4	24.3	44.1	22.4	0.9
	1歳 (N=334)	3.3	25.1	37.7	32.0	1.8
	2歳 (N=290)	1.0	19.0	37.2	41.0	1.7
	3歳 (N=357)	1.1	6.4	30.8	59.1	2.5
	4歳 (N=396)	0.5	5.1	23.2	69.7	1.5
	5歳 (N=383)	0.5	3.1	26.1	68.1	2.1

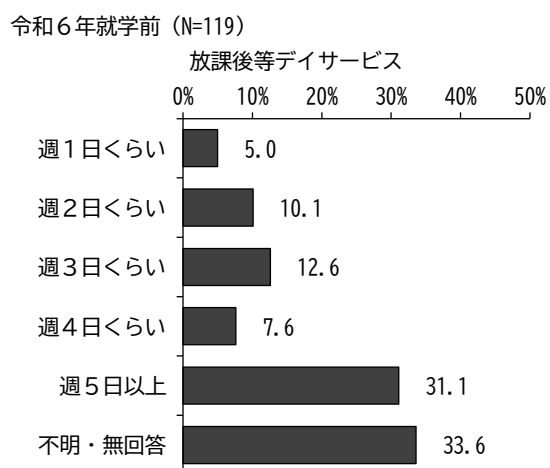
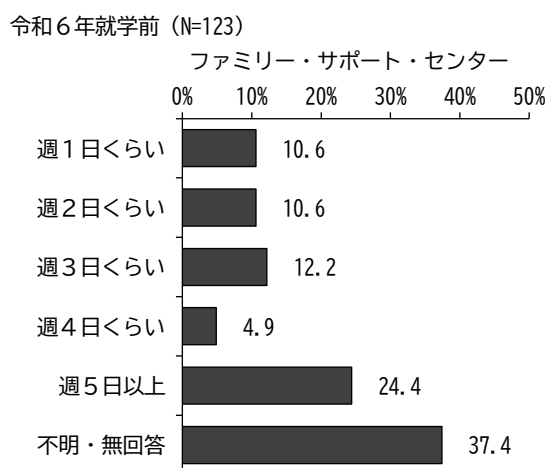
問 38 あて名のお子さんが小学校入学後の放課後（平日の授業終了後）に、利用したい預かりサービスはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、利用したい週あたりの日数もお答えください。

「学童保育所」が 63.5%で最も多く、次いで「利用したいサービスはない」が 29.8%となっています。

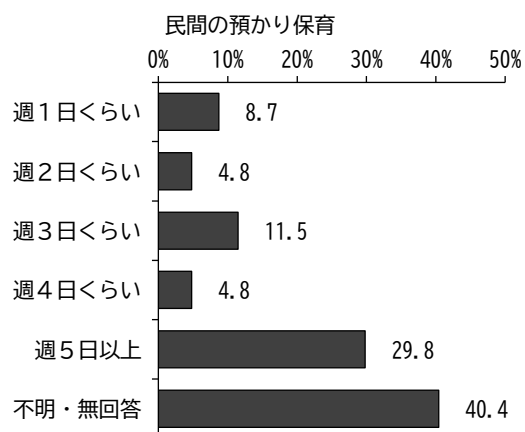
利用したい週あたりの日数については、いずれの項目も「週5日以上」が最も多くなっています。



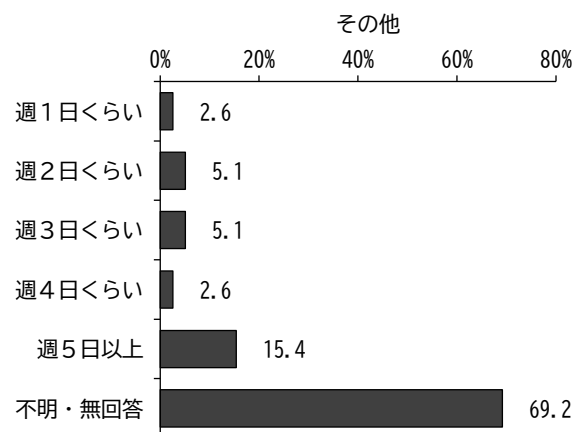
利用したい週あたりの日数



令和6年就学前（N=104）



令和6年就学前（N=39）

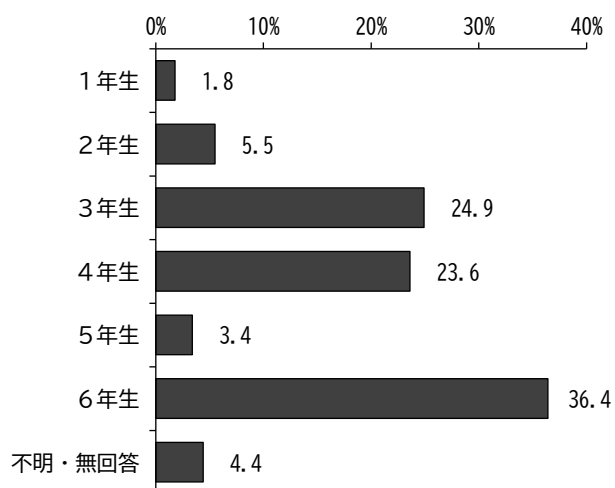


問 38 で「学童保育所」と回答した人のみ

問 39 学童保育所を何年生まで利用したいと思いますか。

「6年生」が 36.4%で最も多く、次いで「3年生」が 24.9%、「4年生」が 23.6%となっています。

令和6年就学前（N=1,524）



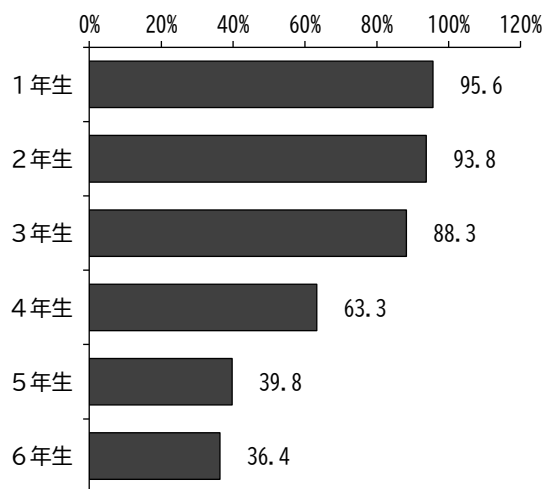
問 38 で「学童保育所」と回答した人のみ

問 40 各学年でどのような形態で利用したいですか。「定期利用」か「長期休暇のみ利用」かのどちらかに○をつけ、定期利用を選んだ場合は、利用したい週あたりの日数もお答えください。

利用希望は1～3年生は9割前後、5～6年生は3割台となっています。利用形態は、上の学年になるほど「定期利用」が減少し、「長期休暇のみ利用」が増加しています。利用したい週あたりの日数は、いずれの学年についても「週5日以上」が多くなっています。

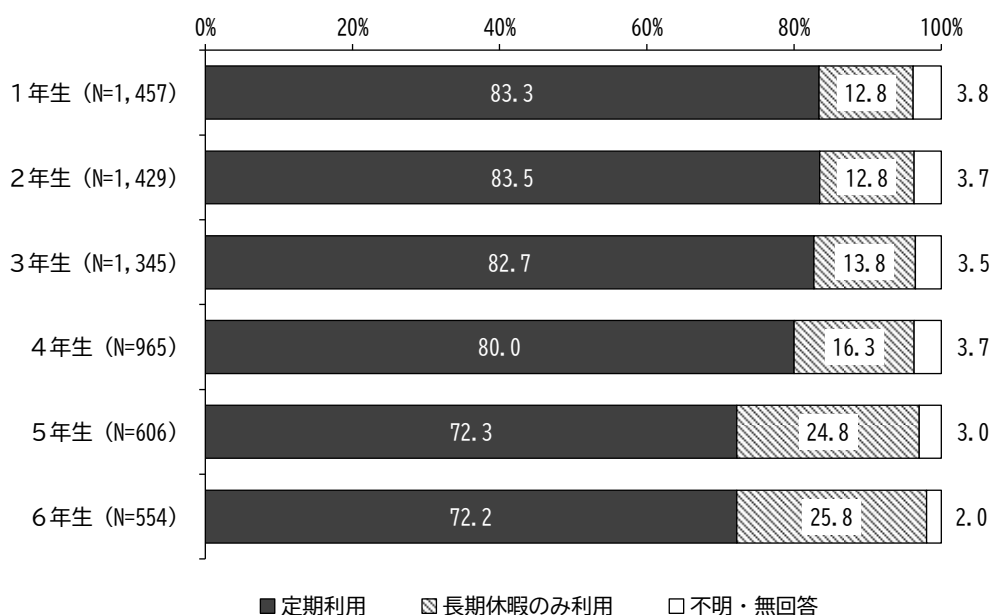
利用希望

令和6年就学前 (N=1,524)



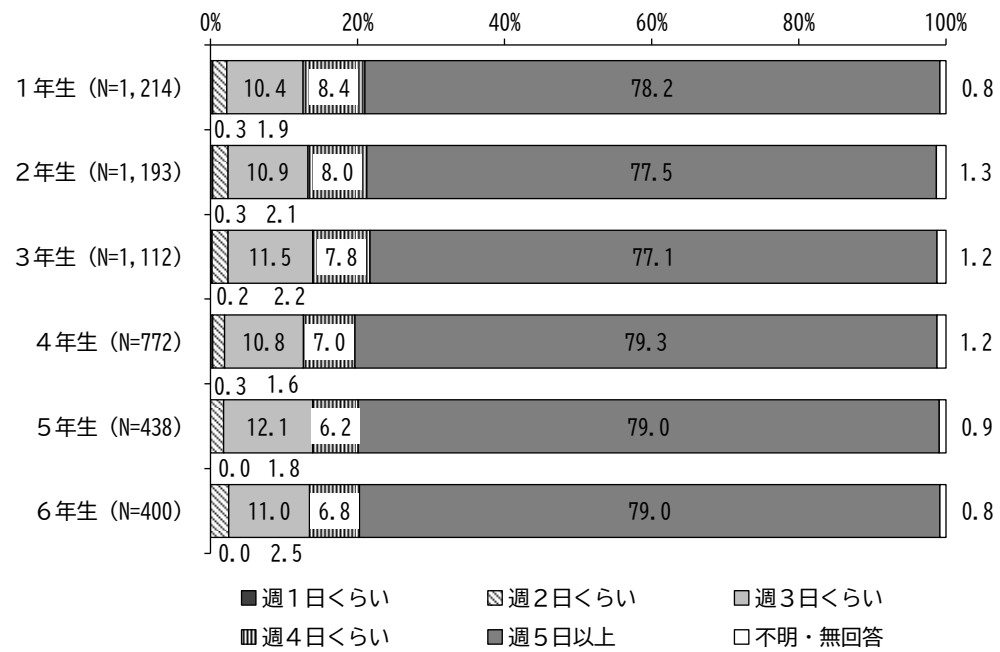
利用形態

令和6年就学前



利用したい週当たりの日数

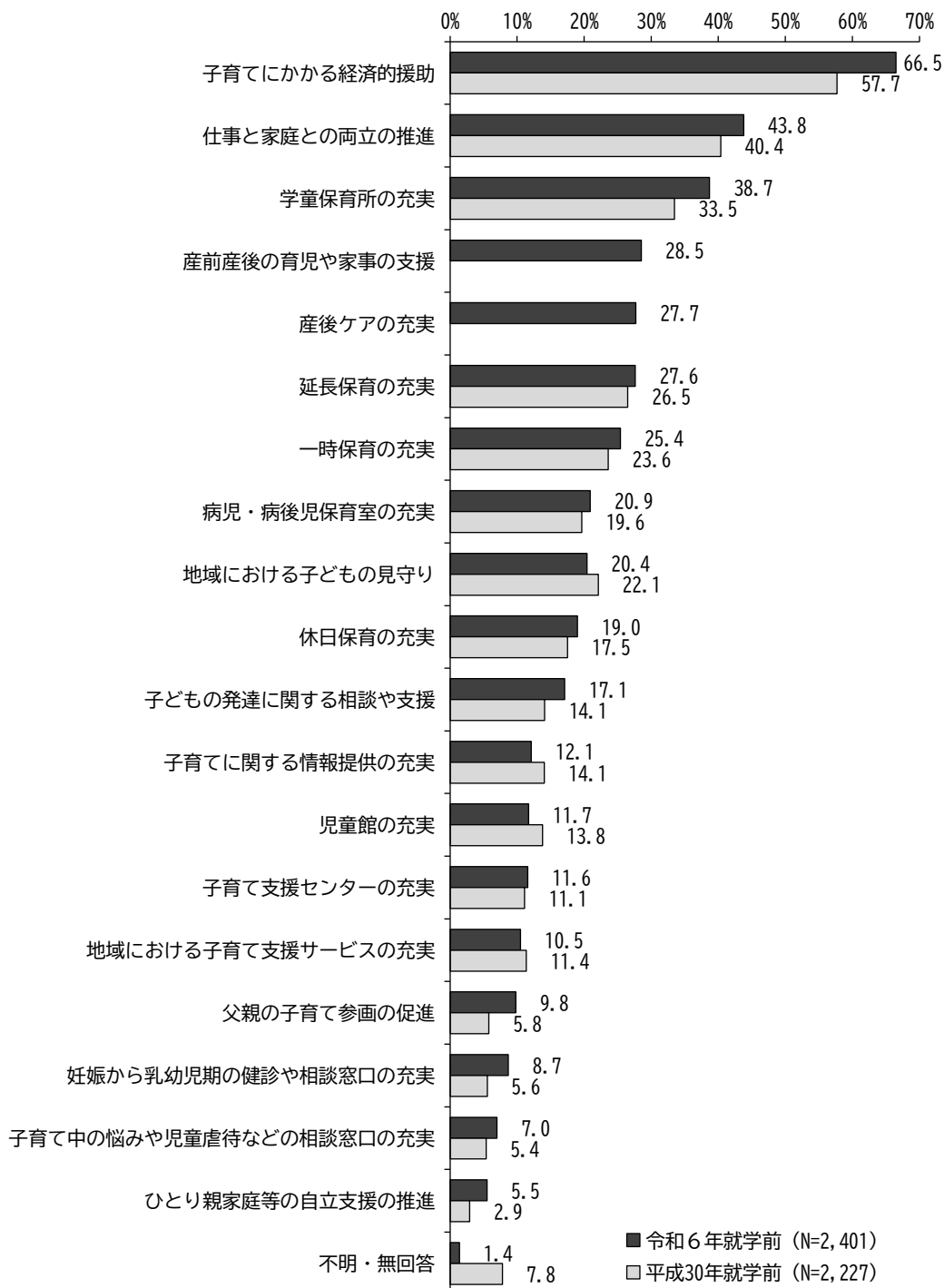
令和6年就学前



問 41 安心して子どもを産み育てる上で、今後、市に期待する施策は何ですか。

【5つまで複数回答】

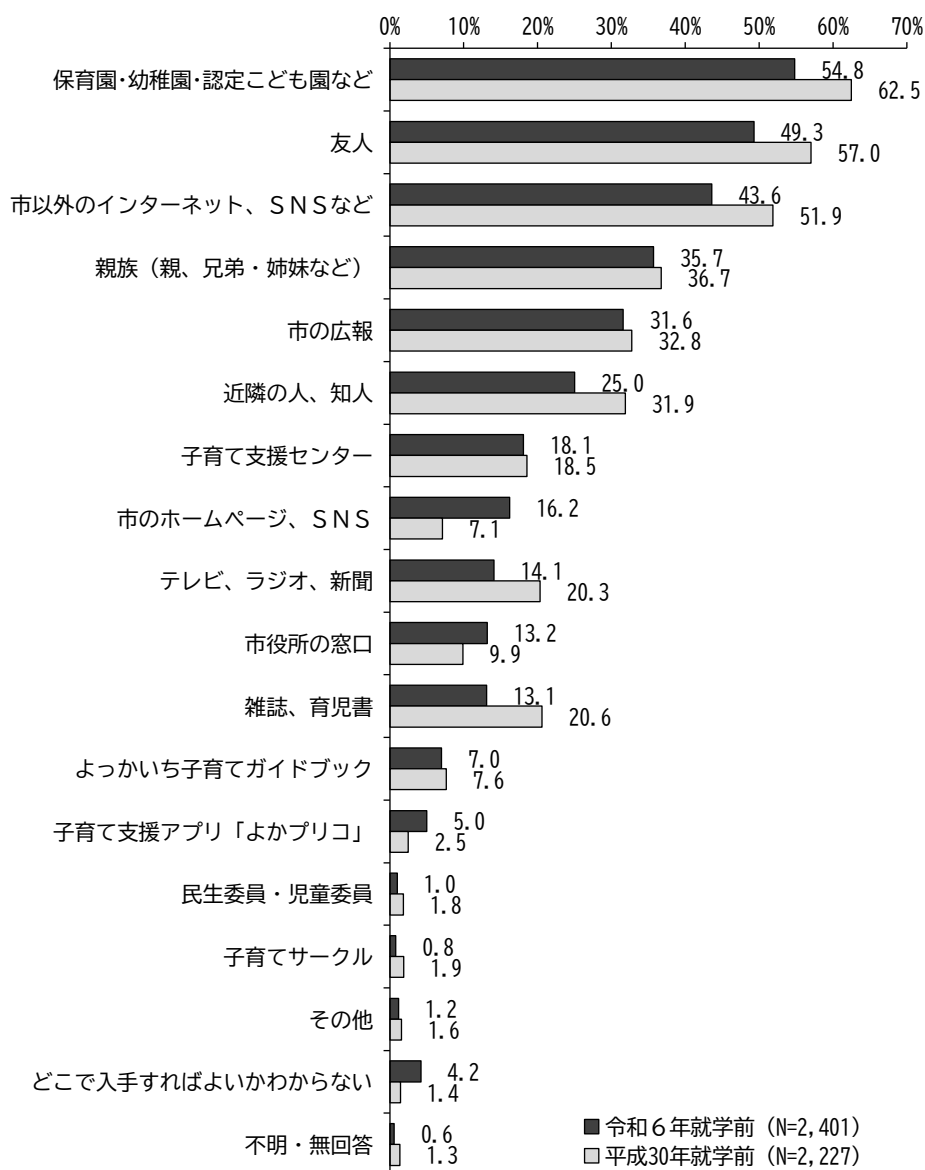
「子育てにかかる経済的援助」が 66.5%で最も多く、次いで「仕事と家庭との両立の推進」が 43.8%、「学童保育所の充実」が 38.7%となっています。



※「産前産後の育児や家事の支援」「産後ケアの充実」は今回調査のみの項目。今回調査の「妊娠から乳幼児期の健診や相談窓口の充実」は前回調査では「保健師等による妊娠から乳幼児期の健診や相談」。

問 42 子育てに関する情報をどのように入手していますか。【複数回答】

「保育園・幼稚園・認定こども園など」が 54.8%で最も多く、次いで「友人」が 49.3%、「市以外のインターネット、SNSなど」が43.6%となっています。



※今回調査の「民生委員・児童委員」「市のホームページ、SNS」「市以外のインターネット、SNSなど」は前回調査では「民生委員・児童委員、主任児童委員」「市のホームページ」「インターネット、SNSなど」。

問 43 四日市市では、次の(1)～(12)の事業の推進に取り組んでいます。それぞれの事業を利用したことはありますか。利用したことがある人は、その事業への満足度について、5段階でお答えください。

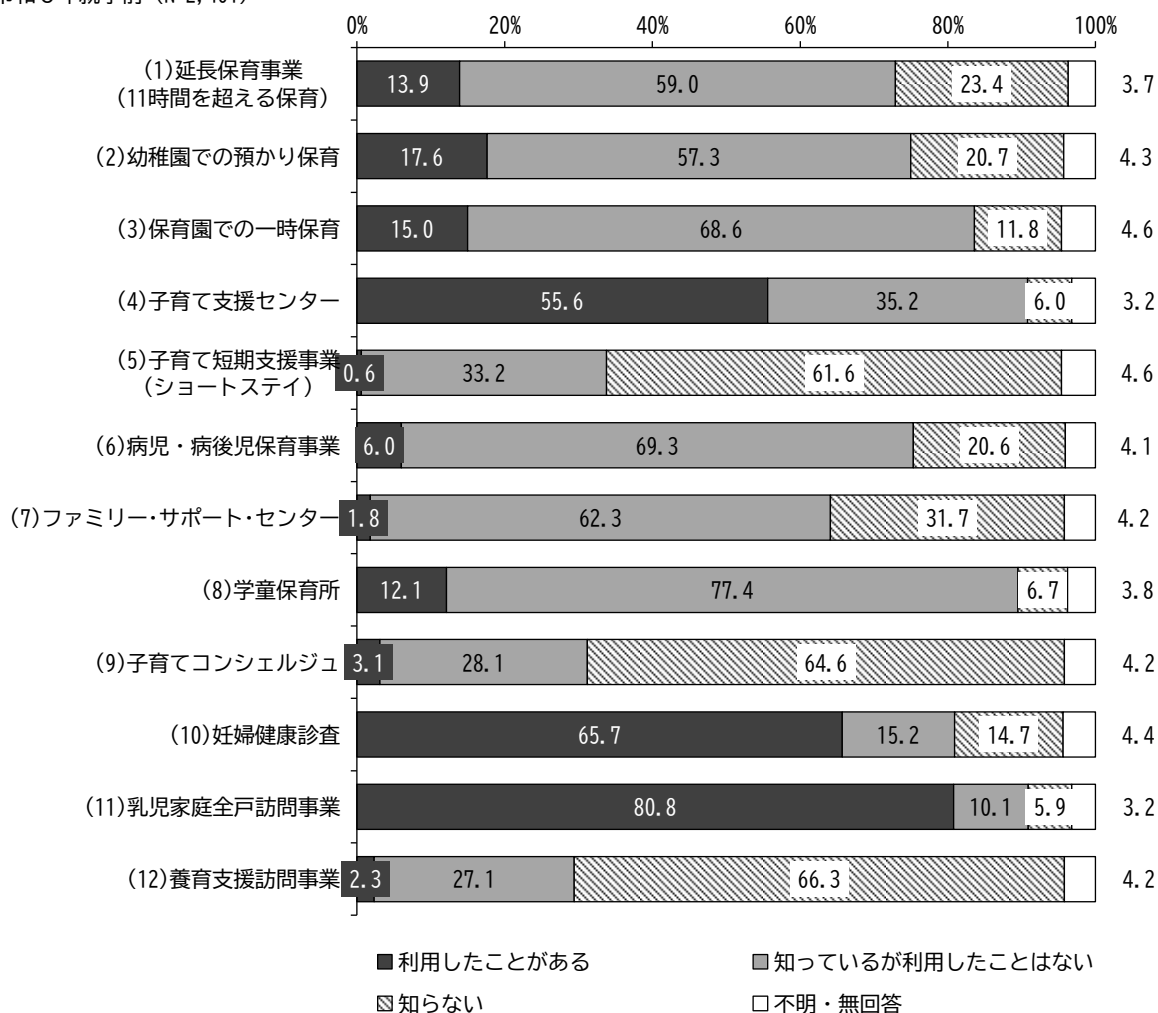
「利用したことがある」は「(11)乳児家庭全戸訪問事業」が 80.8%で最も多く、次いで「(10)妊婦健康診査」が 65.7%、「(4)子育て支援センター」が 55.6%となっています。

「知らない」は「(12)養育支援訪問事業」が 66.3%で最も多く、次いで「(9)子育てコンシェルジュ」が 64.6%、「(5)子育て短期支援事業（ショートステイ）」が 61.6%となっています。

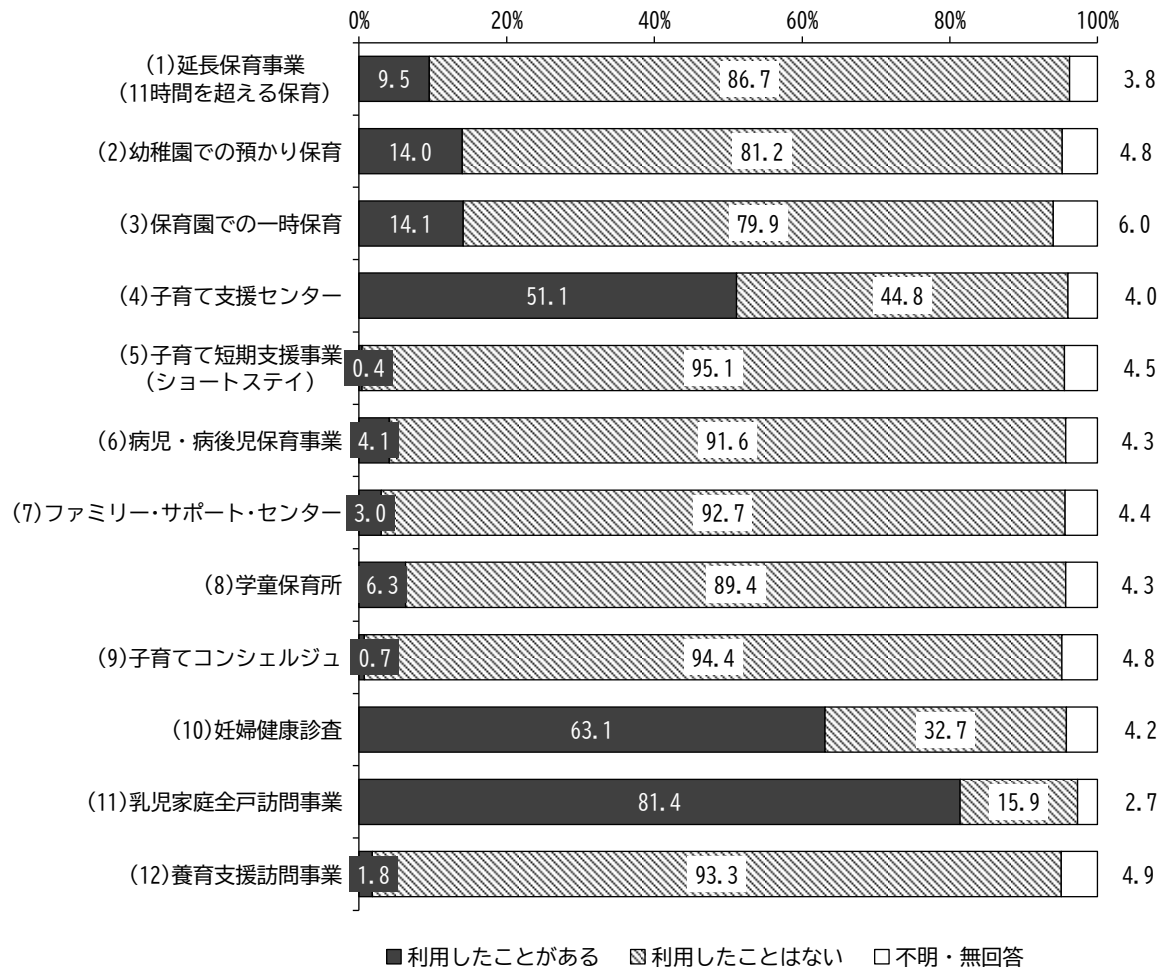
前回調査と比較すると、「(7)ファミリー・サポート・センター」「(11)乳児家庭全戸訪問事業」以外の事業については、「利用したことがある」が増加しています。

事業の利用状況

令和6年就学前（N=2,401）



平成30年就学前（N=2,227）



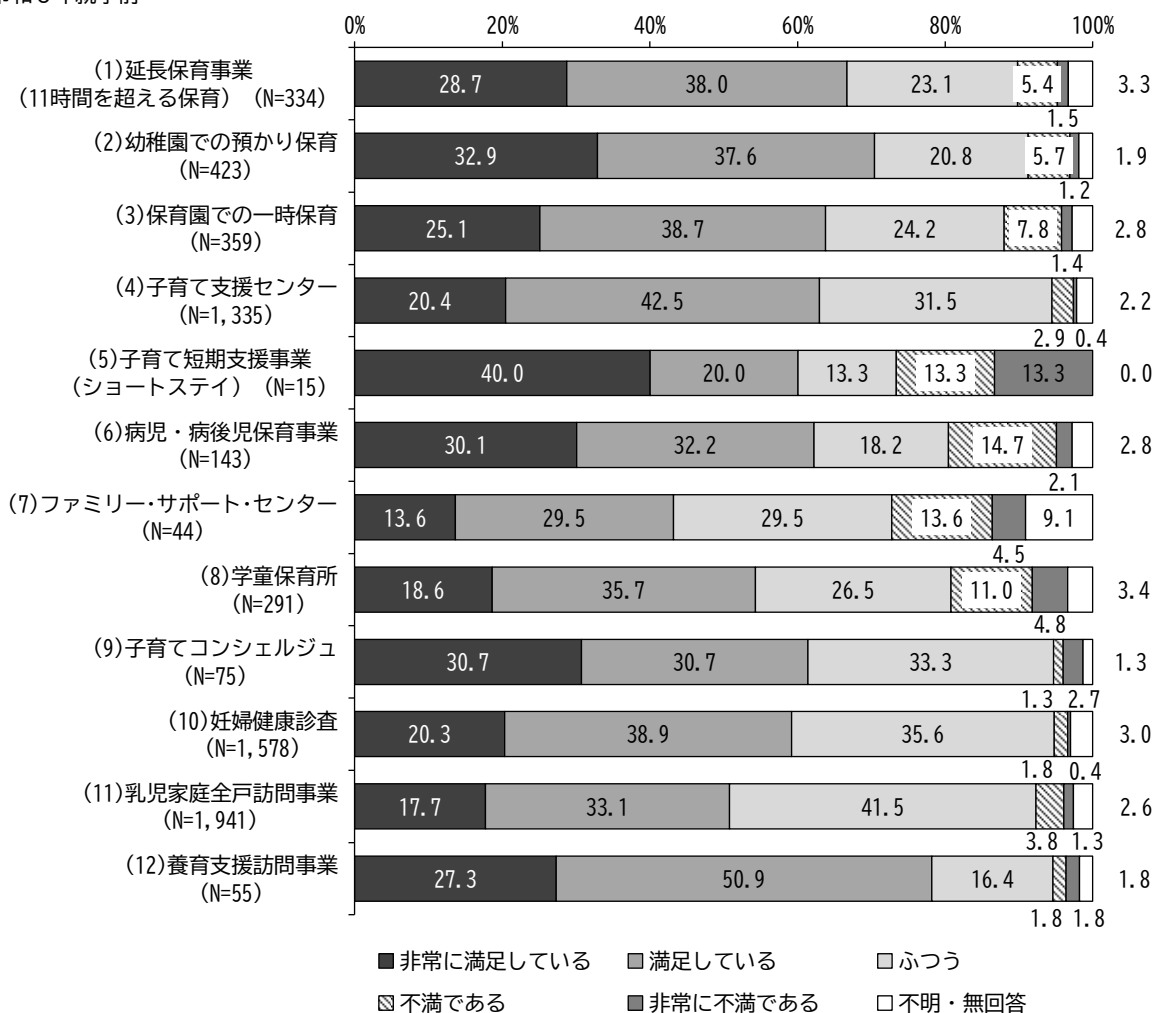
利用満足度

利用したことがある事業の満足度について、「満足している」という回答（「非常に満足している」と「満足している」の合計）は、「(12)養育支援訪問事業」が 78.2%で最も多く、次いで「(2)幼稚園での預かり保育」が 70.5%、「(1)延長保育事業（11 時間を超える保育）」が 66.7%となっています。

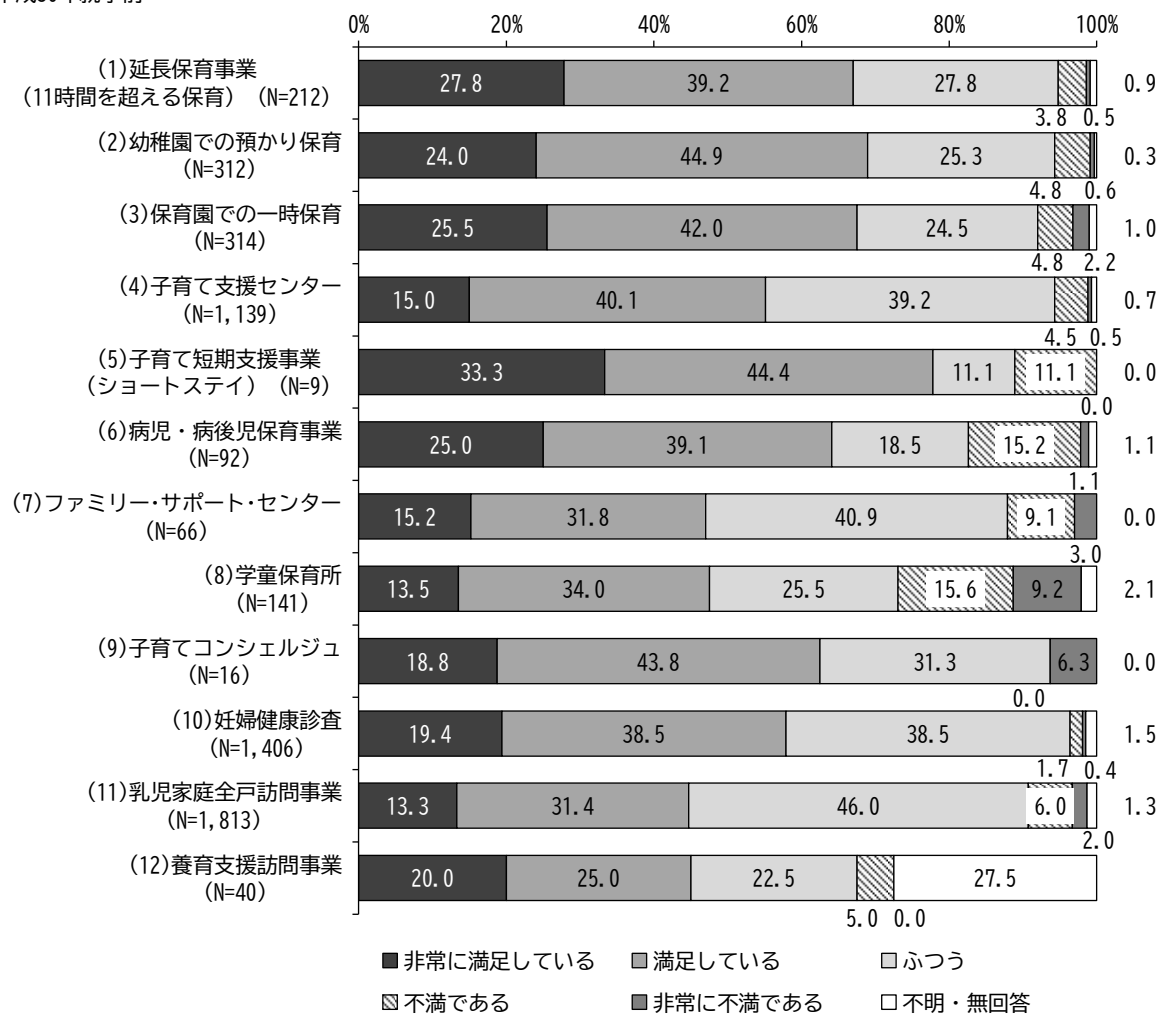
不満という回答（「非常に不満である」と「不満である」の合計）は、「(5)子育て短期支援事業（ショートステイ）」が 26.6%で最も多く、次いで「(7)ファミリー・サポート・センター」が 18.1%、「(6)病児・病後児保育事業」が 16.8%となっています。

前回調査からの大きな変化はみられませんが、「(12)養育支援訪問事業」では「満足している」という回答が増加しています。

令和 6 年就学前



平成30年就学前



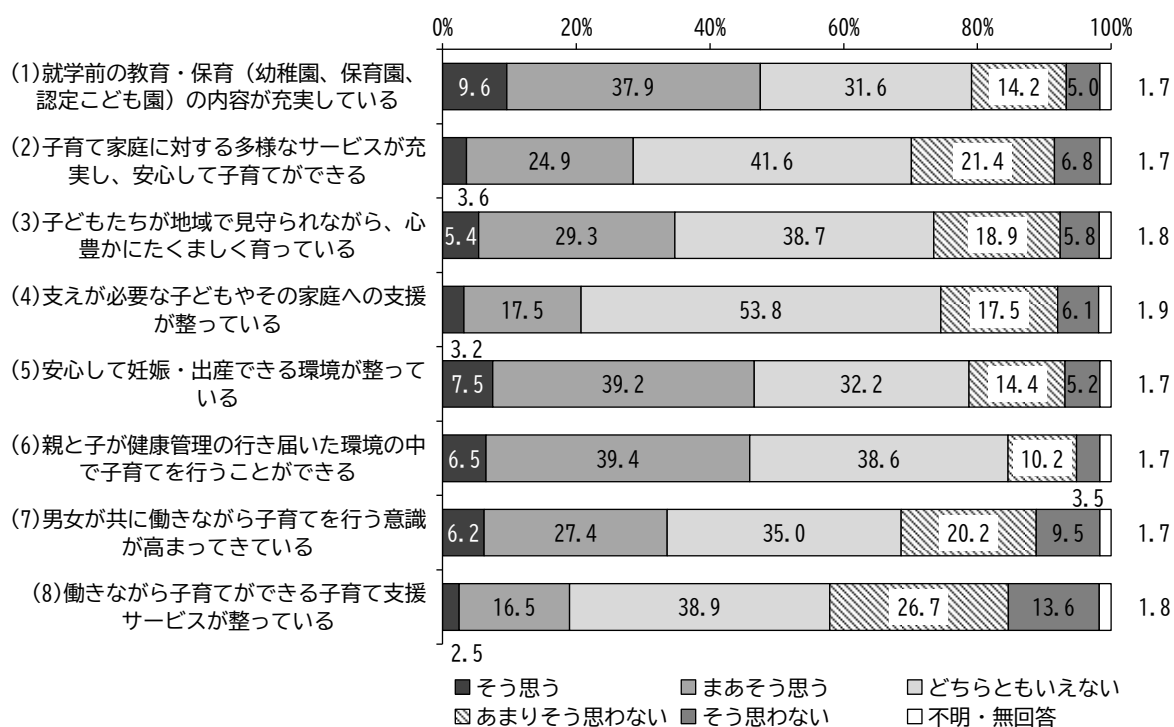
問 44 四日市市において、次の(1)～(8)のような点について、どのように感じになりますか。
それぞれについて、どのように感じているかを5段階でお答えください。

そう思うという回答（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）は、「(1)就学前の教育・保育（幼稚園、保育園、認定こども園）の内容が充実している」が47.5%で最も多く、次いで「(5)安心して妊娠・出産できる環境が整っている」が46.7%、「(6)親と子が健康管理の行き届いた環境の中で子育てを行うことができる」が45.9%となっています。

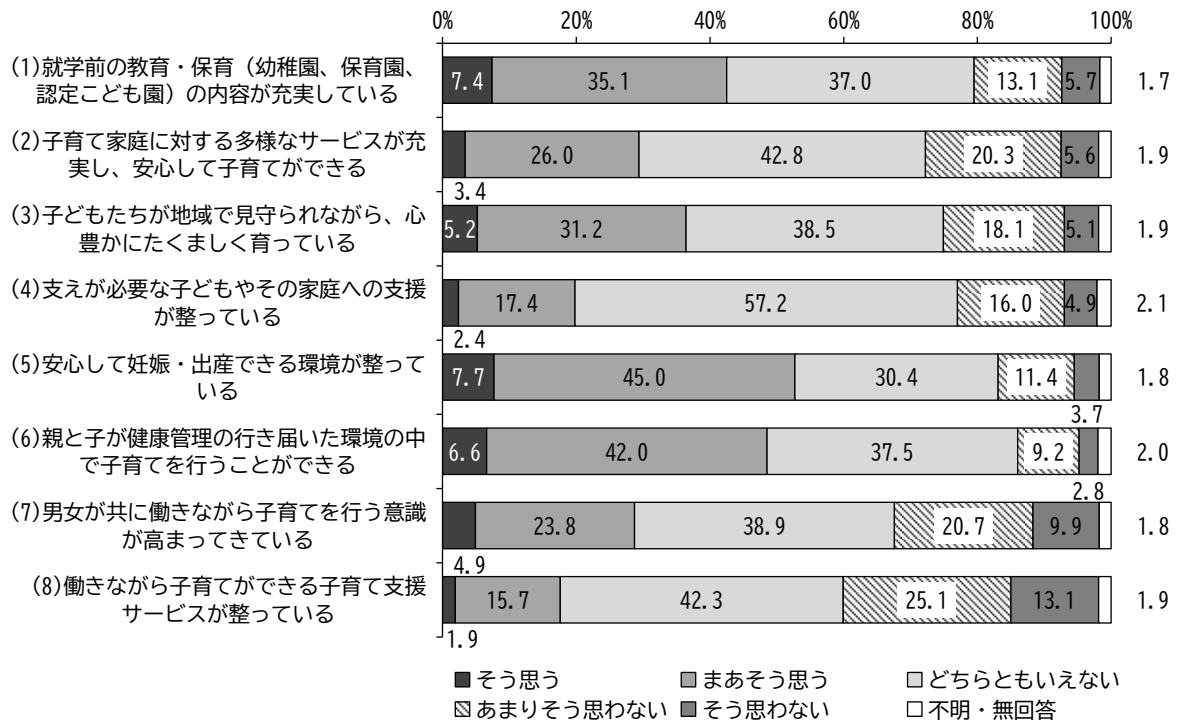
そう思わないという回答（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は、「(8)働きながら子育てができる子育て支援サービスが整っている」が40.3%で最も多く、次いで「(7)男女が共に働きながら子育てを行う意識が高まってきている」が29.7%、「(2)子育て家庭に対する多様なサービスが充実し、安心して子育てができる」が28.2%となっています。

前回調査からの大きな変化はみられません。

令和6年就学前（N=2,401）

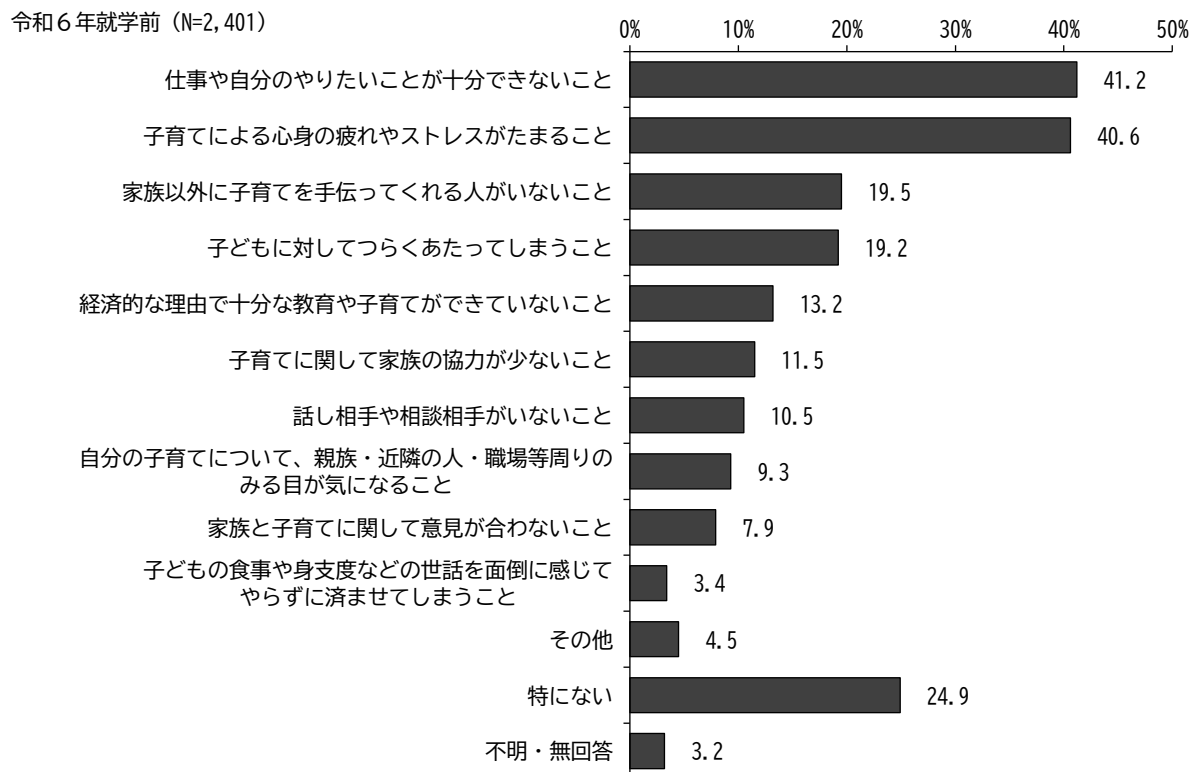


平成30年就学前（N=2,227）



問 45 子育て環境に関して、日頃特に不安や負担等を感じる事、また気になることはどのようなことですか。【複数回答】

「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が 41.2%で最も多く、次いで「子育てによる心身の疲れやストレスがたまること」が 40.6%となっています。

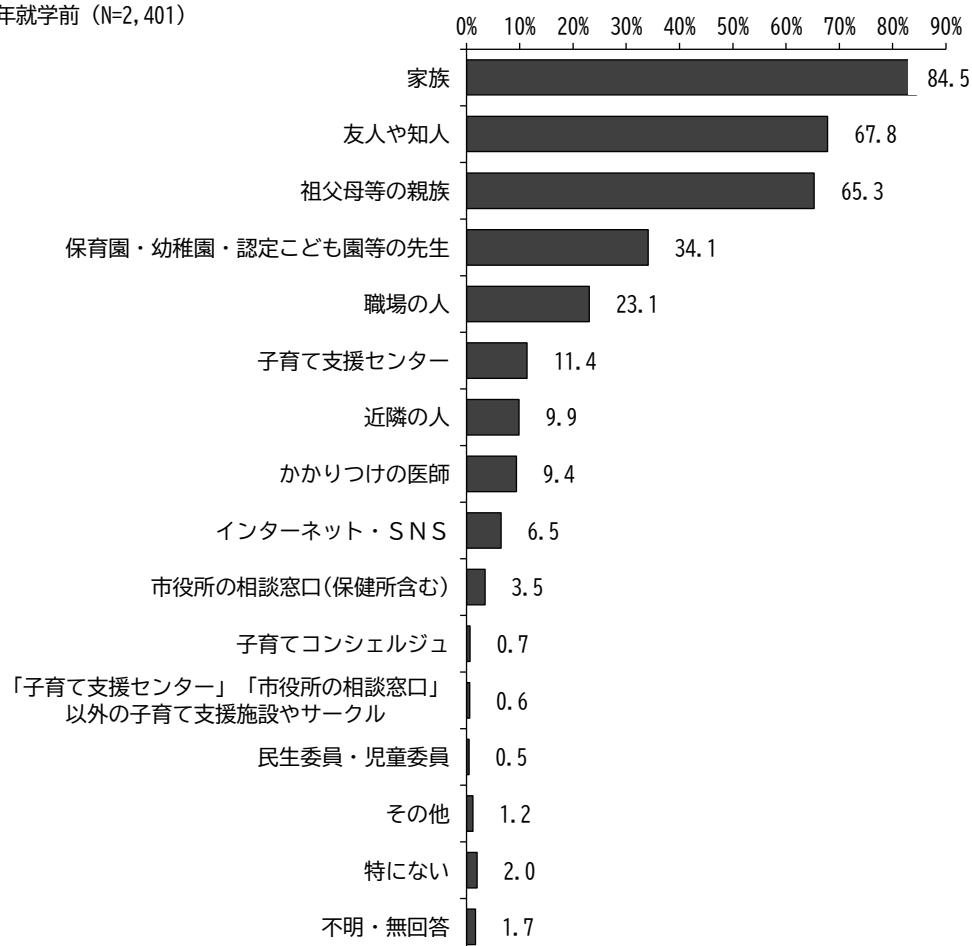


問 46 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はどこですか。

【複数回答】

「家族」が 84.5%で最も多く、次いで「友人や知人」が 67.8%、「祖父母等の親族」が 65.3%となっています。

令和6年就学前（N=2,401）



問 46 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

記入された意見を内容別に分類したところ、818 人から 1,096 件の回答がありました。寄せられた意見の内容別の件数は以下の通りです。

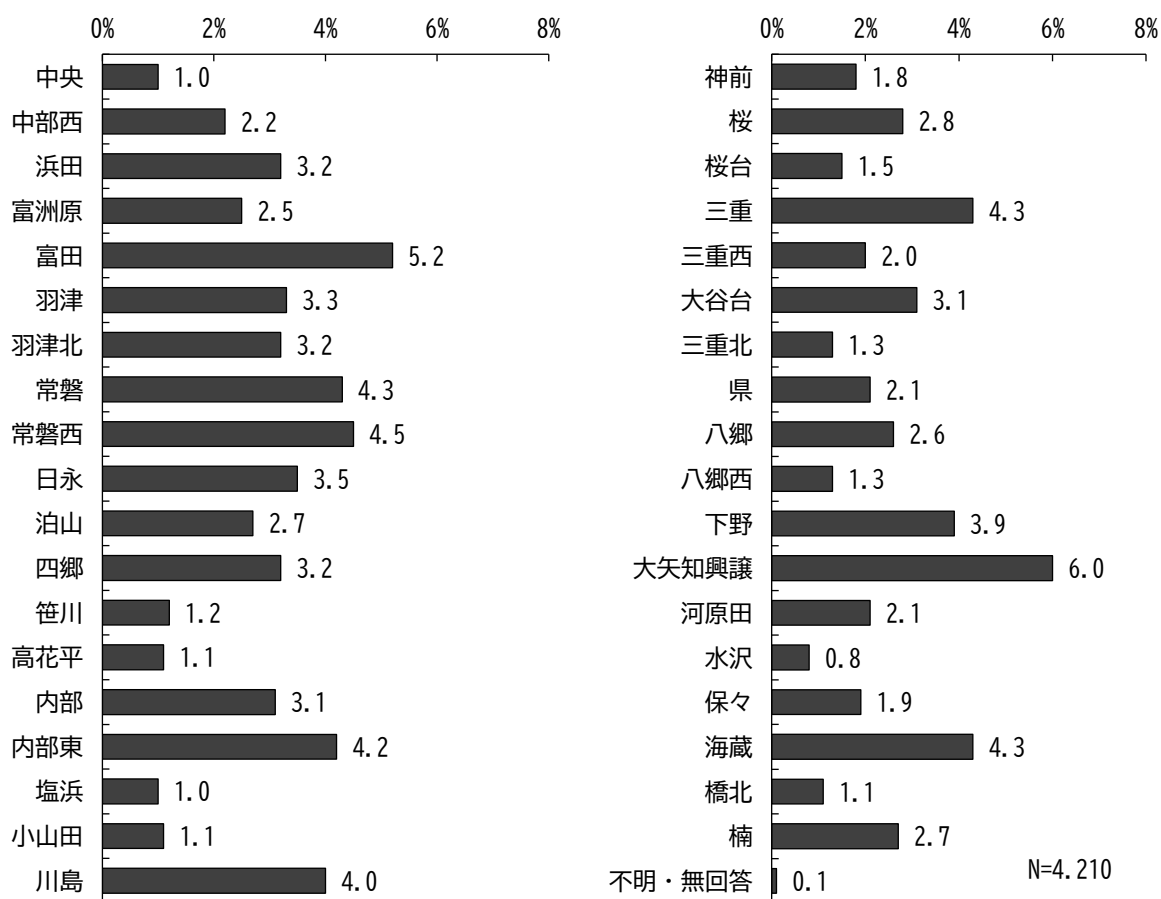
No.	分野	主な内容	件数
1	保育所の入所について	・保育所を増やしてほしい、入所できなくて困った ・入所要件を改善してほしい、育休退園で困った ・育休退園がなくなってよかった ・入園のタイミングと求職・復職の困難 ・きょうだいで同じ園に通わせたい 等	136
2	経済的支援について	・医療支援の年齢を上げてほしい ・予防接種、おむつ代等の補助がほしい ・物価高に対応した支援がほしい ・経済的支援の充実 等	99
3	四日市市の子育て支援について	・子育てしにくいまちだと感じる ・多子支援だけでなく一子目から支援が必要 ・子育てしやすい環境づくりに努力してほしい ・ひとり親に限らず支援をしてほしい 等	88
4	学童保育について	・学童保育が足りない、入れない ・保育料・保育時間・保育内容等を統一してほしい ・休日や夏休みのみの預かりもしてほしい ・環境を充実させてほしい 等	77
5	情報提供・情報発信	・子育て支援制度についてわかりやすく発信してほしい ・HPなどで必要な情報がわかるようにしてほしい ・知らなかった事業・制度について情報がほしい 等	62
6	一時保育等について	・利用したくてもできない、利用枠が少ない ・利用料が高い ・短時間や休日等利用しやすくしてほしい ・ファミリー・サポート・センターが利用しにくい	47
7	支援してほしいことについて	・親子で参加できるイベントの充実 ・送迎の支援 ・ひとり親の支援 ・共働き世帯の支援 等	47
8	保育料や保育無料券等について	・保育料が高い ・保育無料券を増やしてほしい、使いやすくしてほしい ・きょうだいの有無や年齢にかかわらず支援をしてほしい ・減免の年齢を下げてほしい 等	45
9	公園・遊び場の整備・充実	・子どもが遊べる公園を整備してほしい ・遊具を充実させてほしい ・雨天時や猛暑時にも子どもが遊べる場所がほしい ・児童館を増やしてほしい 等	44
10	保護者の就労環境について	・育休を取りにくい雰囲気がある ・時短で働くことの申し訳なさを感じる ・子育てしやすい職場づくりを行政からも働きかけてほしい 等	39
11	支援を受けてよかったことについて	・市役所の相談で話を聞いてもらえて助かった ・子育て支援センターはありがたかった ・赤ちゃん訪問で来てくれるのがよかった 等	35
12	子育て支援センターについて	・近くになくて利用しにくい、数を増やしてほしい ・開いている時間が短い ・環境を充実させてほしい 等	34

No.	分野	主な内容	件数
13	病児保育について	・就業時間に合わせて利用できるようにしてほしい ・予約が取れない、空がない、利用しにくい ・もっと使いやすくしてほしい 等	34
14	他自治体での事例について	・他の自治体で行っていること、転居前の自治体で受けられていた支援等について、四日市市でも実施してほしい	26
15	支援事業や制度の改善について	・一時保育の申請条件が厳しすぎる ・赤ちゃん訪問の回数を増やしてほしい ・あそぼう会を誰もが利用しやすくしてほしい 等	26
16	小児医療について	・小児科がどこも混雑している、予約が取れない ・小児科や産婦人科が少ない ・休日診療を充実させてほしい 等	26
17	幼稚園について	・3年保育を導入してほしい ・延長保育や長期休業中の預かりをしてほしい、預かり保育の時間を延長してほしい 等	24
18	教育・保育の内容について	・保育所・幼稚園での教育・保育への不満 ・冷暖房・トイレ・セキュリティ・給食等を充実させてほしい 等	22
19	産後ケアについて	・産後ケアや家事代行、家族の支援が受けられない人の支援などを充実させてほしい ・利用のための手続きを簡素化させてほしい 等	22
20	地域環境について	・ベビーカーや子どもが利用しやすい道路整備 ・子どもが安心して過ごせる場所の充実 ・子育てを地域で見守る環境づくり 等	21
21	交通について	・運転できない人への支援・送迎サービス ・危険な道路や自動車の状況の改善 等	19
22	保育所・幼稚園の職員について	・人数を確保してほしい ・待遇を改善させてほしい 等	18
23	発達支援・障害のある子どもの支援について	・支援が受けられる場所が少ない、不足している ・障害のある子どものいる世帯への支援の充実 ・子育て支援やイベント等に参加しやすくしてほしい 等	18
24	アンケートについて	・Webでの回答ができるようにしてほしい ・量が多くて負担が大きい 等	18
25	相談支援について	・相談窓口の対応を改善してほしい ・相談できるところをわかりやすくしてほしい 等	16
26	子育ての不安・負担について	・子育てを行う上での経済面での不安・負担、日々の疲労、将来の不安など	15
27	小学校やPTAについて	・PTAの負担が大きい ・学校を充実させてほしい 等	11
28	男女共同参画について	・男性の家事・育児が当たり前になってほしい ・父親も育児休業を取りやすくしてほしい ・男性が育児について知る機会を増やしてほしい 等	16
29	その他		16

Ⅳ 【小学生低学年保護者対象】量の見込み等調査の結果

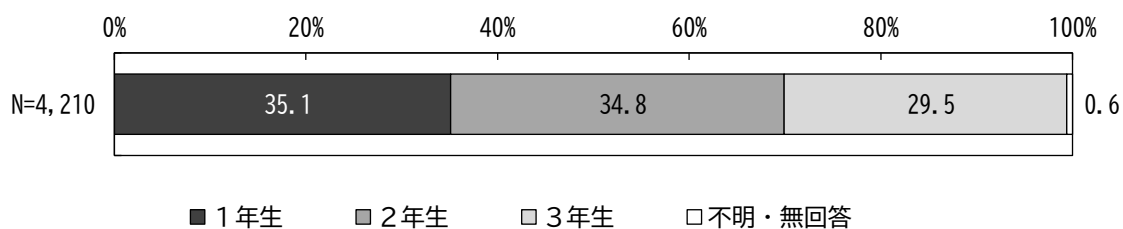
問1 お住まいの地域の小学校区は、どちらですか。

「大矢知興讓」が6.0%で最も多く、次いで「富田」が5.2%となっています。



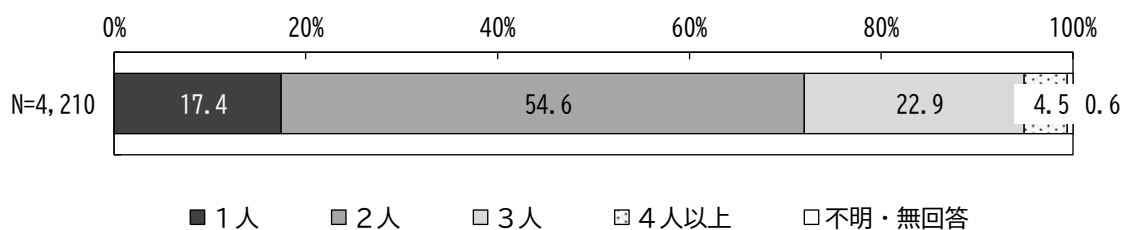
問2 お子さんの現在の学年をご回答ください。

「1年生」が35.1%、「2年生」が34.8%、「3年生」が29.5%となっています。

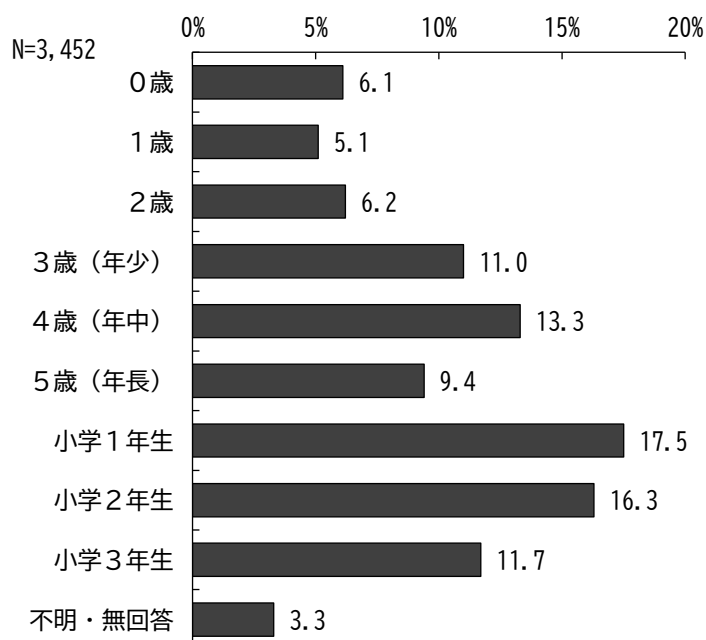


問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。また、お子さんが複数いる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください（学年で集計）。

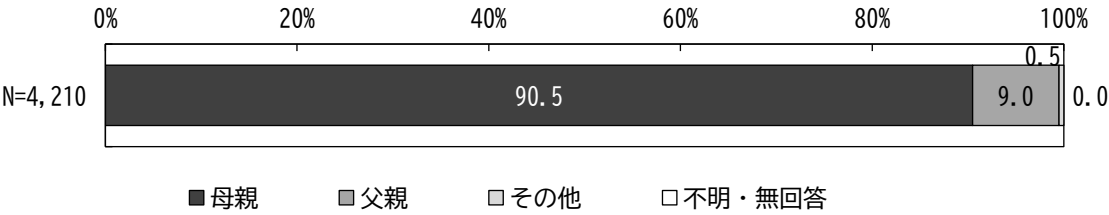
「2人」が54.6%で最も多く、次いで「3人」が22.9%、「1人」が17.4%となっています。



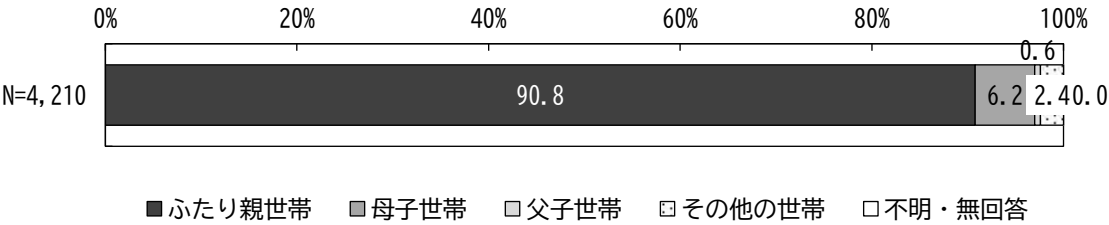
一番下の子どもの年齢（学年基準）



問4 このアンケートにご回答いただいている方の、お子さんからみた関係をお答えください。
「母親」が90.5%、「父親」が9.0%となっています。

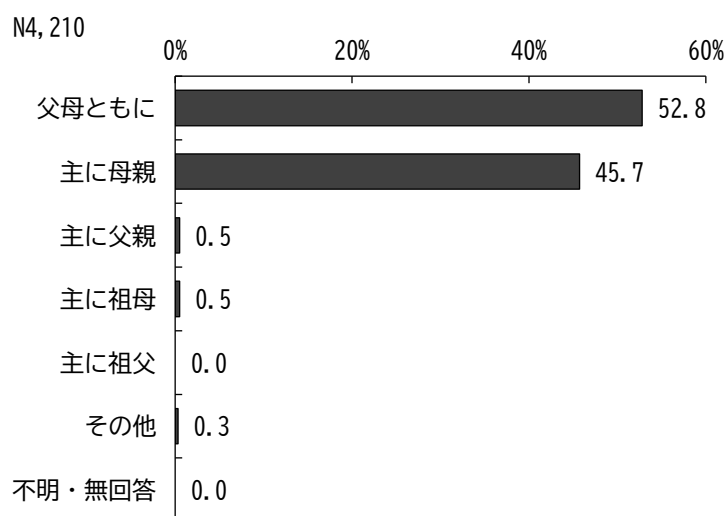


問5 このアンケートにご回答いただいている方の世帯状況についてお答えください。
「ふたり親世帯」が90.8%、「母子世帯」が6.2%となっています。



問6 子育てを主に行っている方は、お子さんからみて、どなたですか。

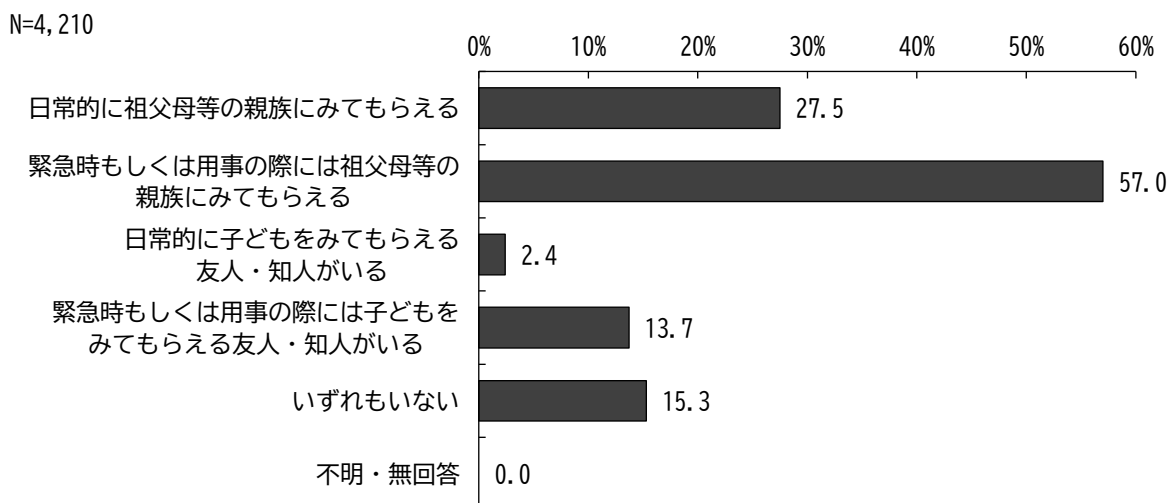
「父母ともに」が52.8%で最も多く、次いで「主に母親」が45.7%となっています。



問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.0%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が27.5%となっています。「いずれもない」は15.3%となっています。

母親の就労状況別にみると、「いずれもない」は現在求職中や仕事をしていない世帯で2割を超えてやや多くなっています。



■母親の就労状況別の集計

単位（％）

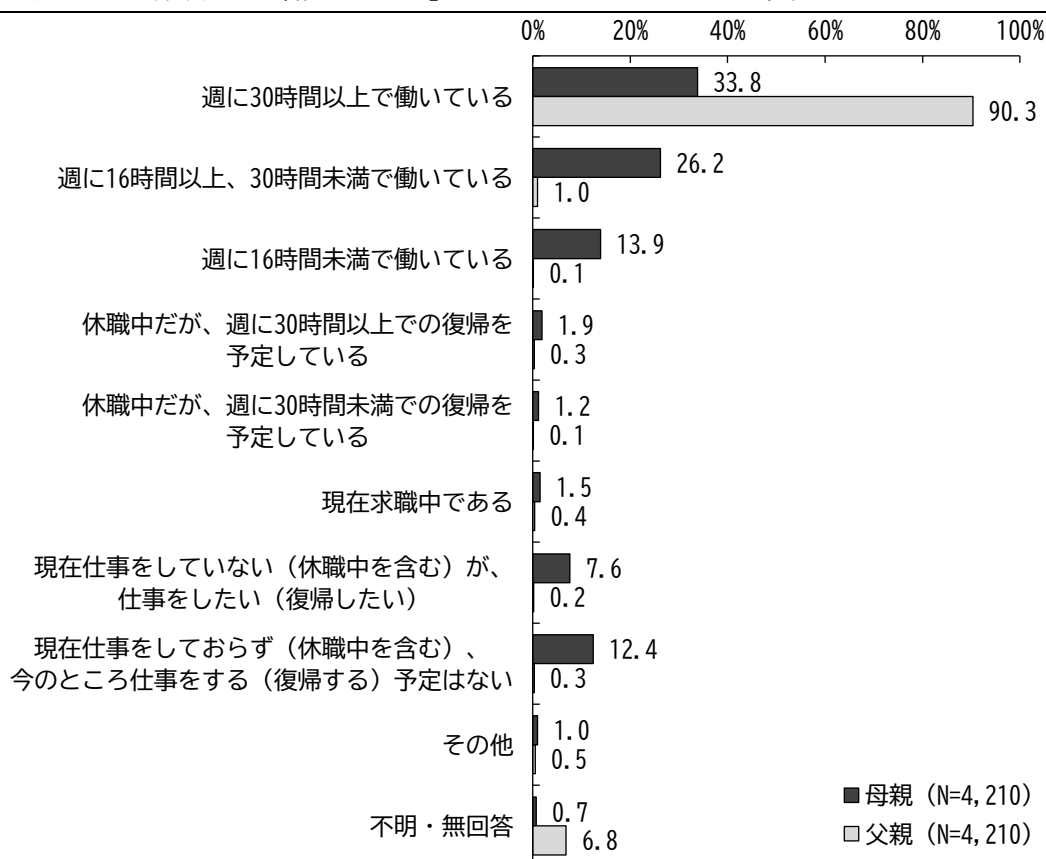
		日常的に祖 父母等の親 族にみても らえる	緊急時もし くは用事の 際には祖父 父母等の親 族にみても らえる	日常的に子 どもをみて もらえる友 人・知人が いる	緊急時もし くは用事の 際には子ど もをみても らえる友 人・知人が いる	いずれもい ない	不明・無回 答
全体（N=4, 210）		27.5	57.0	2.4	13.7	15.3	0.0
母親の 就労 状況 別	週に30時間以上で働いている（N=1, 424）	33.4	57.0	2.1	10.5	11.9	0.0
	週に16時間以上、30時間未満で働いている（N=1, 101）	26.3	56.8	2.7	13.4	16.2	0.0
	週に16時間未満で働いている（N=584）	26.0	62.2	2.9	18.3	11.6	0.0
	休職中だが、週に30時間以上での復帰を予定している（N=78）	17.9	64.1	2.6	10.3	16.7	0.0
	休職中だが、週に30時間未満での復帰を予定している（N=49）	24.5	67.3	2.0	6.1	16.3	0.0
	現在求職中である（N=62）	14.5	56.5	3.2	12.9	24.2	0.0
	現在仕事をしていない（休職中を含む）が、仕事をしたい（復帰したい）（N=319）	18.5	56.4	1.3	19.1	20.4	0.0
	現在仕事をしておらず（休職中を含む）、今のところ仕事をする（復帰する）予定はない（N=521）	22.8	53.4	2.3	16.7	20.9	0.0
その他（N=42）		28.6	45.2	2.4	7.1	26.2	0.0

問8 お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。

問9 お子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。

母親は「週に 30 時間以上で働いている」が 33.8%で最も多く、次いで「週に 16 時間以上、30 時間未満で働いている」が 26.2%、「週に 16 時間未満で働いている」が 13.9%となっています。

父親は「週に 30 時間以上で働いている」が 90.3%となっています。

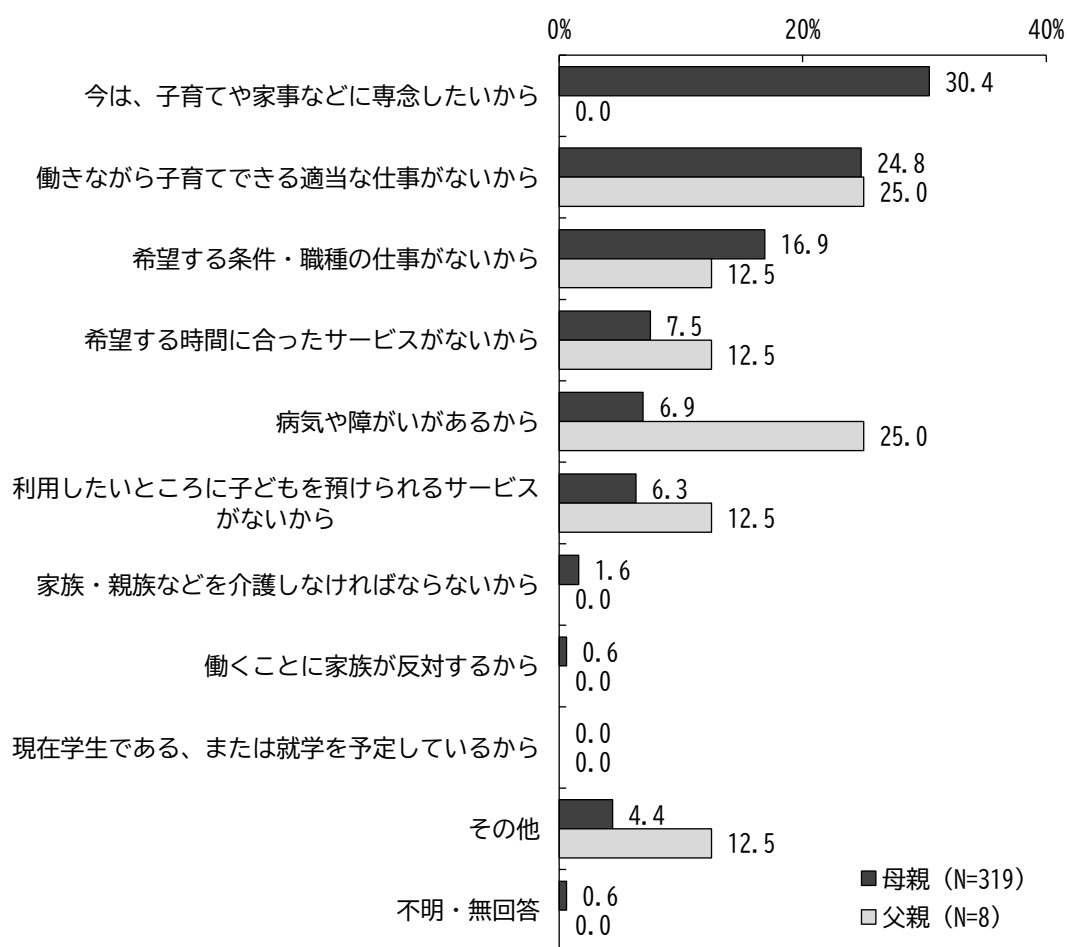


問8－1 働く希望がありながら、現在働いていない理由についてお答えください。（母親、もっとも近いもの1つを選択）

問9－1 働く希望がありながら、現在働いていない理由についてお答えください。（父親、もっとも近いもの1つを選択）

母親は「今は、子育てや家事などに専念したいから」が30.4%で最も多く、次いで「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」が24.8%、「希望する条件・職種の仕事がないから」が16.9%となっています。

父親は件数は少ないですが、「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」「病気や障がいがあるから」が25.0%で最も多くなっています。

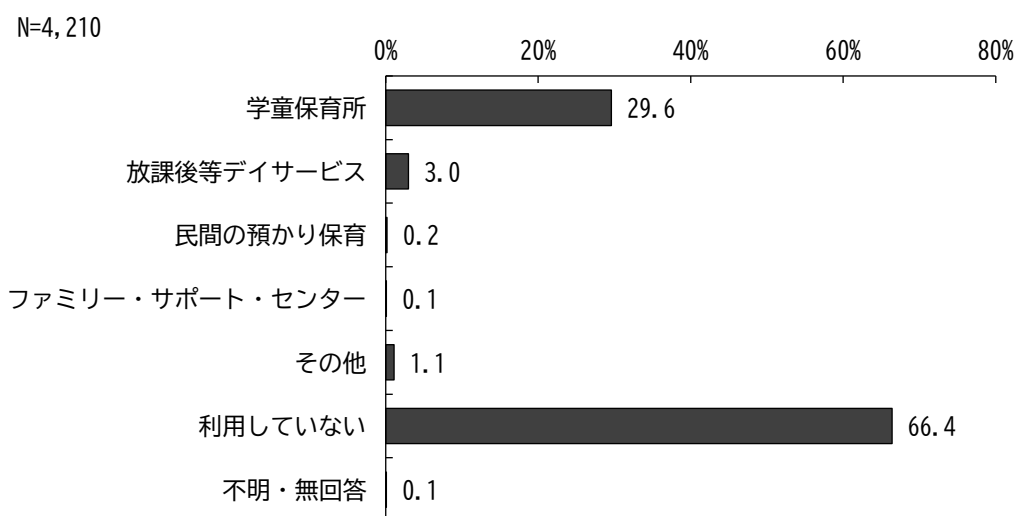


問 10 お子さんが小学校入学後の放課後（平日の授業終了後）に、利用している預かりサービスはありますか。あてはまる番号をすべて選択し、利用している週あたりの日数もお答えください。【複数回答】

「利用していない」が66.4%で最も多く、次いで「学童保育所」が29.6%となっています。

学年別にみると、上の学年ほど「利用していない」が多く、母親の就労状況別にみると、「学童保育所」は母親が週に16時間以上就労している、または休職中で復帰を予定している家庭で多くなっています。

利用している週あたりの日数については、「放課後デイサービス」「民間の預かり保育」では「5日以上」が最も多くなっています。

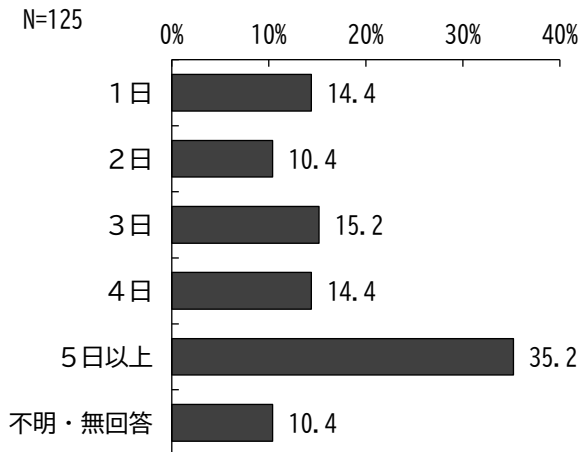


■子どもの学年別・母親の就労状況別の集計

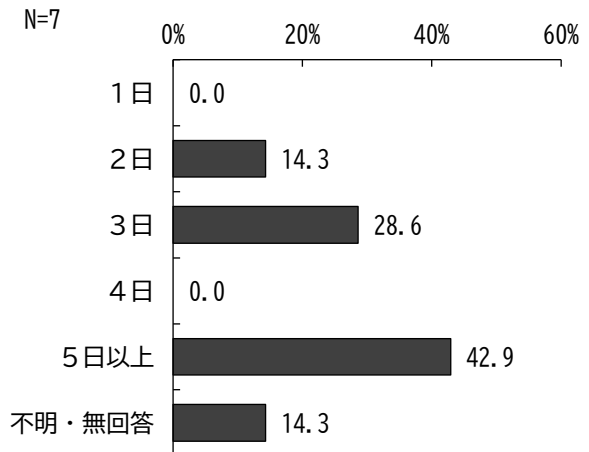
単位 (%)

		学童保育所	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	民間の預かり保育	その他	利用していない	不明・無回答
全体 (N=1,768)		29.6	0.1	3.0	0.2	1.1	66.4	0.1
学年別	1年生 (N=1477)	35.3	0.0	3.0	0.3	1.3	60.5	0.1
	2年生 (N=1465)	31.3	0.2	2.6	0.2	0.9	65.1	0.2
	3年生 (N=1242)	21.0	0.1	3.3	0.0	1.1	74.7	0.1
母親の就労状況別	週に30時間以上で働いている (N=1,424)	62.2	0.1	2.1	0.3	1.4	34.8	0.0
	週に16時間以上、30時間未満で働いている (N=1,101)	23.5	0.0	4.2	0.2	1.5	70.9	0.0
	週に16時間未満で働いている (N=584)	6.3	0.2	2.6	0.0	0.7	90.2	0.2
	休職中だが、週に30時間以上での復帰を予定している (N=78)	25.6	0.0	0.0	0.0	0.0	74.4	0.0
	休職中だが、週に30時間未満での復帰を予定している (N=49)	18.4	0.0	2.0	0.0	2.0	75.5	2.0
	現在求職中である (N=62)	11.3	0.0	1.6	0.0	0.0	87.1	0.0
	現在仕事をしていない（休職中を含む）が、仕事をしたい（復帰したい） (N=319)	2.8	0.0	3.4	0.0	0.6	92.5	0.6
	現在仕事をしておらず（休職中を含む）、今のところ仕事をする（復帰する）予定はない (N=521)	1.0	0.2	2.9	0.0	0.2	95.8	0.0
	その他 (N=42)	11.9	0.0	7.1	0.0	2.4	76.2	2.4

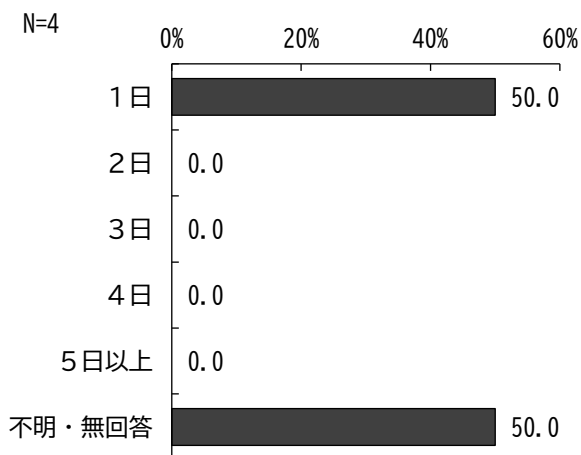
放課後等デイサービスを利用している日数



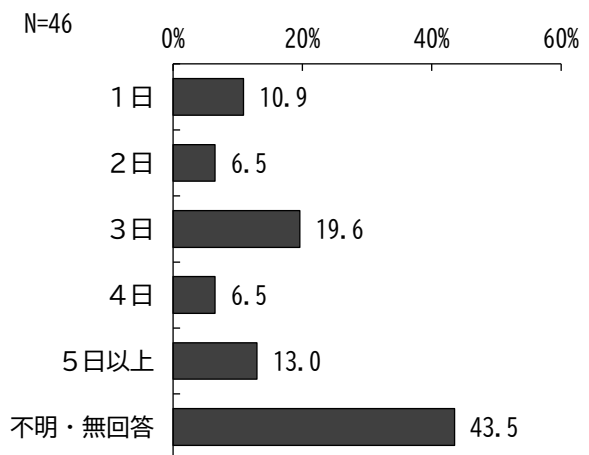
民間の預かり保育を利用している日数



ファミリー・サポート・センターを利用している日数



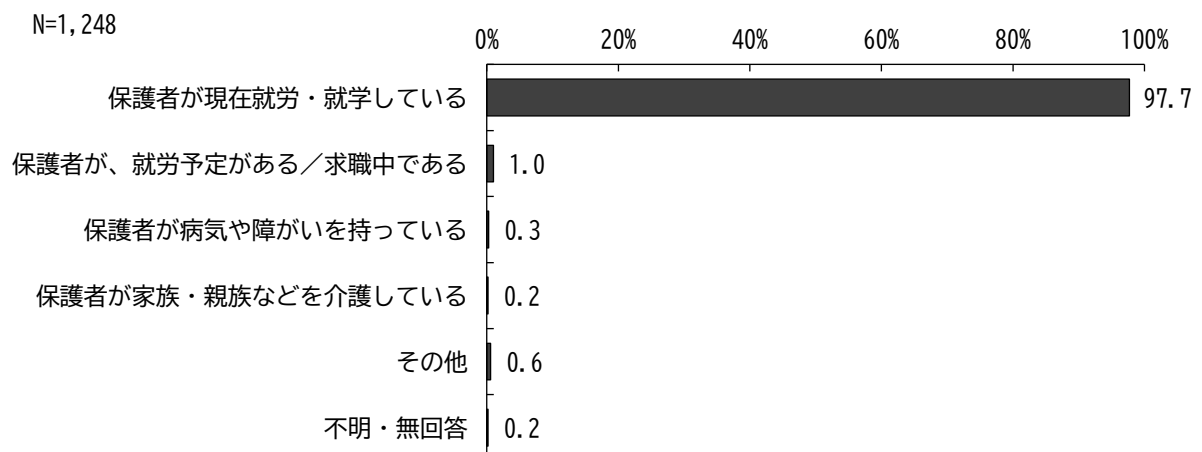
その他を利用している日数



問 10 で「学童保育所」と回答した人のみ

問 11 学童保育所を利用している理由についてお答えください。(もっとも近いもの1つを選択)

「保護者が現在就労・就学している」が97.7%となっています。

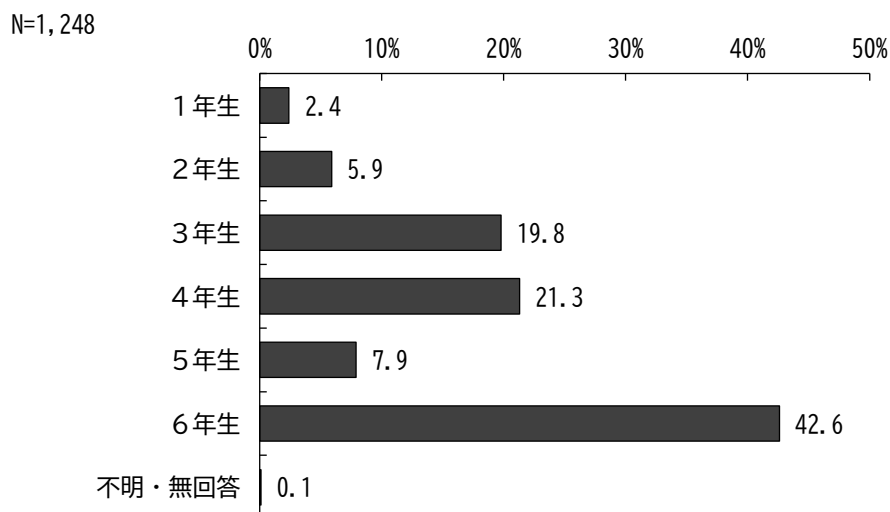


問 10 で「学童保育所」と回答した人のみ

問 12 学童保育所を何年生まで利用したいと思いますか。

「6年生」が 42.6%で最も多く、次いで「4年生」が 21.3%、「3年生」が 19.8%となっています。

学年別でみると、上の学年ほど「6年生」が多くなっています。



■子どもの学年別の集計

単位 (%)

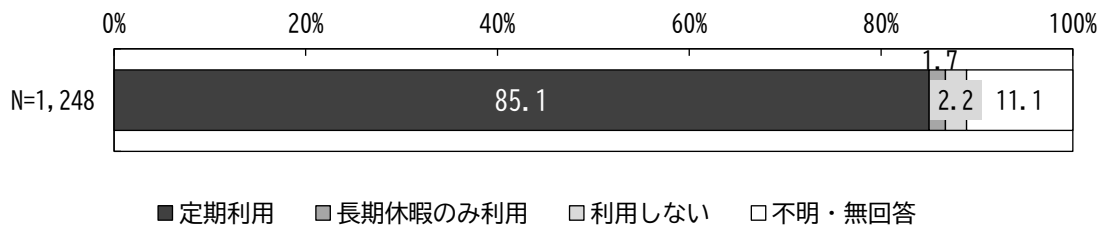
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明・無回答
全体 (N=1,248)		2.4	5.9	19.8	21.3	7.9	42.6	0.1
学年別	1年生 (N=522)	5.0	5.2	23.9	23.4	6.1	36.2	0.2
	2年生 (N=458)	0.0	9.4	18.1	18.8	8.5	45.2	0.0
	3年生 (N=261)	1.1	1.5	13.8	21.8	10.3	51.3	0.0

問 10 で「学童保育所」と回答した人のみ

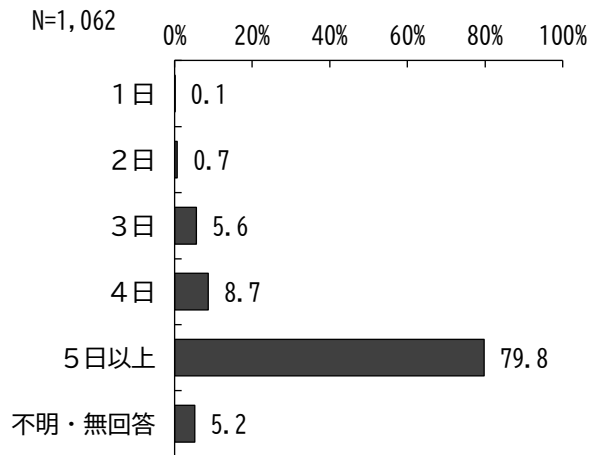
問 13 各学年でどのような形態で利用したいですか。

上の学年ほど「定期利用」が減少し、「長期休暇のみの利用」が増加しています。

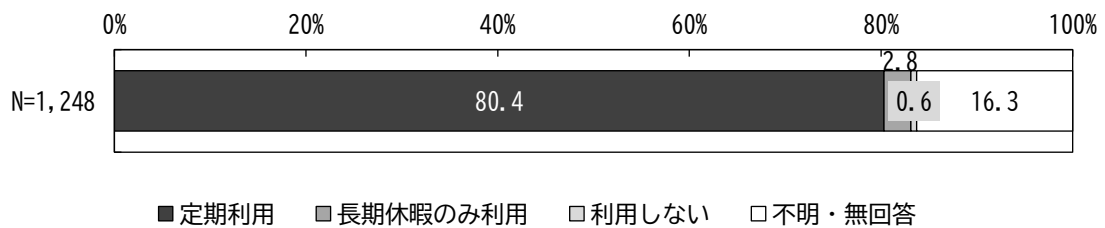
1 年生で希望する利用形態



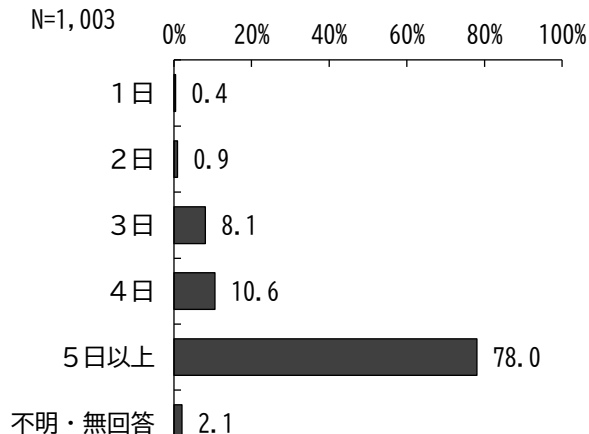
定期利用の場合の週当たりの利用希望日数



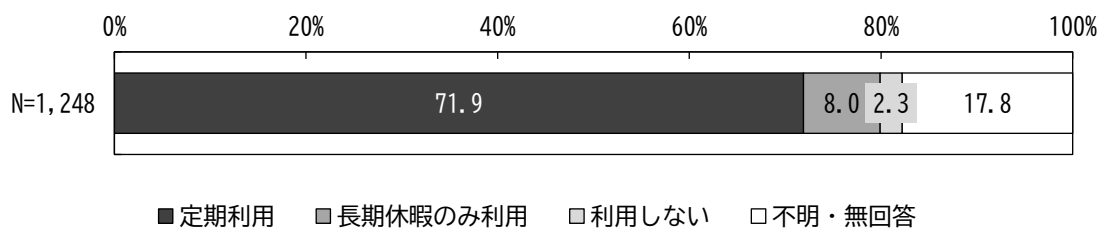
2 年生で希望する利用形態



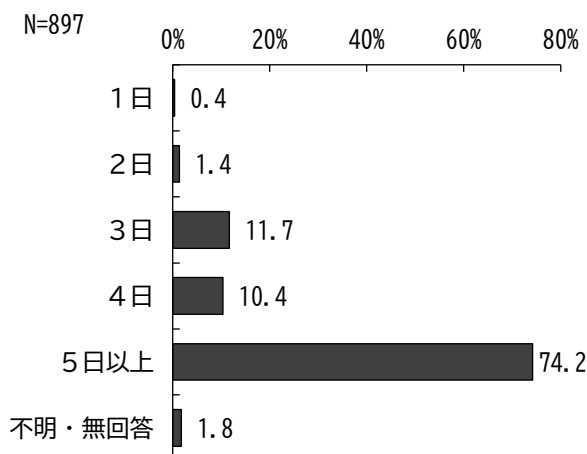
定期利用の場合の週当たりの利用希望日数



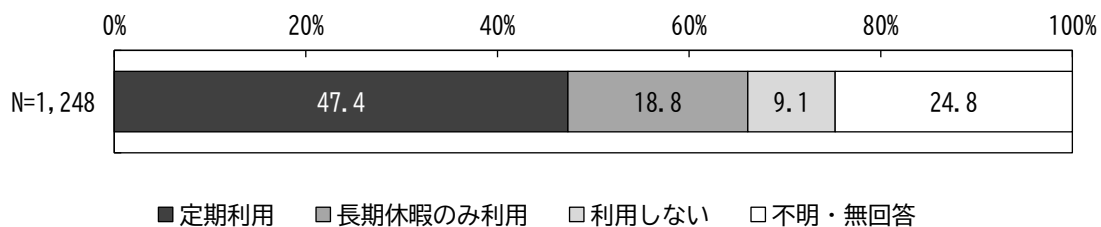
3年生で希望する利用形態



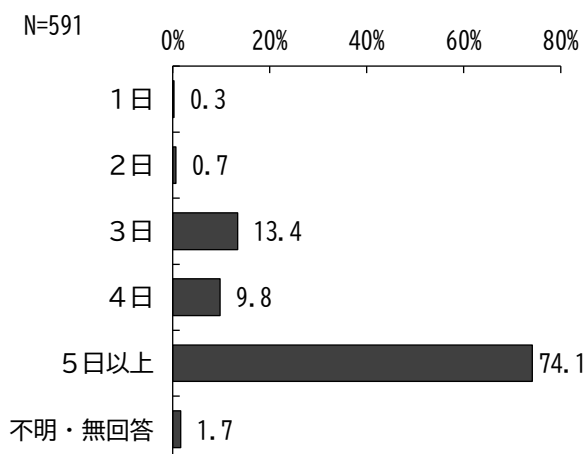
定期利用の場合の週当たりの利用希望日数



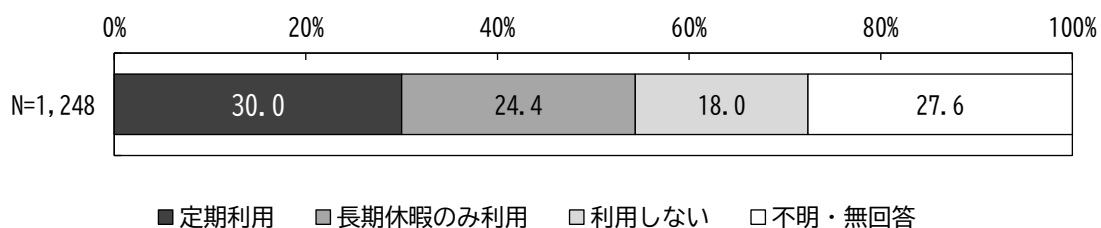
4年生で希望する利用形態



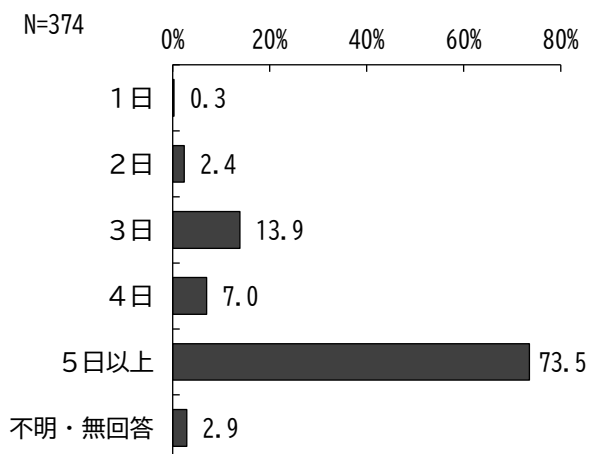
定期利用の場合の週当たりの利用希望日数



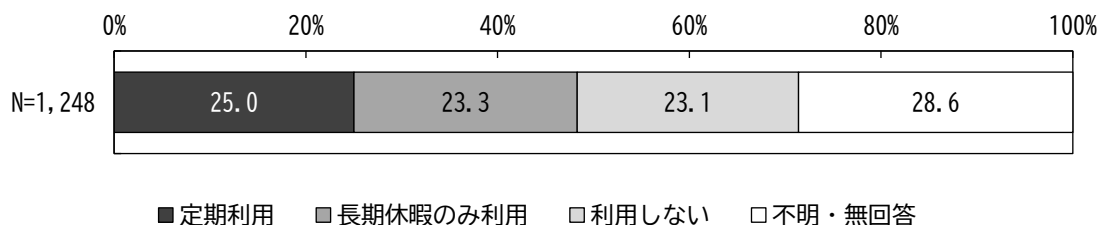
5年生で希望する利用形態



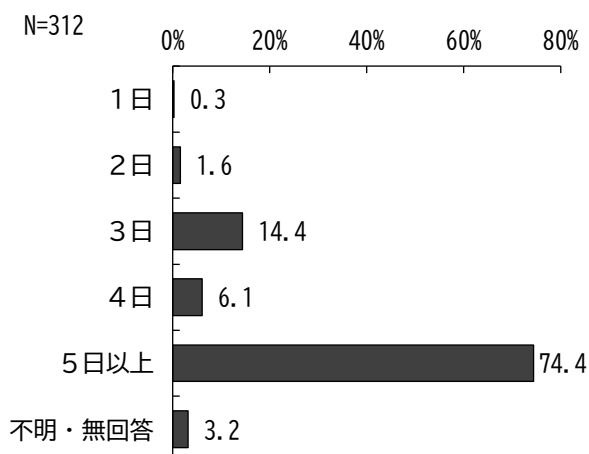
定期利用の場合の週当たりの利用希望日数



6年生で希望する利用形態



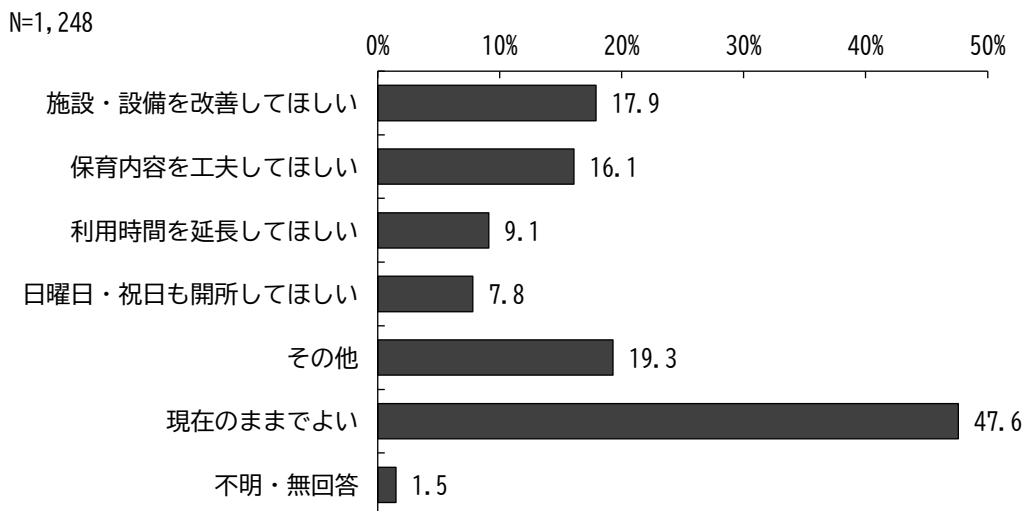
定期利用の場合の週当たりの利用希望日数



問 10 で「学童保育所」と回答した人のみ

問 14 現在通っている学童保育所に対して要望はありますか。【複数回答】

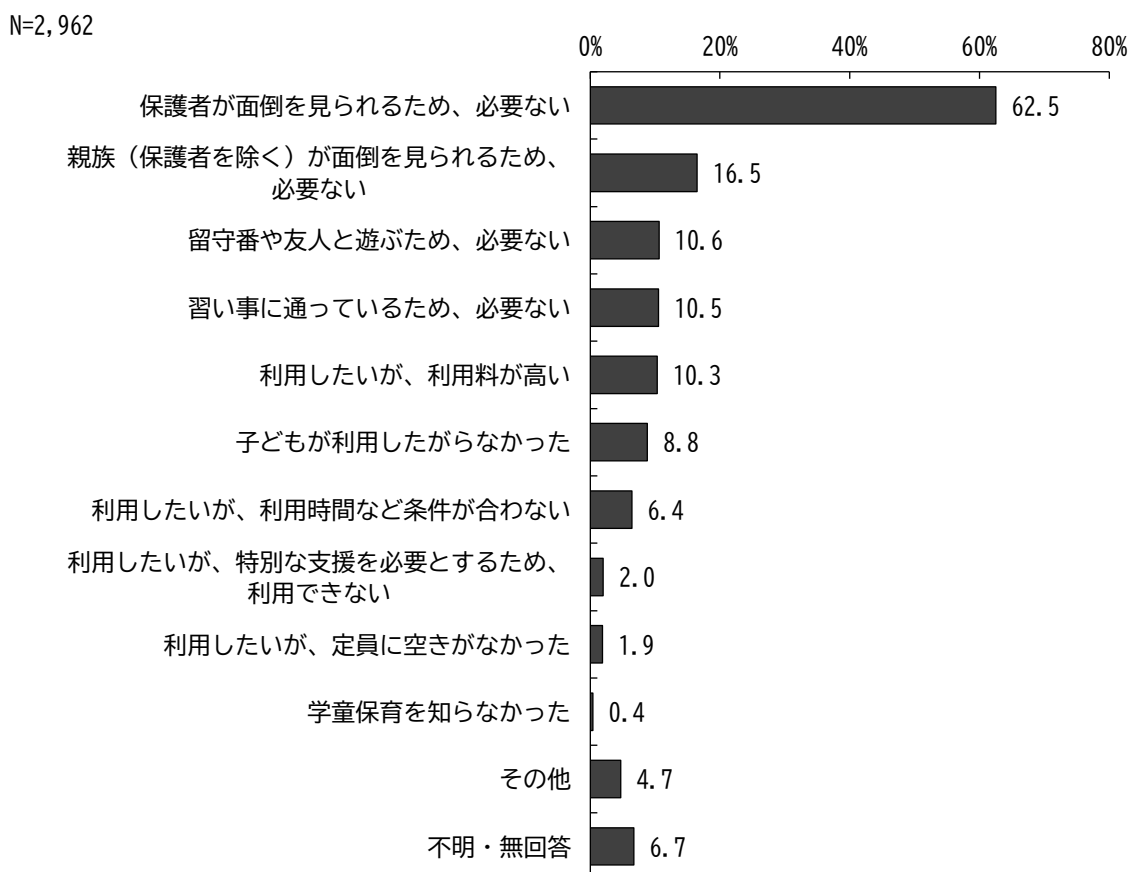
「現在のままでよい」が 47.6%で最も多く、次いで「その他」を除くと「施設・設備を改善してほしい」が 17.9%、「保育内容を工夫してほしい」が 16.1%となっています。



問 10 で「学童保育所」と回答しなかった人のみ

問 15 学童保育所を利用していない理由は何ですか。【複数回答】

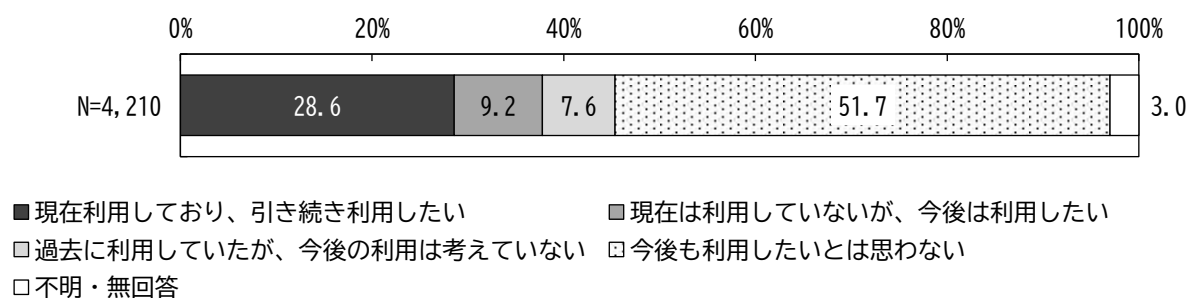
「保護者が面倒を見られるため、必要ない」が 62.5%で最も多くなっています。



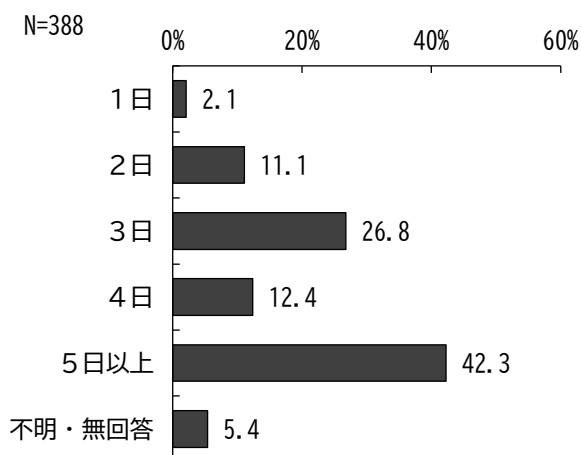
問 16 今後、学童保育所を利用したいと思いますか。

「現在利用しており、引き続き利用したい」が28.6%、「現在は利用していないが、今後は利用したい」が9.2%となっています。

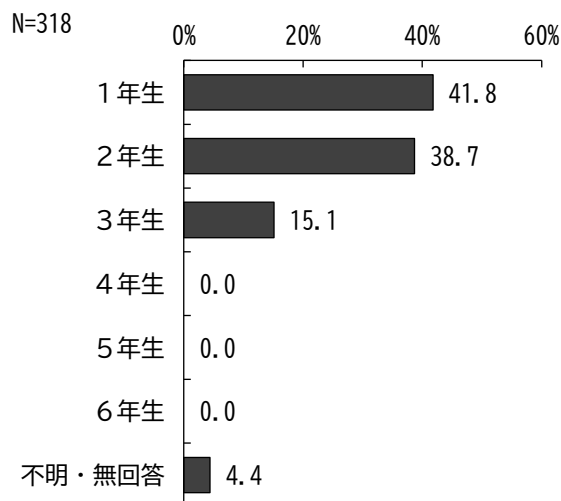
「現在は利用していないが、今後は利用したい」を回答した人の利用したい週当たり日数は「5日以上」が最も多くなっています。「過去に利用していたが、今後の利用は考えていない」を回答した人の利用していた学年は「1年生」が41.8%で最も多く、次いで「2年生」が38.7%となっています。



「現在は利用していないが、今後は利用したい」を回答した人の利用したい週当たり日数

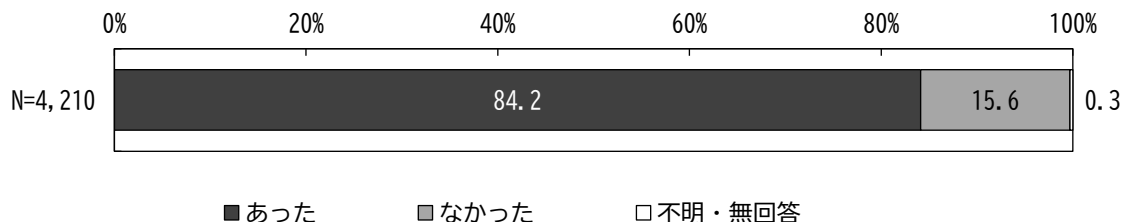


「過去に利用していたが、今後の利用は考えていない」を回答した人の何年生まで利用していたか



問 17 この１年間に、お子さんが病気やけが、学級閉鎖などで学校に通えなかったことはありましたか。

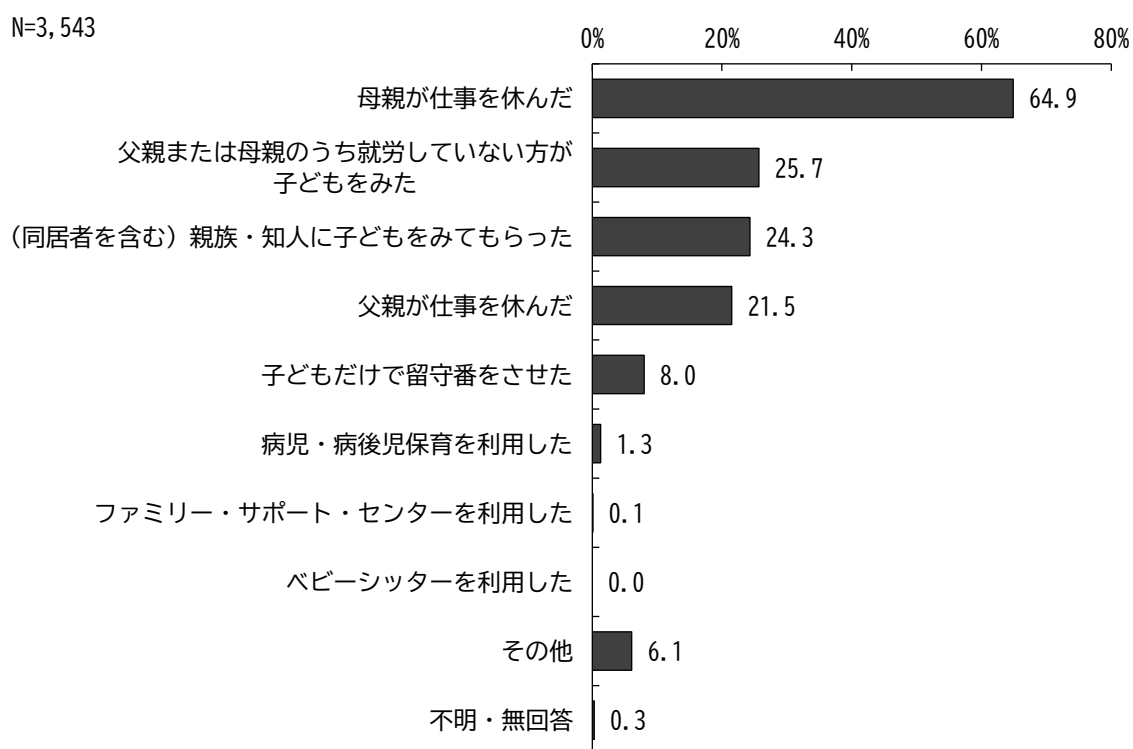
「あった」が 84.2%、「なかった」が 15.6%となっています。



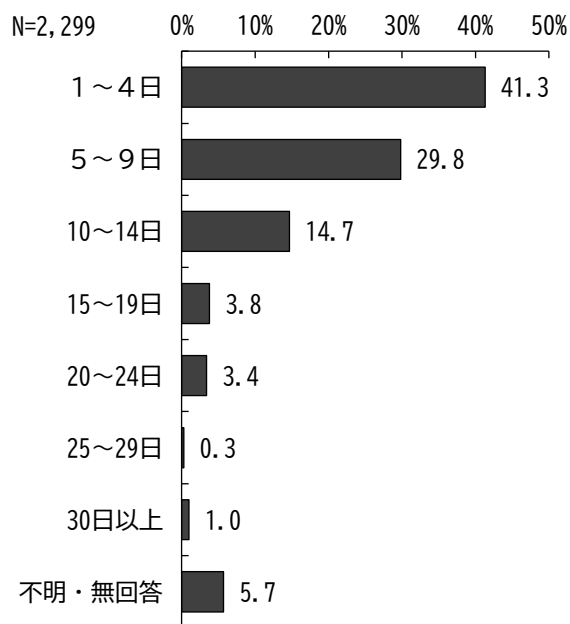
問 18 お子さんが病気やけがで、いつも利用している学校に通えなかった日の、この１年間にを行った対処方法は何ですか。【複数回答】

「母親が仕事を休んだ」が 64.9%で最も多く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 25.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が 24.3%となっています。

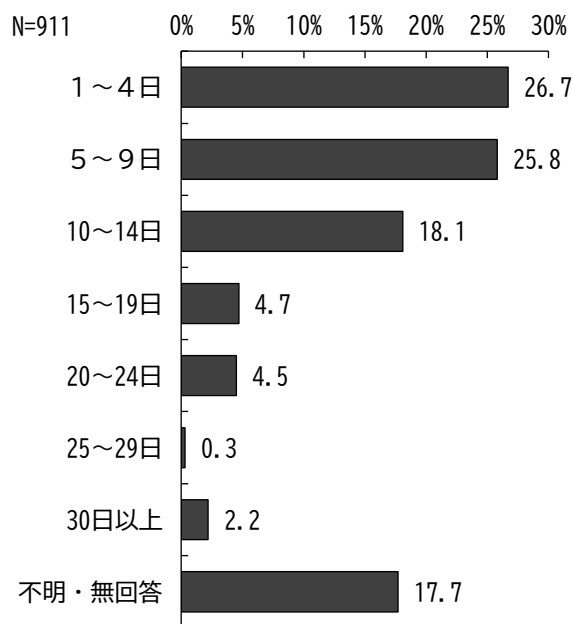
各対処方法の日数については、いずれについても「１～４日」が最も多くなっていますが、平均的な日数でみると、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が最も多く、次いで「母親が仕事を休んだ」が多くなっています。



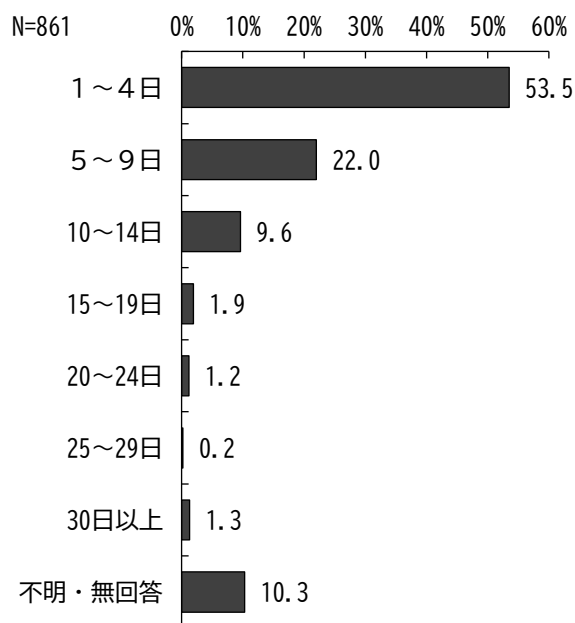
母親が仕事を休んだ日数



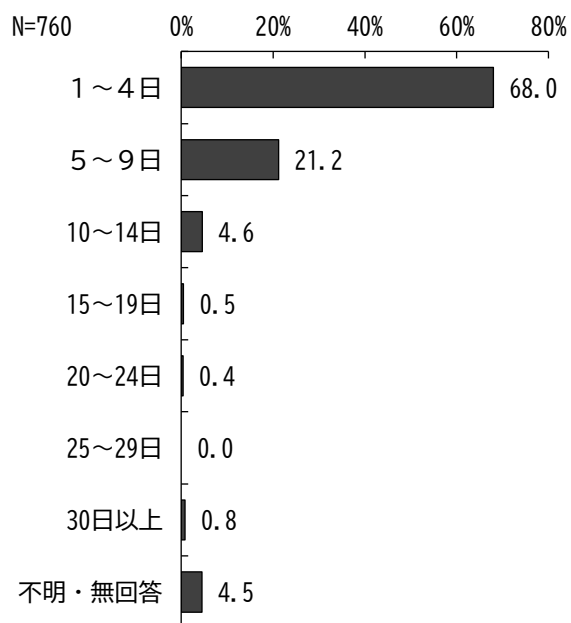
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



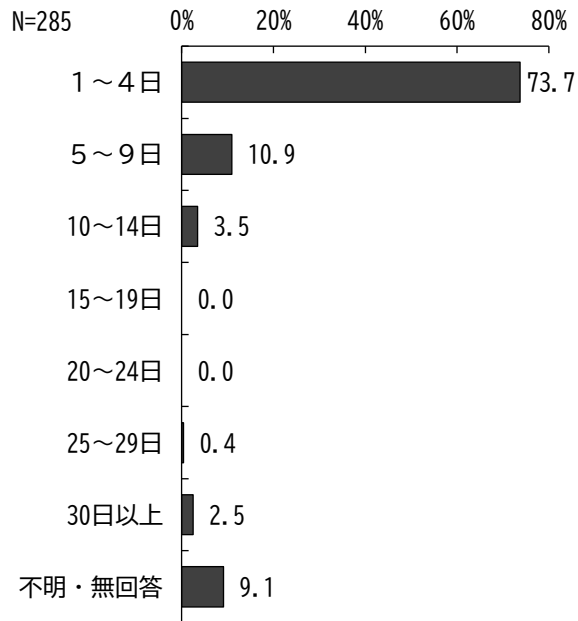
(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数



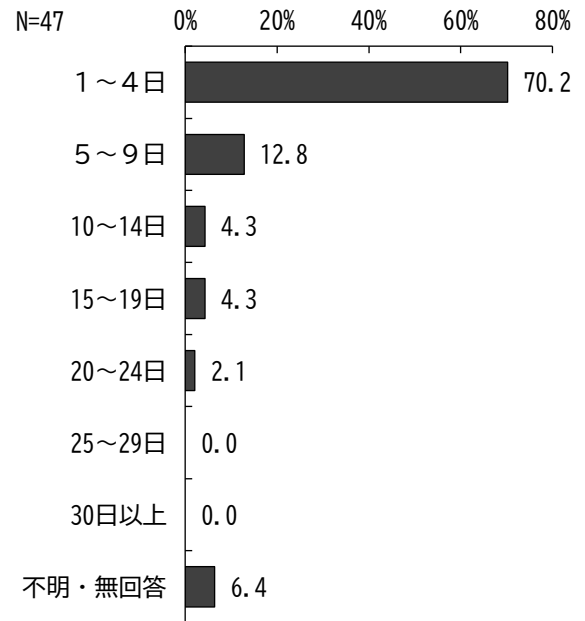
父親が仕事を休んだ日数



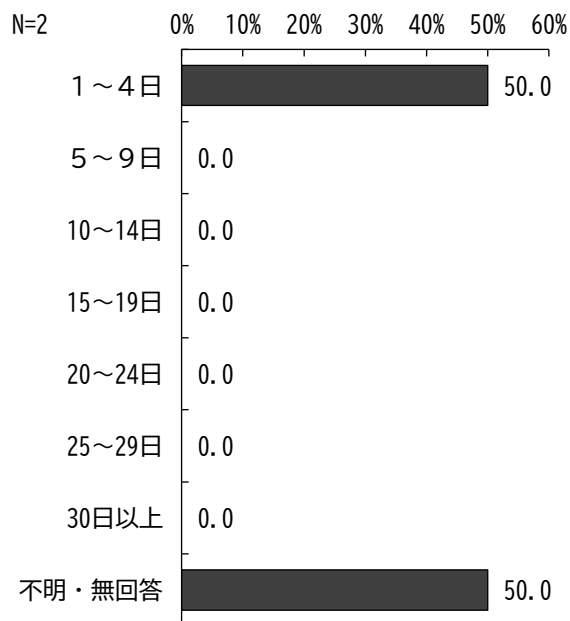
子どもだけで留守番をさせた日数



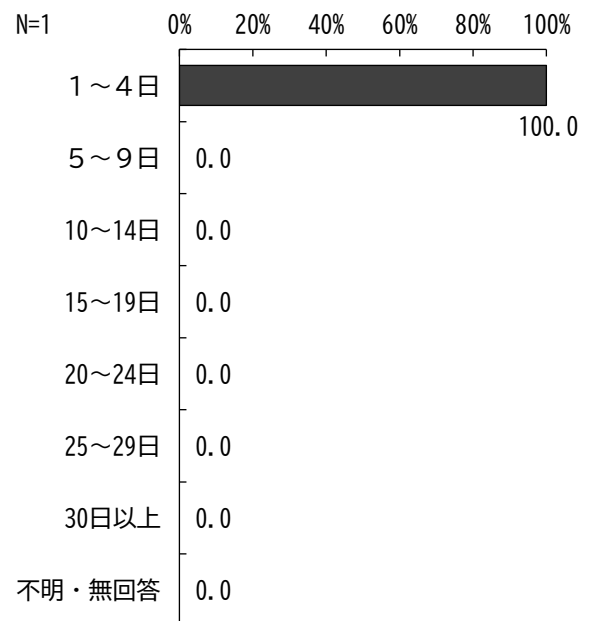
病児・病後児保育を利用した日数



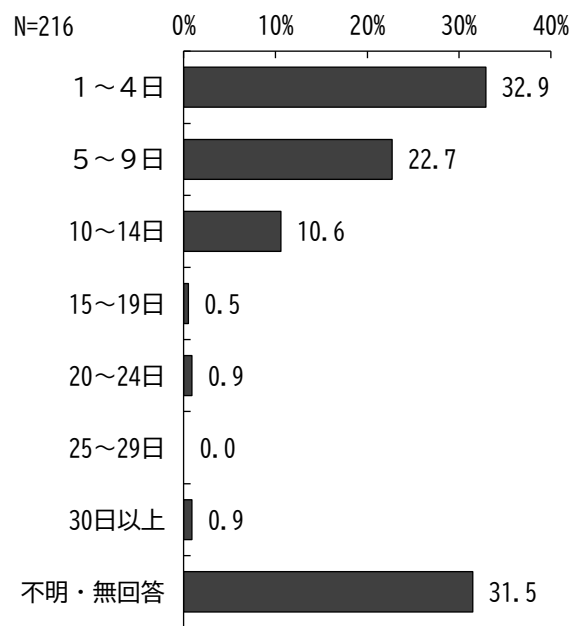
ファミリー・サポート・センターを利用した日数



ベビーシッターを利用した日数



その他の日数

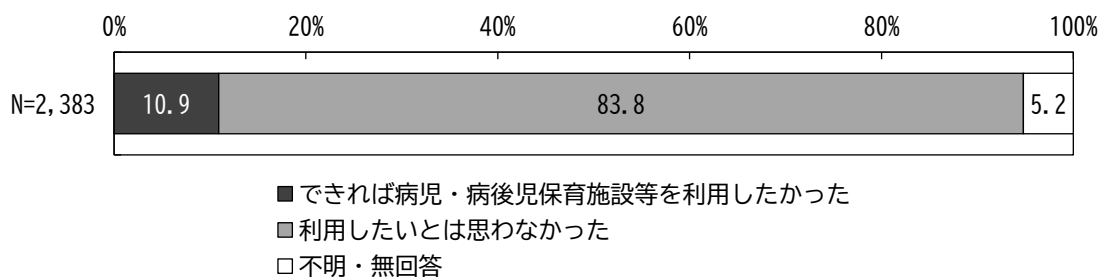


問 18 で「父親が仕事を休んだ」または「母親が仕事を休んだ」と回答した人のみ

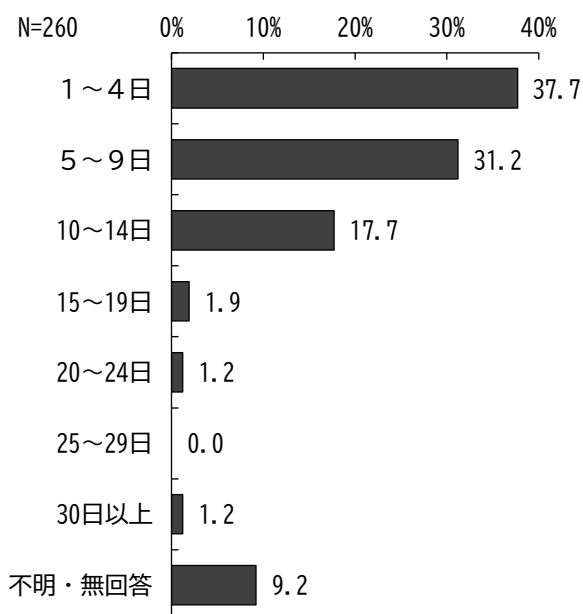
問 19 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が 10.9%となっています。

利用したかった年間日数については、「1～4日」が 37.7%で最も多く、次いで「5～9日」が 31.2%となっています。



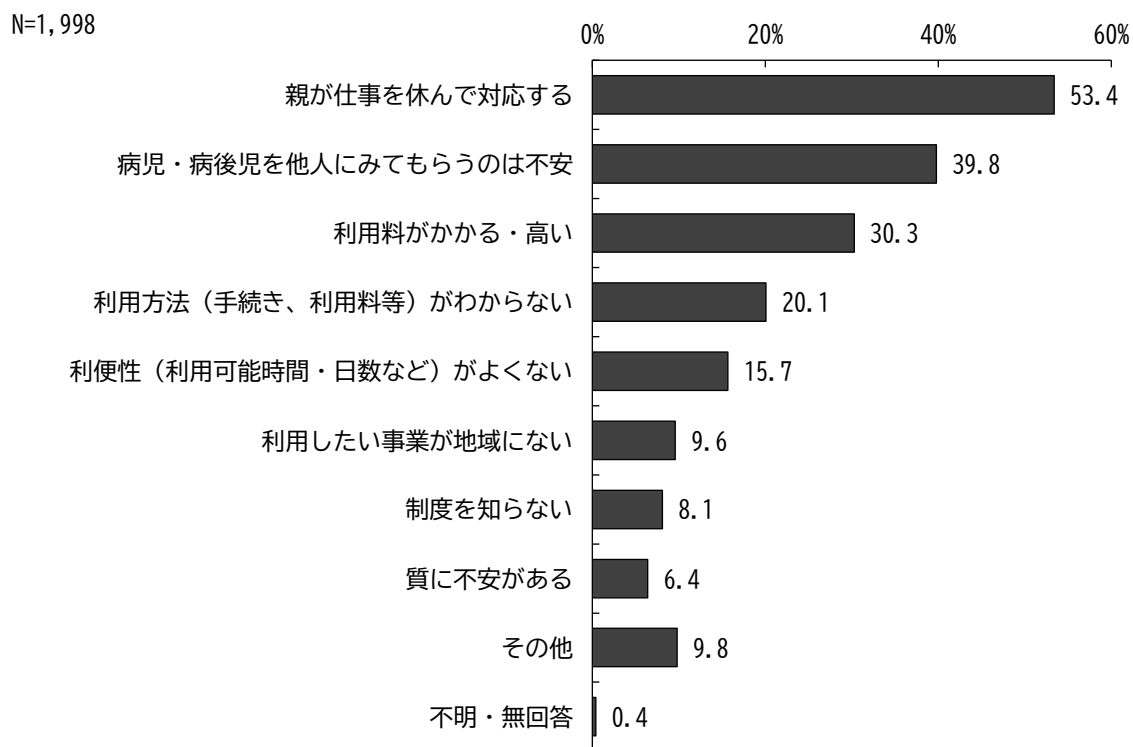
利用したかった年間日数



問 19 で「利用したいとは思わなかった」と回答した人のみ

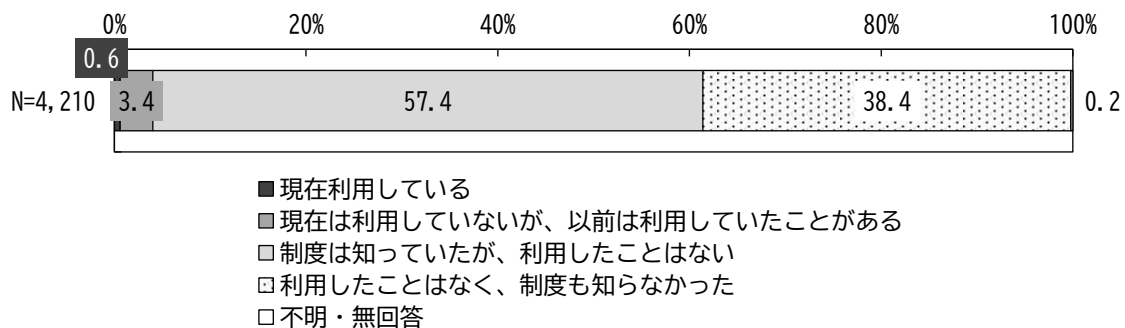
問 20 そう思われる理由は何ですか。【複数回答】

「親が仕事を休んで対応する」が 53.4%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 39.8%、「利用料がかかる・高い」が 30.3%となっています。



問 21 これまで、ファミリー・サポート・センターを利用したことはありますか。

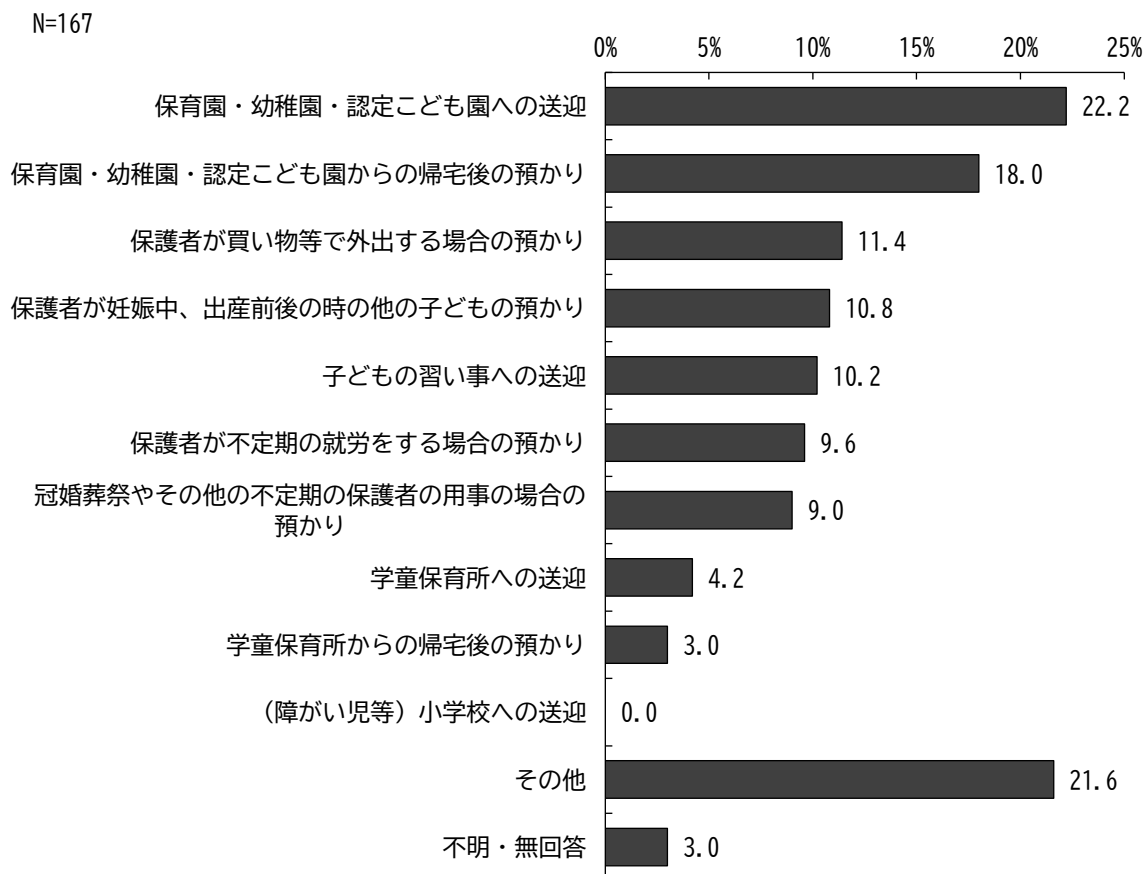
「現在利用している」が 0.6%、「現在は利用していないが、以前は利用していたことがある」が 3.4%となっており、95.8%が「利用したことはない」と回答しています。



問 21 で「現在利用している」「現在は利用していないが、以前は利用していたことがある」と回答した人のみ

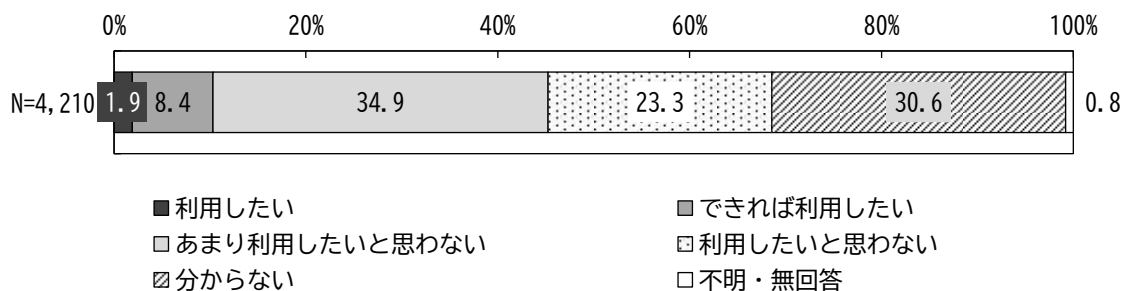
問 22 特にどのような場合に利用していますか（していましたか）。【複数回答】

「保育園・幼稚園・認定こども園への送迎」が 22.2%で最も多く、次いで「保育園・幼稚園・認定こども園からの帰宅後の預かり」が 18.0%となっています。



問 23 今後、ファミリー・サポート・センターを利用したいと思いますか。

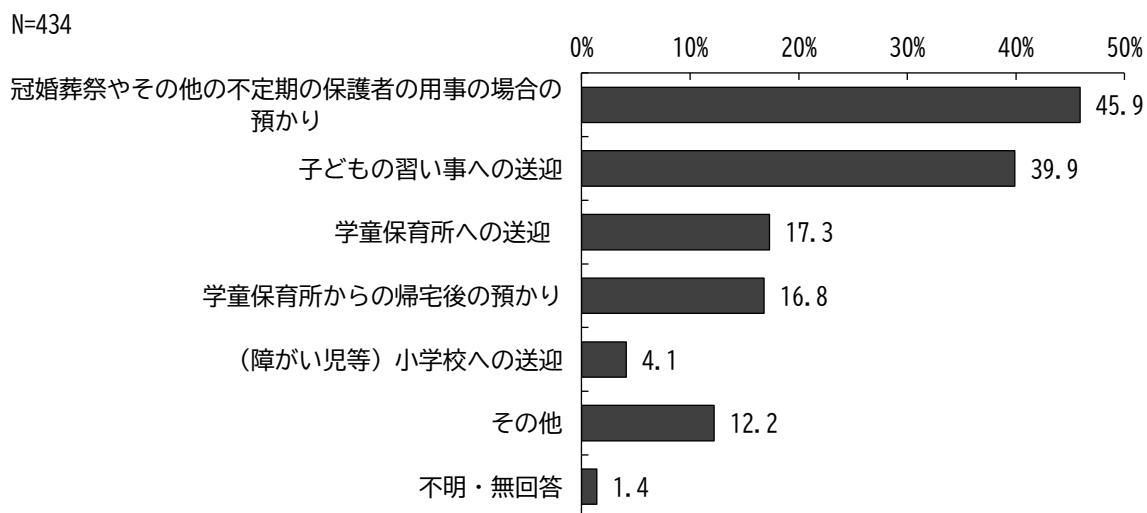
「利用したい」が 1.9%、「できれば利用したい」が 8.4%となっています。



問 23 で「利用したい」「できれば利用したい」と回答した人のみ

問 24 今後どのような場合にファミリー・サポート・センターを利用したいですか。【複数回答】

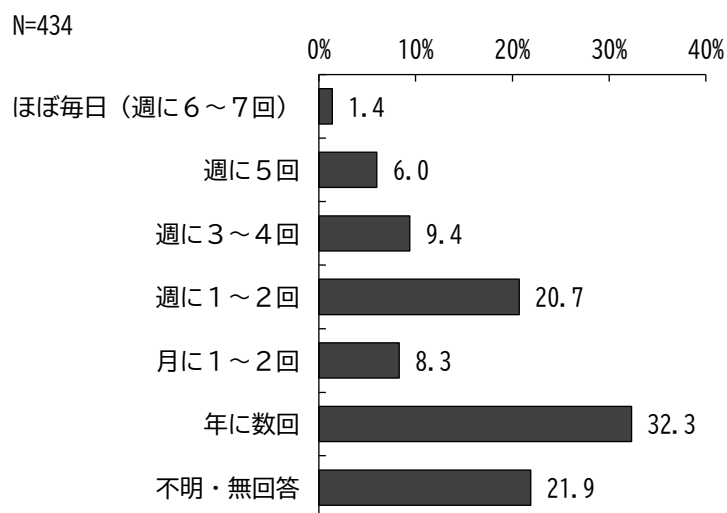
「冠婚葬祭やその他の不定期の保護者の用事の場合の預かり」が 45.9%で最も多く、次いで「子どもの習い事への送迎」が 39.9%となっています。



問 23 で「利用したい」「できれば利用したい」と回答した人のみ

問 25 どれくらいの頻度で利用したいですか。

「年に数回」が 32.3%で最も多く、次いで「週に 1～2 回」が 20.7%となっています。

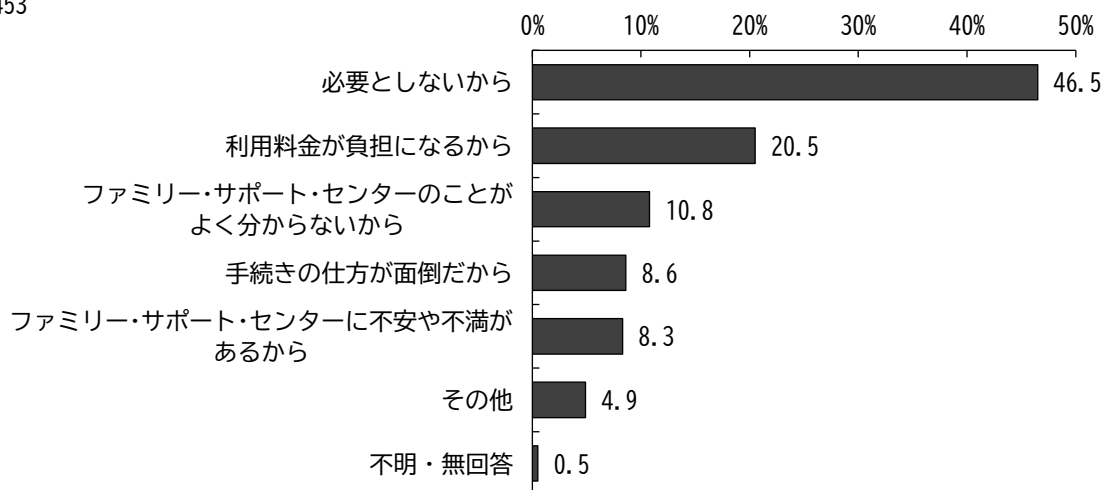


問 23 で「あまり利用したいと思わない」「利用したいと思わない」と回答した人のみ

問 26 利用しない、または利用しようと思わない一番の理由は何ですか。

「必要としないから」が 46.5%で最も多く、次いで「利用料金が負担になるから」が 20.5%となっています。

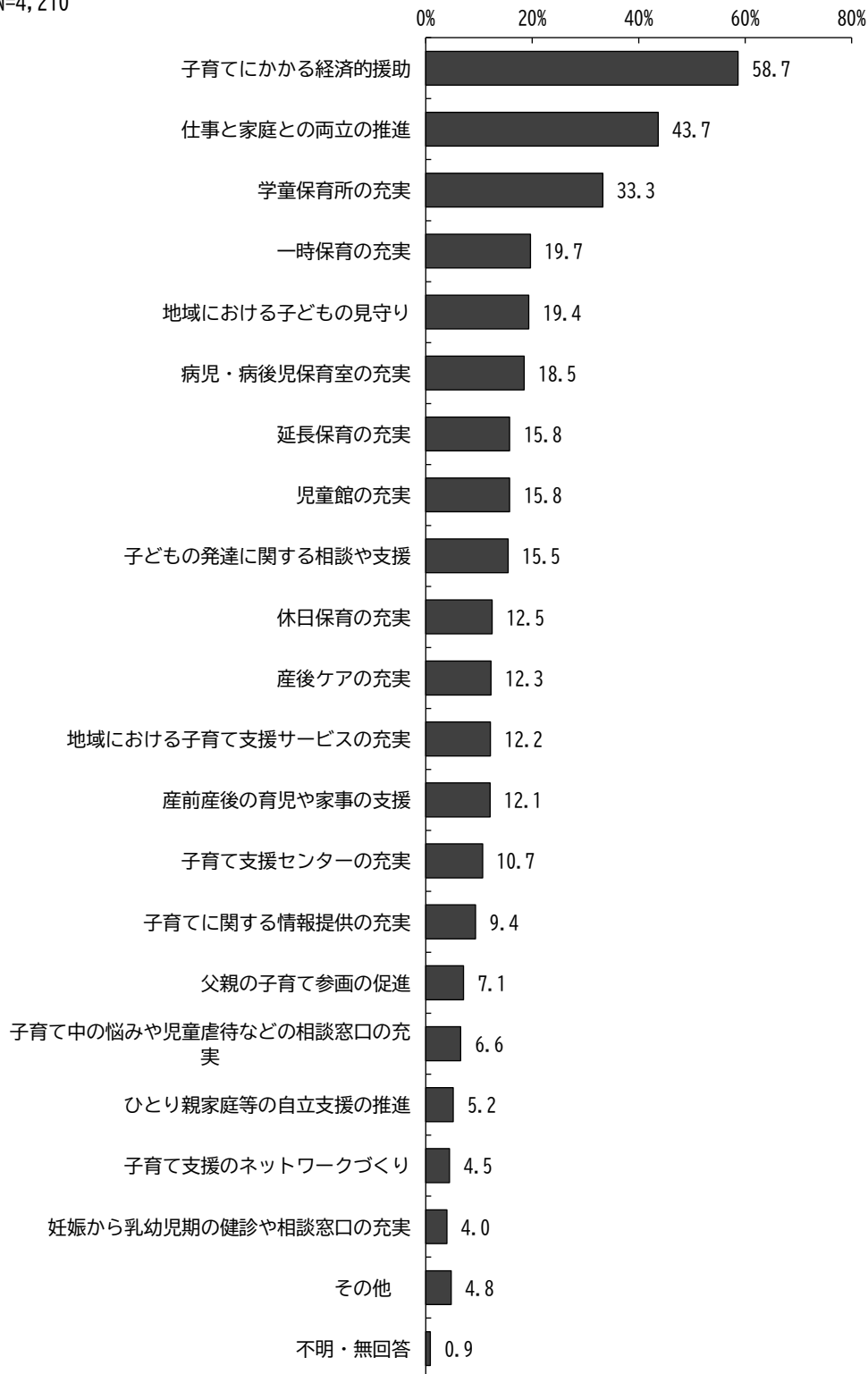
N=2,453



問 27 安心して子どもを産み育てるうえで、今後、市に期待する施策は何ですか。
【5つまで複数回答】

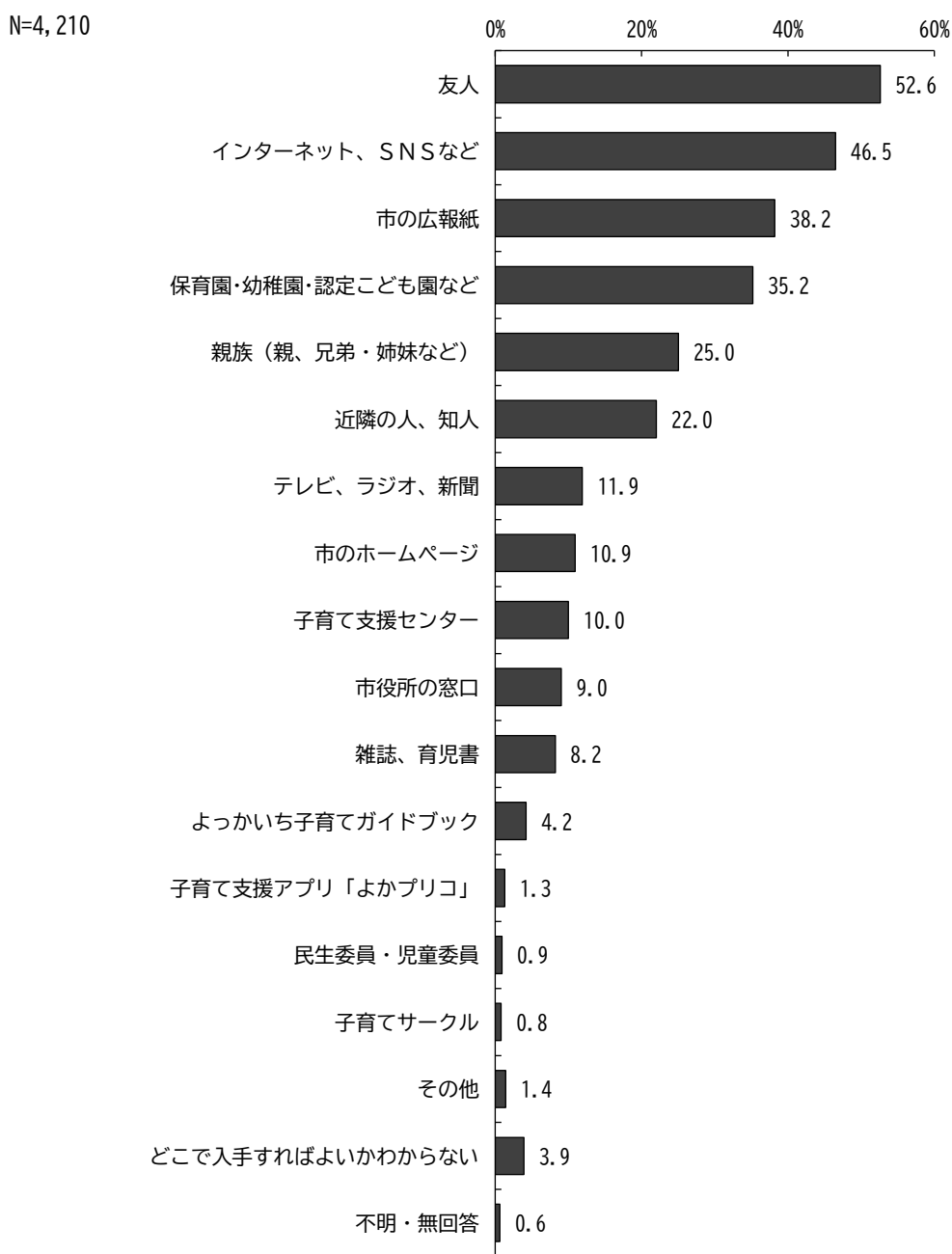
「子育てにかかる経済的援助」が 58.7%で最も多く、次いで「仕事と家庭との両立の推進」が 43.7%、「学童保育所の充実」が 33.3%となっています。

N=4,210



問 28 子育てに関する情報をどのように入手していますか。【複数回答】

「友人」が 52.6%で最も多く、次いで「インターネット、SNSなど」が 46.5%、「市の広報紙」が 38.2%となっています。

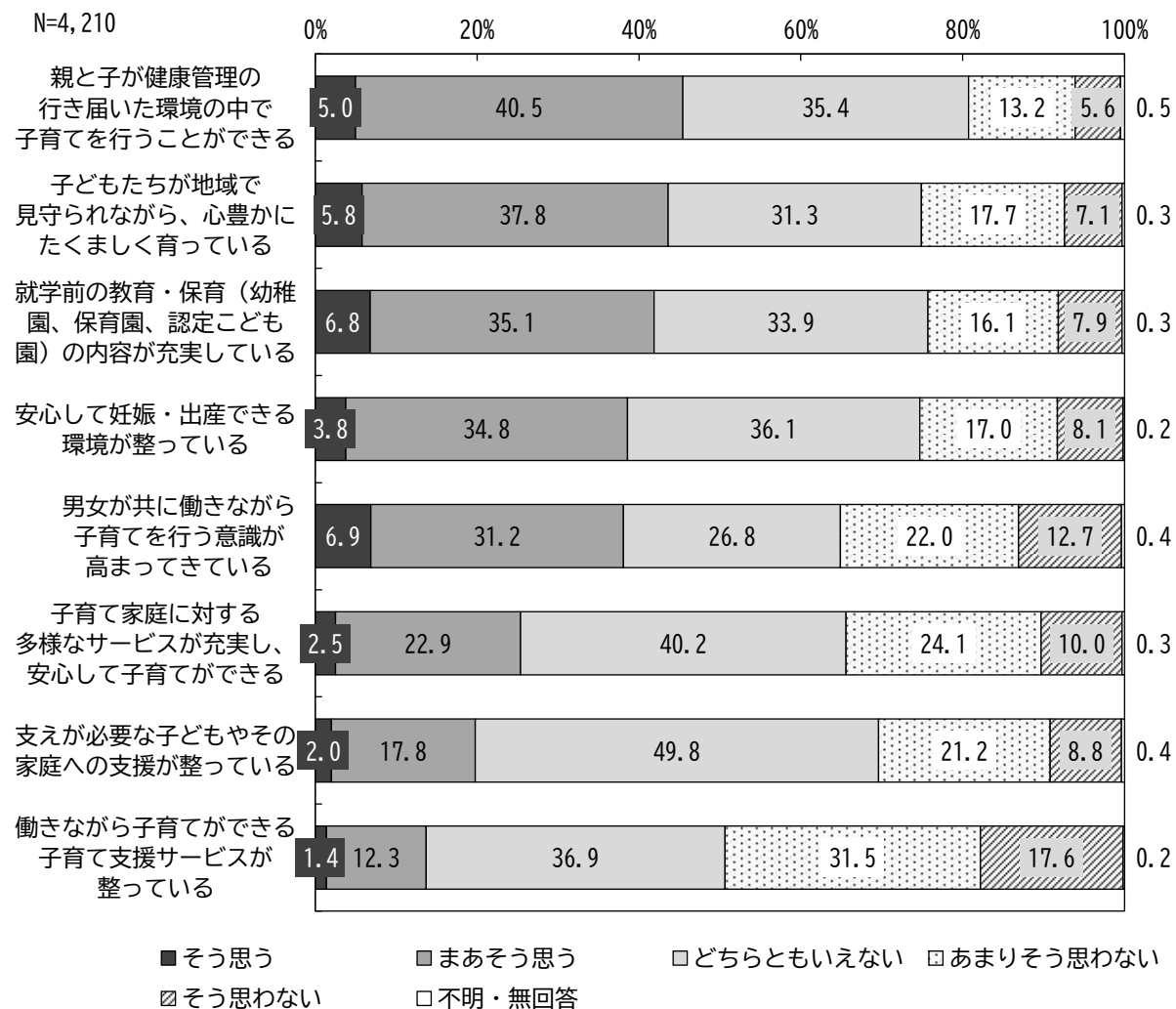


問 29 四日市市において、次の点について、どのようにお感じになりますか。それぞれについて、どのように感じているかを1～5の5段階でお答えください。

【それぞれあてはまるもの1つを選択】

「そう思う」と「まあそう思う」の合計でみると、「親と子が健康管理の行き届いた環境の中で子育てを行うことができる」が45.5%で最も多く、次いで「子どもたちが地域で見守られながら、心豊かにたくましく育っている」が43.6%、「就学前の教育・保育（幼稚園、保育園、認定こども園）の内容が充実している」が41.9%となっています。

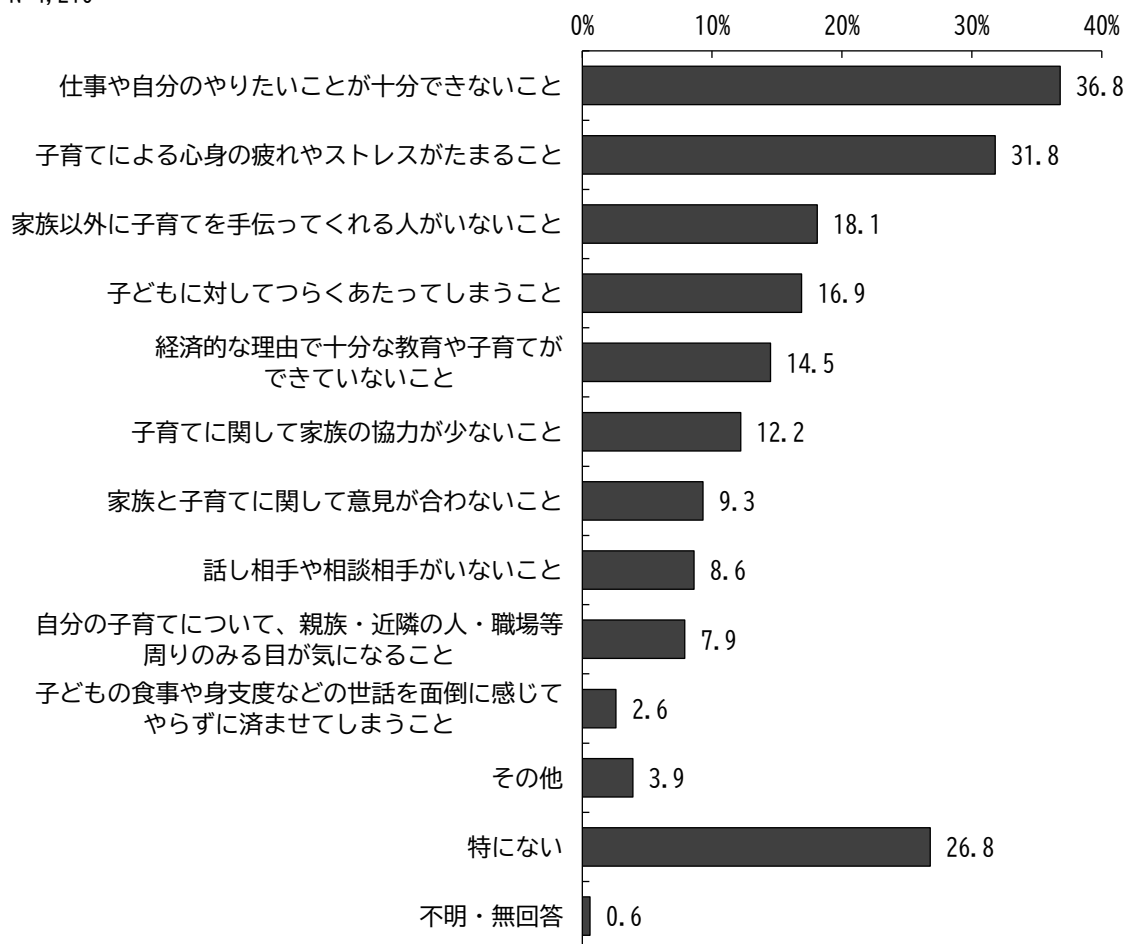
「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計でみると、「働きながら子育てができる子育て支援サービスが整っている」が49.1%で最も多く、次いで「男女が共に働きながら子育てを行う意識が高まってきている」が34.7%、「子育て家庭に対する多様なサービスが充実し、安心して子育てができる」が34.1%となっています。



問 30 子育て環境に関して、日頃特に不安や負担等を感じる事、また気になることはどのようなことですか。【複数回答】

「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が 36.8%で最も多く、次いで「子育てによる心身の疲れやストレスがたまること」が31.8%となっています。

N=4, 210

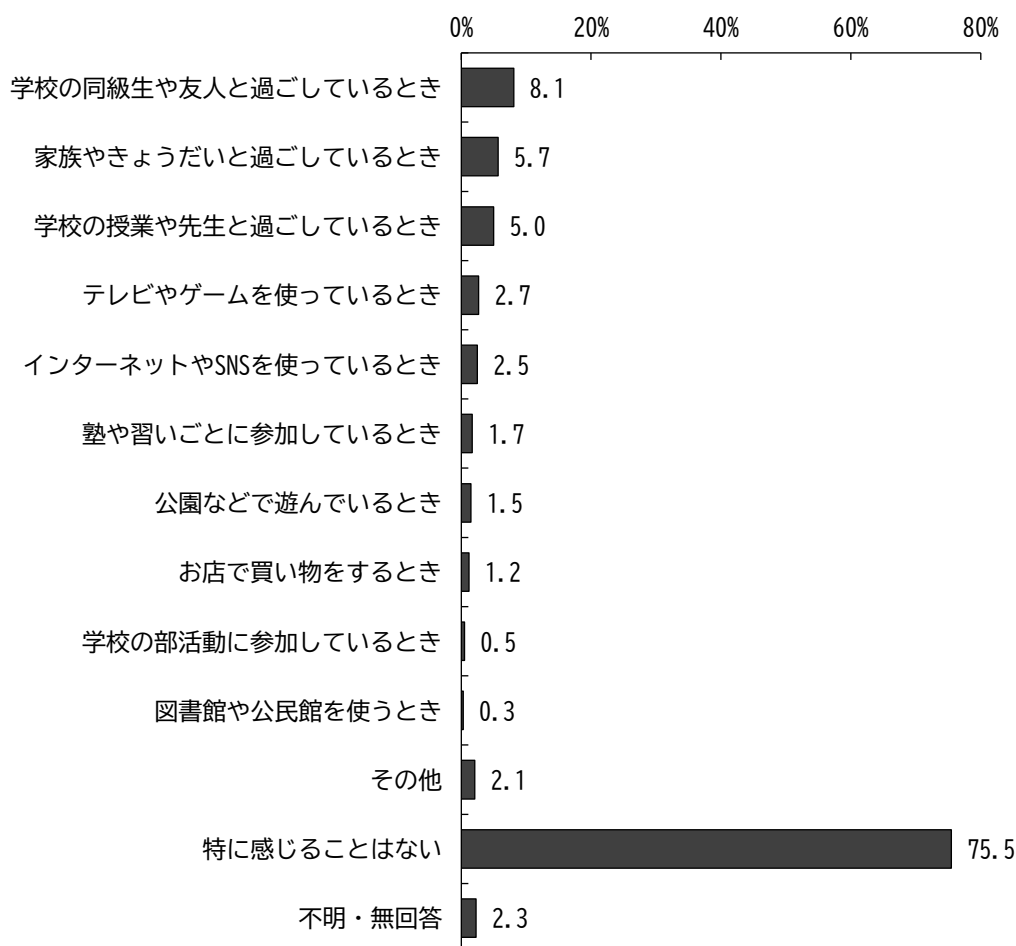


問 31 あなたのお子さんの普段の生活の中で、お子さんが大切にされていない、お子さんの意見が聞いてもらえない、お子さんの心が傷つけられるなど、お子さんの権利が守られていないと感じることがありますか。あるとすれば、どのような場面でそうだと感じますか。

【複数回答】

「特に感じることはない」が 75.5%で最も多くなっています。そうだと感じる場面については、「学校の同級生や友人と過ごしているとき」が 8.1%で最も多くなっています。

N=4, 210



問 32 問 31 で、お子さんの権利が守られていないと感じることがあるという方は、よろしければ具体的に、どんなことがあるかをお答えください。書きたくないことを無理に答える必要はありません。

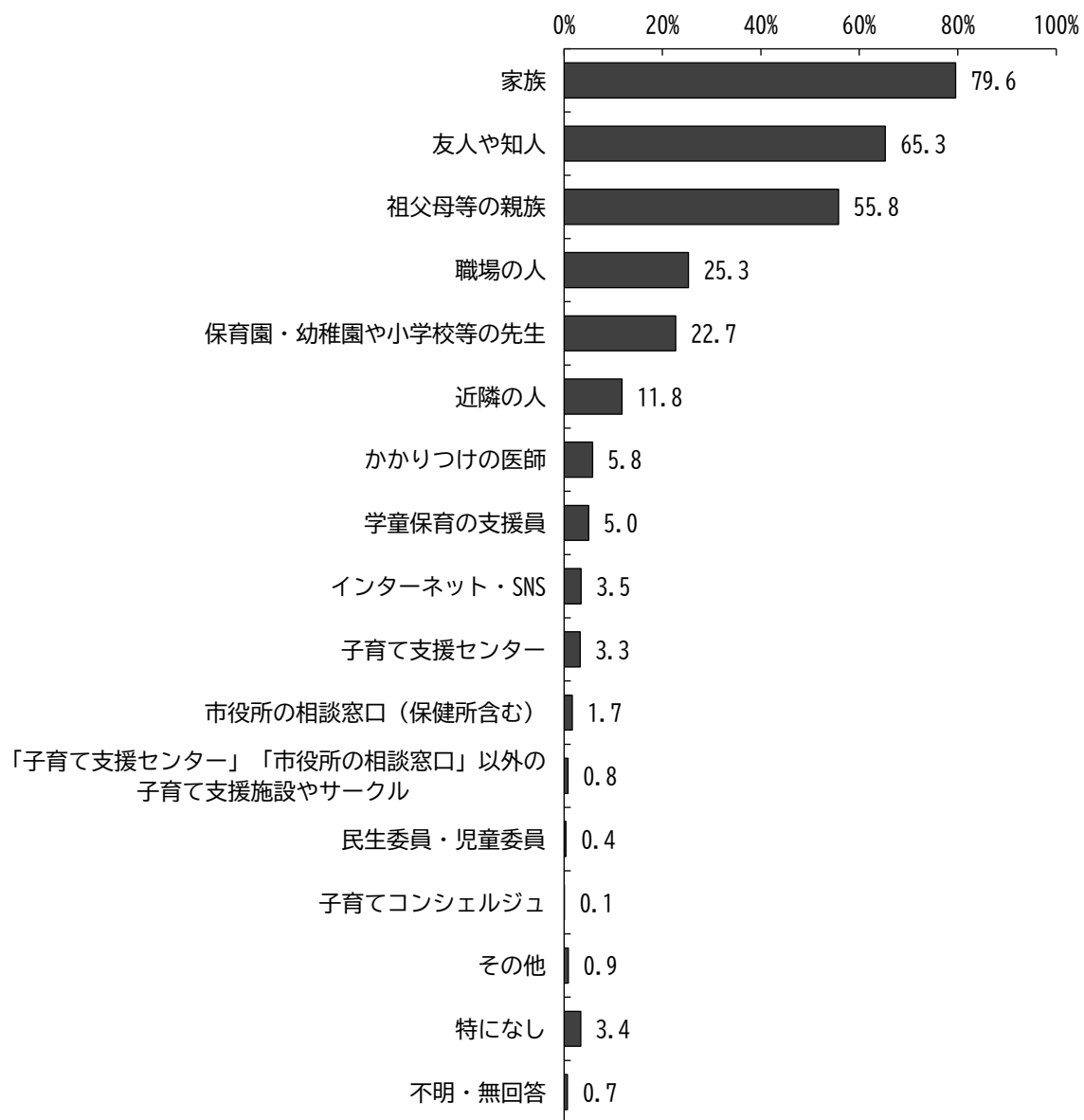
記入された意見を内容別に分類したところ、368 人から 375 件の回答がありました。寄せられた意見の内容別の件数は以下の通りです。

No.	分野	主な内容	件数
1	親・兄弟との関わり	・忙しくて子どもにあたってしまう ・手のかかる子を優先して他の子がおろそかになる ・親からの暴言や不適切な関わり ・きょうだい間の力関係 等	75
2	指導者の関わり	・学校の教員、学童保育の指導員、保育者、地域クラブの指導者等からの不適切な指導、暴言等 ・いじめや子ども間の問題に適切に対応しない 等	61
3	子ども間のいじめ・暴力	・他の子どもからの暴力、暴言、いじめ等	60
4	教育環境	・給食時間の短さ、登下校の荷物の重さ等の教育環境 ・クラスの問題や子どもの声に十分対応できない教員の不足、余力のなさ 等	42
5	他の子との関係	・自分の意見を十分言えない、言いなりになる ・気になる事や嫌なことを言われる ・一緒に遊べない 等	38
6	インターネットの利用・ゲーム等	・子どもにとって不適切な広告や表現にさらされる問題 ・健康への影響 等	23
7	育ちの環境	・公園等の規制、自由に遊べない環境 ・事故の危険のある交通状況 等	20
8	周囲の無理解	・公園などで周囲の大人の目を気にして遊ばざるを得ない ・子どもの声を迷惑だと言われる 等	19
9	子どもの意見が聞かれない	・子どもの言葉が無視される ・意見を言いにくい子どもの声が聴いてもらえない 等	13
10	障がいや発達の特性への無理解	・子どもの障がいや発達の特性への無理解、特性に応じた対応をしてもらえない 等	9
11	その他		16

問 33 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はどこですか。【複数回答】

「家族」が 79.6%で最も多く、次いで「友人や知人」が 65.3%、「祖父母等の親族」が 55.8%となっています。

N=167



問 34 最後に、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご回答ください。

記入された意見を内容別に分類したところ、645 人から 713 件の回答がありました。寄せられた意見の内容別の件数は以下の通りです。

No.	分野	主な内容	件数
1	学童保育について	・利用できない、利用しにくい ・定員や箇所を増やしてほしい ・市の直営等で内容を充実させてほしい ・学童保育ごとの格差をなくしてほしい ・保護者の負担が大きい 等	88
2	経済的支援について	・医療支援の年齢を上げてほしい ・進学のコストを支援してほしい ・保護者が働けずに収入が少ない間の支援が必要 ・経済的支援の充実 等	66
3	四日市市の子育て支援について	・子育てしにくいまちだと感じる ・多子支援だけでなく一子目から支援が必要 ・ひとり親や非課税世帯以外も支援してほしい ・子育て支援を充実させてほしい 等	61
4	PTA・子ども会等の地域活動について	・PTA・子ども会・育成会等の負担が大きい ・保護者の共働きを前提にかかわりを見直すべき ・入会したくない 等	48
5	学校・教育について	・タブレットが重く子どもの負担になっている ・少子化が進み子どもが減っていることが不安 ・学校の教育内容・教育環境の充実 等	46
6	公園・児童館について	・公園や遊び場を充実させてほしい ・児童館をつくってほしい 等	41
7	地域環境について	・通学路の危険な箇所について ・歩道を整備してほしい ・側溝に落ちないように対策が必要 等	37
8	子育て支援・保護者への支援について	・育児疲れに対する支援 ・ベビーシッターや家事支援等が必要 ・育児相談の充実、相談しやすい環境づくり 等	37
9	保育園・幼稚園・こども園等について	・待機児童をなくしてほしい ・必要な人が入所できるようにしてほしい ・預けられなくて働きたくても働けない 等	36
10	預かり保育について	・夏休み・休日等に利用できる預かり保育がほしい ・学童保育を利用できない、学童保育では対応できない場合の預かり保育が必要 等	35
11	職場環境について	・子育てへの理解が進んでほしい（急な病気への対応等） ・時短勤務等をやすくしてほしい ・子育て中の母親が働けるようにしてほしい 等	29
12	支援が必要な子どもについて	・発達に課題のある子どもへの支援を充実させてほしい、支援が受けにくい ・不登校の子どもへの支援を充実させてほしい 等	24
13	地域のつながり・人間関係について	・保護者同士のネットワークがほしい ・地域で子育てを見守る関係があるとよい ・地域での人間関係のトラブル 等	21
14	情報提供	・子育て支援の制度等についての情報提供の充実 ・入学や進学に関する情報提供の充実 ・ウェブサイトやアプリでの発信 等	20

No.	分野	主な内容	件数
15	既存の子育て支援の改善について	・所得制限を撤廃してほしい ・非課税世帯以外への支援もしてほしい ・きょうだいの年齢差にかかわらず支援を受けられるようにしてほしい 等	17
16	アンケートについて	・質問が長い ・何の役に立つのかわからない ・きちんと生かして改善してほしい 等	14
17	子育ての負担・不安について	・子育てのストレス、経済的不安等について	13
18	病児保育について	・利用しにくい、予約が取れない ・枠を増やしてほしい 等	12
19	小児医療について	・小児科が少ない、予約を取りにくい ・休日診療を充実させてほしい 等	12
20	体験の機会の充実について	・子ども向けのスポーツや習い事などの体験の機会や場所を充実させてほしい 等	11
21	男女共同参画について	・男性（父親）の意識を変える働きかけが必要 ・女性の負担が大きすぎる 等	9
22	他自治体の事例について	・他の自治体で実施されている事業等で四日市市でも取り入れてほしいことについて	8
23	その他		28

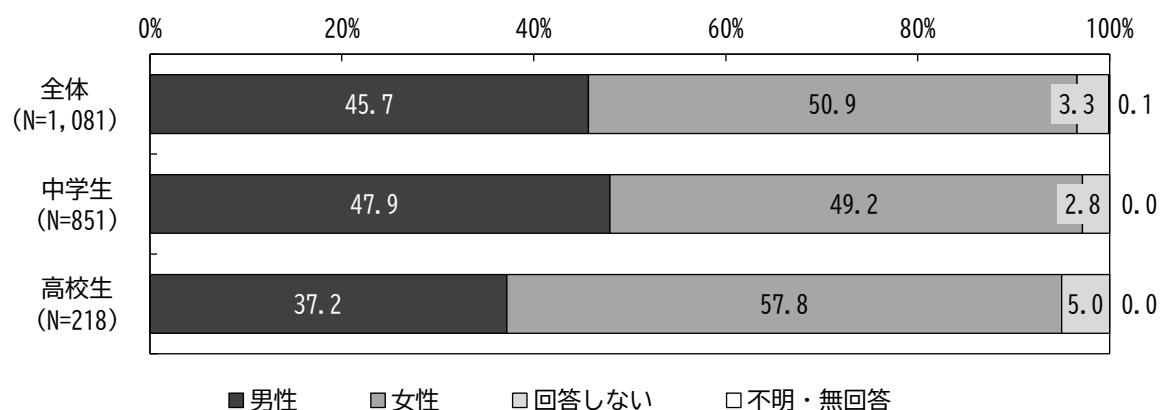
V こども施策検討に関する調査の結果

本調査については、対象である中学生と高校生とで大きく回収率が異なり、また高校生には四日市市に居住しない回答者が多く含まれることから、中学生と高校生の回答を合計した全体（単純集計）だけではなく、中学生、高校生それぞれの回答も、全ての質問について示すものとします。

問1 あなたの性別

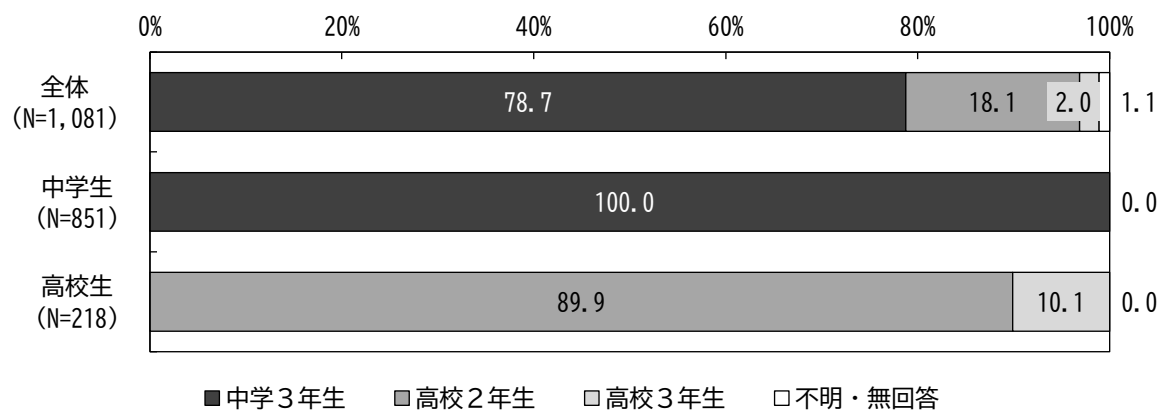
中学生では、男性が47.9%、女性が49.2%となっています。

高校生では、男性が37.2%、女性が57.8%となっています。



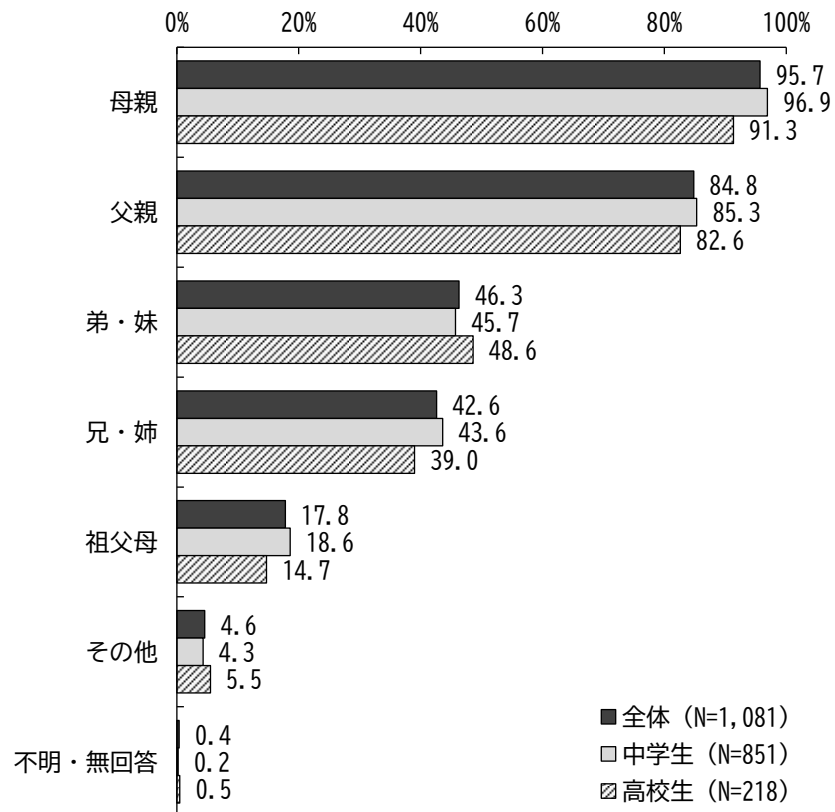
問2 あなたの学年

中学生は全員が中学3年生です。高校生は89.9%が高校2年生、10.1%が高校3年生です。



問3 あなたが現在一緒に暮らしているのは誰ですか【複数回答】

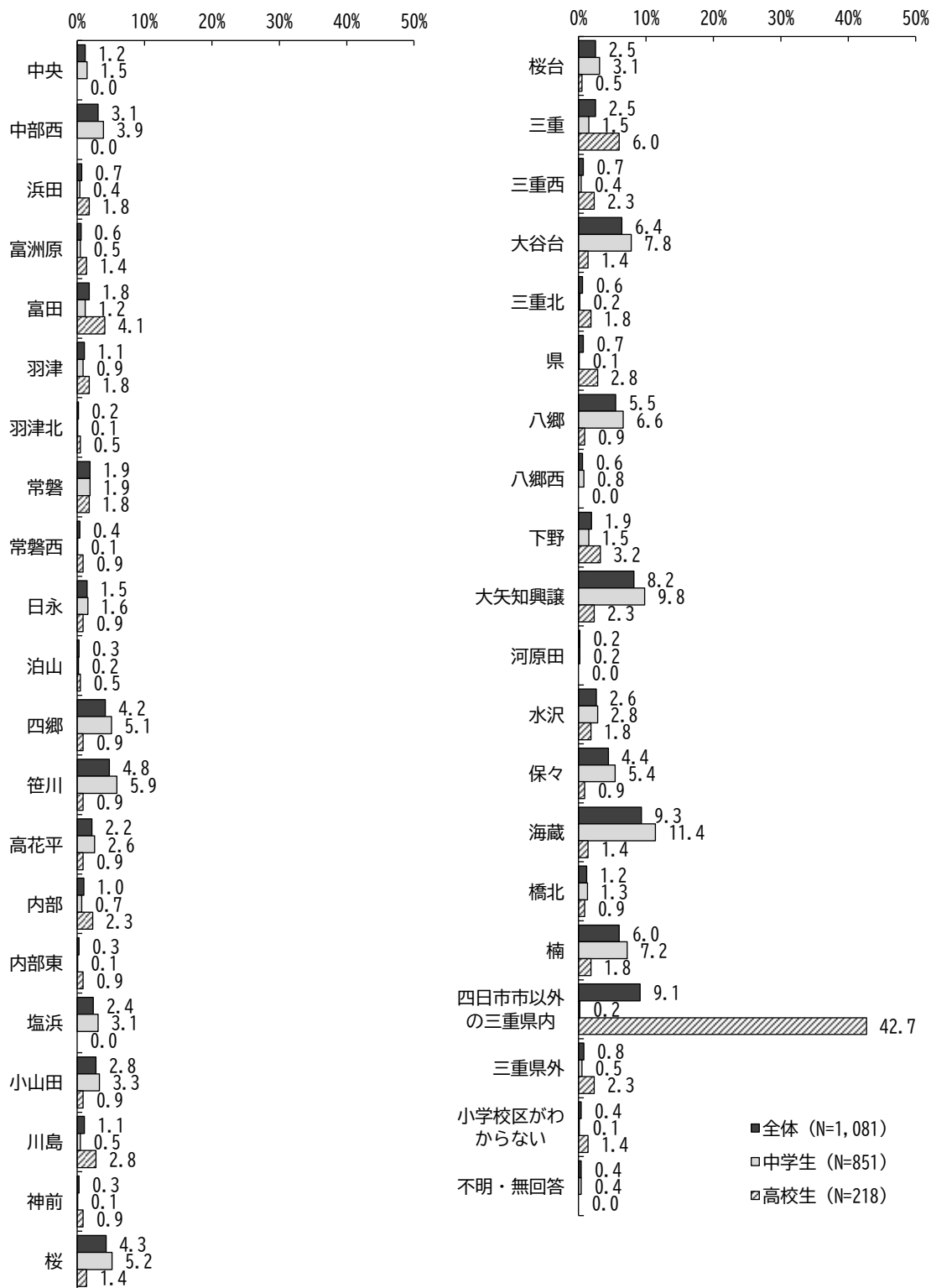
中学生・高校生ともに「母親」が9割台で最も多く、次いで「父親」が8割台となっています。



問4 お住まいの小学校区はどちらですか。

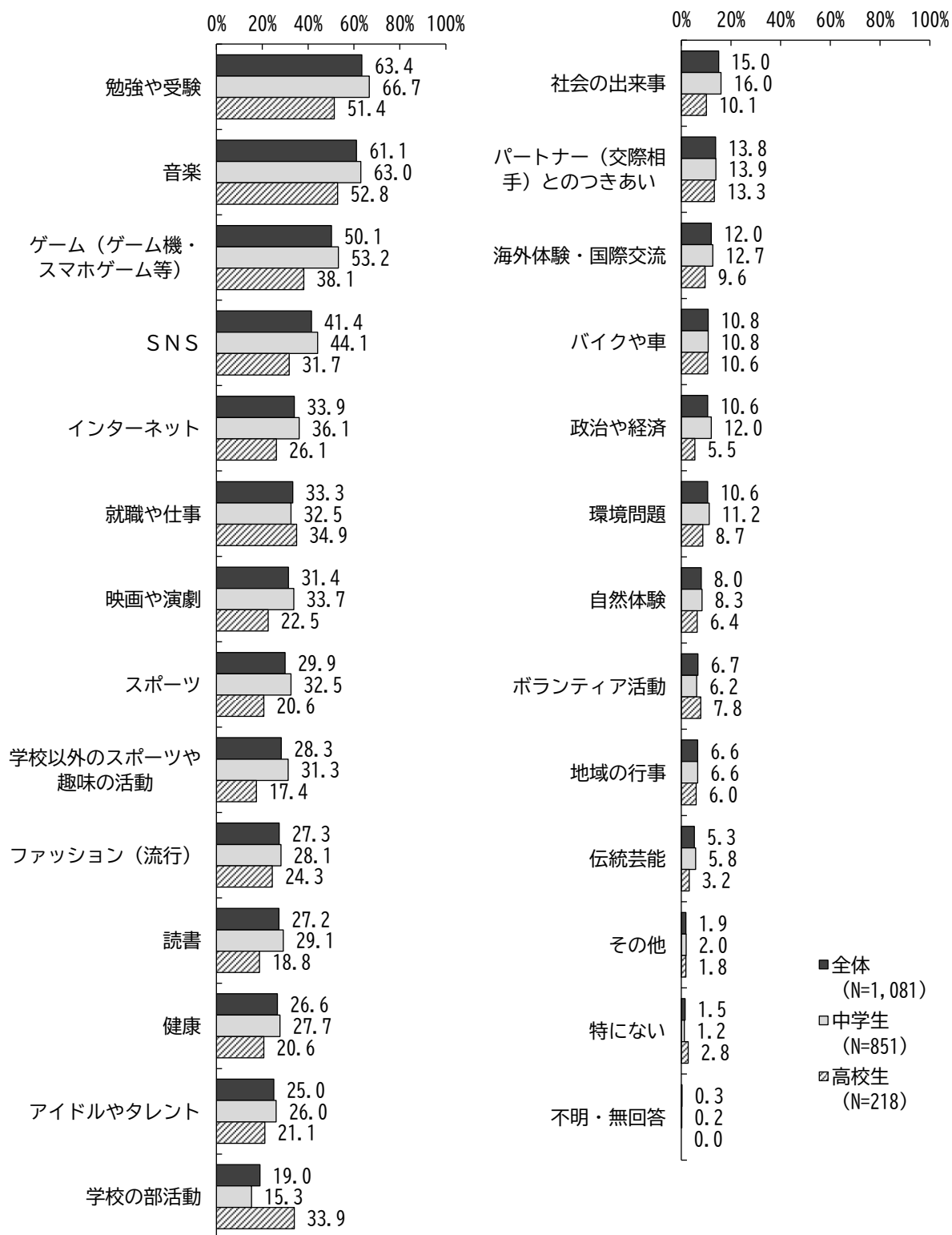
中学生では「海蔵」が11.4%で最も多く、次いで「大矢知興譲」が9.8%となっています。

高校生では「四日市市以外の三重県内」が42.7%で最も多く、次いで「三重」が6.0%となっています。



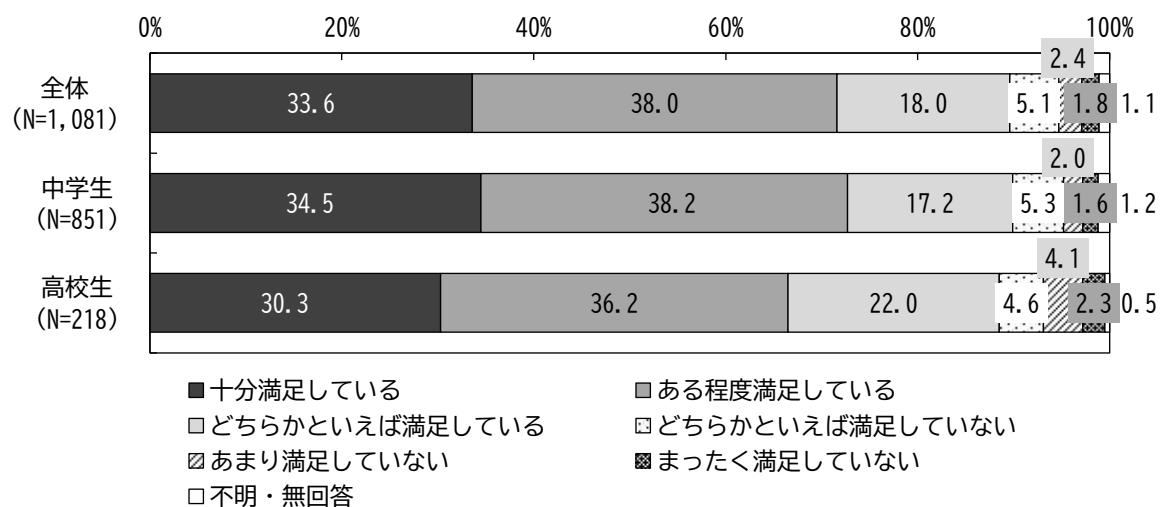
問5 あなたは、今どのようなことに興味がありますか。【複数回答】

中学生・高校生ともに上位3項目は「勉強や受験」「音楽」「ゲーム（ゲーム機・スマホゲーム等）」となっています。



問6 あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

満足しているという回答（「十分満足している」「ある程度満足している」「どちらかといえば満足している」の合計）は、中学生で 89.9%、高校生で 88.5%となっています。

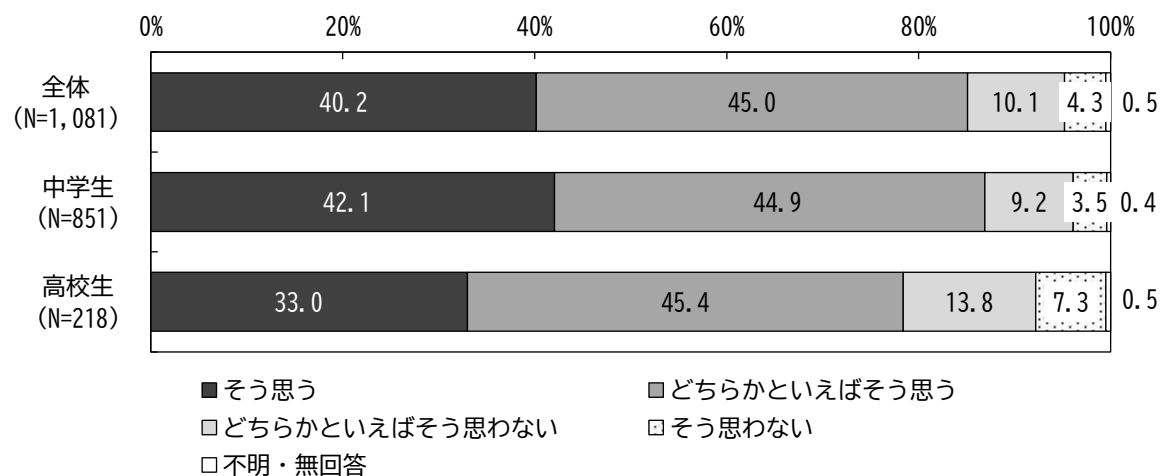


問7 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものを選択してください。

A 自分にはよいところがある

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で 87.0%、高校生で 78.4%となっています。

性別でみると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。



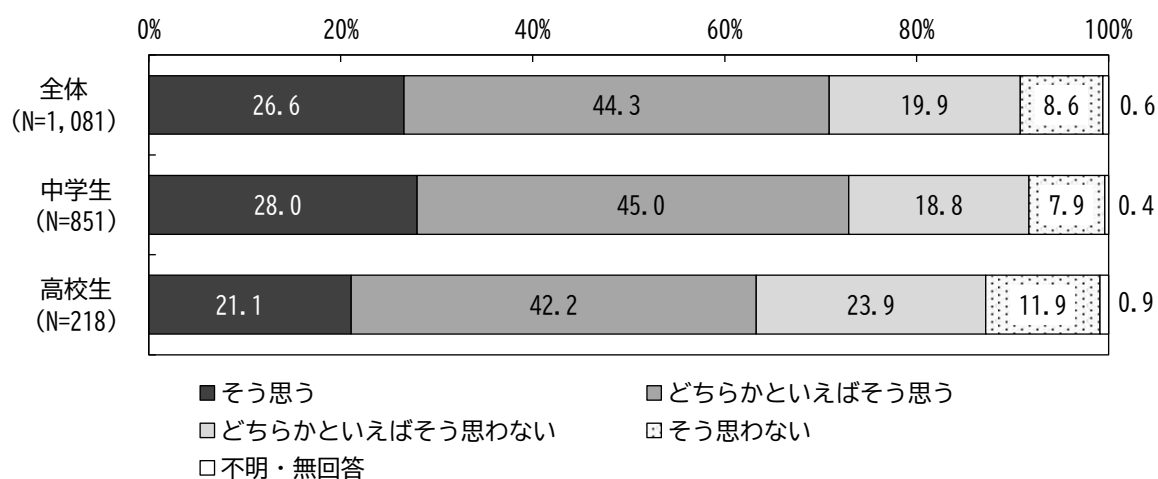
■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		40.2	45.0	10.1	4.3	0.5
性別	男性 (N=494)	51.0	37.2	7.1	4.0	0.6
	女性 (N=550)	32.2	52.7	12.0	2.9	0.2
	回答しない (N=36)	16.7	33.3	22.2	27.8	0.0

B 自分のことが好きだ

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で73.0%、高校生で63.3%となっています。

性別でみると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。

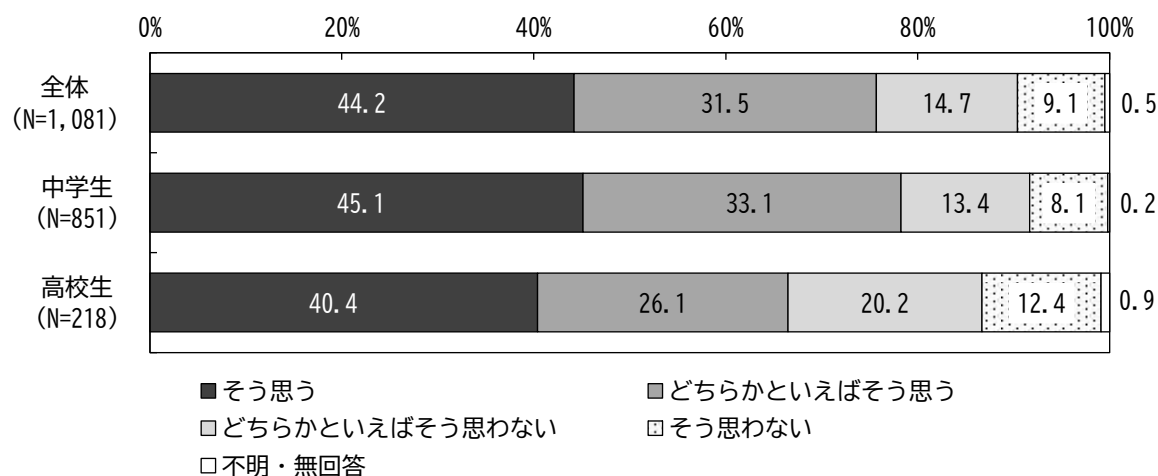


■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		26.6	44.3	19.9	8.6	0.6
性別	男性 (N=494)	33.0	47.8	13.2	5.5	0.6
	女性 (N=550)	22.0	42.5	25.6	9.5	0.4
	回答しない (N=36)	11.1	25.0	25.0	38.9	0.0

C 自分には将来の夢や目標がある

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で78.2%、高校生で66.5%となっています。

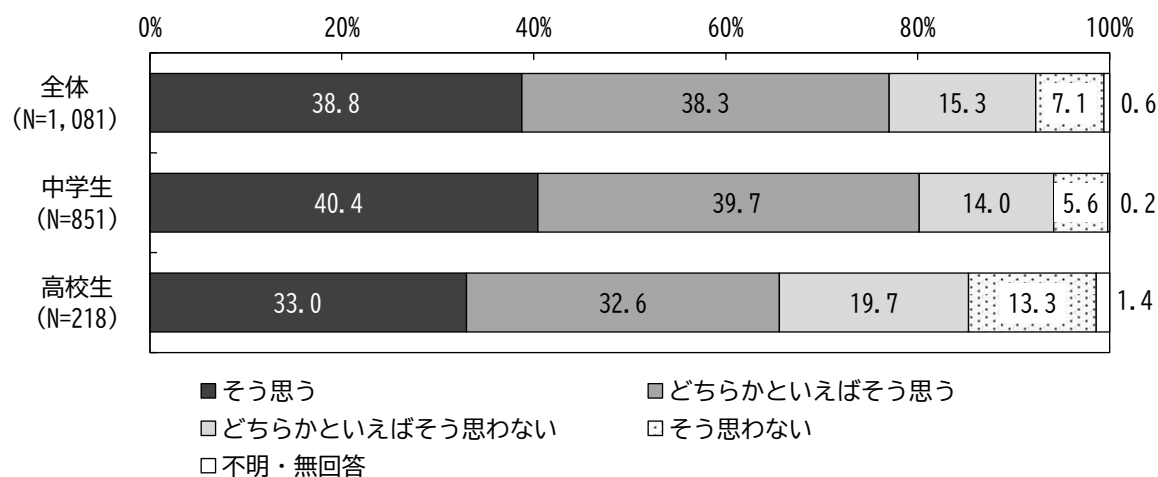


■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		44.2	31.5	14.7	9.1	0.5
性別	男性 (N=494)	43.9	30.4	14.6	10.5	0.6
	女性 (N=550)	45.1	32.7	14.9	7.1	0.2
	回答しない (N=36)	36.1	30.6	13.9	19.4	0.0

D 自分の将来が楽しみだ

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で80.1%、高校生で65.6%となっています。



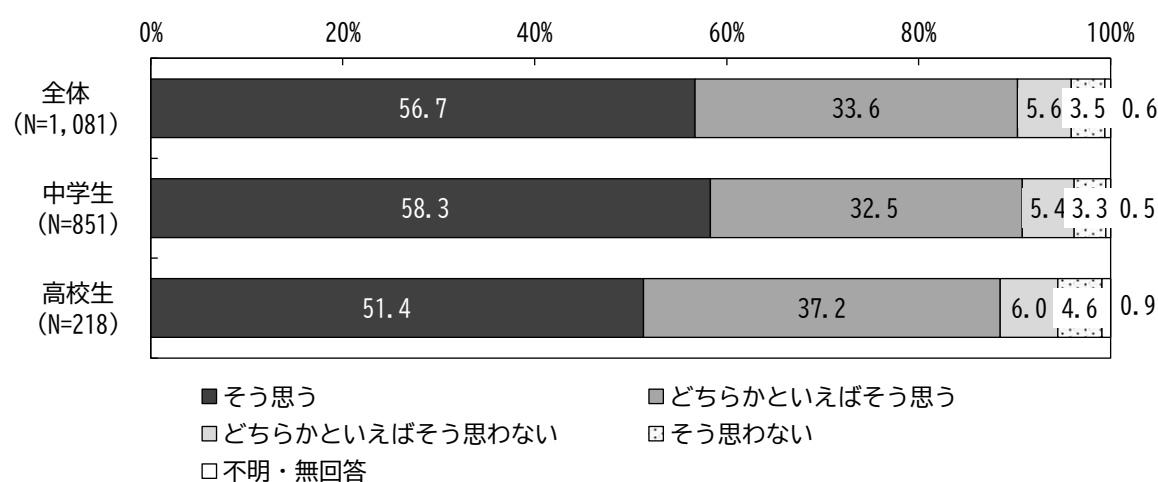
■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		38.8	38.3	15.3	7.1	0.6
性別	男性 (N=494)	44.3	36.8	10.9	7.1	0.8
	女性 (N=550)	34.9	40.2	18.9	5.8	0.2
	回答しない (N=36)	22.2	30.6	19.4	27.8	0.0

E がんばれば、よいことがある

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で90.8%、高校生で88.6%となっています。

性別で見ると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。

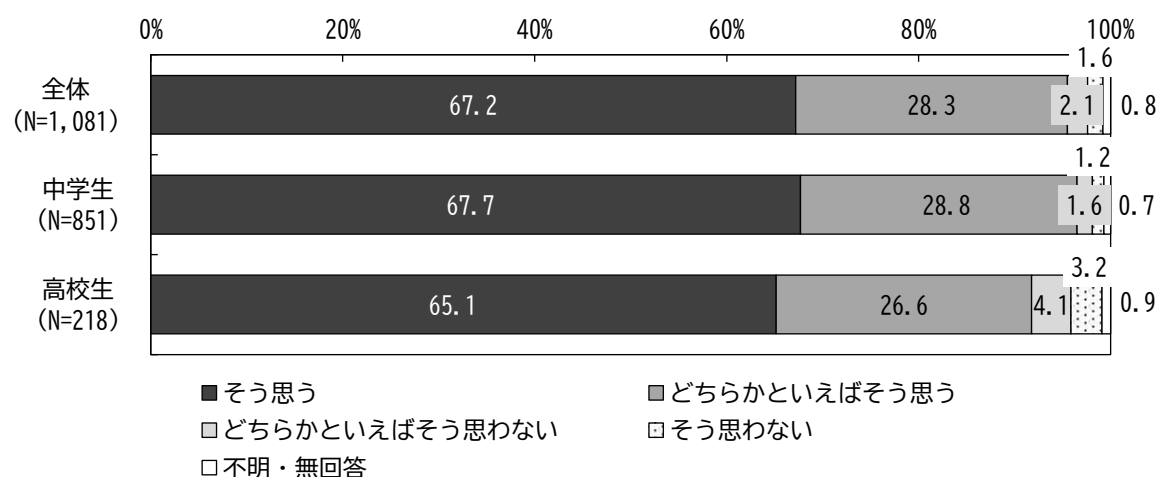


■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		56.7	33.6	5.6	3.5	0.6
性別	男性 (N=494)	63.4	28.5	3.2	3.6	1.2
	女性 (N=550)	52.9	38.0	6.7	2.4	0.0
	回答しない (N=36)	25.0	36.1	19.4	19.4	0.0

F 自分は家族に大事にされている

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で96.5%、高校生で91.7%となっています。



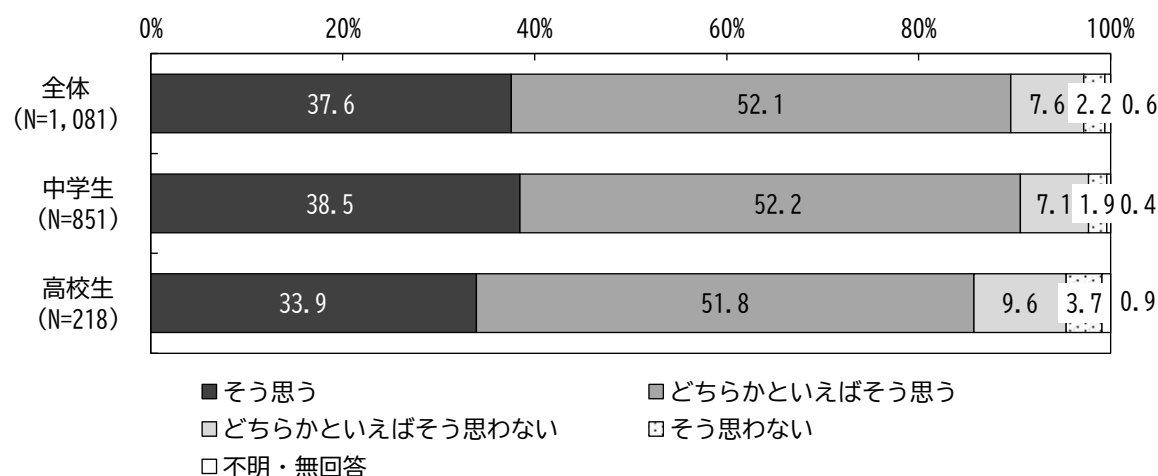
■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		67.2	28.3	2.1	1.6	0.8
性別	男性 (N=494)	68.0	27.1	1.8	1.6	1.4
	女性 (N=550)	68.4	28.4	2.0	1.1	0.2
	回答しない (N=36)	38.9	44.4	8.3	8.3	0.0

G 自分は友だちから好かれている

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で90.7%、高校生で85.7%となっています。

性別で見ると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。

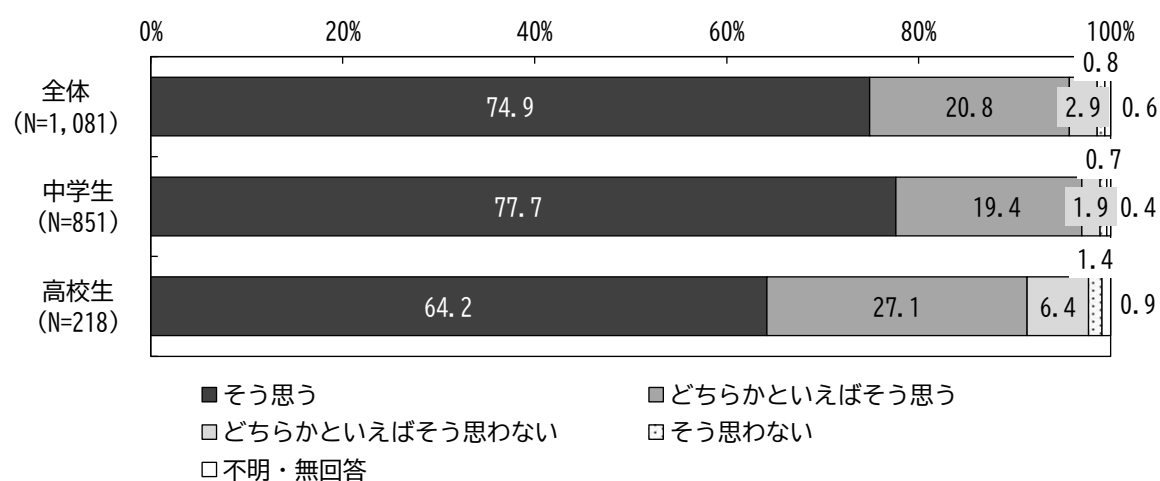


■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		37.6	52.1	7.6	2.2	0.6
性別	男性 (N=494)	44.3	47.6	5.7	1.6	0.8
	女性 (N=550)	33.1	56.7	8.4	1.6	0.2
	回答しない (N=36)	13.9	44.4	22.2	19.4	0.0

H 友だちと会うのは楽しい

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で 97.1%、高校生で 91.3%となっています。



■性別の集計

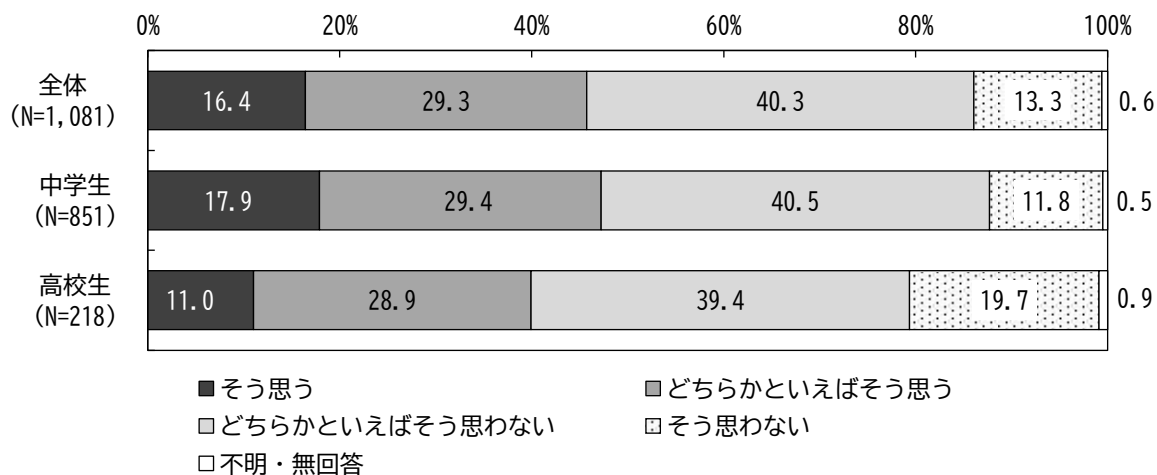
		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		74.9	20.8	2.9	0.8	0.6
性別	男性 (N=494)	81.0	16.2	1.2	0.8	0.8
	女性 (N=550)	71.8	23.5	3.8	0.7	0.2
	回答しない (N=36)	41.7	44.4	11.1	2.8	0.0

問8 あなたは、15年後どのようなになっていると思いますか。

A お金持ちになっている

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で47.3%、高校生で39.9%となっています。

性別で見ると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。



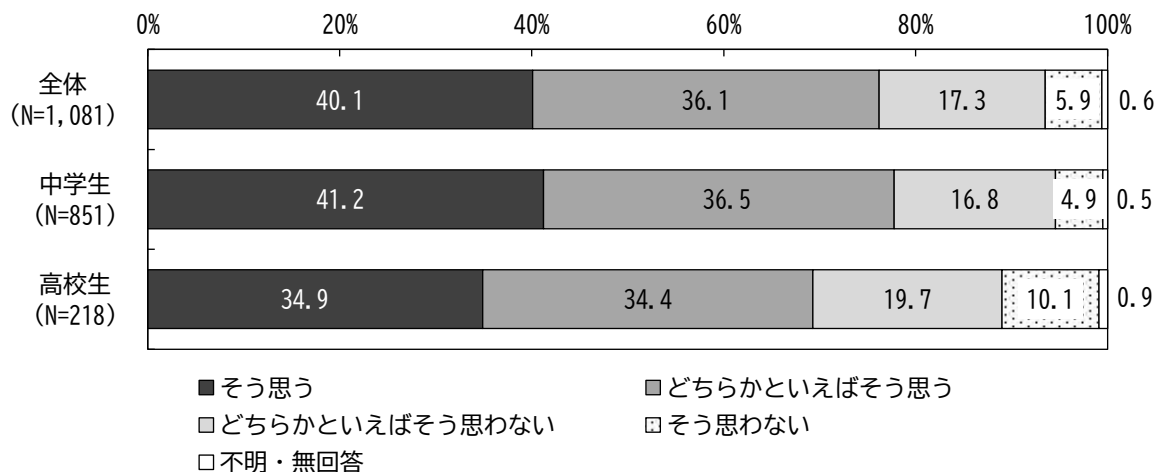
■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		16.4	29.3	40.3	13.3	0.6
性別	男性 (N=494)	24.9	31.6	33.4	9.1	1.0
	女性 (N=550)	9.6	28.2	46.7	15.3	0.2
	回答しない (N=36)	2.8	16.7	38.9	41.7	0.0

B 自由にのんびり暮らしている

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で77.7%、高校生で69.3%となっています。

性別で見ると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。



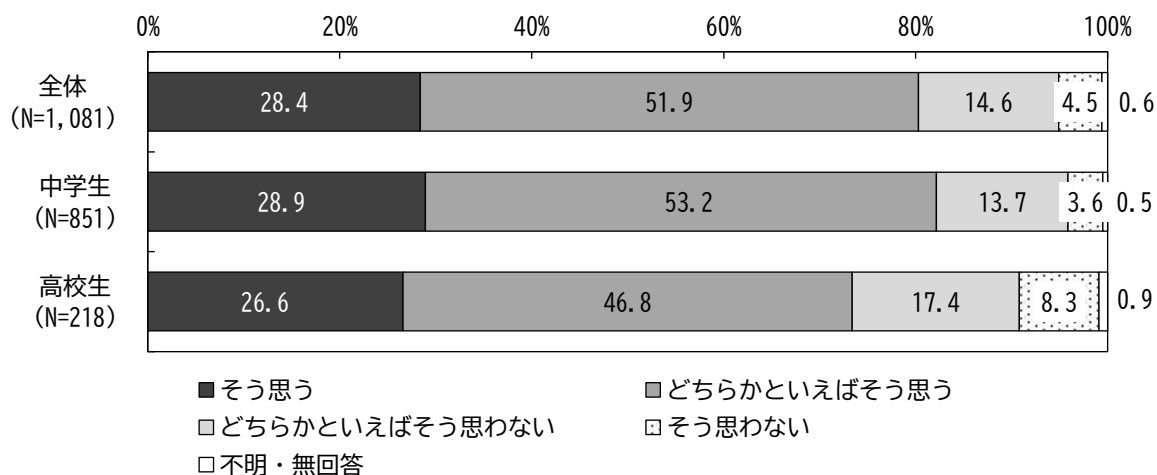
■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		40.1	36.1	17.3	5.9	0.6
性別	男性 (N=494)	46.8	32.8	13.8	5.7	1.0
	女性 (N=550)	34.9	39.5	19.6	5.8	0.2
	回答しない (N=36)	27.8	30.6	30.6	11.1	0.0

C 人の役に立っている

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で82.1%、高校生で73.4%となっています。

性別で見ると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。



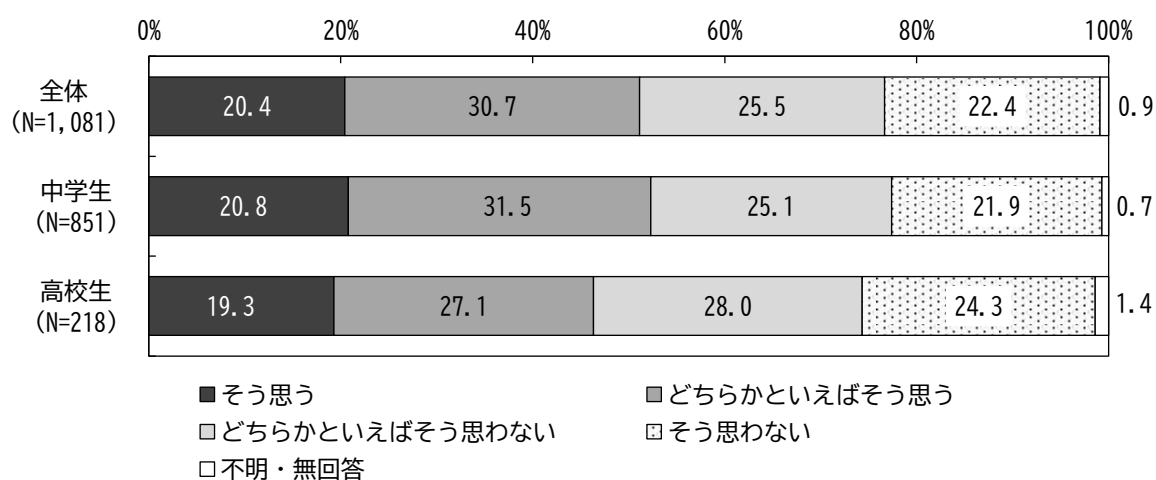
■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		28.4	51.9	14.6	4.5	0.6
性別	男性 (N=494)	34.4	46.8	12.8	5.1	1.0
	女性 (N=550)	24.0	57.3	15.3	3.3	0.2
	回答しない (N=36)	13.9	41.7	27.8	16.7	0.0

D 結婚している

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で52.3%、高校生で46.4%となっています。全体で「そう思わない」が22.4%となっています。

性別で見ると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。

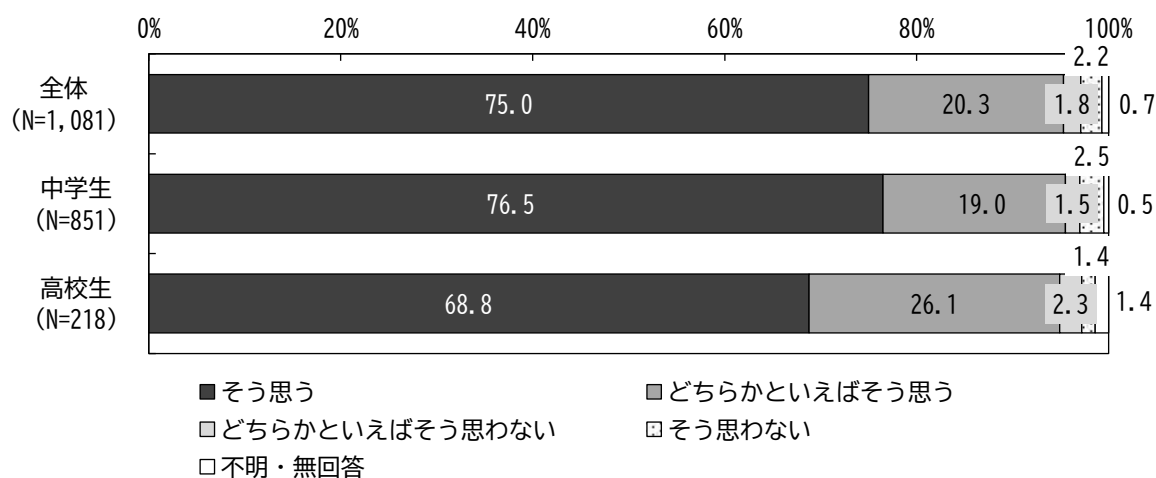


■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		20.4	30.7	25.5	22.4	0.9
性別	男性 (N=494)	27.1	28.9	22.7	20.0	1.2
	女性 (N=550)	15.1	33.3	29.3	21.8	0.5
	回答しない (N=36)	11.1	16.7	8.3	63.9	0.0

E 仕事をしている

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で95.5%、高校生で94.9%となっています。



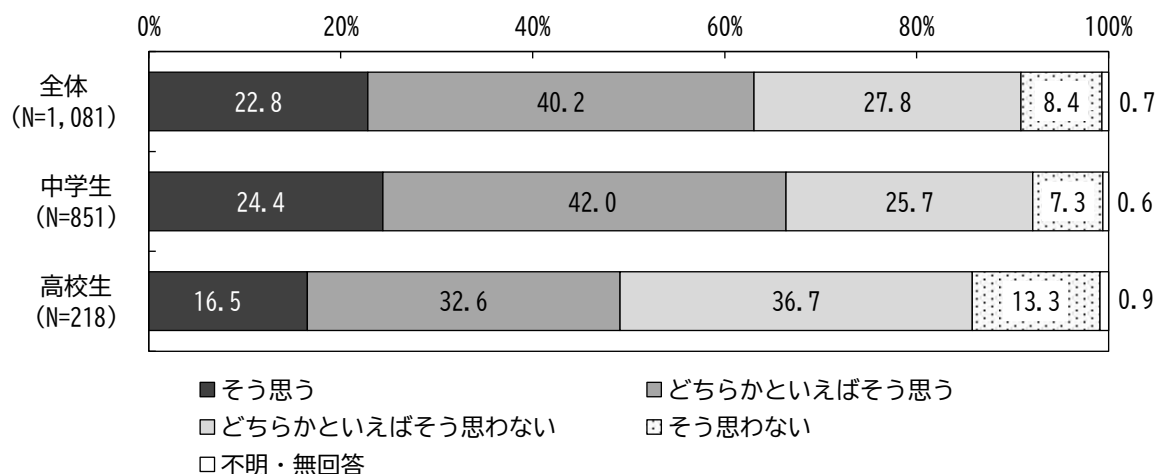
■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		75.0	20.3	1.8	2.2	0.7
性別	男性 (N=494)	75.3	19.0	1.4	3.2	1.0
	女性 (N=550)	76.4	20.5	1.6	1.3	0.2
	回答しない (N=36)	52.8	33.3	8.3	2.8	2.8

F 出世している

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で66.4%、高校生で49.1%となっています。

性別で見ると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。



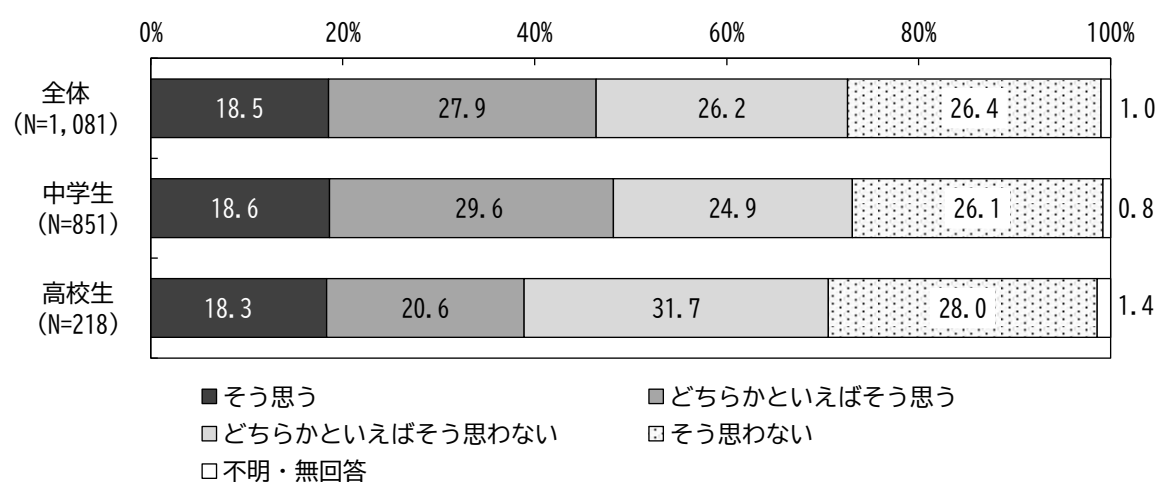
■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		22.8	40.2	27.8	8.4	0.7
性別	男性 (N=494)	31.6	42.7	17.0	7.7	1.0
	女性 (N=550)	15.8	38.4	36.7	8.7	0.4
	回答しない (N=36)	8.3	36.1	41.7	13.9	0.0

G 子どもを育てている

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で48.2%、高校生で38.9%となっています。全体で「そう思わない」が26.4%となっています。

性別で見ると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。

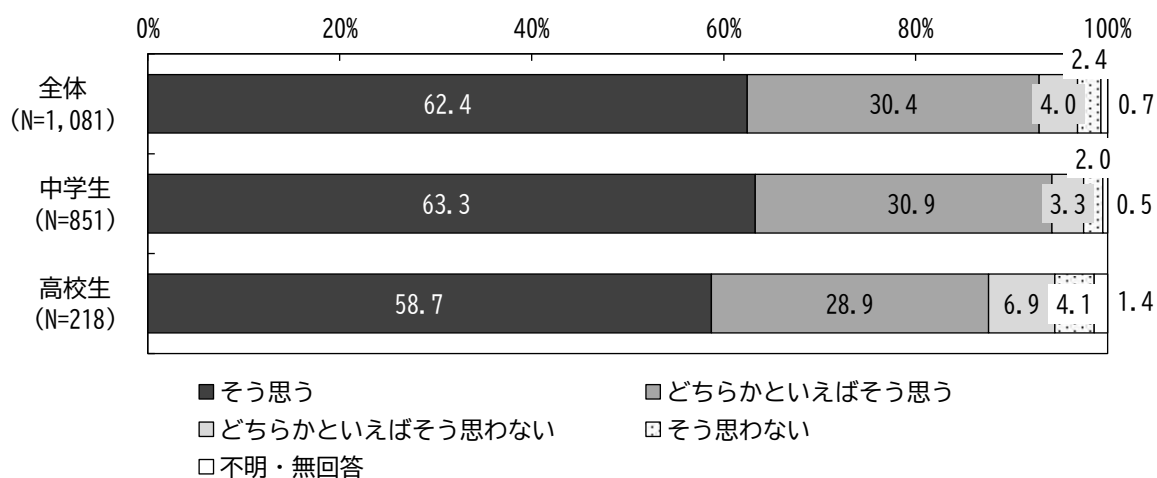


■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		18.5	27.9	26.2	26.4	1.0
性別	男性 (N=494)	25.5	25.7	23.5	23.9	1.4
	女性 (N=550)	12.9	30.7	29.3	26.5	0.5
	回答しない (N=36)	8.3	16.7	16.7	58.3	0.0

H 親を大切にしている

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で94.2%、高校生で87.6%となっています。



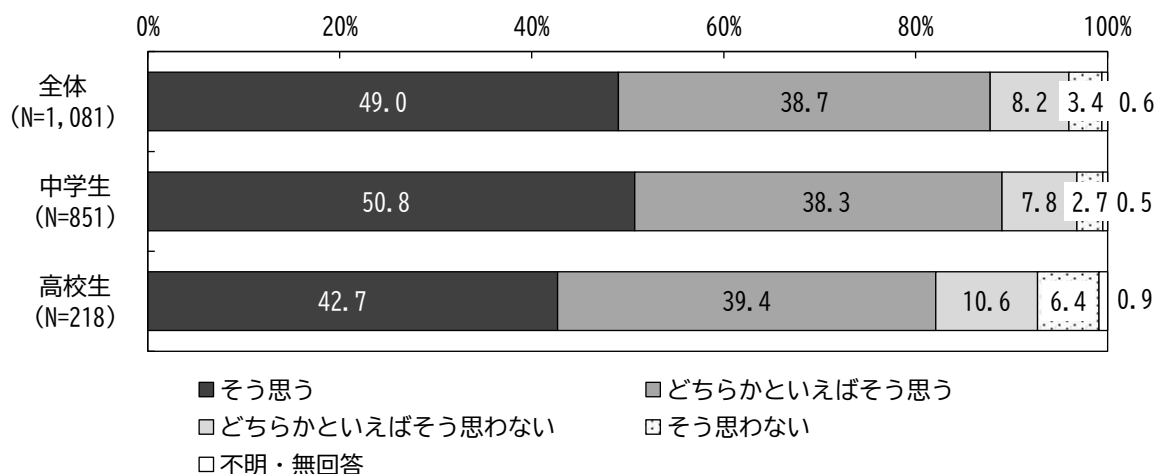
■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		62.4	30.4	4.0	2.4	0.7
性別	男性 (N=494)	63.2	28.1	4.5	3.0	1.2
	女性 (N=550)	63.8	30.7	3.3	2.0	0.2
	回答しない (N=36)	33.3	58.3	8.3	0.0	0.0

I 幸せになっている

そう思うという回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、中学生で89.1%、高校生で82.1%となっています。

性別で見ると、「そう思う」は男性の方が多くなっています。

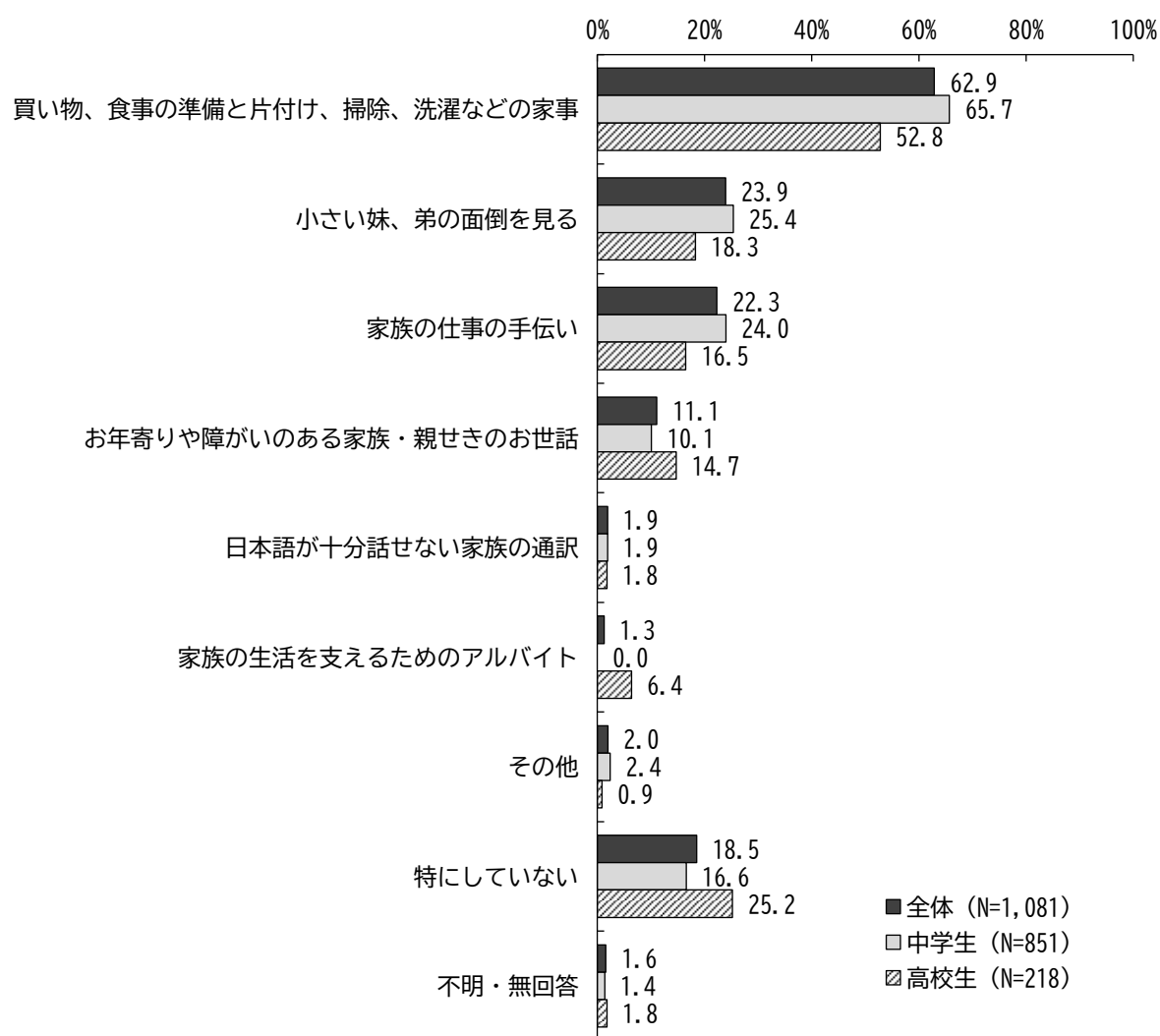


■性別の集計

		単位 (%)				
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	不明・無回答
全体 (N=1,081)		49.0	38.7	8.2	3.4	0.6
性別	男性 (N=494)	54.3	35.0	6.9	2.8	1.0
	女性 (N=550)	45.3	42.9	8.5	3.1	0.2
	回答しない (N=36)	36.1	25.0	22.2	16.7	0.0

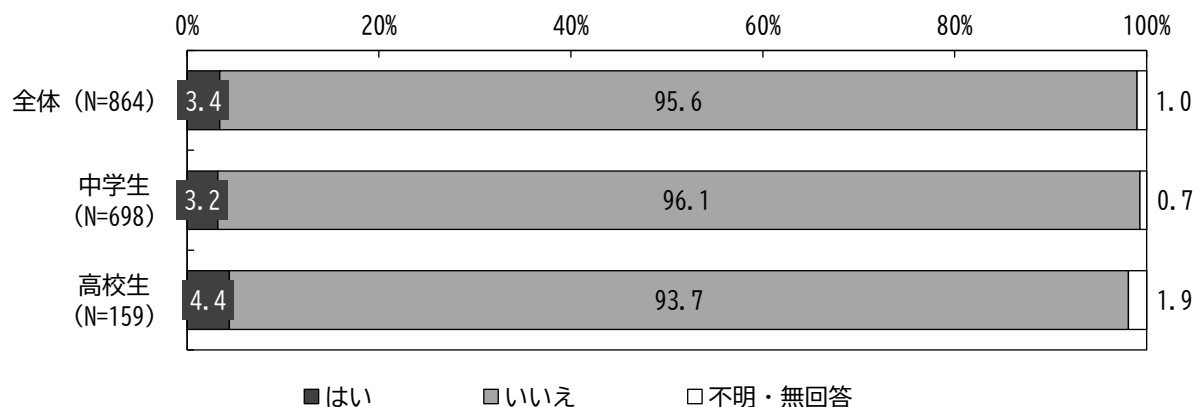
問9 あなたは、次のような手伝いや仕事をしていますか。【複数回答】

中学生・高校生ともに「買い物、食事の準備と片付け、掃除、洗濯などの家事」が最も多く、次いで「小さい妹、弟の面倒を見る」「家族の仕事の手伝い」が多くなっています。上位の項目については高校生より中学生の回答が多くなっています。



問 10 あなたは、問9のような手伝いや仕事をすることで、学校に行けなかったり、十分に眠れなかったり、まわりの子より遊ぶ時間や勉強の時間などを減らさなければならないことがありますか。

「はい」は中学生で3.2%、高校生で4.4%となっています。

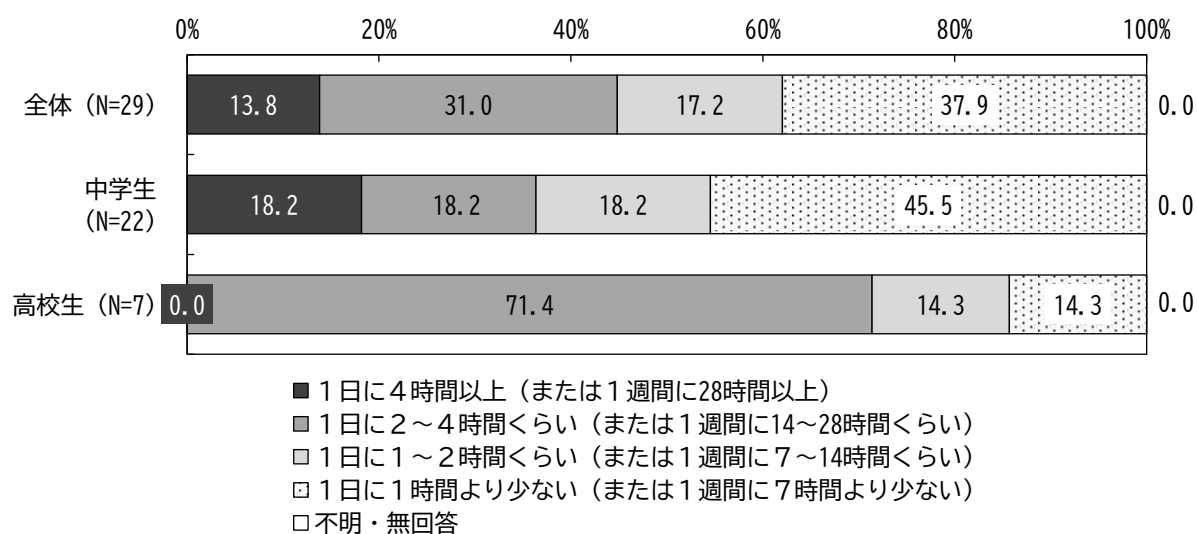


問 10 で「はい」と回答した人のみ

問 11 問9で答えた手伝いや仕事を、合計で1日に、または1週間に、どれくらいの時間していますか。

中学生では「1日に1時間より少ない」が45.5%で最も多くなっています。一方で「一日に4時間以上」も18.2%となっています。

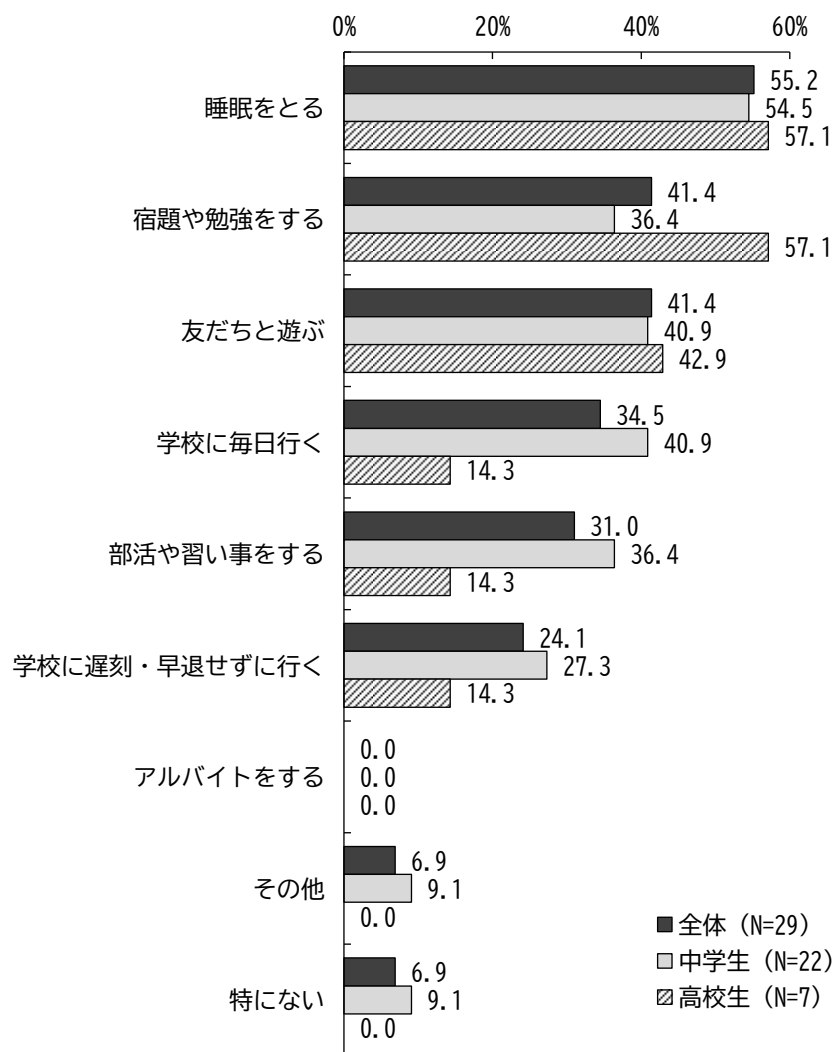
高校生では「1日に2～4時間くらい」が71.4%で最も多くなっています。



問 10 で「はい」と回答した人のみ

問 12 あなたが問9で答えたようなことを他の人が代わってくれるとしたら、その時間でやりたいことはありますか。【複数回答】

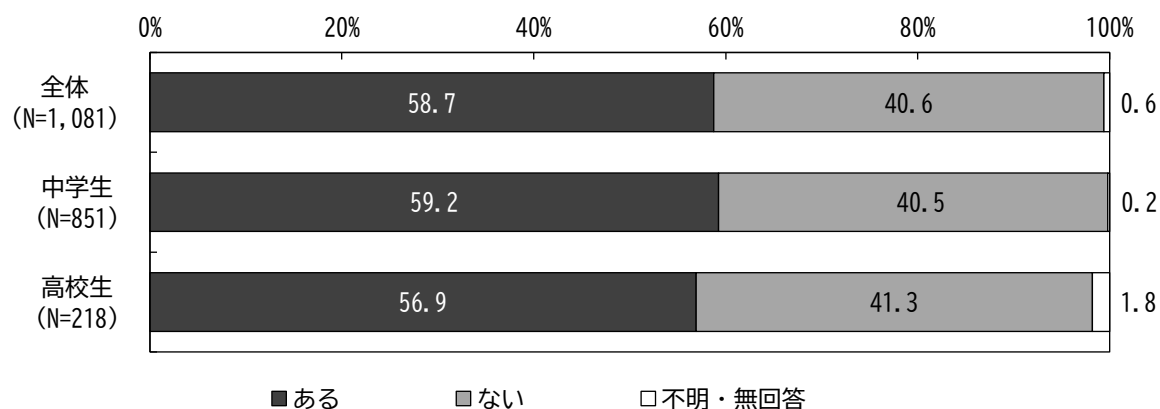
中学生では「睡眠をとる」が 54.5%で最も多く、高校生では「睡眠をとる」と「宿題や勉強をする」がいずれも 57.1%で最も多くなっています。



問 13 あなたは、インターネットやSNS等を使っていて、次のような経験がありますか。

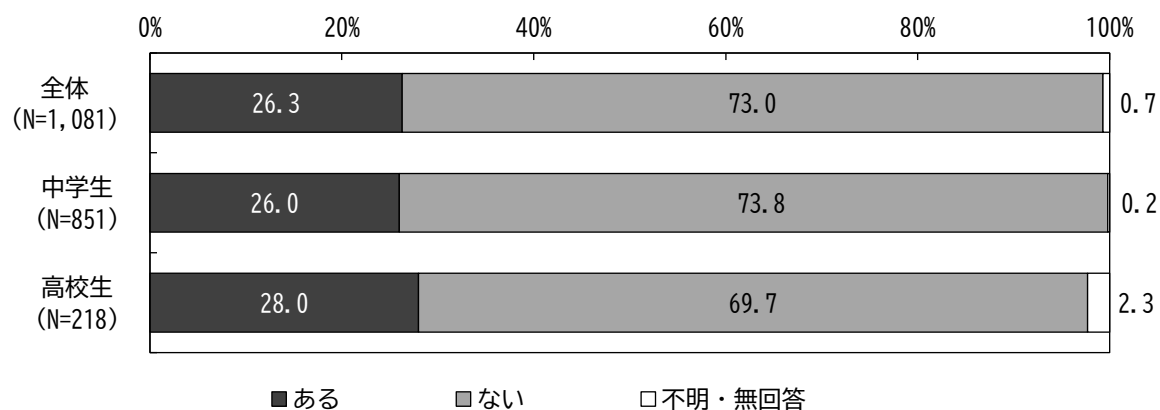
A インターネットやSNSで書き込みをしたこと

「ある」は中学生で 59.2%、高校生で 56.9%となっています。



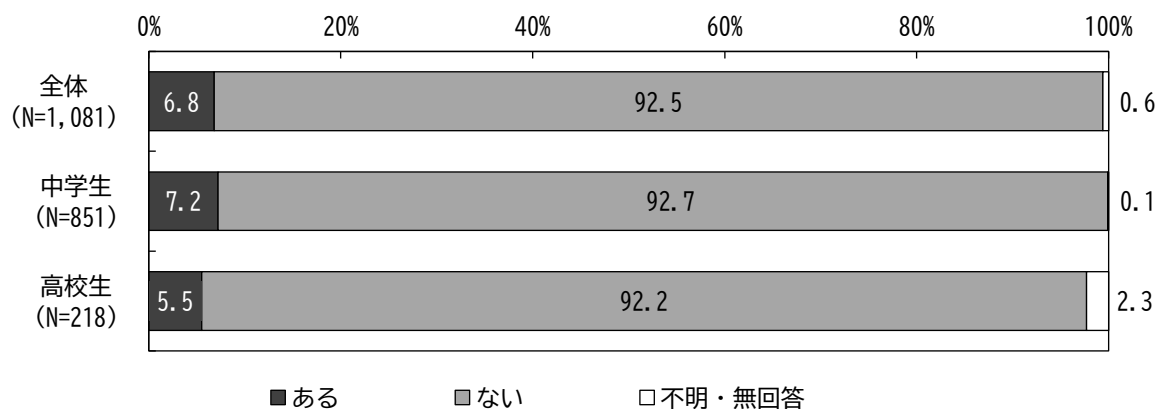
B 定期的にインターネットやSNSに書き込みをすること

「ある」は中学生で 26.0%、高校生で 28.0%となっています。



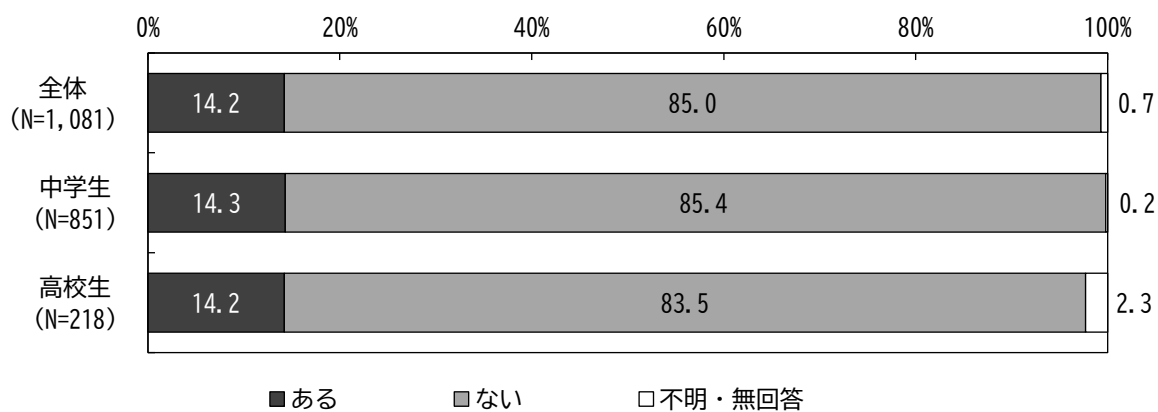
C 悪口やいやがらせのメッセージやメールを送られたり、書き込みをされたりしたこと

「ある」は中学生で7.2%、高校生で5.5%となっています。



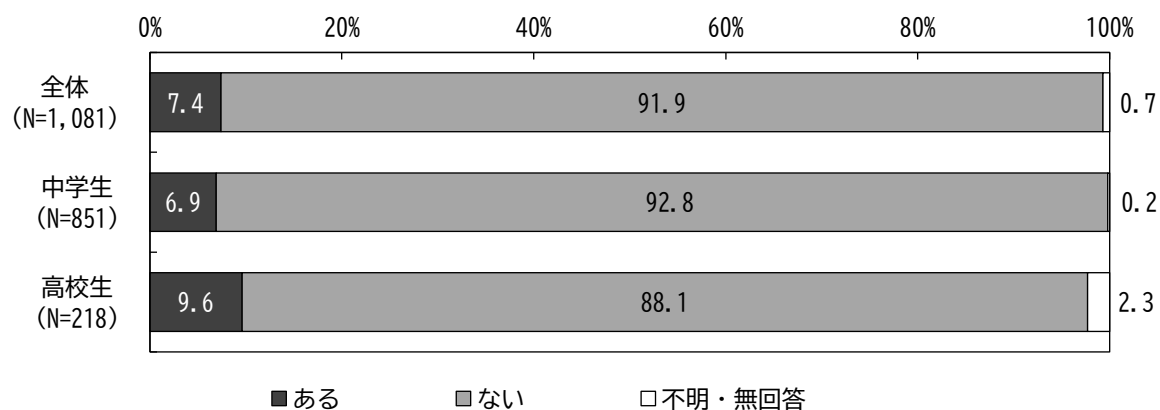
D 他人が見ることのできるSNS等で自分の情報（名前や写真、メールアドレス、IDなど）を書き込んだこと

「ある」は中学生で14.3%、高校生で14.2%となっています。



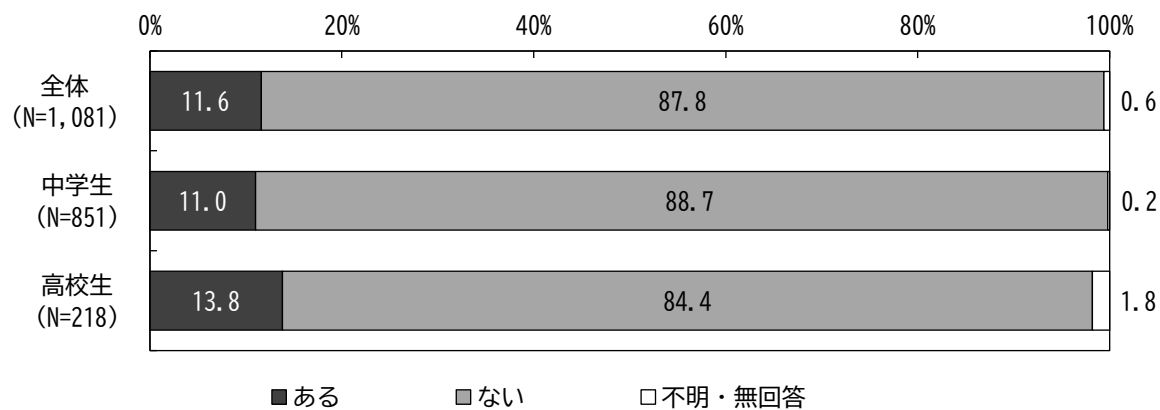
E 他人が見ることのできるSNS等で他人の情報（名前や写真、メールアドレス、IDなど）を書き込んだこと

「ある」は中学生で6.9%、高校生で9.6%となっています。



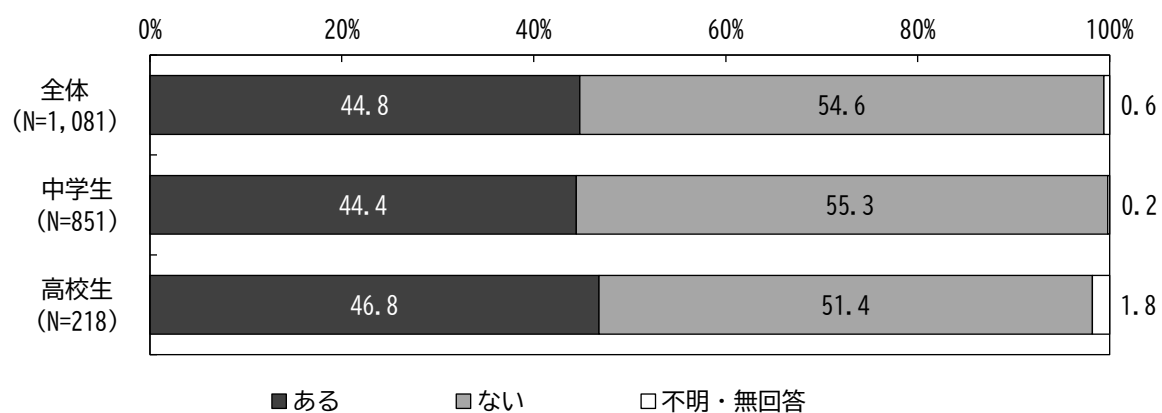
F ゲームやアプリなどで、お金を使いすぎたこと

「ある」は中学生で11.0%、高校生で13.8%となっています。



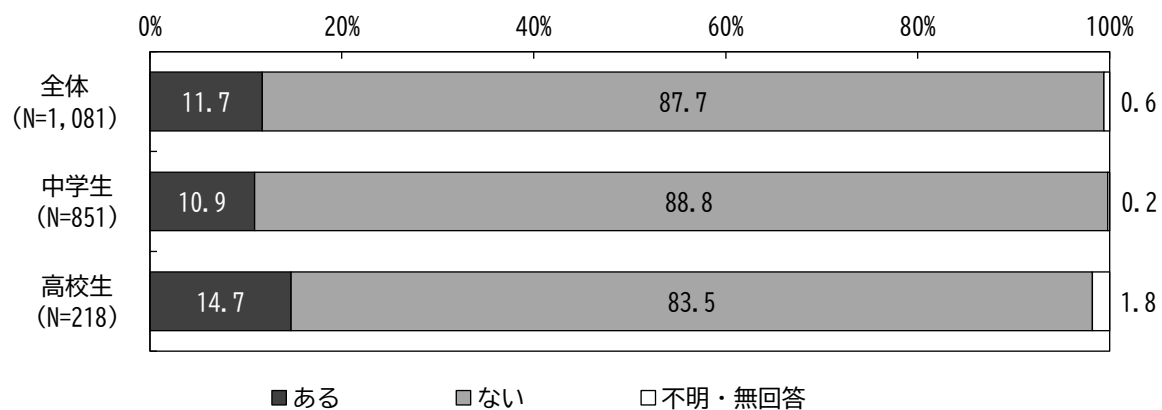
G インターネットやSNSで知り合った人とメッセージやメールなどのやりとりをしたこと

「ある」は中学生で44.4%、高校生で46.8%となっています。

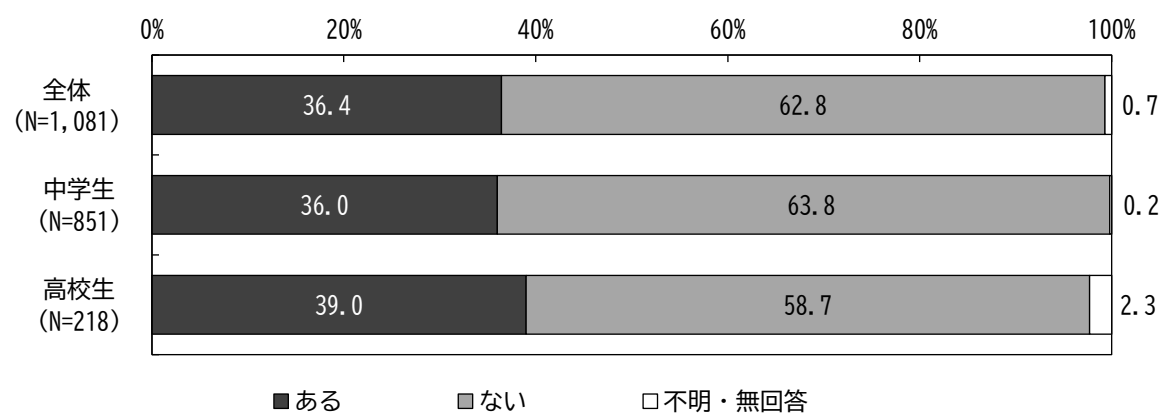


H インターネットやSNSで知り合った人と会ったこと

「ある」は中学生で10.9%、高校生で14.7%となっています。



I インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたこと
「ある」は中学生で 36.0%、高校生で 39.0%となっています。

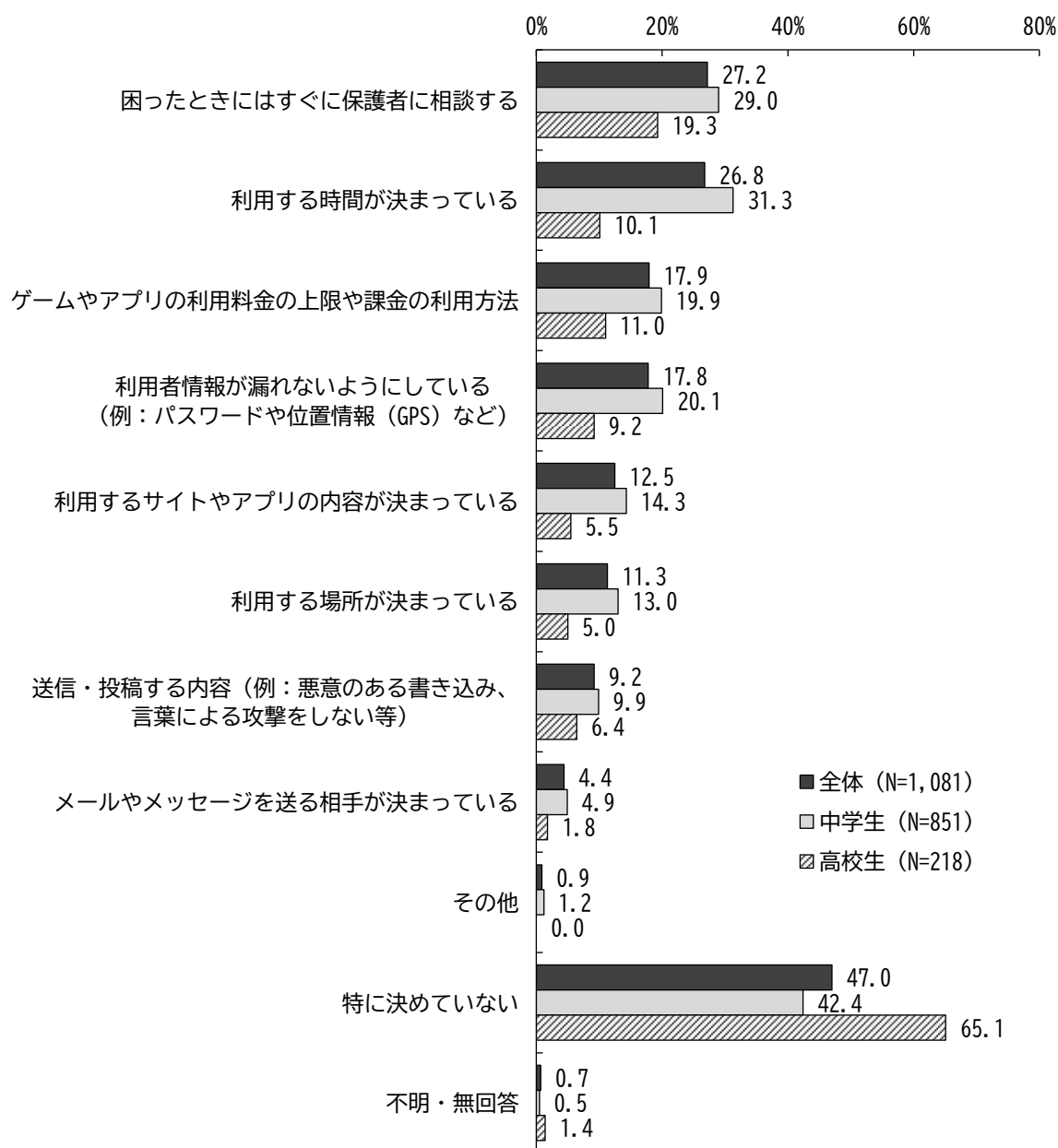


問 14 あなたの家庭では、インターネットの使い方について、ルールを決めていますか。

【複数回答】

「特に決めていない」は中学生で 42.4%、高校生で 65.1%となっています。

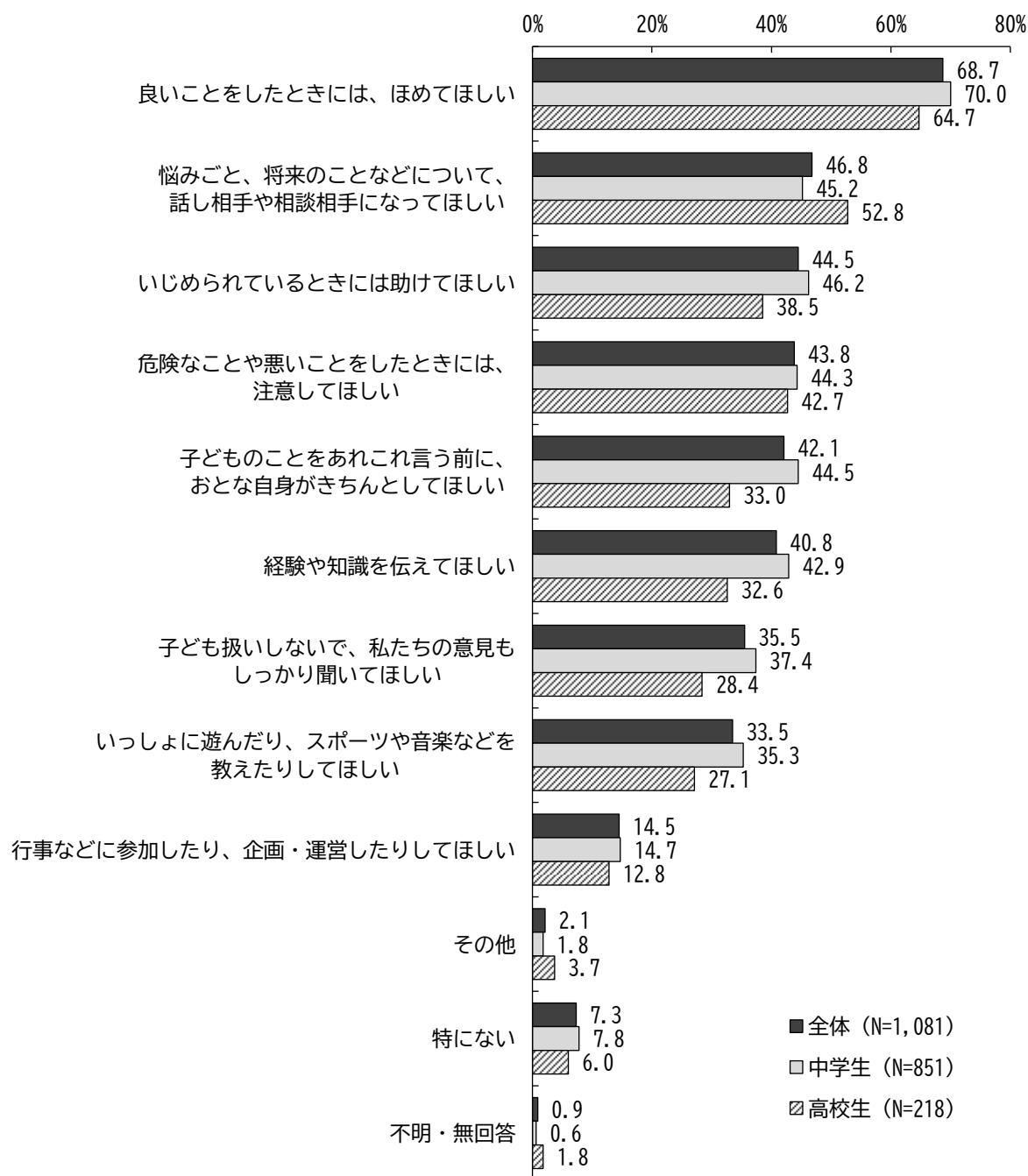
決めているルールについては、中学生では「利用する時間が決まっている」が 31.3%で最も多く、次いで「困ったときにはすぐに保護者に相談する」が 29.0%となっています。高校生では「困ったときにはすぐに保護者に相談する」が 19.3%となっています。



問 15 あなたは、自分のまわりのおとなの人に、どのようなことを望みますか。【複数回答】

中学生では、「良いことをしたときには、ほめてほしい」が70.0%と最も多く、次いで「いじめられているときには助けてほしい」が46.2%、「悩みごと、将来のことなどについて、話し相手や相談相手になってほしい」が45.2%となっています。

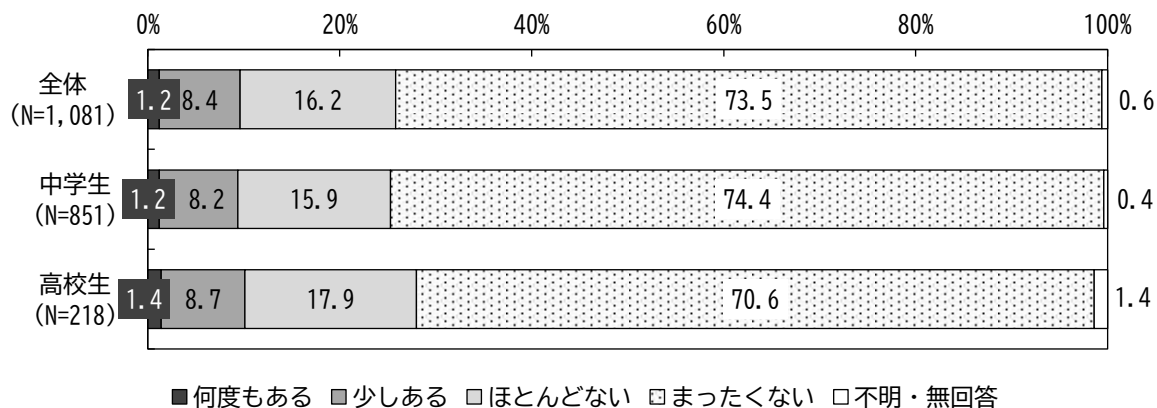
高校生では、「良いことをしたときには、ほめてほしい」が64.7%と最も多く、次いで「悩みごと、将来のことなどについて、話し相手や相談相手になってほしい」が52.8%、「危険なことや悪いことをしたときには、注意してほしい」が42.7%となっています。



問 16 あなたは中学校（高校）入学後に、学校や部活動などの中で、いじめを受けたと感じたことはありますか。

中学生では「何度もある」が 1.2%、「少しある」と合計すると 9.4%が「ある」と回答しています。

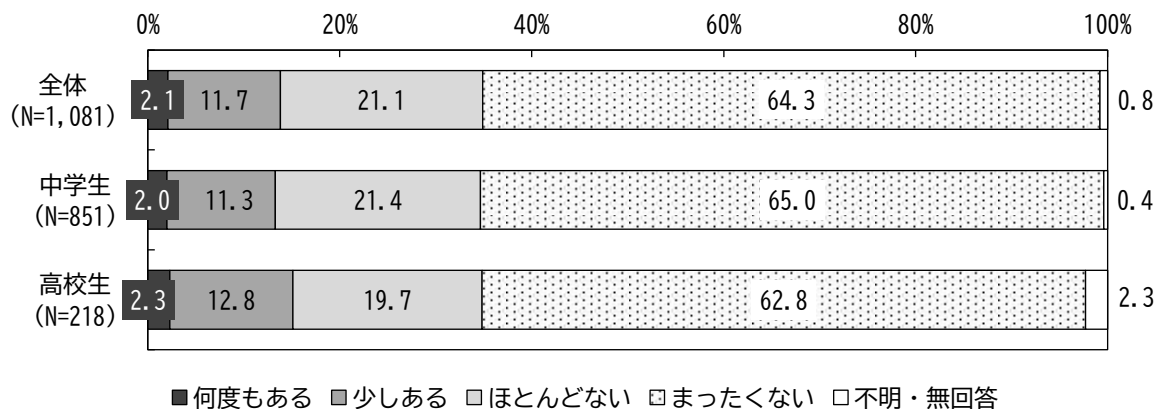
高校生では、「何度もある」が 1.4%、「少しある」と合計すると 10.1%が「ある」と回答しています。



問 17 あなたは中学校（高校）入学後に、学校や部活動などの中で、自分以外の人がいじめを受けていると感じた、またはいじめられているところを見たことはありますか。

中学生では「何度もある」が 2.0%、「少しある」と合計すると 13.3%が「ある」と回答しています。

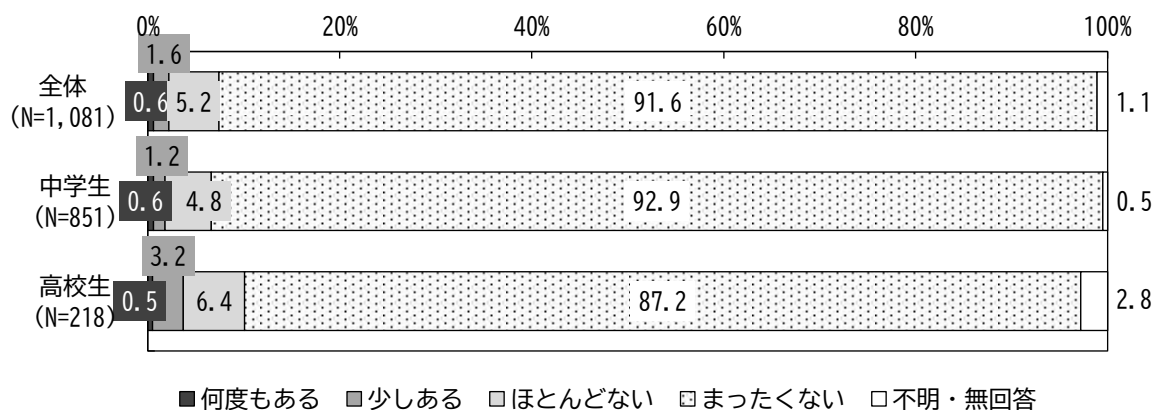
高校生では、「何度もある」が 2.3%、「少しある」と合計すると 15.1%が「ある」と回答しています。



問 18 あなたはこれまでにパートナー（交際相手）や親しい人との関係の中で、望まない性的なことをされたり暴力を振るわれたり、大声で怒鳴られたりすることがありましたか。

中学生では「何度もある」が 0.6%、「少しある」と合計すると 1.8%が「ある」と回答しています。

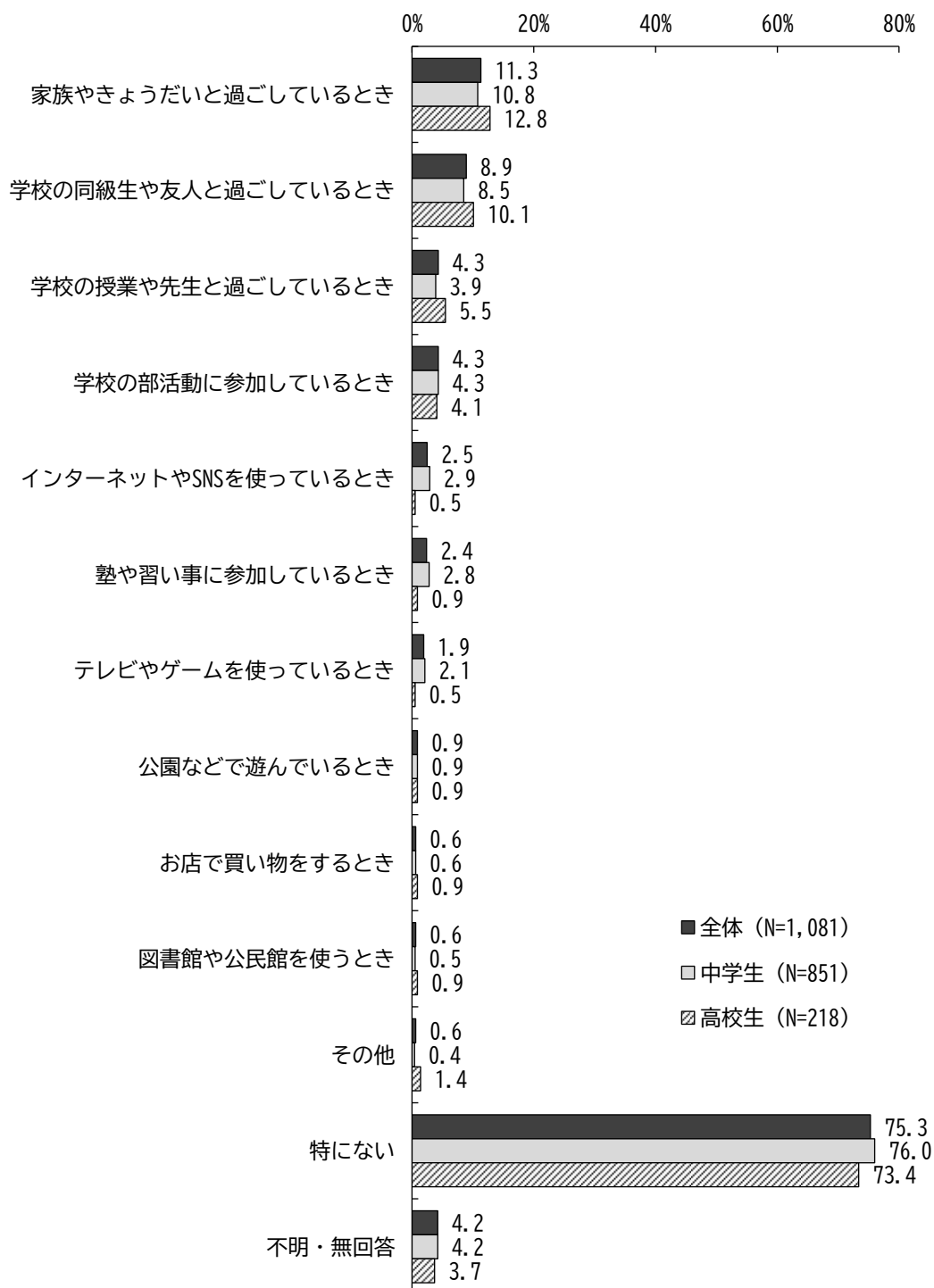
高校生では、「何度もある」が 0.5%、「少しある」と合計すると 3.7%が「ある」と回答しています。



問 19 あなたは、普段の生活の中で、自分が大切にされていないとか、意見が聞いてもらえないとか、心が傷つけられるといった、自分の権利が守られていないと感じることがありますか。あるとすれば、どのような場面でそう感じますか。【複数回答】

中学生・高校生ともに「特にない」が7割台で最も多くなっています。

自分の権利が守られていないと感じる場面については、中学生・高校生ともに「家族やきょうだいと過ごしているとき」が最も多く、次いで「学校の同級生や友人と過ごしているとき」が多くなっており、中学生の 19.8%、高校生の 22.9%が「特にない」以外の何らかの場면을回答しています。



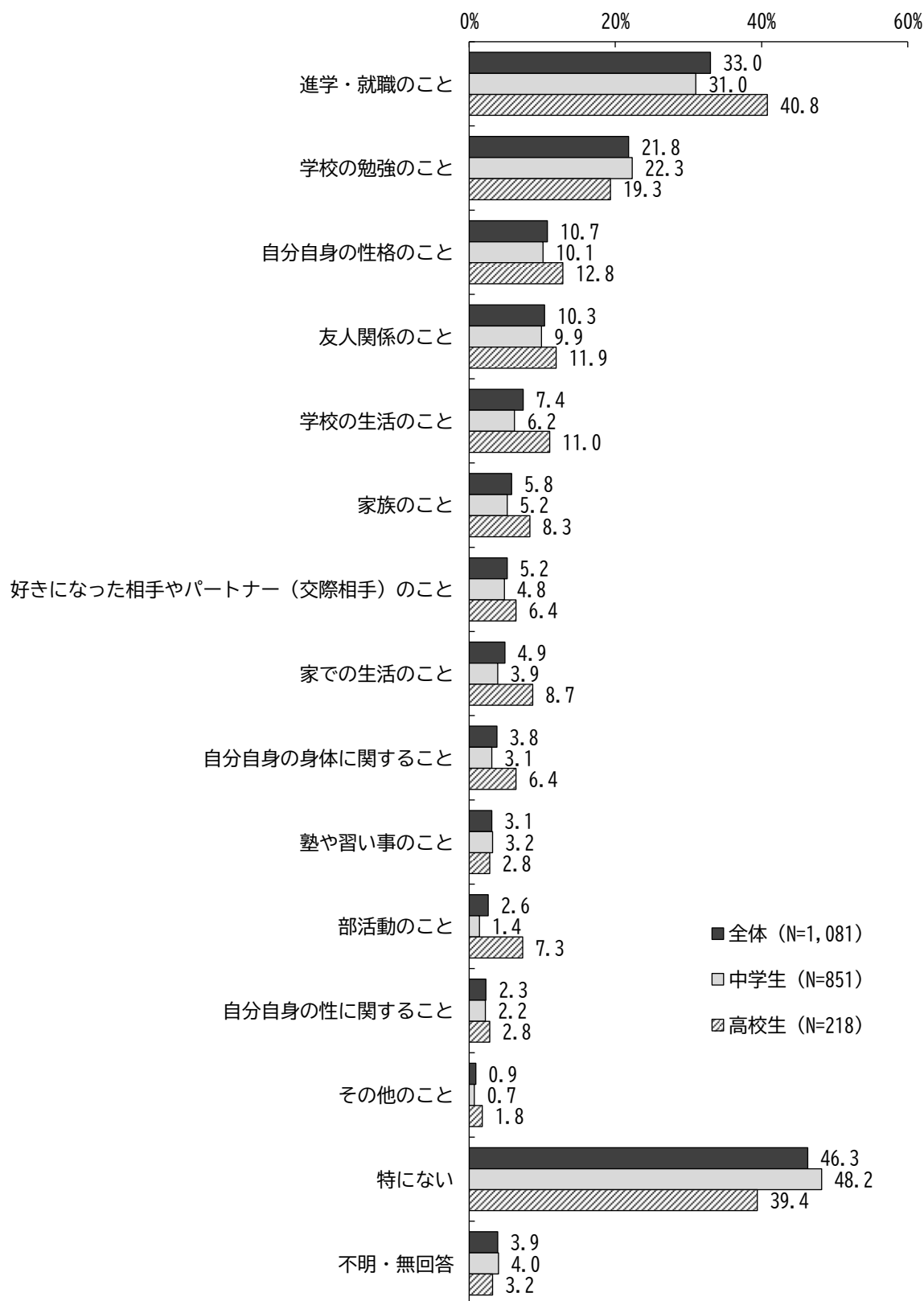
問 20 問 19 で、自分が大切にされていないとか、意見が聞いてもらえないとか、心が傷つけられるといった、自分の権利が守られていないと感じることがあるという人は、もしよければどんなことがあるかを、下に答えてください。書きたくないことを無理に答える必要はありません。

記入された意見を内容別に分類したところ、46 人から 49 件の回答がありました。寄せられた意見の内容別の件数は以下の通りです。

No.	分野	主な内容	件数
1	意見や思いを聞いてもらえない	・自分の意見を聞いてくれない ・それくらい頑張れと言われる ・自分は了承していないのに勝手に決められてしまう 等	14
2	指導者の関わり	・学校の教員、部活動の指導者、習い事の指導者等から嫌われる、嫌なことを言われる 等	8
3	保護者との関わり	・虐待を受ける ・目の前で両親がけんかをする ・自分のことを親に勝手に決められる	6
4	きょうだいとの関わり	・他のきょうだいばかりが優先される、期待される ・自分ばかりが怒られる 等	6
5	他の子どもとの関係	・仲間外れにされる ・悪口を言われる 等	5
6	暴言・暴力	・暴力を振るわれる ・傷つくことを言われる 等	3
7	自分の内面に関する こと	・自分でそう思ってしまう ・自分でいいのかと思う 等	3
8	その他	・性的マイノリティへの心無い発言をされる 等	4

問 21 今、あなたが困っていることや悩んでいること、だれかに相談したいと思っていることがあれば、教えてください。【複数回答】

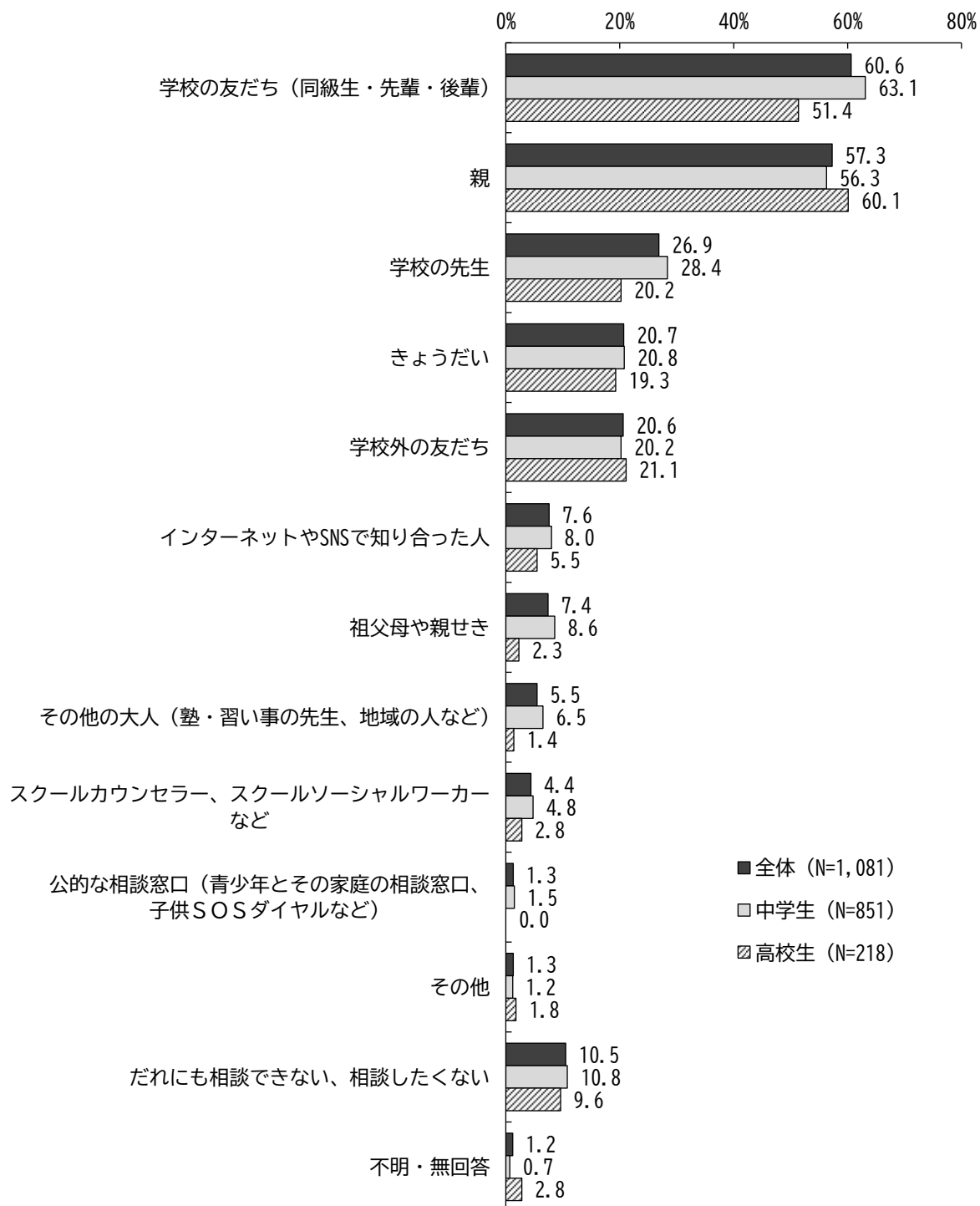
中学生・高校生ともに「特にない」が 48.2%、39.4%と最も多く、次いで「進学・就職のこと」が 31.0%、40.8%、「学校の勉強のこと」が 22.3%、19.3%と多くなっています。



問 22 困っていることや悩んでいることがあるとき、あなたはだれに相談していますか。また、だれに相談しようと思いますか。【複数回答】

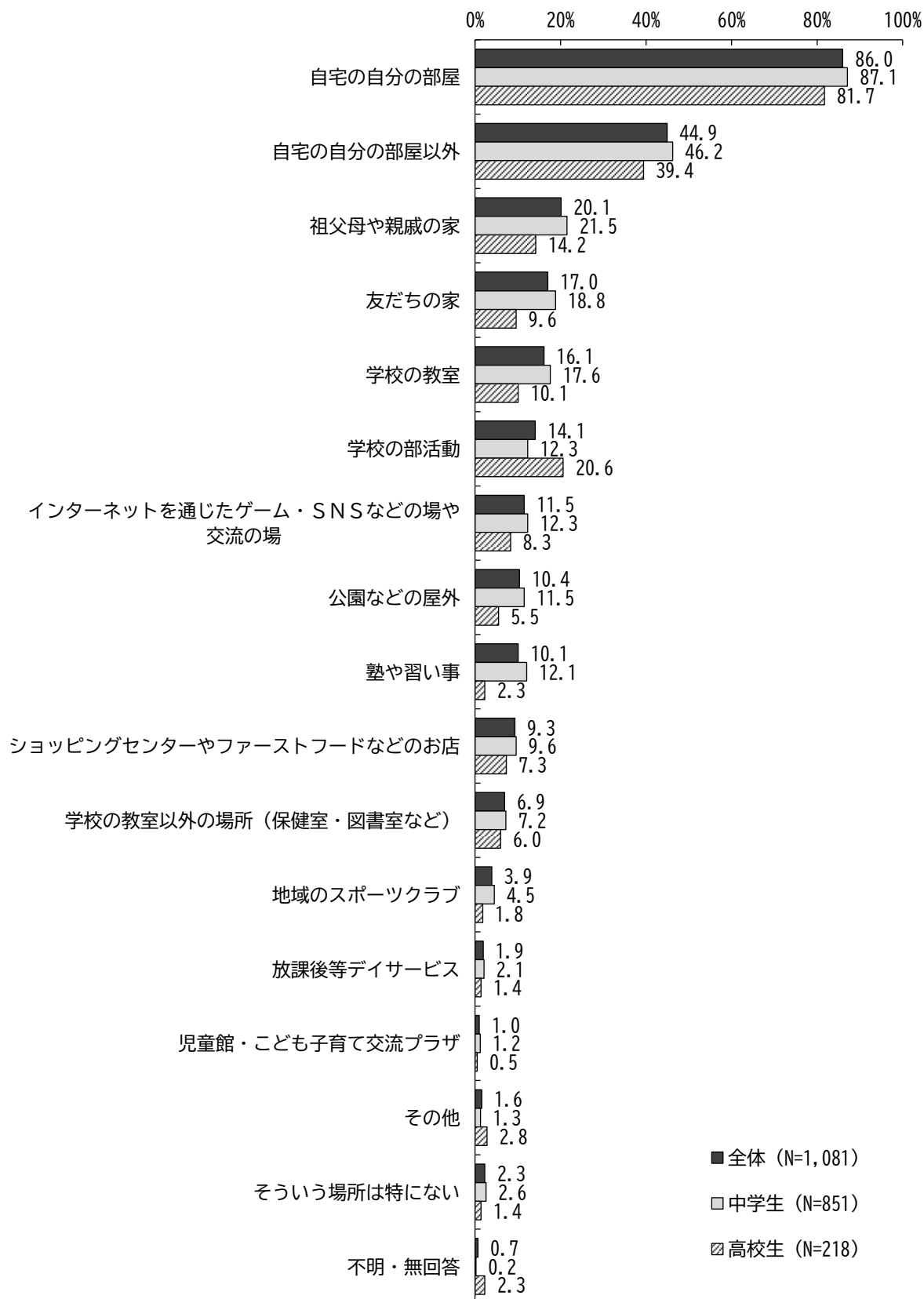
中学生では「学校の友だち（同級生・先輩・後輩）」が 63.1%で最も多く、次いで「親」が 56.3%となっています。

高校生では「親」が 60.1%で最も多く、次いで「学校の友だち（同級生・先輩・後輩）」が 51.4%となっています。



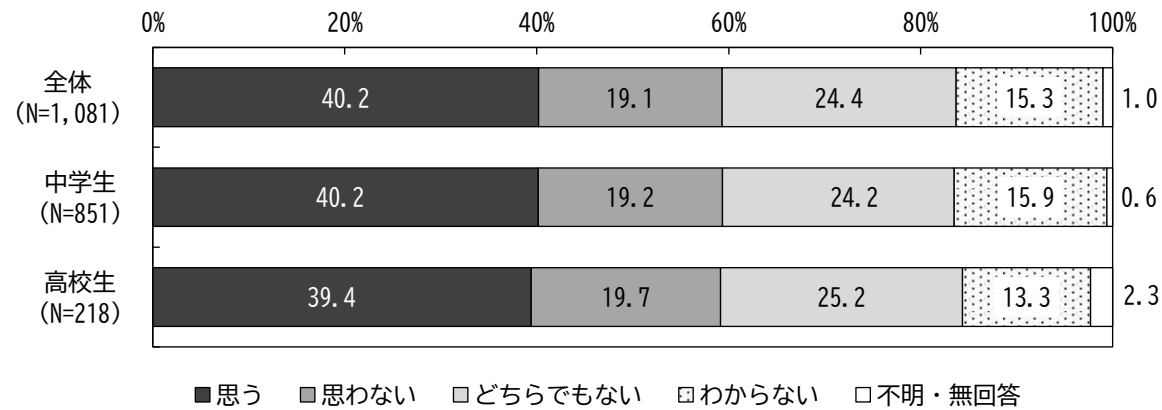
問 23 あなたには、放課後や休日を過ごす場所として、自分にとって居場所だと感じられる、落ち着いて居心地よくいられる場所がありますか。【複数回答】

中学生・高校生ともに「自宅の自分の部屋」が8割台で最も多く、次いで「自宅の自分の部屋以外」が多くなっています。3番目に多いのは中学生では「祖父母や親戚の家」、高校生では「学校の部活動」となっています。



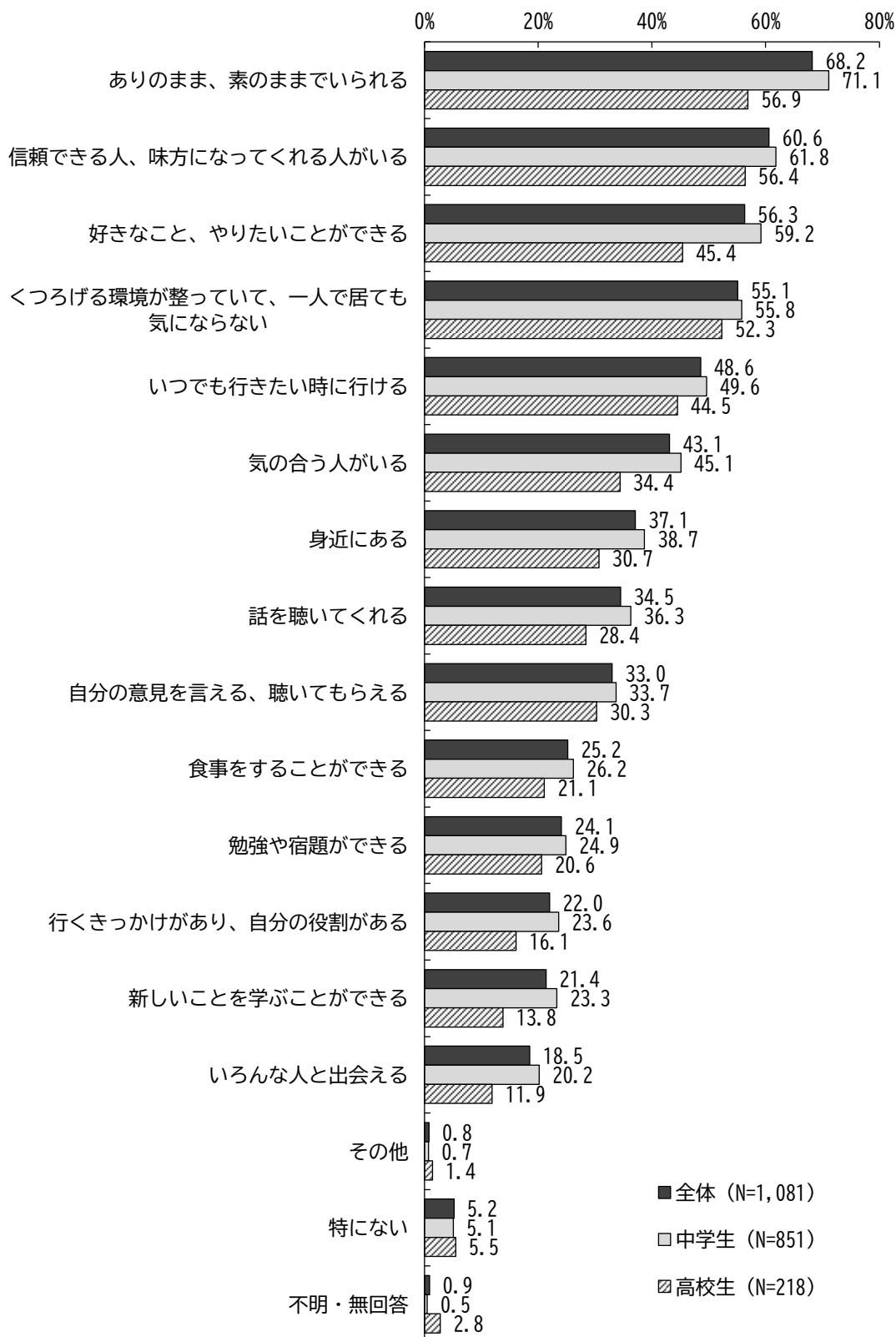
問 24 あなたは、家や学校以外で、居場所になるような場所がほしいと思いますか。

「思う」は中学生で 40.2%、高校生で 39.4%となっています。



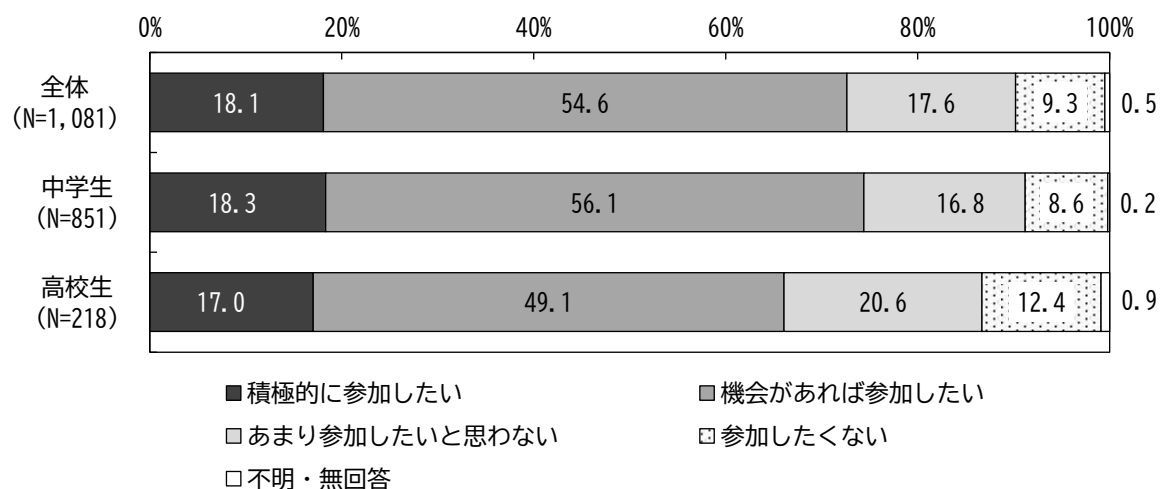
問 25 あなたは、家や学校以外で、居場所になるような場所があるとすれば、どのような場所がいいと思いますか。【複数回答】

中学生・高校生ともに「ありのまま、素のままでいられる」が最も多く、次いで「信頼できる人、味方になってくれる人がある」が多くなっています。3番目に多いのは中学生では「好きなこと、やりたいことができる」、高校生では「くつろげる環境が整っていて、一人で居ても気にならない」となっています。



問 26 あなたは今後、地域の行事や活動に参加したいと思いますか。

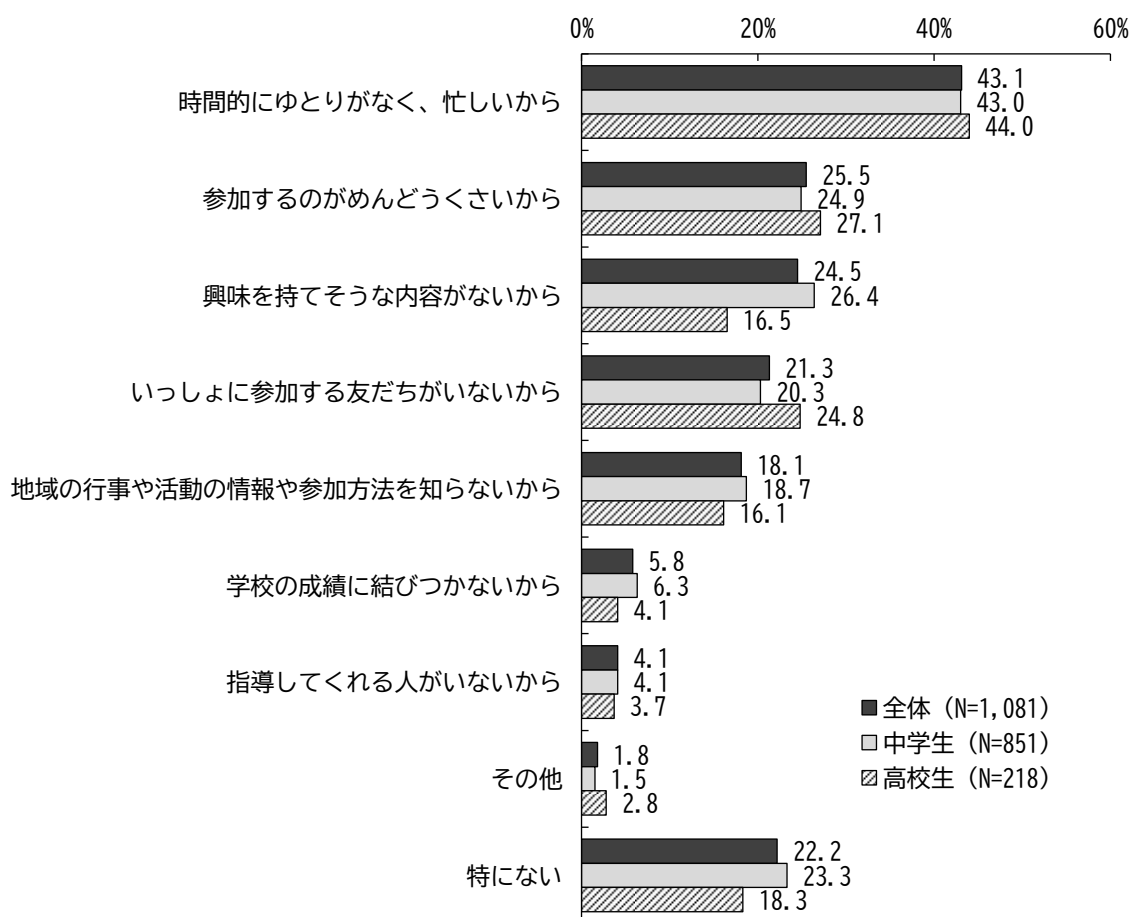
参加したいという回答（「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計）は、中学生で 74.4%、高校生で 66.1%となっています。



問 27 地域の行事や活動に参加しにくい理由、または参加していない理由があれば教えてください。【複数回答】

中学生では「時間にゆとりがなく、忙しいから」が 43.0%で最も多く、次いで「興味を持ってそうな内容がないから」が 26.4%、「参加するのがめんどくさいから」が 24.9%となっています。

高校生では、「時間にゆとりがなく、忙しいから」が 44.0%で最も多く、次いで「参加するのがめんどくさいから」が 27.1%、「いっしょに参加する友だちがいないから」が 24.8%となっています。

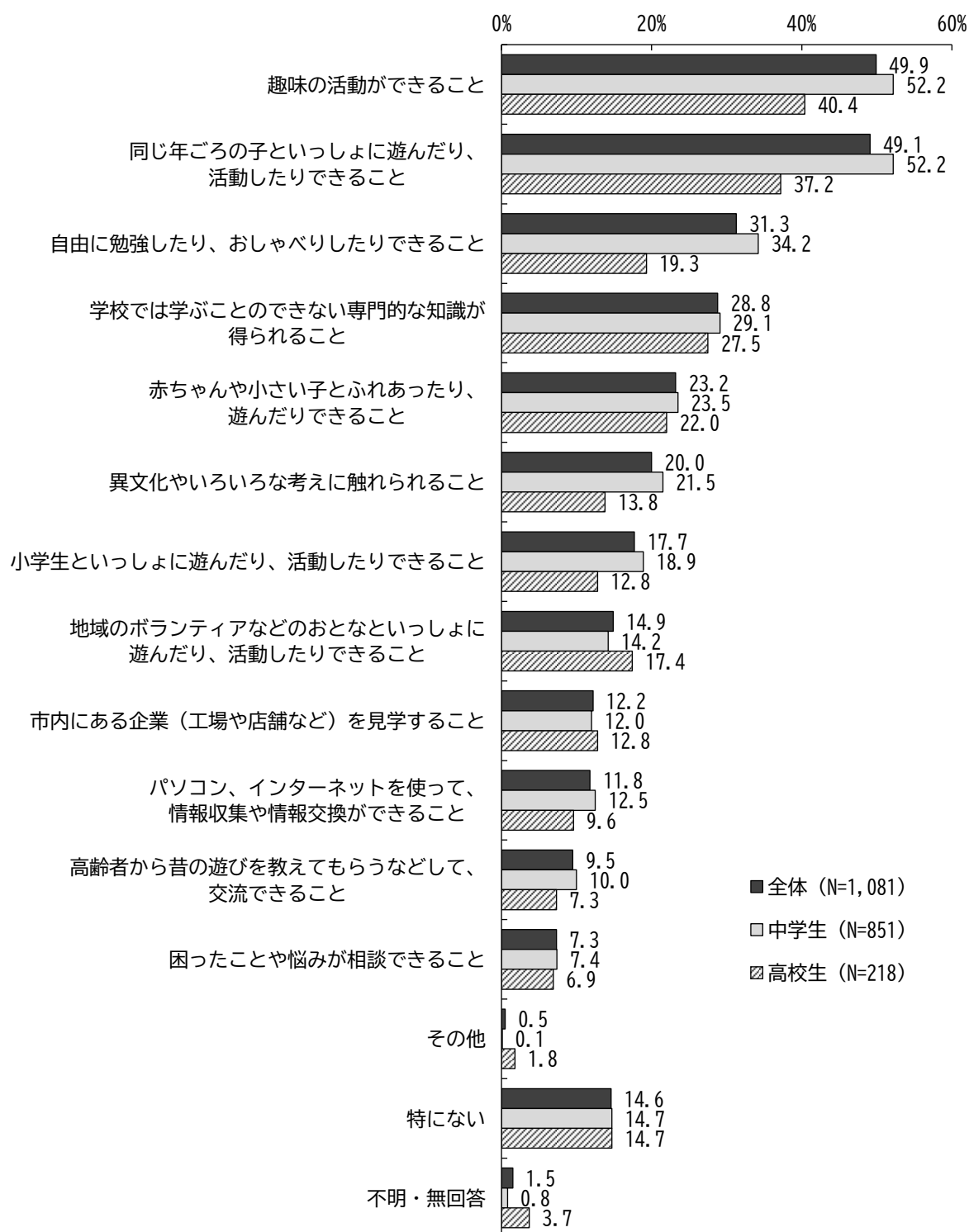


問 28 地域の行事に参加する場合、どのようなことができるといい、参加したいと思いますか。

【複数回答】

中学生では「趣味の活動ができること」「同じ年ごろの子といっしょに遊んだり、活動したりできること」が 52.2%で最も多く、次いで「自由に勉強したり、おしゃべりしたりできること」が 34.2%となっています。

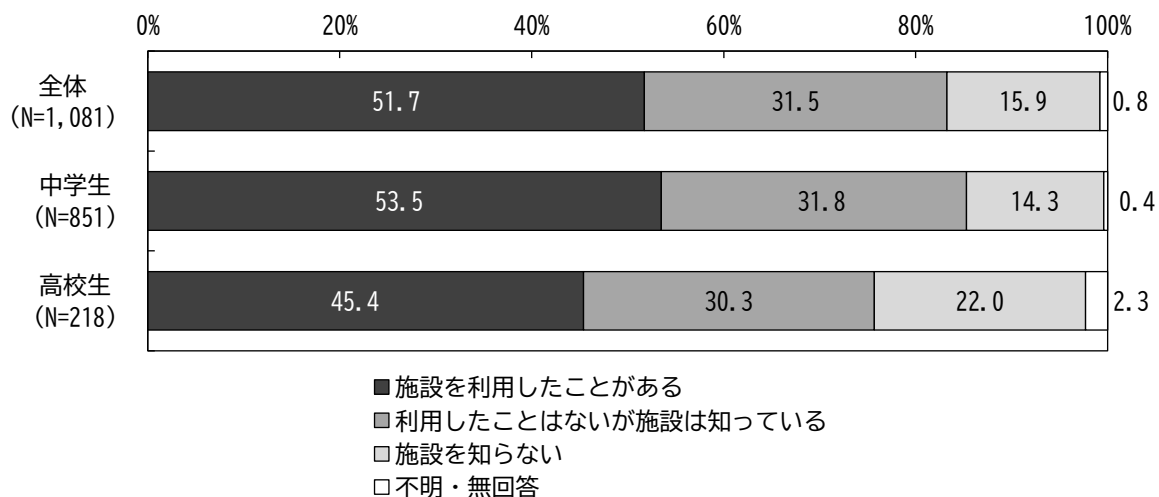
高校生では、「趣味の活動ができること」が 40.4%で最も多く、次いで「同じ年ごろの子といっしょに遊んだり、活動したりできること」が 37.2%、「学校では学ぶことのできない専門的な知識が得られること」が 27.5%となっています。



問 29 あなたは、学校の行事を除き、四日市市の次の施設について現在通う学校入学以降に利用したことがありますか。

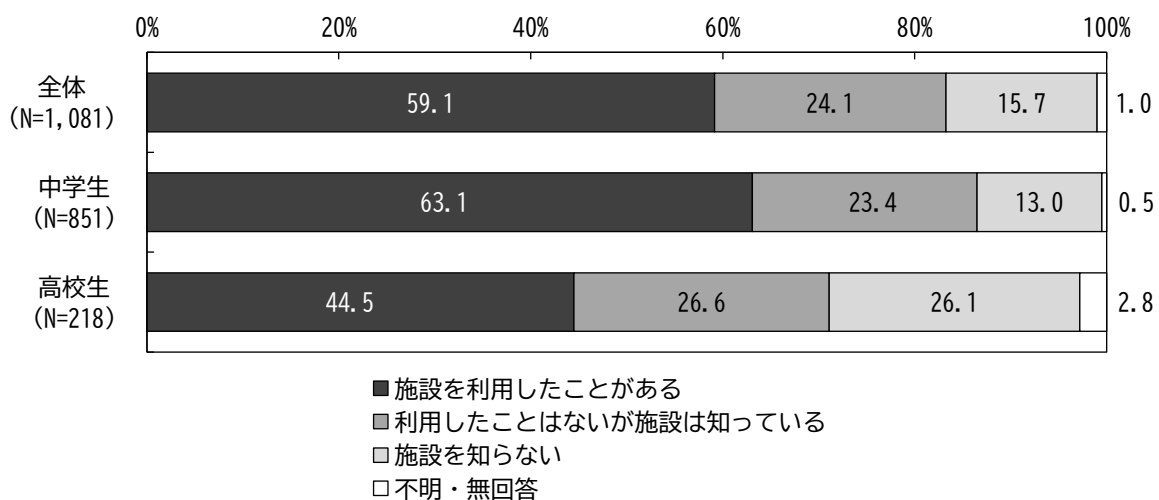
A 中央緑地運動施設（総合体育館、陸上競技場、フットボール場など）

「施設を利用したことがある」は中学生で 53.5%、高校生で 45.4%、「施設を知らない」は中学生で 14.3%、高校生で 22.0%となっています。



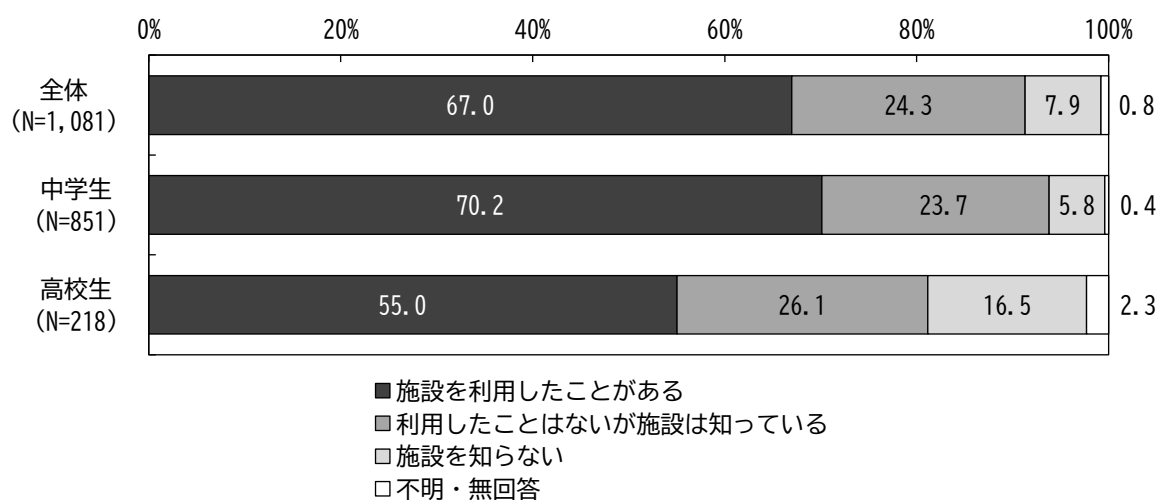
B 霞ヶ浦緑地運動施設（四日市ドーム、テニスセンター、野球場、プールなど）

「施設を利用したことがある」は中学生で 63.1%、高校生で 44.5%、「施設を知らない」は中学生で 13.0%、高校生で 26.1%となっています。



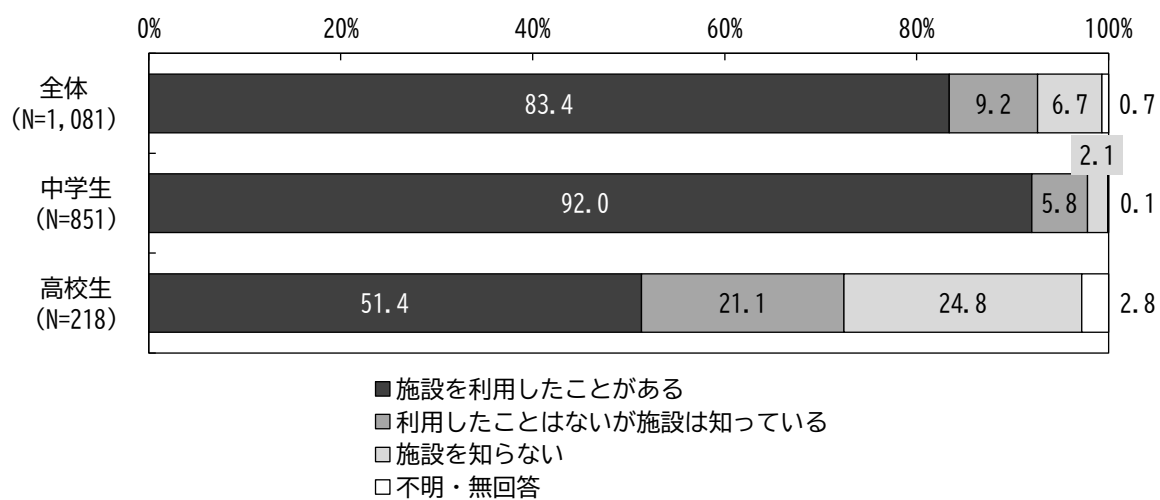
C 四日市市文化会館

「施設を利用したことがある」は中学生で 70.2%、高校生で 55.0%、「施設を知らない」は中学生で 5.8%、高校生で 16.5%となっています。



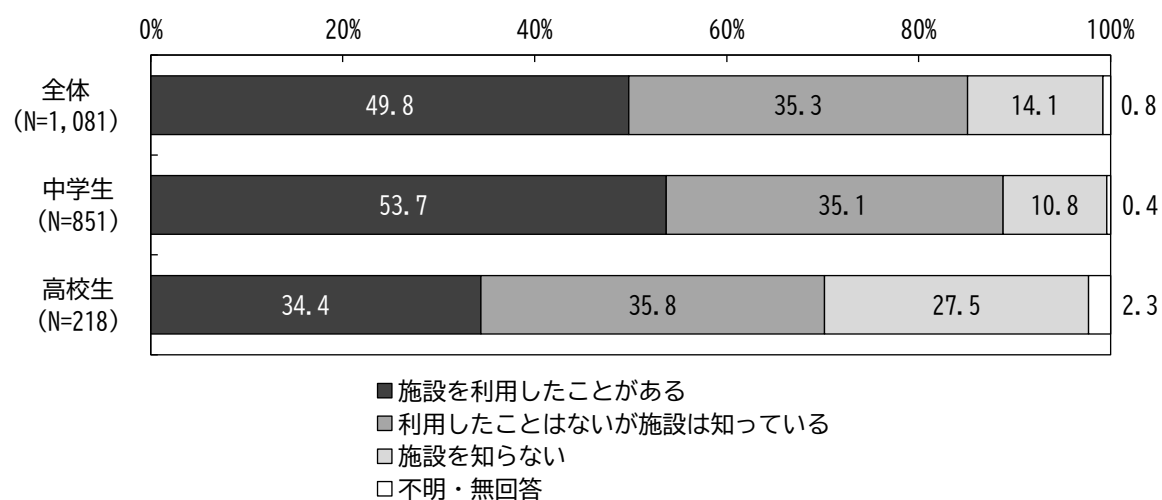
D そらんぽ四日市（市立博物館、プラネタリウム、四日市公害と環境未来館）

「施設を利用したことがある」は中学生で 92.0%、高校生で 51.4%、「施設を知らない」は中学生で 2.1%、高校生で 24.8%となっています。



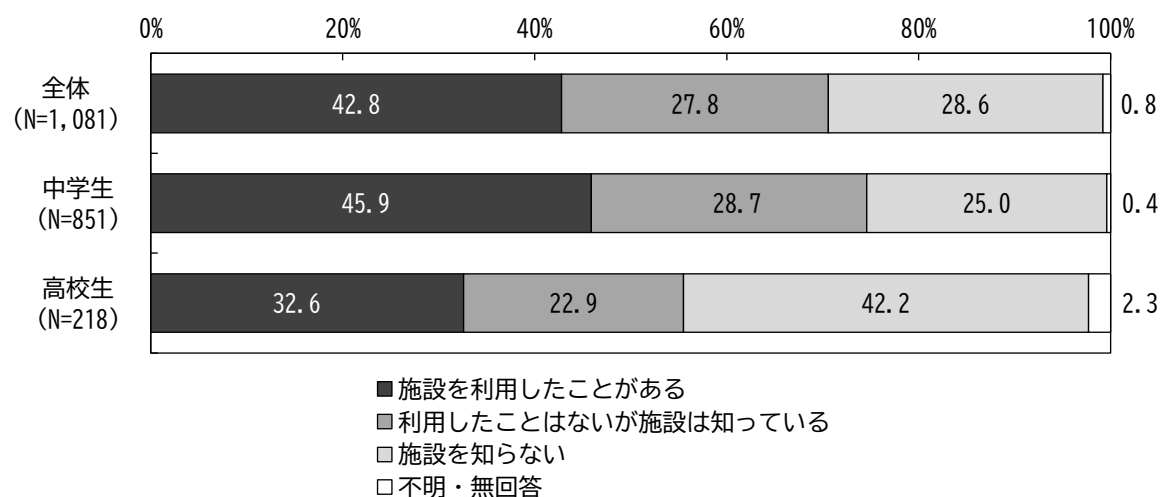
E 四日市市立図書館

「施設を利用したことがある」は中学生で 53.7%、高校生で 34.4%、「施設を知らない」は中学生で 10.8%、高校生で 27.5%となっています。



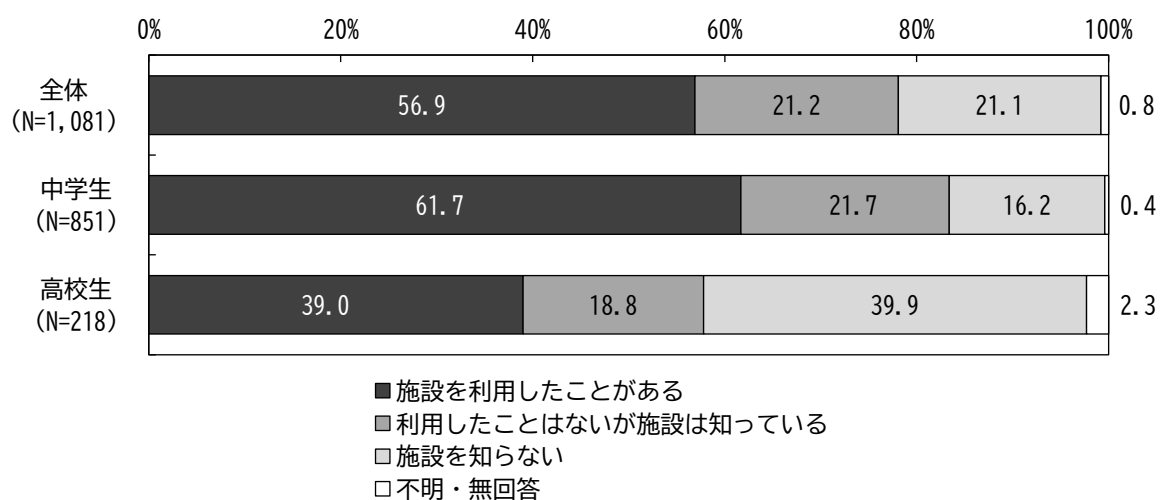
F あさけプラザ、楠交流会館、三浜文化会館

「施設を利用したことがある」は中学生で 45.9%、高校生で 32.6%、「施設を知らない」は中学生で 25.0%、高校生で 42.2%となっています。



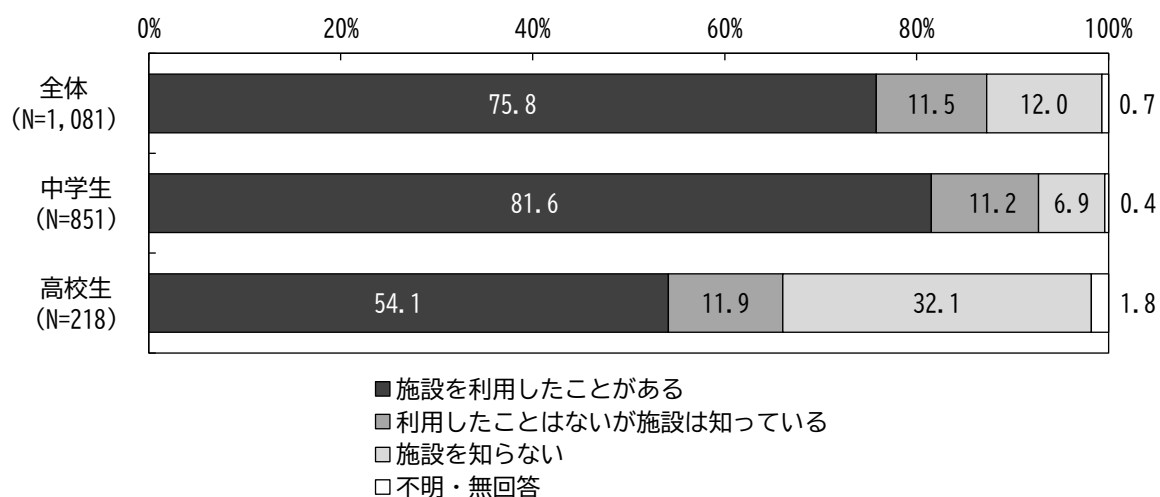
G 四日市スポーツランド、伊坂ダムサイクルパーク、宮妻狭、四日市市ふれあい牧場

「施設を利用したことがある」は中学生で 61.7%、高校生で 39.0%、「施設を知らない」は中学生で 16.2%、高校生で 39.9%となっています。



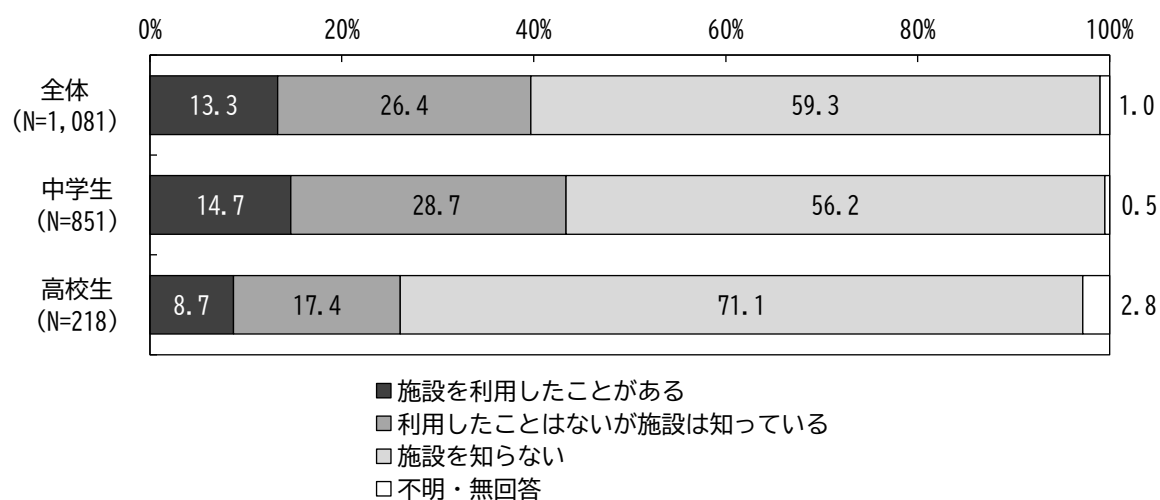
H 南部丘陵公園、垂坂公園羽津山緑地、霞ゆめくじら等の公園

「施設を利用したことがある」は中学生で 81.6%、高校生で 54.1%、「施設を知らない」は中学生で 6.9%、高校生で 32.1%となっています。



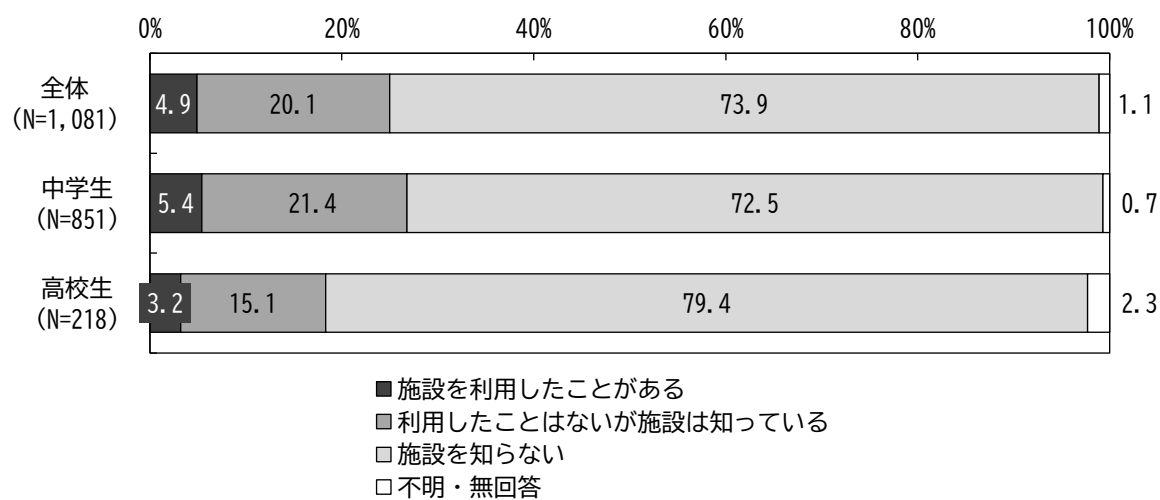
I こども子育て交流プラザ、児童館

「施設を利用したことがある」は中学生で 14.7%、高校生で 8.7%、「施設を知らない」は中学生で 56.2%、高校生で 71.1%となっています。



J 人権プラザ

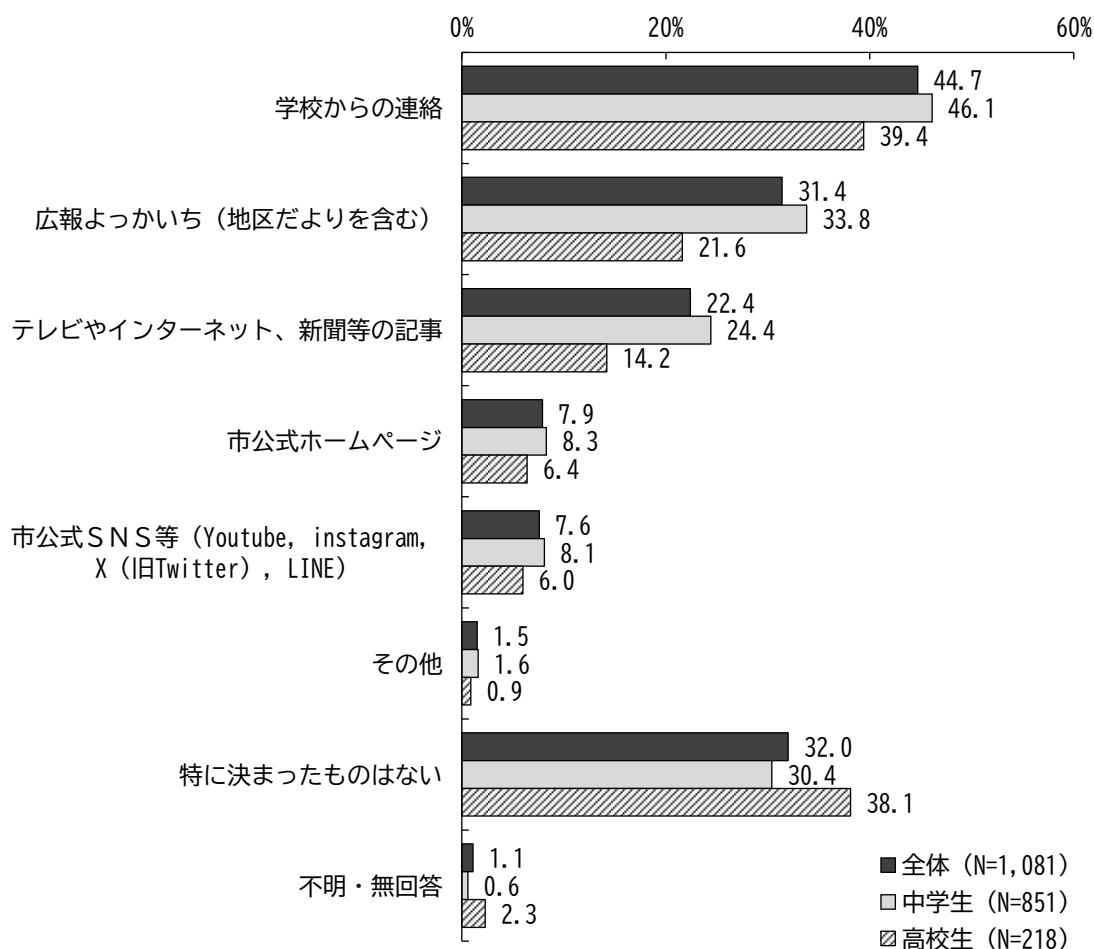
「施設を利用したことがある」は中学生で 5.4%、高校生で 3.2%、「施設を知らない」は中学生で 72.5%、高校生で 79.4%となっています。



問 30 四日市市の取り組みについて、どのような方法で情報を入手しますか。【複数回答】

中学生では「学校からの連絡」が 46.1%で最も多く、次いで「広報よっかいち（地区だよりを含む）」が 33.8%、「特に決まったものはない」が 30.4%となっています。

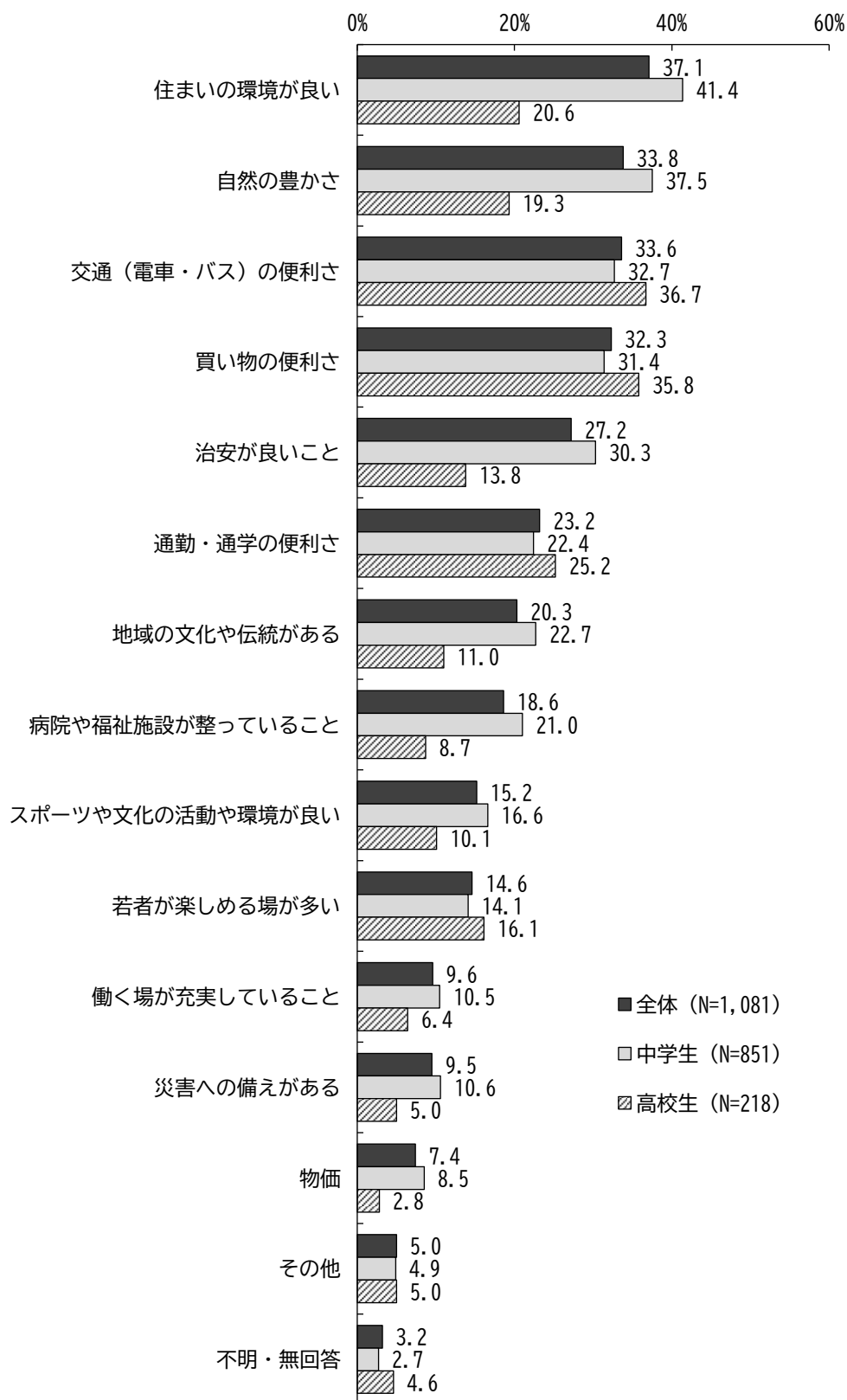
高校生では「学校からの連絡」が 39.4%で最も多く、次いで「特に決まったものはない」が 38.1%、「広報よっかいち（地区だよりを含む）」が 21.6%となっています。



問 31 四日市市の良いところはどんなことだと思いますか。【複数回答】

中学生では「住まいの環境が良い」が 41.4%で最も多く、次いで「自然の豊かさ」が 37.5%、「交通(電車・バス)の便利さ」が 32.7%となっています。

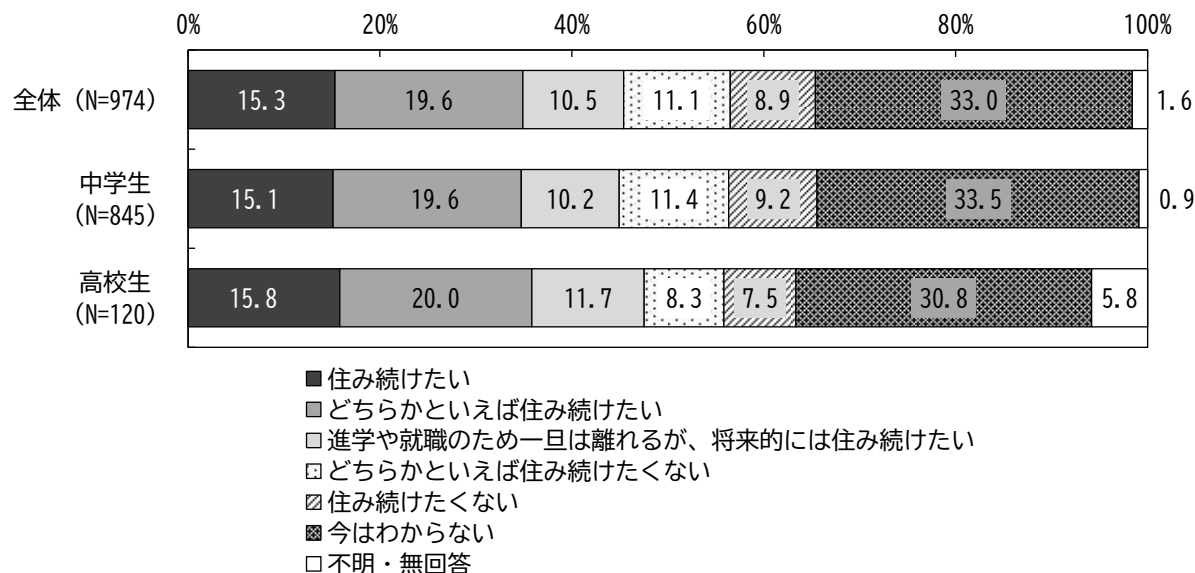
高校生では、「交通(電車・バス)の便利さ」が 36.7%で最も多く、次いで「買い物の便利さ」が 35.8%、「通勤・通学の便利さ」が 25.2%となっています。



四日市市に居住している人（問4で四日市市内の地区を回答した人）のみ

問 32 あなたは、高校や大学を卒業して働き始めたり結婚をしたりしても、四日市市に住み続けたいと思いますか。

住み続けたいという回答（「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」「進学や就職のため一旦は離れるが、将来的には住み続けたい」の合計）は、中学生で 44.9%、高校生で 47.5%となっています。



問 33 問 32 で回答した理由はどのようなことですか。

それぞれの理由として、主な回答は以下の通りです。住み続けたい理由としては、四日市市が好きだから、暮らしやすいからといった回答が多く、住み続けたくない理由としては、都会で生活したいから、交通の便が悪いからといった回答が多くなっています。

問 32 の回答	理由（主な回答）	件数
住み続けたい	・ いいまちだから ・ 暮らしやすいから ・ 四日市市が好きだから ・ 楽しいから	82
どちらかといえば住み続けたい	・ 住みやすい、住み慣れたまちだから ・ 家族が住んでいるから ・ 他の所に行きたくないから	115
進学や就職のため一旦は離れるが、将来的には住み続けたい	・ 就職や進学で県外に出たいから ・ 地元に帰ってきたいから ・ いいところだから	56
どちらかといえば住み続けたくない	・ 都会に行きたいから ・ やりたいことができないから ・ 新しい場所で過ごしたいから	72
住み続けたくない	・ 都会で住みたい、働きたいから ・ 交通の便が悪いから ・ したい仕事がないから	50
今はわからない	・ どこに就職・進学するかわからないから ・ 将来のことを決めていないから ・ 今はまだわからないから	154

問 34 最後に、普段の生活の中で、皆さんが過ごしやすいまちになるために四日市市にあると良いと思うこと、こんなところを変えてほしいと思うこと、子どもや若者に関する気になるニュースがあれば教えてください。

記入された意見を内容別に分類したところ、220 人から 237 件の回答がありました。寄せられた意見の内容別の件数は以下の通りです。

No.	分野	主な内容	件数
1	商業施設の充実	・大型商業施設がほしい ・若者が楽しめるお店がほしい ・商店街をきれいにしてほしい 等	53
2	交通の便の改善	・電車・バスの本数を増やしてほしい ・交通の便をよくしてほしい ・歩道を整備してほしい、道路をきれいにしてほしい 等	48
3	楽しめる施設の充実	・遊ぶ場所を増やしてほしい ・スポーツが自由にできるところがほしい ・バスケットボールコートがほしい ・公園を整備してほしい 等	37
4	学校について	・学校のトイレをきれいにしてほしい ・校舎を立て替えてほしい ・設備を充実させてほしい 等	18
5	学習施設について	・無料で勉強（自習）できる場所がほしい ・図書館の開館時間を延ばしてほしい、自習コーナーを中学生も使えるようにしてほしい 等	17
6	地域環境について	・まちをきれいにしてほしい ・大人のマナーを改善してほしい 等	16
7	イベントや地域活性化について	・人が集まるイベントをしてほしい ・四日市市を盛り上げてほしい 等	14
8	安全・防災について	・治安が悪いイメージを改善してほしい ・街灯を増やしてほしい 等	14
9	人権に関することについて	・障がいのある人も暮らしやすいまちにしたい ・いじめをなくしてほしい 等	10
10	その他		9

VI 調査結果が示す本市の現状と子ども計画策定に向けた課題

(1) 子育て世代の女性の就業率の上昇について

令和2年の国勢調査では、子育て世代の女性の労働力率の上昇が示されており、本市においてもいわゆる「M字カーブ」の谷にあたる30～34歳女性の労働力率は、平成27年調査の67.8%から74.0%に上昇、35～39歳は68.7%から74.3%に上昇するなど、子育て中も就労を継続する女性が増加しています。本調査においては、保護者の就業状況を尋ねる質問の形式を前回調査から変更したため、単純な比較はできませんが、母親の就労状況について、「現在仕事をしておらず（休職中を含む）、今のところ仕事をする（復帰する）予定はない」という回答は、未就学保護者で13.4%、小学校低学年保護者で12.4%にとどまっており、子育てをしながら仕事をしている、または仕事をしたいと考えている母親が多数となっています。また、働く希望がありながら働いていない理由についても、未就学保護者の母親では「今は、子育てや家事などに専念したいから」という回答が減少しており、家事や育児に専念する意識が減少していることがうかがえます。

こうした傾向は、就学前保育や学童保育の利用率の増加や、共働き世帯の子育て支援ニーズの増加をもたらすことが予想され、引き続き女性の就業率が上昇することを見込んだ計画の策定が求められます。

今回の就学前保護者対象の調査では、アンケートの回答者について、前回調査と比べて「父親」の割合が増加しており、子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が増加し「主に母親」が減少しています。また、子どもが病気やけがでいつも利用している教育・保育事業を利用できなかった時の対応についても、「父親が仕事を休んだ」が増加しています。母親の就業率の上昇が、母親のみが子育てを担うという考え方の変化や父親の育児に対する意識の変化につながっていることも考えられ、子育て世代における男女共同参画の推進についても、引き続き取り組みが求められます。

(2) 保育ニーズの増加について

現在の幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況を観ると、「利用している」は67.4%で前回調査よりわずかに増加しています。子どもの年齢別にみると、無償化の対象となる3歳児以上では、3歳児が98.0%、4歳児、5歳児がいずれも99.5%と、ほぼ全数に近い利用率となっています。また、利用している事業については、教育利用（幼稚園、認定こども園の幼稚園としての利用）が減少し、保育利用（保育園、認定こども園の保育園としての利用、小規模保育施設等）が増加しており、母親の就業率の上昇が保育ニーズの上昇につながっていることがうかがえます。

現在「定期的な教育・保育事業」を利用していない人についても、その理由として「利用したい事業の定員に空きがない」が増加しています。また、「子どもがまだ小さいため」と回答した人においても、利用開始を考える年齢について「1歳」という回答が大幅に増加するなど全体的に

低年齢化しています。こうしたことから、今後は3歳児以上の利用ニーズは頭打ちとなりますが、利用率の上昇余地のある2歳児以下の保育ニーズについては、上昇が続くことが見込まれます。

こうした状況は、小学校入学後の学童保育所のニーズにもつながることが考えられ、未就学保護者対象の調査では、小学校入学後の放課後（平日の授業終了後）に利用したい預かりサービスとして、「学童保育所」という回答が63.5%となっています。これは小学生低学年保護者対象調査において、小学校入学後の放課後（平日の授業終了後）に利用している預かりサービスで「学童保育所」と回答した29.6%を大きく上回っており、保護者からの学童保育所の潜在的なニーズの大きさを示すものとなっています。また、小学生低学年保護者で、現在学童保育を利用している人については、42.6%が6年生まで利用したいと回答しており、高学年での利用についても今後ニーズが増加する可能性があります。

保育サービスの利用率の上昇傾向の一方で、全国的な傾向と同様に本市においても少子化の傾向が進んでいます。令和6年4月1日時点の0～4歳人口は10,741人で、5年前の平成31年4月1日時点の12,269人から12.5%の減少となっています。したがって保育サービスの量の見込みや、将来的な確保策を含む計画策定にあたっては、利用実態をベースに、利用率の上昇傾向の影響と少子化の影響の両方を考慮しながら、将来予測を行うことが必要となります。

（3）子育て支援事業について

親子が集まって交流や相談の場を提供する事業等について、前回調査とは質問形式が異なりますが、比較的多く利用されている「子育て支援センター」や「幼稚園、保育園、認定こども園のあそび会、あそぼう会」については、前回調査より利用している人が減少しています。利用していない理由については、「教育・保育事業を利用しているから」「利用する必要があるから」が増加しており、保護者の就労率の上昇に伴い、定期的な教育・保育事業の利用が増加していることが、利用の減少の主な要因だと考えられます。0～2歳の保育利用が増加すると、それに伴いこれらの事業の利用は減少していくことが見込まれます。一方で、保護者が支援を受けられる人間関係に目を向けると、日ごろ子どもをみてもらえる親族・知人について、「いずれもない」という回答は、母親が仕事をしていない家庭で多くなっており、子育てにおける孤立を防ぐ取組のニーズは、仕事をしていない家庭のほうが高いとも言えます。その意味で、子育て支援センター等の事業は、引き続き子育て支援において重要な役割を担うと考えられます。また、子育て支援センターの今後の利用希望については、「現在は利用していないが、今後は利用したい」という回答が33.8%で、「現在利用している」と回答した人の倍近い回答があり、潜在的なニーズは大きいと考えられます。

ファミリー・サポート・センターについては、小学生低学年保護者で「現在利用している」が0.6%となっており、今後の利用意向として、「利用したい」が1.9%となっており、「できれば利用したい」と合計すると10.3%で、潜在的なニーズがあります。また、「利用したことはなく、制度も知らなかった」という回答が就学前保護者で37.7%、小学生低学年保護者で38.4%あり、制度の周知に工夫が必要だと考えられます。

子どもが病気やけがで、いつも利用している就学前施設や学校に通えなかった際の、病児保育の利用については、父親または母親が仕事を休んで対応した回答者のうち、未就学保護者では23.7%、小学生低学年保護者では10.9%が、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」と回答していますが、実際の病児・病後児保育の利用は少数にとどまっており、潜在的なニーズは実際の利用と比べて大きいと言えます。利用しなかった理由として、「親が仕事を休んで対応する」「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」という回答が上位ですが、「利用方法（手続き、利用料等）がわからない」「利便性（利用可能時間・日数など）がよくない」についても、未就学・小学生ともに2割前後の回答があり、制度の周知や利便性の向上によって利用が増加することが考えられます。

（４）四日市市の子育て環境について

子育て環境に関して、日頃特に不安や負担等を感じる事、また気になる事については、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」「子育てによる心身の疲れやストレスがたまること」が、未就学保護者で4割台、小学生低学年保護者で3割台といずれも上位となっており、保護者の負担軽減についてのニーズが高いことがうかがえます。次いで回答が多くなっているのが、「家族以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと」「子どもに対してつらくあたってしまうこと」で、未就学・小学生ともに約2割の回答があり、保護者の孤立や虐待を防ぐ取組についても、検討の必要があることがうかがえます。

保護者の孤立については、日頃子どもをみてもらえる親族・知人について「いずれもない」という回答が、未就学保護者で13.8%、小学生保護者で15.3%あり、支援を受けにくい環境で子育てをしている家庭の存在が示されており、またいずれについても母親が仕事をしていない家庭で回答が多くなっています。

四日市市の子育て環境について、肯定的な回答（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）よりも否定的な回答（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）が多かった項目は、未就学保護者では「働きながら子育てができる子育て支援サービスが整っている」、小学生低学年保護者では「働きながら子育てができる子育て支援サービスが整っている」「男女が共に働きながら子育てを行う意識が高まってきている」「子育て家庭に対する多様なサービスが充実し、安心して子育てができる」となっており、働きながら子育てができる支援については、未就学保護者と小学生低学年保護者ともに不足しているという意識が強いことがうかがえます。

(5) 中高生の支援について

自分が 15 年後にどのようなになっているかについて、「仕事をしている」「親を大切にしている」「幸せになっている」については中高生ともに肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が 8 割を超えていた一方で、「結婚している」は中学生 52.3%、高校生 46.4%、「子どもを育てている」は中学生 48.1%、高校生 38.9%にとどまっており、いずれも「そう思う」という回答は男性に比べて女性で少なくなっています。中高生が「結婚」「子育て」という将来展望を描きにくい状況にあること、特に女性においてはそうであることがうかがえる結果となっています。

意識の性差は、15 年後の自分についての「お金持ちになっている」「自由にのんびり暮らしている」「人の役に立っている」「出世している」「幸せになっている」においても、「そう思う」という回答が男性に比べて女性で 10 ポイント以上低くなっています。また、自己肯定感等に関する設問においても、「自分には良いところがある」「自分のことが好きだ」「がんばれば、よいことがある」「自分は友だちから好かれている」で、いずれも「そう思う」が男性に比べて女性で 10 ポイント以上低くなっており、中高生において男性より女性の方が自己肯定感や積極的な将来展望を持ちにくい状況にあることがうかがえる結果となっています。

家庭における手伝いなどで、学校に行けなかったり、十分に眠れなかったり、まわりの子より遊ぶ時間や勉強の時間などを減らさなければならないことについて、中学生の 3.2%、高校生の 4.4%がある（「はい」）と回答しており、いわゆるヤングケアラーの状態にあることがうかがえます。中学生についてはそのうちの約 2 割は「1 日に 4 時間以上」手伝いや仕事をしていると回答しており、非常に負担の大きい生活状況にある子どもがいることが示されています。

インターネットや SNS の利用については、中高生ともに「インターネットや SNS で書き込みをしたこと」は 5 割台、「インターネットや SNS で知り合った人とメッセージやメールなどのやりとりをしたこと」は 4 割台が「ある」と回答しており、多くの中高生が経験している状況が示されています。また、「インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたこと」については中高生ともに 4 割近くが「ある」と回答しており、「他人が見ることのできる SNS 等で自分の情報（名前や写真、メールアドレス、ID など）を書き込んだこと」「ゲームやアプリなどで、お金を使いすぎたこと」もそれぞれ 1 割以上の回答があることから、インターネットや SNS の利用が中高生の日常となりつつあることを踏まえた上で、その適切な利用についてリテラシーを高めていく必要があると言えます。

普段の生活の中で自分の権利が守られていないと感じることについては、中学生の 19.8%、高校生の 22.9%が「特にない」以外の何らかの場面でそう感じることもあると回答しています。困っていることや悩んでいること、だれかに相談したいと思っていることについては、中学生の 47.8%、高校生の 57.4%が「特にない」以外の何らかの困りごとや悩みの回答をしています。一方で、困っていることや悩んでいることの相談先については、「学校の友だち」「親」という回答が中高生ともに半数を超えている一方で、「だれにも相談できない、相談したくない」という回答が中学生で 10.8%、高校生で 9.6%あり、約 1 割の中高生は相談できる人がいないと感じていることが示されています。

放課後や休日を過ごす場所として、自分にとって居場所だと感じられる、落ち着いて居心地よくいられる場所については、「自宅の自分の部屋」「自宅の自分の部屋以外」という回答が上位となっている一方で、家や学校以外で、居場所になるような場所がほしいと思うかについては、中高生ともに約4割が「思う」と回答しています。どのような場所がよいかについては、「ありのまま、素のままでいられる」「信頼できる人、味方になってくれる人がいる」という回答が多くなっており、家や学校以外で自分らしくいられる、信頼できる人がいる居場所のニーズがあることがうかがえます。

地域の行事や活動への参加については、中学生の 74.4%、高校生の 66.1%が肯定的な回答（「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計）をしています。一方で、参加しにくい・していない理由については、中高生ともに「時間的にゆとりがなく、忙しいから」が最も多く4割台となっています。また、地域の行事に参加する場合、「趣味の活動ができること」「同じ年ごろの子といっしょに遊んだり、活動したりできること」の回答が上位となっており、行事の実施にあたっては、日程やニーズに応じた企画が重要であることがうかがえます。

**四日市市子ども計画策定に向けたアンケート調査結果報告書
結果報告書**

発行年月：令和 6 年 5 月

発行：四日市市 こども未来部 こども未来課

TEL：059-354-8038 FAX：059-354-8061
